

山口市委託調査

2022年山口市観光動態アンケート調査 集計・分析報告書

2023年3月

山口大学経済学部
観光経済経営研究プロジェクト

はじめに

山口市は、人文観光資源としての大内文化や明治維新などの歴史・文化遺産、さらには自然観光資源として一の坂川や長門峡など豊かな自然景観に恵まれている。長い歴史に育まれた個性的な文化や風土が、落ち着いたまちの佇まいに受け継がれているだけでなく、山口情報芸術センター（YCAM）をはじめ、現代の芸術や文化を育む土壌も形成されつつある。

近年、これらの豊かな観光資源を生かした様々なイベントの開催により、山口市の観光客数は増加傾向にあった。2018 年の山口ゆめ花博の開催により観光客数が大幅に増加しただけでなく、2019 年の山口市の宿泊客数は前年比 97%となり、ゆめ花博で獲得した宿泊客数をほぼ維持できた形となった。一方、2019 年の日帰り客数については前年比 2 割減となっており、山口ゆめ花博の勢いをそのまま維持することは出来なかったが、その水準は近年では大幅に高かったことから、2020 年においてもこの水準を維持・向上することが目標であった。

しかし、2020 年に新型コロナウイルス感染症の感染拡大が全国に拡がり、同年 4 月 7 日には緊急事態宣言が発出されることとなった。これ以降、人流の抑制という基本対策のもとで山口市内における観光活動はほぼ停止状態となった。その結果、山口市を訪れた観光客数は、2020 年は約 304 万 1 千人と前年の 59%と大きく落ち込み、この 10 年で最小となった。特に、外国人観光客は約 8 千 600 人となり、前年比 11%と極めて深刻な落ち込みとなった。2021 年においても、観光客数は約 335 万 8 千人となり、新型コロナウイルスの発生以前の水準には遠い状況にある。

2022 年は、新型コロナウイルスに対する感染対策を維持しつつ、行動制限の緩和が少しずつ進むこととなった。また、山口県による「旅々やまぐち割」・「やまぐち割引宿泊券」や、山口市による「やまぐち泊まってお得クーポン！」などの施策が行われたことで、山口市内においても、2020 年および 2021 年と比較して、観光客数に復調の兆しが見えつつある。

山口市観光動態アンケート調査は、山口市を訪れる観光客の実態を把握することを目的に、山口市観光交流課が 2009 年から実施している。この調査は、山口市内の主要な観光拠点に訪れた観光客を対象に市内での観光に関するアンケートを行い、その回答を、調査用紙の留置・返信ハガキによる郵送・インターネットによる調査を通じて回収するという全国的にも数少ない手法を用いている。調査当初の実施期間は、2009 年は 6 か月間、2010 年は 7 か月間、2011 年は 8 か月間としていたが、2012 年から通年での実施となり、精緻なデータの収集と蓄積が可能となった。

本報告書は、アンケートの回答結果に基づいて、2022 年の観光客の動向や満足度の集計、2009 年から 2022 年における 14 か年の時系列での集計、それらの結果から見える山口市の観光振興へ向けた課題と提言をまとめたものであり、今後の山口市の施策や事業の評価および企画に活用されることが期待される。

なお、本報告書の作成は、山口市と山口大学との包括的連携協定の一環として、山口市観光交流課から山口大学経済学部観光経済経営研究プロジェクトに委託されたものである。本報告書におけ

る調査結果の分析と報告書の作成は、福井昭吾（経済学部准教授）が行った。本報告書の過誤は福井がすべての責任を負っている。

山口大学経済学部
観光経済経営研究プロジェクト

目次

第 I 部	2022 年の調査結果	5
第 1 章	調査結果の概要	6
1.1	調査方法	6
1.2	地域区分	7
1.3	調査票（2022 年版）	8
第 2 章	単純集計結果	10
第 3 章	訪問者の属性によるクロス集計結果	32
3.1	性別に見た訪問者の特徴	32
3.2	年齢別に見た訪問者の特徴	36
3.3	居住地別に見た訪問者の特徴	41
3.4	同行者との関係別に見た訪問者の特徴	46
3.5	訪問地区別に見た特徴	48
3.6	旅行のきっかけとなった情報源	54
第 4 章	湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」と周遊	60
4.1	「狐の足あと」訪問者の特徴	60
4.2	情報媒体としての「狐の足あと」	65
第 5 章	旅行の評価と満足度	71
5.1	山口市までの交通手段別の評価	71
5.2	山口市内での移動手段別の評価	77
5.3	山口市内の周遊行動における満足度	83
5.4	満足度の決定要因	89
第 II 部	2009 年から 2022 年における調査結果	95
第 6 章	時系列の集計結果	96
6.1	各回答項目の推移	96
6.2	評価・満足度の推移	157
第 III 部	山口市における観光の現状・課題と提言	161
第 7 章	アンケート集計結果からみる山口市における観光の現状	162
7.1	2022 年における山口市への訪問者の現状	162
7.2	2009 年から 2022 年における山口市への訪問者の傾向の推移	165
第 8 章	山口市の観光振興の課題と提言	169
8.1	アンケート結果に基づく山口市観光の課題	169
8.2	観光振興に向けた提言	170

第Ⅰ部 2022年の調査結果

第 1 章 調査結果の概要

1.1 調査方法

アンケート調査は、山口市に訪れた訪問客を対象として、表 1.1 に示す山口市内 22 地点にはがき形式のアンケート票を設置し、2022 年 1 月から 2022 年 12 月にかけて回収を行う形で実施した。本調査は 2009 年から継続して行っており、2012 年からは国際ホテル山口・ユウベルホテル松政・ホテル喜楽久の三か所でアンケート票の設置を追加し、さらに 2013 年から YCAM（山口情報芸術センター）、2015 年 3 月から湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」を追加して実施している。また、2022 年からは Web サイトによる調査を導入し、はがきに記載の URL または QR コードから回答用の Web サイトにアクセスし回答してもらう形式を追加している。なお、アンケート票の詳細については、1.3 節を参照されたい。

調査方法として留置調査を採用し、はがきまたは Web 形式で 1.3 節で示すアンケートに、訪問客自身で回答してもらった。回収方法として、表 1.1 の配布場所に設置している回収ボックスによりはがき形式のアンケート票を回収する方式・調査票（ハガキ）の郵送によってはがき形式のアンケート票を回収する方式・Web サイトでの回答をインターネット経由で回収する方式の 3 通りの方法をとった。

2022 年の回収総数は、936 枚であった（有効回答数）。なお、回収方法に郵送を含むことから、配布・回収場所ごとの集計は困難である。そのため、本報告書では配布・回収場所を総合して集計した結果についてまとめている。

表 1.1: アンケート配布場所

山口市菜香亭、中原中也記念館、小郡文化資料館、重源の郷、ふれあいパーク大原湖、国民宿舎あいお荘（秋穂）、特産物加工販売所「南大門」、道の駅「きらら あじす」、道の駅「仁保の郷」、道の駅「あいお」、道の駅「長門峡」、道の駅「願成就温泉」、山口駅観光案内所、新山口駅観光案内所、湯田温泉観光案内所、香山公園前観光案内所、大路ロビー、国際ホテル山口（2012 年より）、ユウベルホテル松政（2012 年より）、ホテル喜楽久（2012 年より）、YCAM（山口情報芸術センター、2013 年より）、湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」（2015 年より）、Web サイト（2022 年より）
--

1.2 地域区分

本報告書で用いる全国の地方区分は表 1.2、山口県内の地域区分は表 1.3 の通りである。

表 1.2: 全国の地方区分

地方	都道府県
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
甲信越	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

表 1.3: 山口県内の地域区分

地域	市町
東部	岩国市、和木町、周防大島町、柳井市、田布施町、 上関町、平尾町、光市、周南市、下松市
中部	防府市、山口市、美祢市
北部	萩市、長門市、阿武町
西部	下関市、宇部市、山陽小野田市

1.3 調査票（2022 年版）

料金受取人私郵便

山口中央局
承認
4158

差出有効期間
令和5年8月
31日まで

7538790

山口市亀山町2番1号
山口市役所 交流創造部 観光交流課行

おと こ ろ	平	一	都・道 府・県	市 町 村
おな まえ	TEL() -			
性別	1. 男	2. 女	年齢	歳
職業について当てはまるものを1つだけ○で囲んでください。 1. 会社員 2. 農林漁業 3. 自営業 4. 公務員・団体職員 5. 学生 6. 主婦・主夫 7. アルバイト・パート 8. 無職・定年退職 9. その他()				
山口市にあったら良いもの又は不足しているものは何ですか。				
普段から旅行情報の収集に利用する媒体（旅行雑誌・HPなど）の名称をご記入下さい。				
山口市の観光についてのご感想・ご意見をご記入下さい。				
今回の旅行で山口市以外にお立ち寄りになった地区番号とその市町村名を○印で囲んでください。 1. 岩国地区（和木町、岩国市） 2. 柳井大島地区（柳井市、周防大島町、平生町、上関町、田布施町） 3. 周南地区（周南市、下松市、光市） 4. 東中央地区（防府市） 5. 萩・長門地区（萩市、長門市、阿武町） 6. 下関地区（下関市） 7. 宇部・小野田地区（宇部市、山陽小野田市、美祿市） 8. 山口県外（広島県・福岡県・その他） 9. 山口市以外に立ち寄った地区はない				

山口市観光動態アンケート

「山口市」へようこそいらっしゃいました。
みなさまのご旅行をより楽しくしていただくための資料とい
しますので、恐れ入りますが、アンケートにご回答いただき、切り
取り線で切り離し、お近くのポストにご投函ください。（切手不要）

抽選で山口市の記念品をプレゼント！

※プレゼントの当選は発送をもってかえさせていただきます。

～アンケートの記入について（お願い）～
左枠内におとこ、おなまえ等をご記入いただき、
裏面のアンケートにご協力ください。
アンケートはWEBページからも回答できます。
<https://shinsei.pref.yamaguchi.lg.jp/iVozzZRe>

山口県

お問い合わせ

山口市交流創造部
観光交流課
TEL 083-934-2810
FAX 083-934-2649

山口大学経済学部
観光経済経営研究プロジェクト

★山口市観光公式サイト 西の京やまぐち 検索 <http://yamaguchi-city.jp/>

●アンケートはがきによる個人情報について
ご記入いただいた個人情報、プレゼントの送付及びお問い合わせ・ご意見をいただいた場合の連絡のみに使用させていただきます。

図 1.1: 調査票（2022 年版、表）

第2章 単純集計結果

ここでは、アンケート票回収によって得られた各質問に対する回答の単純集計結果についてまとめる。

(1) 性別 表 2.1 および図 2.1 は、性別の回答数と割合を表したものである。男性が 41.67 %、女性が 58.33 %で、女性の方が大きい。

表 2.1: 性別の回答数

	回答数	%
男	380	41.67
女	532	58.33
合計	912	100.00

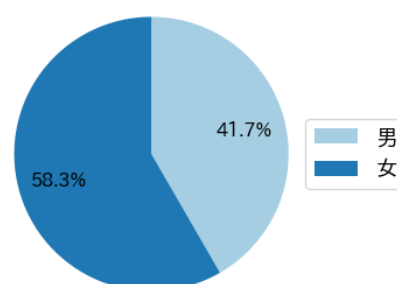


図 2.1: 性別の構成

(2) 年齢 表 2.2 および図 2.2 は、年齢別の回答数と割合を表したものである。最も多いのが 60 代の 23.07 %で、次いで 50 代の 21.52 %、70 代以上の 16 %となっている。一方、最も少ない年齢層は 9 歳以下で 1.21 %であり、次いで 10 代の 4.97 %、20 代の 8.61 %となっている。

表 2.2: 年齢別の回答数

	回答数	%
9 歳以下	11	1.21
10 代	45	4.97
20 代	78	8.61
30 代	95	10.49
40 代	128	14.13
50 代	195	21.52
60 代	209	23.07
70 代以上	145	16.00
合計	906	100.00

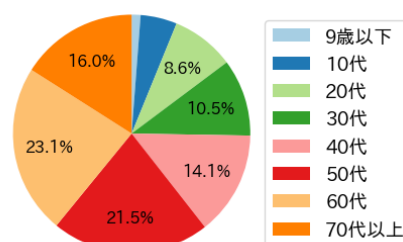


図 2.2: 年齢の構成

(3) 職業 表 2.3 および図 2.3 は、職業別の回答数と割合を表したものである。最も多いのは会社員の 30.53 %で、次いで主婦・主夫の 17.26 %、無職の 14.82 %となっている。

表 2.3: 職業別の回答数

	回答数	%
会社員	276	30.53
農林漁業	3	0.33
自営業	54	5.97
公務員・団体職員	85	9.40
学生	73	8.08
主婦・主夫	156	17.26
アルバイト・パート	98	10.84
無職	134	14.82
その他	25	2.77
合計	904	100.00

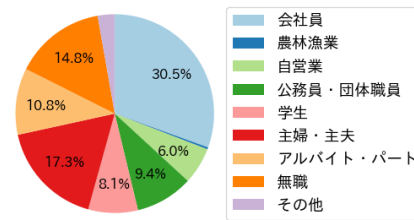


図 2.3: 職業の構成

(4) **居住地** 表 2.4 および図 2.4 は、居住地別の回答数を表したものである。まず全回答を山口県内外に区分した場合、38.01 %が山口県内居住者であり、61.99 %が山口県外の居住者であった。

山口県内の居住者を東部、中部、北部、西部の4地域に区分すると、中部地域が最も多く、次いで西部地域が多くなっている。また、近隣の県については、広島県が10.73 %、福岡県が10.62 %である。山口県内は38.01%であることから、山口市への訪問者は約半数が山口県民と両隣の県民ということになる。

さらに地方・地域別にみると、中部が16.43 %と最も多く、次いで中国（山口県を除く）が15.33 %、西部が15.12 %と続いている。

表 2.4: 居住地別の回答数

県内/県外	居住地	回答数	%
山口県内	東部	43	4.71
	中部	150	16.43
	北部	16	1.75
	西部	138	15.12
	合計	347	38.01
山口県外	島根県	20	2.19
	岡山県	22	2.41
	広島県	98	10.73
	福岡県	97	10.62
	北海道	4	0.44
	東北	6	0.66
	関東	124	13.58
	甲信越	6	0.66
	東海	36	3.94
	近畿	99	10.84
	四国	18	1.97
	九州（福岡県を除く）	36	3.94
	合計	566	61.99
全域	合計	913	100.00

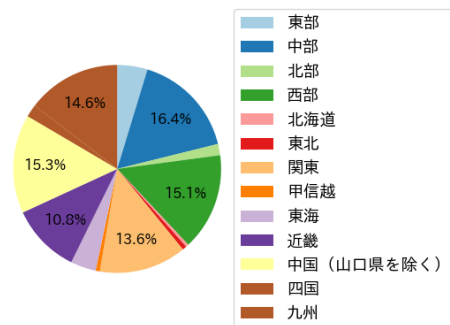


図 2.4: 居住地の構成

(5) **山口市以外の立ち寄り地区** 表 2.5 および図 2.5 は、山口市以外で立ち寄った地区の割合を示したものである。複数回答項目であるため分母を回答者数の795として立ち寄り地区の割合を

算出すると、山口県内においては、萩・長門地区が 40.88 % と最も多く、下関地区が 23.9 %、宇部・小野田地区が 19.37 % と続く。一方で、山口市以外に立ち寄った地区はないとする回答割合は 21.13 % であった。なお、山口県外への立ち寄り率は 20.13 % となっている。

表 2.5: 立ち寄り地区の回答数

	回答数	%
岩国地区	95	11.95
柳井大島地区	42	5.28
周南地区	103	12.96
県央地区	100	12.58
萩・長門地区	325	40.88
下関地区	190	23.90
宇部・小野田地区	154	19.37
山口県外	160	20.13
山口市のみ	168	21.13
回答者計	795	100.00

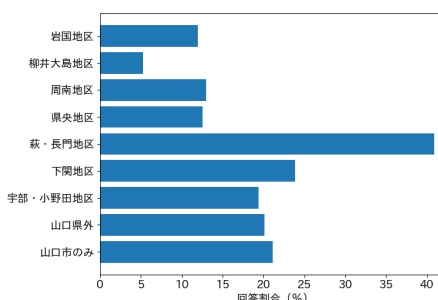


図 2.5: 立ち寄り地区の割合

(6) 旅行の主な目的 表 2.6 および図 2.6 は、旅行の主な目的を示したものである。旅行の目的は、その他を除くと観光・旅行・温泉が 81.24 % と最も多く、次いで家族・親族等への訪問が 6.83 % である。大会・イベント出席は 2.39 %、ビジネス・公用は 2.06 % であった。

表 2.6: 旅行目的の回答数

	回答数	%
観光・旅行・温泉	749	81.24
ビジネス・公用	19	2.06
家族・親族等への訪問	63	6.83
スポーツ観戦	8	0.87
大会・イベント出席	22	2.39
その他	61	6.62
合計	922	100.00

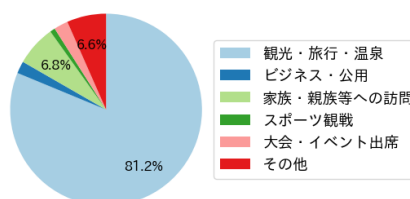


図 2.6: 旅行目的の構成

(7) 山口市を訪問するきっかけ 表 2.7 および図 2.7 は、山口市を旅行先の候補とするきっかけとなった情報別の回答数である。その他が 26.24 % と最も多く、友人・知人が 16.33 %、観光情報サイトが 14.41 %、旅行誌・ガイドブックが 11.37 % となっている。

表 2.7: きっかけとなった情報の回答数

	回答数	%
テレビ	91	10.25
ラジオ	2	0.23
新聞	21	2.36
旅行誌・ガイドブック	101	11.37
ポスター	8	0.90
行政および観光協会のパンフレット	85	9.57
旅行会社のパンフレット	42	4.73
友人・知人	145	16.33
観光情報サイト	128	14.41
個人のブログ・SNS	32	3.60
その他	233	26.24
合計	888	100.00

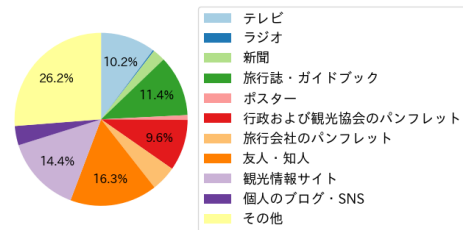


図 2.7: きっかけとなった情報の構成

(8) 同行者 表 2.8 および図 2.8 は、旅行の同行者との関係について示したものである。家族が 36.56 % と最も多く、次いで、夫婦が 29.52 %、ひとりが 17.07 %、友人・知人が 12.78 % となっている。

表 2.8: 同行者の回答数

	回答数	%
ひとり	155	17.07
家族	332	36.56
夫婦	268	29.52
親戚	18	1.98
友人・知人	116	12.78
団体	6	0.66
その他	13	1.43
合計	908	100.00

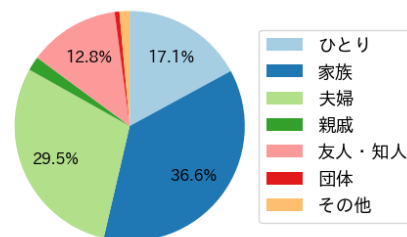


図 2.8: 同行者の構成

(9) 同行者の人数 表 2.9 および図 2.9 は、旅行の同行者について自分自身を含めた人数を示したものである。2 人が 52.05 % と最も多く、次に 1 人（本人のみ）が 17.54 %、3 人が 15.21 % となっている。

表 2.9: 同行者の人数の回答数

	回答数	%
1 人（本人のみ）	158	17.54
2 人	469	52.05
3 人	137	15.21
4 人	74	8.21
5 人	29	3.22
6 人	12	1.33
7 人	8	0.89
8 人	3	0.33
9 人以上	11	1.22
合計	901	100.00

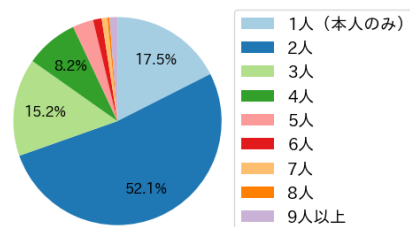


図 2.9: 同行者の人数の構成

(10) 山口市への旅行回数 表 2.10 および図 2.10 は、山口市への旅行回数を示したものである。10 回以上が 26.25 %と最も多く、次に初めて（1 回）が 21.86 %、2 回が 16.97 %となっている。

初めて山口市を訪れた旅行者は 21.86 %であることから、山口市を訪れた全旅行者の 78.14 %がリピーターといえる。

表 2.10: 山口市への旅行回数の回答数

	回答数	%
初めて（1 回）	179	21.86
2 回	139	16.97
3 回	112	13.68
4 回	62	7.57
5 回	74	9.04
6 回	22	2.69
7 回	6	0.73
8 回	10	1.22
10 回以上	215	26.25
合計	819	100.00

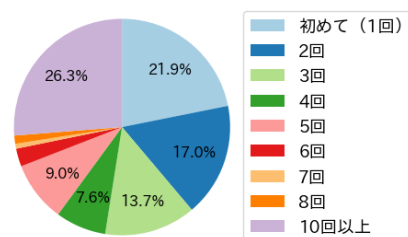


図 2.10: 旅行回数の構成

(11) 山口市への来訪月 表 2.11 および図 2.11 は、山口市への来訪月を示したものである。5 月が最も多く 13.84 %であり、次いで 11 月が 11.56 %となっている。一方、2 月が最も少なく、4.12 %である。

2022 年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う移動制限がほとんど実施されなかったこともあり、2019 年以前と同様、5 月や 8 月といった大型連休や長期休暇の時期に山口市を訪問する訪問客の割合が高くなっている。

表 2.11: 山口市への来訪月の回答数

	回答数	%
1 月	49	5.61
2 月	36	4.12
3 月	88	10.07
4 月	81	9.27
5 月	121	13.84
6 月	61	6.98
7 月	61	6.98
8 月	84	9.61
9 月	49	5.61
10 月	69	7.89
11 月	101	11.56
12 月	74	8.47
合計	874	100.00

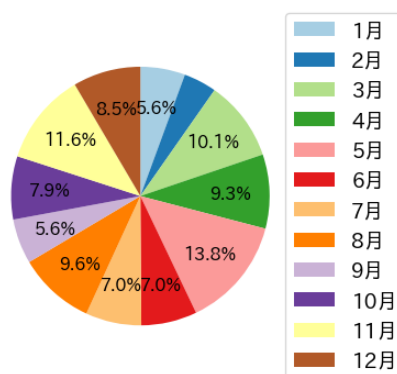


図 2.11: 来訪月の構成

(12) 山口市までの主な移動手段 表 2.12 および図 2.12 は、山口市までの主な移動手段について示している。複数回答項目であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、自家用車が最も多く 62.1 %であった。次いで新幹線が 20.93 %、その他の鉄道が 11.43 %と続く。

表 2.12: 山口市までの移動手段の回答数

	回答数	%
新幹線	185	20.93
その他の鉄道	101	11.43
自家用車	549	62.10
船舶	3	0.34
観光団体バス	9	1.02
路線バス	27	3.05
タクシー	5	0.57
レンタカー	18	2.04
飛行機	60	6.79
自転車	14	1.58
徒歩	23	2.60
その他	27	3.05
回答者計	884	100.00

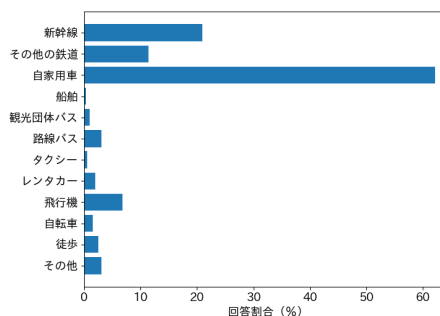


図 2.12: 山口市までの移動手段の割合

(13) 山口市内での主な移動手段 表 2.13 および図 2.13 は、山口市内での主な移動手段についての集計結果である。複数回答項目であるため、回答者数を分母として利用割合を算出すると、自家用車が最も多く 61.31 %であった。次いで徒歩が 16.65 %、路線バスが 11.25 %、その他の鉄道が 10.45 %と続く。

表 2.13: 山口市内での移動手段の回答数

	回答数	%
新幹線	9	1.03
その他の鉄道	91	10.45
自家用車	534	61.31
船舶	1	0.11
観光団体バス	28	3.21
路線バス	98	11.25
タクシー	44	5.05
レンタカー	65	7.46
飛行機	1	0.11
自転車	38	4.36
徒歩	145	16.65
その他	34	3.90
回答者計	871	100.00

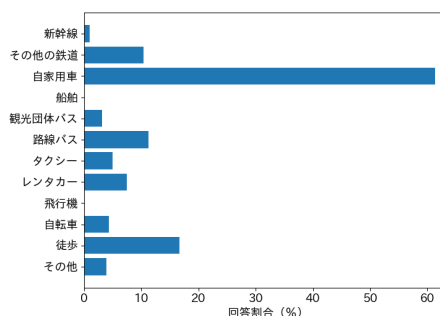


図 2.13: 山口市内での移動手段の割合

(14) 旅行の全行程 表 2.14 および図 2.14 は、旅行の全行程を示したものである。1泊が 35.4 %と最も多く、次いで日帰りが 28.84 %となっている。

通常の旅行動向からいえば日帰り旅行の割合がより高いと考えられるが、本アンケートの結果では宿泊旅行の割合が高いように見える。これは、山口市への旅行者のうち、県外からの旅行者が 61.99 %と高い割合を占めていること、またアンケート表を宿泊施設でも配布しているため宿泊者からの回収割合が高いことから、宿泊旅行の割合が高くなっていることが推測される。以下、本報告書で旅行の行程を考察する際はこの点に注意を要する。

表 2.14: 旅行の全行程の回答数

	回答数	%
日帰り	233	28.84
1泊	286	35.40
2泊	140	17.33
3泊	73	9.03
4泊	31	3.84
5泊	16	1.98
6泊	13	1.61
7泊	4	0.50
8泊	2	0.25
9泊	2	0.25
10泊	1	0.12
11泊以上	7	0.87
合計	808	100.00

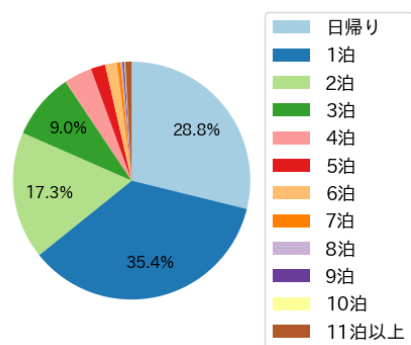


図 2.14: 旅行の全行程の構成

(15) 山口市内での宿泊数 表 2.15 および図 2.15 は、旅行者が山口市内で何泊しているかを示したものである。1泊が51.51%と最も多く、次いで日帰りが34.03%、2泊が10.25%となっている。

表 2.15: 山口市内での宿泊数の回答数

	回答数	%
日帰り	259	34.03
1泊	392	51.51
2泊	78	10.25
3泊	19	2.50
4泊	8	1.05
5泊	3	0.39
6泊以上	2	0.26
合計	761	100.00

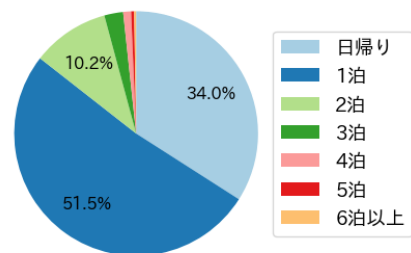


図 2.15: 山口市内での宿泊数の構成

(16) 山口市内での平均消費額 表 2.16 および図 2.16 は、山口市内での平均消費額を示したものである。宿泊費が12360.16円で最も多く、次いで交通費が5202.51円となっている。各平均消費額の合計は31683.54円である。

表 2.16: 平均消費額

	消費額 (円)
宿泊費	12360.16
飲食費	4968.67
土産物	5016.89
交通費	5202.51
施設見学科	1259.47
その他	2875.84
合計	31683.54

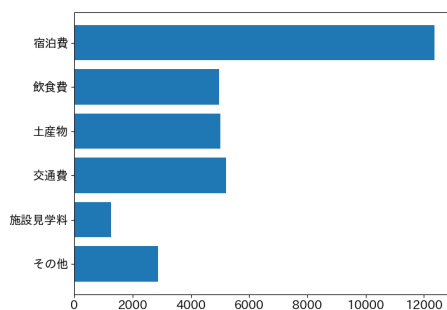


図 2.16: 平均消費額 (単位: 円)

表 2.17 および図 2.17 は、複数日に亘る宿泊数を考慮して 1 日当たりに換算した山口市内での平均消費額を示したものである¹⁾。宿泊費（1 日当たり）が 5265.78 円で最も多く、次いで飲食費（1 日当たり）が 2531.41 円となっている。各平均消費額の合計は 14303.18 円である。

表 2.17: 1 日当たり平均消費額

	消費額 (円)
宿泊費 (1 日当たり)	5265.78
飲食費 (1 日当たり)	2531.41
土産物 (1 日当たり)	2469.95
交通費 (1 日当たり)	2417.87
施設見学科 (1 日当たり)	643.17
その他 (1 日当たり)	975.00
合計	14303.18

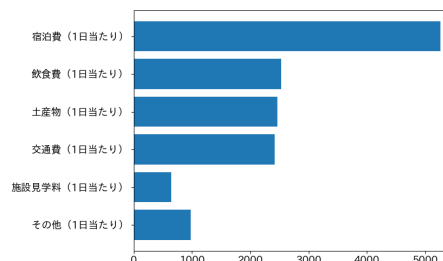


図 2.17: 1 日当たり平均消費額 (単位: 円)

(17) 山口市内での宿泊地 表 2.18 および図 2.18 は、山口市内での宿泊地を示したものである。複数回答であるが、便宜上回答数の合計値を分母として割合を算出すると、湯田温泉が 62.62 % と最も多く、次いでその他の 19.28 % となっている²⁾。

表 2.18: 山口市内での宿泊地の回答数

	回答数	%
湯田温泉	315	62.62
新山口駅周辺	61	12.13
山口駅周辺	30	5.96
その他	97	19.28
合計	503	100.00

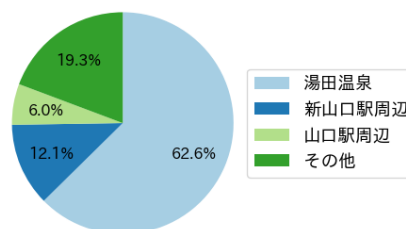


図 2.18: 山口市内での宿泊地の構成

(18) 山口市内での宿泊地と平均消費額 以下では、消費の費目別に、山口市内での旅行目的別・宿泊地別の平均消費額をみていく。先に述べたように、宿泊数によって平均消費額が増減することが考えられるが、ここでは宿泊数を考慮せず平均消費額を算出している。

表 2.19 は、宿泊地別の平均消費額を示したものである。ただし、宿泊地が新山口駅周辺と山口駅周辺は標本サイズが小さい点や、該当する観測値がないために平均値が計算できない（空欄）となっている点など、旅行目的別の数値が一般的な傾向と異なる可能性に注意する必要がある。

- 1) 1 日当たりの消費額は、消費額を滞在日数で割ることによって求めている。滞在日数は、宿泊数に 1 を足すことで求めている。ただし、日帰りは滞在日数を 1 日とみなし、また 6 泊以上の観測値は計算の対象から除外している。
- 2) この質問は複数回答のため、構成比を算出する際に分母を回答数の合計値とすることは本来不適切である。一方で、回答者数を分母とする場合、構成比は各回答者の宿泊日数を考慮しないため同様に不適切な解釈をもたらす。そこで本報告書では、分母を回答数の合計値とした構成比を参考値として示している。

表 2.19: 宿泊地別・旅行目的別平均消費額

費目	旅行の主目的	湯田温泉	新山口駅周辺	山口駅周辺
宿泊費	観光・旅行・温泉	20253.17	18125.79	14498.89
	ビジネス・公用	22000.00	8450.00	7000.00
	家族・親族等への訪問	23115.38	6820.00	3000.00
	スポーツ観戦	8100.00	4166.67	
	大会・イベント出席	18666.67	10250.00	7500.00
	その他	16407.14	12000.00	10000.00
	合計	19993.71	15321.51	12639.20
飲食費	観光・旅行・温泉	5383.23	7378.89	6203.12
	ビジネス・公用	11400.00	5375.00	3000.00
	家族・親族等への訪問	7425.00	3333.33	15000.00
	スポーツ観戦	9000.00	2666.67	
	大会・イベント出席	5000.00	6000.00	1750.00
	その他	4958.33	3050.00	8333.33
	合計	5668.30	6492.38	6336.96
土産物	観光・旅行・温泉	6030.26	5950.00	4211.76
	ビジネス・公用	9250.00	6000.00	0.00
	家族・親族等への訪問	5392.31	6000.00	6000.00
	スポーツ観戦	5800.00	2333.33	
	大会・イベント出席	5333.33	3000.00	1500.00
	その他	2541.67	8500.00	5000.00
	合計	5857.83	5779.59	3890.91
交通費	観光・旅行・温泉	5964.40	6059.43	2971.43
	ビジネス・公用	5200.00	10410.00	5000.00
	家族・親族等への訪問	6690.00	12000.00	
	スポーツ観戦	15720.00	10666.67	
	大会・イベント出席	250.00	0.00	1000.00
	その他	5107.27	12000.00	6000.00
	合計	6174.48	7063.04	3189.47
施設見学科	観光・旅行・温泉	1219.81	1265.00	1633.33
	ビジネス・公用	960.00	0.00	0.00
	家族・親族等への訪問	1322.22	1666.67	
	スポーツ観戦	707.50	333.33	
	大会・イベント出席	766.67	330.00	0.00
	その他	806.25	600.00	3000.00
	合計	1184.46	1137.00	1506.67

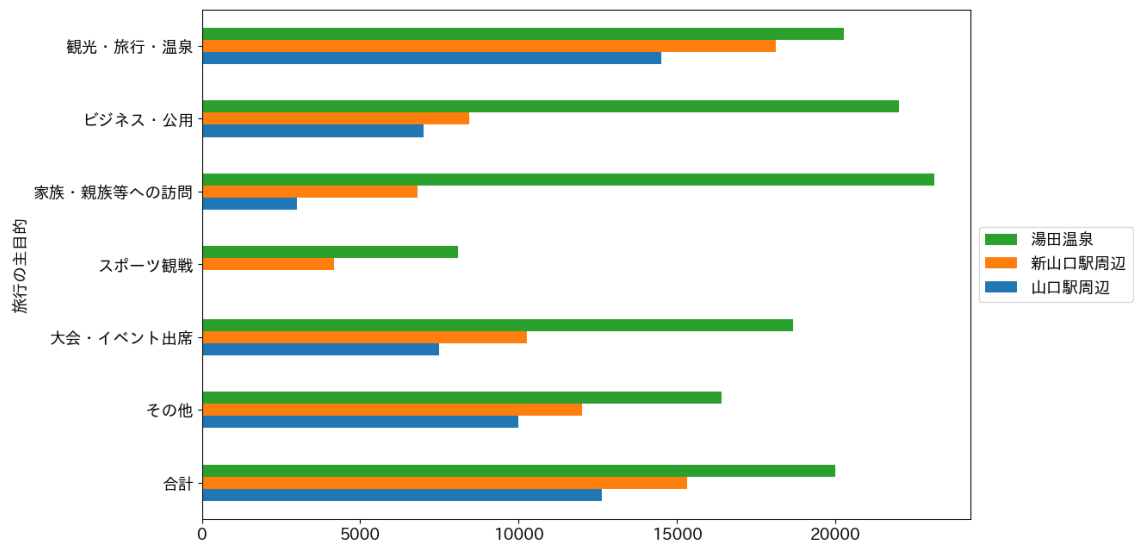


図 2.19: 宿泊地別平均消費額（宿泊費）

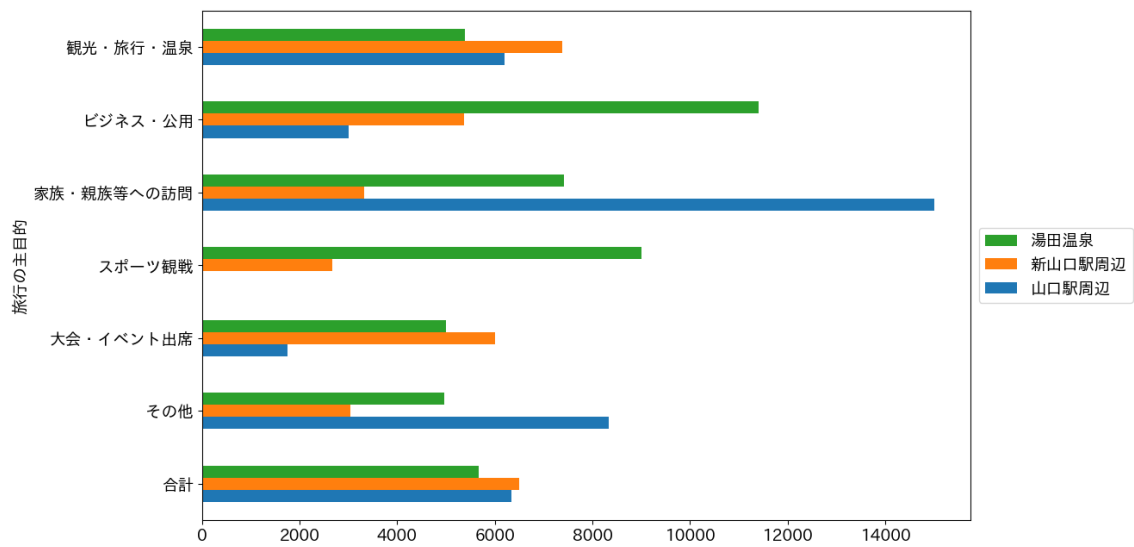


図 2.20: 宿泊地別平均消費額（飲食費）

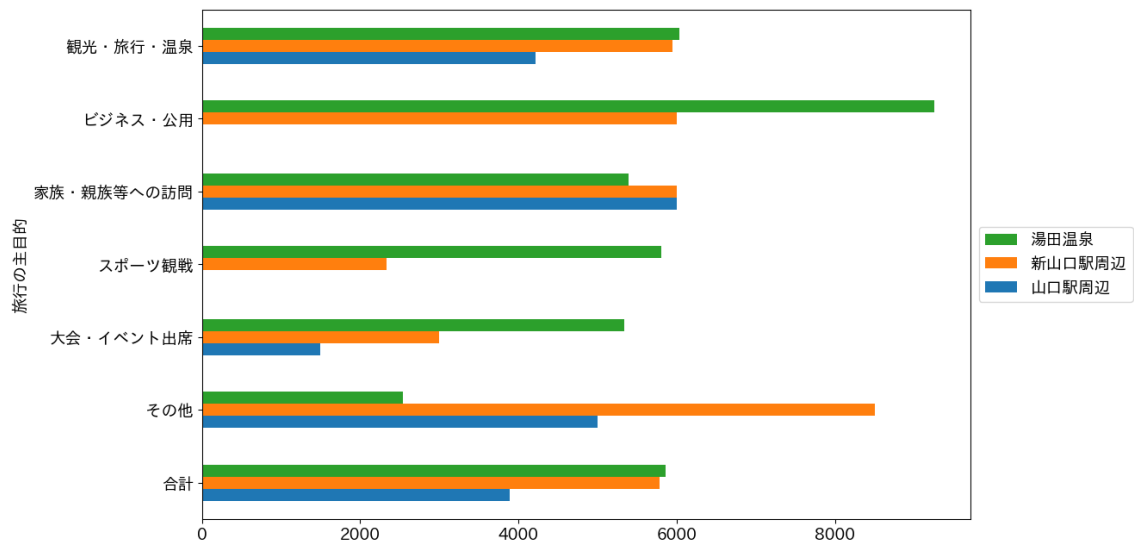


図 2.21: 宿泊地別平均消費額（土産物）

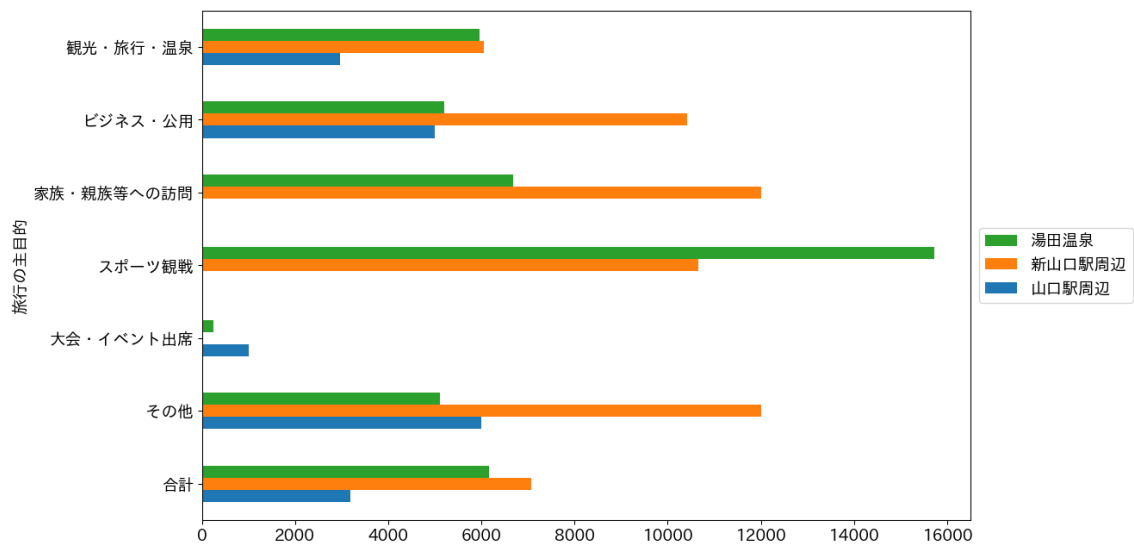


図 2.22: 宿泊地別平均消費額（交通費）

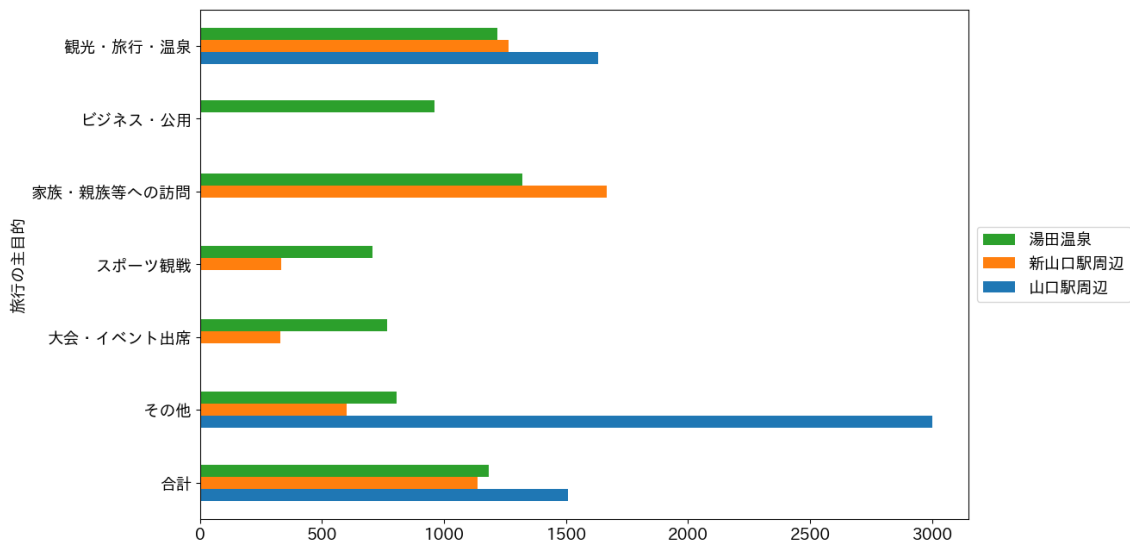


図 2.23: 宿泊地別平均消費額（施設見学科）

(19) 宿泊施設についての評価 宿泊施設に関する質問では、以下の各質問項目について 5 段階評価による調査を行っている。以下では、各質問の調査結果について説明する。

a. 料金 表 2.20 および図 2.24 は、宿泊施設の料金について 5 段階評価の構成比を示したものである。料金については普通が 55.37 %で最も多く、やや高いが 14.44 %、安いのが 14.26 %であった。

表 2.20: 料金の評価の回答数

	回答数	%
安い	77	14.26
やや安い	76	14.07
普通	299	55.37
やや高い	78	14.44
高い	10	1.85
合計	540	100.00

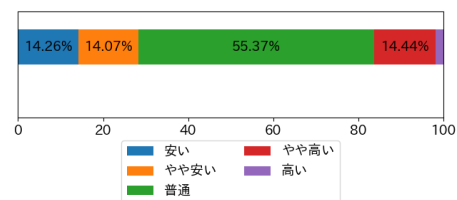


図 2.24: 料金の評価の構成

b. 料理 表 2.21 および図 2.25 は、宿泊施設の料理についての評価である。普通が 43.99 %で最も多く、次いで良いが 31.98 %、やや良いが 19.38 %となっている。

表 2.21: 料理の評価の回答数

	回答数	%
良い	165	31.98
やや良い	100	19.38
普通	227	43.99
やや悪い	21	4.07
悪い	3	0.58
合計	516	100.00

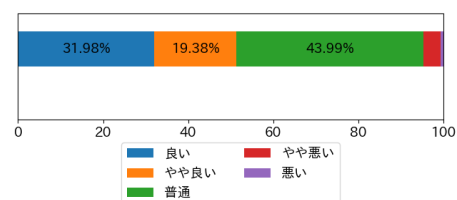


図 2.25: 料理の評価の構成

c. 風呂 表 2.22 および図 2.26 は、宿泊施設の風呂についての評価である。良いが 40.33 %で最も多く、普通が 32.23 %、やや良いが 25.05 %であった。

表 2.22: 風呂の評価の回答数

	回答数	%
良い	219	40.33
やや良い	136	25.05
普通	175	32.23
やや悪い	13	2.39
合計	543	100.00

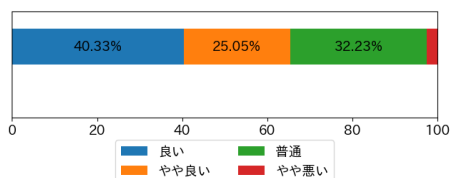


図 2.26: 風呂の評価の構成

d. 接客態度 表 2.23 および図 2.27 は、宿泊施設の接客態度についての評価である。良いが 44.18 %で最も多く、次いで普通が 29.21 %、やや良いが 24.4 %であった。

表 2.23: 接客態度の評価の回答数

	回答数	%
良い	239	44.18
やや良い	132	24.40
普通	158	29.21
やや悪い	10	1.85
悪い	2	0.37
合計	541	100.00

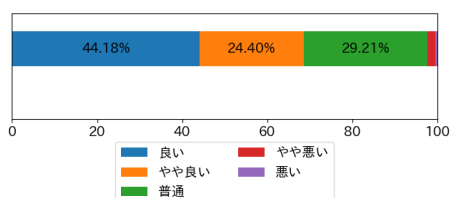


図 2.27: 接客態度の評価の構成

e. 部屋 表 2.24 および図 2.28 は、宿泊施設の部屋についての評価である。普通が 39.16 %で最も多く、良いが 33.21 %、やや良いが 21.88 %であった。

表 2.24: 部屋の評価の回答数

	回答数	%
良い	173	33.21
やや良い	114	21.88
普通	204	39.16
やや悪い	28	5.37
悪い	2	0.38
合計	521	100.00

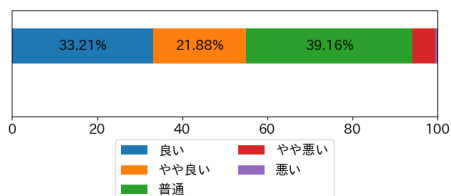


図 2.28: 部屋の評価の構成

f. 施設設備 表 2.25 および図 2.29 は、宿泊施設の設備についての評価である。普通が 45.06 %で最も多く、良いが 29.28 %、やや良いが 20.34 %であった。

表 2.25: 施設設備の評価の回答数

	回答数	%
良い	154	29.28
やや良い	107	20.34
普通	237	45.06
やや悪い	22	4.18
悪い	6	1.14
合計	526	100.00

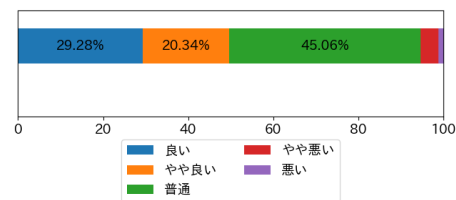


図 2.29: 施設設備の評価の構成

(20) 交通の便についての評価 ここでは、山口市における交通の便（乗り継ぎ、道路標識、観光案内板）について、5段階評価の結果を示す。

a. 乗り継ぎ 表 2.26 および図 2.30 は、乗り継ぎについての評価である。楽だったとやや楽をあわせて 34.75 %となる一方、やや大変と大変をあわせると 24.24 %となっている。

表 2.26: 乗り継ぎの評価の回答数

	回答数	%
楽だった	94	18.99
やや楽	78	15.76
普通	203	41.01
やや大変	98	19.80
大変	22	4.44
合計	495	100.00

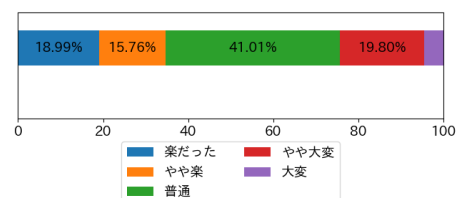


図 2.30: 乗り継ぎの評価の構成

b. 道路標識 表 2.27 および図 2.31 は、道路標識についての評価である。普通が 42.84 %で最も多く、わかりやすいが 29.42 %、ややわかりやすいが 18.45 %であった。

表 2.27: 道路標識の評価の回答数

	回答数	%
わかりやすい	193	29.42
ややわかりやすい	121	18.45
普通	281	42.84
ややわかりにくい	52	7.93
わかりにくい	9	1.37
合計	656	100.00

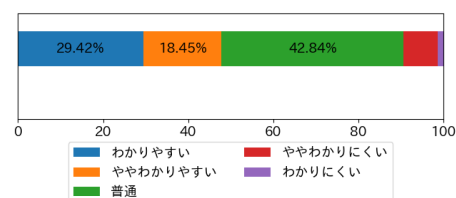


図 2.31: 道路標識の評価の構成

c. 観光案内板 表 2.28 および図 2.32 は、観光案内板についての評価である。普通が 40.69 %で最も多く、わかりやすいが 29.58 %、ややわかりやすいが 19.52 %であった。

表 2.28: 観光案内版の評価の回答数

	回答数	%
わかりやすい	197	29.58
ややわかりやすい	130	19.52
普通	271	40.69
ややわかりにくい	56	8.41
わかりにくい	12	1.80
合計	666	100.00

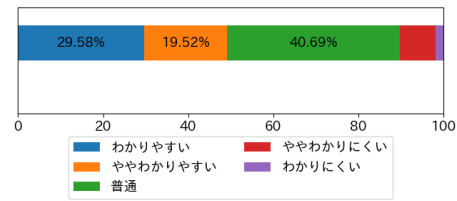


図 2.32: 観光案内版の評価の構成

(21) 土産物についての評価 ここでは、お土産の価格と品揃えの評価について、5段階評価の結果を示す。

a. 土産物の価格 表 2.29 および図 2.33 は、土産物の価格についての評価である。普通が 76.94 %で最も多く、やや安いのが 9.92 %、やや高いが 7.24 %であった。普通とする割合が極めて高くなっている。

表 2.29: 土産物価格の評価の回答数

	回答数	%
安い	41	5.50
やや安い	74	9.92
普通	574	76.94
やや高い	54	7.24
高い	3	0.40
合計	746	100.00

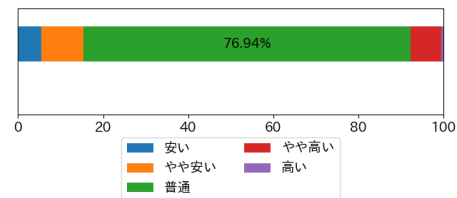


図 2.33: 土産物価格の評価の構成

b. 土産物の品揃え 表 2.30 および図 2.34 は、土産物の品揃えについての評価である。普通が 64.71 %で最も多く、やや悪いが 13.59 %、やや良いが 10.92 %であった。

表 2.30: 土産物の品揃えに対する評価の回答数

	回答数	%
良い	71	9.94
やや良い	78	10.92
普通	462	64.71
やや悪い	97	13.59
悪い	6	0.84
合計	714	100.00

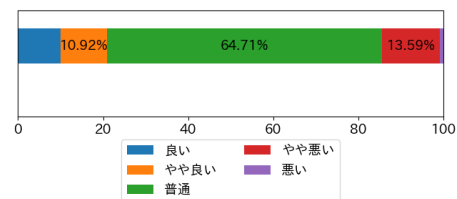


図 2.34: 土産物の品揃えに対する評価の構成

(22) 食事（宿泊施設以外）についての評価 表 2.31 および図 2.35 は、宿泊施設以外の食事についての評価である。普通が 44.99 %で最も多く、良いが 24.69 %、やや良いが 24.28 %であった。総じて良いとする評価の割合が非常に高い。

表 2.31: 食事の評価の回答数

	回答数	%
良い	180	24.69
やや良い	177	24.28
普通	328	44.99
やや悪い	39	5.35
悪い	5	0.69
合計	729	100.00

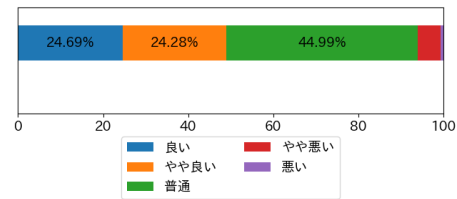


図 2.35: 食事の評価の構成

(23) 観光施設についての評価 表 2.32 および図 2.36 は、観光施設についての評価である。普通が 39.03 % で最も多く、良いが 30.01 %、やや良いが 27.19 % であった。観光施設については、約 6 割が総じて良いと評価している。

表 2.32: 観光施設の評価の回答数

	回答数	%
良い	223	30.01
やや良い	202	27.19
普通	290	39.03
やや悪い	27	3.63
悪い	1	0.13
合計	743	100.00

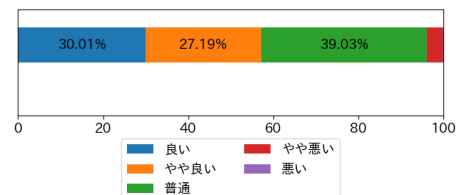


図 2.36: 観光施設の評価の構成

(24) 山口市訪問の満足度 表 2.33 および図 2.37 は、山口市訪問の満足度を 5 段階評価で質問した結果を示している。満足が 35.66 %、やや満足が 33.09 % で、合わせて 68.75 % が満足と評価している。

表 2.33: 山口市訪問の満足度の回答数

	回答数	%
満足	291	35.66
やや満足	270	33.09
普通	227	27.82
やや不満足	23	2.82
不満足	5	0.61
合計	816	100.00

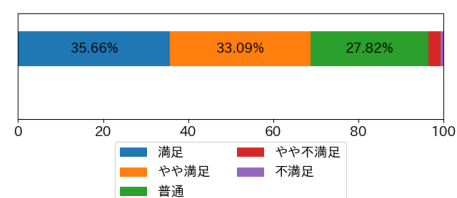


図 2.37: 山口市訪問の満足度の構成

(25) 今回の旅行の満足度 表 2.34 および図 2.38 は、今回の旅行の満足度を示したものである。満足が 40.02 %、やや満足が 33.09 %、普通が 25.06 % である。全体で 73.11 % が満足と評価している。

表 2.34: 今回の旅行の満足度の回答数

	回答数	%
満足	329	40.02
やや満足	272	33.09
普通	206	25.06
やや不満足	15	1.82
合計	822	100.00

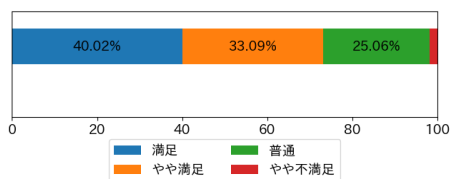


図 2.38: 今回の旅行に対する満足度の構成

(26) 山口市の魅力 表 2.35 および図 2.39 は、山口市の何が魅力的だと感じたかについて以下の表に示す選択肢を挙げ、選んでもらった上位三つを集計した結果である。

複数回答項目であるため回答者数を分母として回答割合を算出したところ、最も多かったのは湯田温泉（周辺観光地の宿泊地として）で 47.8 %であった。次に、神社・仏閣巡りが 31.72 %、3 番目が湯田温泉（無料の足湯）で 26.21 %であった。

表 2.35: 山口市の魅力（上位三つを選択）の回答数

	回答数	%
湯田温泉（周辺観光地の宿泊地として）	434	47.80
湯田温泉（外来湯）	138	15.20
湯田温泉（無料の足湯）	238	26.21
温泉（湯田温泉以外）	101	11.12
グルメ（郷土料理や地酒など）	227	25.00
お土産	121	13.33
大内文化の史跡	132	14.54
明治維新の史跡	197	21.70
神社・仏閣巡り	288	31.72
自然景観（桜、ホタル、海、山など）	200	22.03
古い街並み（一の坂川周辺など）	188	20.70
祭り・イベント	55	6.06
現代の芸術・文化を育む文化施設	59	6.50
中原中也や種田山頭火などを育んだ文化的な雰囲気・風土	166	18.28
その他	51	5.62
回答者計	908	100.00

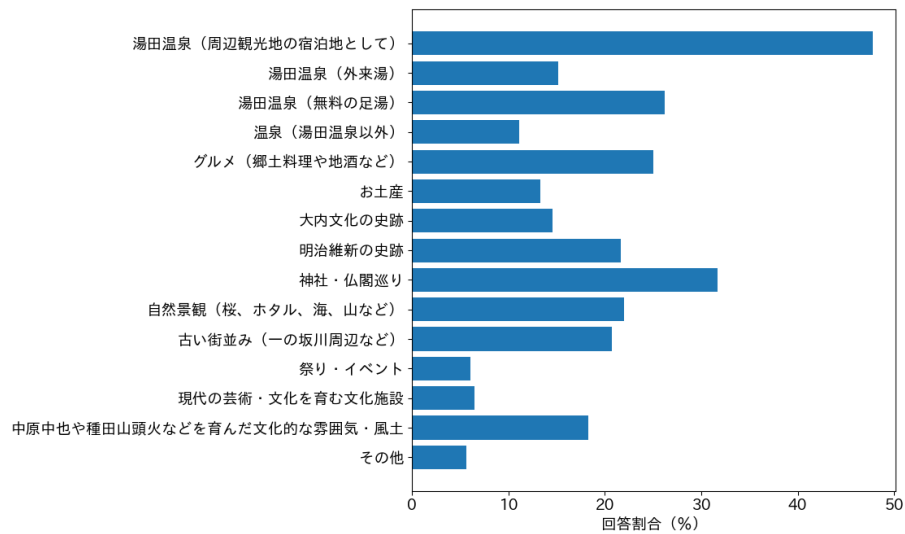


図 2.39: 山口市の魅力（上位三つを選択）の割合

(27) 今回の旅行中に山口市内で立ち寄った観光施設数 表 2.36 および図 2.40 は、今回の旅行中に山口市内で立ち寄った観光施設数を示したものである。2 か所が 22.3 %と最も多く、次いで、3 か所が 21.76 %、1 か所が 20.32 %となっている。

表 2.36: 立ち寄った観光施設数の回答数

	回答数	%
0 か所	18	3.24
1 か所	113	20.32
2 か所	124	22.30
3 か所	121	21.76
4 か所	59	10.61
5 か所	57	10.25
6 か所以上	64	11.51
合計	556	100.00

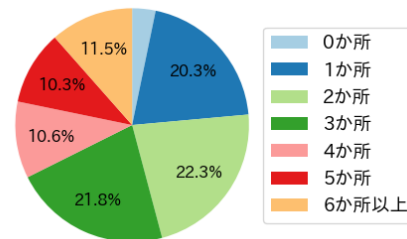


図 2.40: 立ち寄った観光施設数の構成

(28) 山口市内で訪れた観光施設 表 2.37 および図 2.41 は、山口市内への訪問客が訪れた観光施設のうち、上位 20 位までを示したものである。最も多くの旅行者が訪れているのは瑠璃光寺五重塔の 424 人で、訪問率は 45.3 %であった。次いで、湯田温泉が 418 人で訪問率が 44.66 %、狐の足あとが 249 人で訪問率が 26.6 %、中原中也記念館が 225 人で訪問率が 24.04 %、山口サビエル記念聖堂が 196 人で訪問率が 20.94 %であった。

山口市への来訪者は、温泉を魅力に感じている人が多いが、文化的な雰囲気・風土についても併せて楽しんでおり、中原中也記念館への訪問者数もそれなりに多い。また、宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等の訪問者も多い。これらの店舗は湯田温泉に多く、中原中也記念館や狐の足あとに近いことから、湯田温泉内での周遊行動への相乗効果があったことも推測される。なお、狐の足あとを中心とした分析については、後の章で示している。

表 2.37: 訪れた観光施設（上位 20 施設）の回答数

	回答数	%
瑠璃光寺五重塔	424	45.30
湯田温泉	418	44.66
狐の足あと	249	26.60
中原中也記念館	225	24.04
山口サビエル記念聖堂	196	20.94
宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等	194	20.73
一の坂川	135	14.42
常栄寺雪舟庭	113	12.07
SL「やまぐち」号	84	8.97
山口市菜香亭	79	8.44
YCAM	25	2.67
道の駅	24	2.56
道の駅長門峡	16	1.71
道の駅願成就温泉	15	1.60
道の駅仁保の郷	14	1.50
山口県立美術館	13	1.39
龍福寺	10	1.07
元乃隅神社	8	0.85
八坂神社	8	0.85
角島	7	0.75

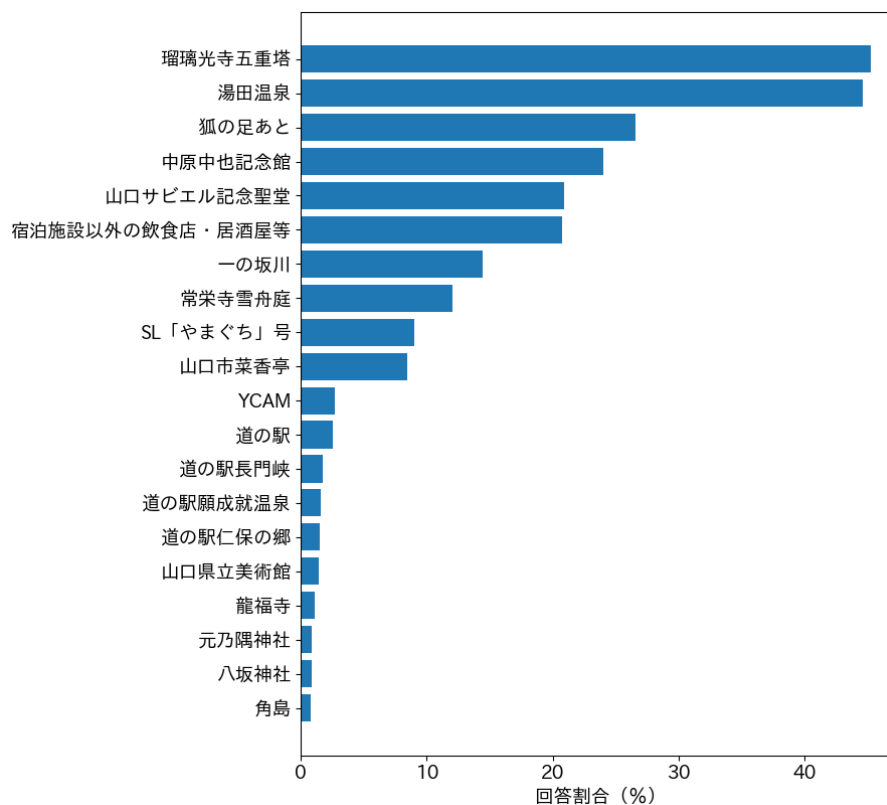


図 2.41: 訪れた観光施設（上位 20 施設）の訪問率

(29) 山口市内での旅行中の情報 ここでは山口市内での旅行中に利用した情報についての回答をまとめる。

a. 利用媒体 表 2.38 および図 2.42 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体を示したものである。

複数回答項目であるため回答者数を分母として利用割合を算出すると、無料の観光パンフレットが最も多く 53.47 %であった。次いで、観光情報サイトが 29.87 %、観光案内所が 25.06 %であった。湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」は 9.73%であった。

表 2.38: 山口市内での旅行中の利用媒体の回答数

	回答数	%
市販の観光パンフレット	203	22.71
無料の観光パンフレット	478	53.47
観光案内所	224	25.06
観光情報サイト	267	29.87
個人のブログ・SNS	138	15.44
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	87	9.73
その他の利用媒体	43	4.81
利用した媒体はない	79	8.84
回答者計	894	100.00

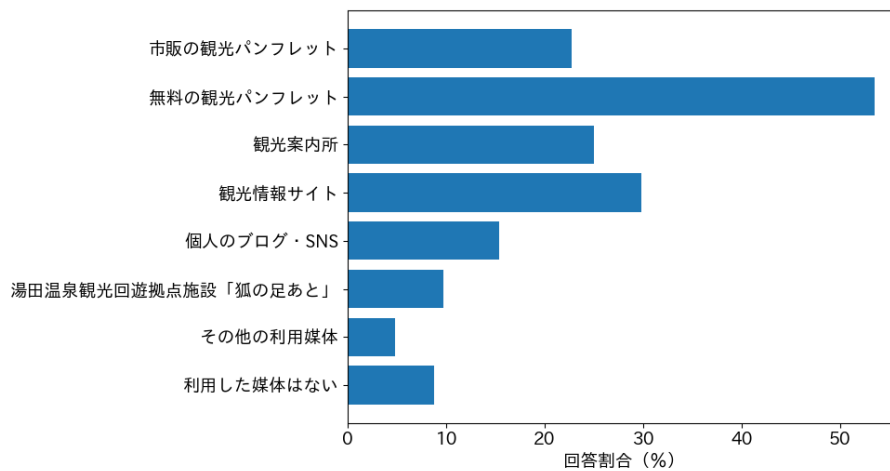


図 2.42: 山口市内での旅行中における利用媒体の割合

b. 欲しい情報の取得 表 2.39 および図 2.43 は、山口市内を旅行中に欲しい情報が得られたかを示したものである。得られたとする回答が 48.42 %、やや得られたが 31.91 %であり、両者を合計することで 80.33 %が欲しい情報が得られたことが分かった。

表 2.39: 欲しい情報の取得の回答数

	回答数	%
得られた	352	48.42
やや得られた	232	31.91
普通	122	16.78
あまり得られなかった	17	2.34
得られなかった	4	0.55
合計	727	100.00

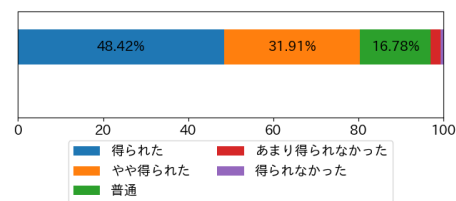


図 2.43: 欲しい情報の取得の構成

c. 情報の入手のしやすさ 表 2.40 および図 2.44 は、山口市内を旅行中に欲しい情報が入手しやすかったかを示したものである。入手しやすかったとする回答が 61.72 %、やや入手しやすかったが 17.89 %であった。一方、入手しにくかったとする回答が 0.14 %、やや入手しにくかったが 1.66 %であった。

表 2.40: 情報の入手のしやすさの回答数

	回答数	%
入手しやすかった	445	61.72
やや入手しやすかった	129	17.89
普通	134	18.59
やや入手しにくかった	12	1.66
入手しにくかった	1	0.14
合計	721	100.00

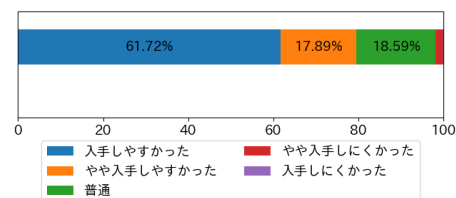


図 2.44: 情報の入手のしやすさの構成

(30) 山口市を再び訪れることに関する意向 表 2.41 および図 2.45 は、また山口市を訪れたいと思うか尋ねた結果である。是非訪れたいとする回答が 56.55 %、機会があれば訪れたいが 41.53 %であった。これらの合計値は 98.08 %となることから、山口市へ再び訪れたいという訪問客が多いことが明らかとなった。

表 2.41: 再来訪の意思の回答数

	回答数	%
是非訪れたい	501	56.55
機会があれば訪れたい	368	41.53
敢えて訪れたいとは思わない	17	1.92
合計	886	100.00

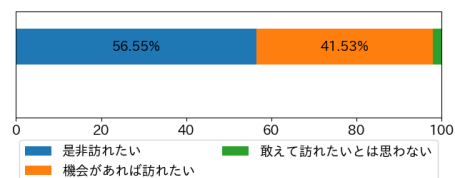


図 2.45: 再来訪の意思の構成

第3章 訪問者の属性によるクロス集計結果

3.1 性別に見た訪問者の特徴

図3.1は、男女別にみた年齢の割合を図示したものである。男性は60代が26.33%と最も多く、次いで70代以上が20.48%、50代が19.68%、40代が12.23%であった。女性は50代が22.81%と最も多く、次いで60代が20.91%、40代が15.59%、70代以上が12.74%であった。20代については、男性が6.91%、女性は9.89%となっている。

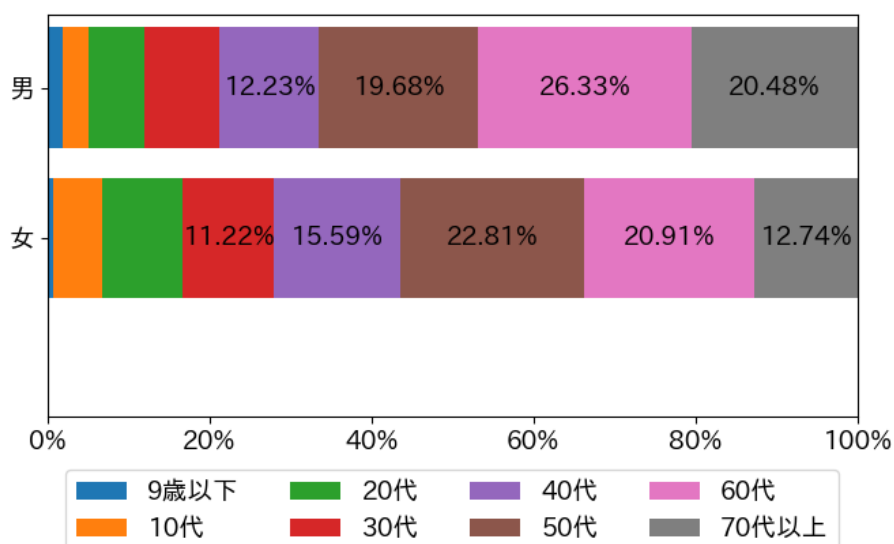


図3.1: 男女別年齢の割合

図3.2は、居住地を山口県外と山口県内に分けて、男女別に割合を表したものである。山口県内は男性が37.83%、女性が38.14%であるのに対して、山口県外は男性が62.17%、女性は61.86%で、男女ともに県外からの訪問者が6割近くを占めている。

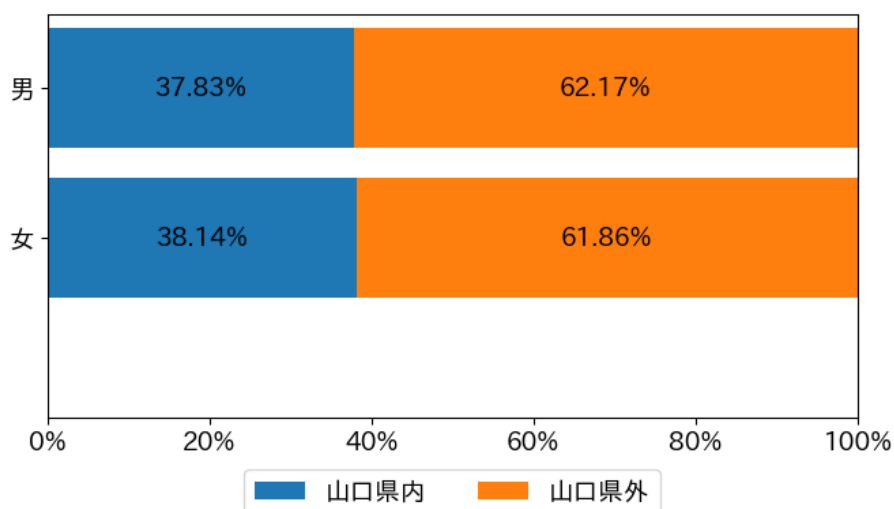


図 3.2: 男女別の居住地割合

図 3.3 は、山口県内から訪れている訪問者のうち、山口県を東部・中部・北部・西部の四つの地域に区分して、居住地割合を男女別に表にしたものである。男性では中部が 42.66 %と最も多く、次いで西部が 39.86 %、東部が 13.29 %、北部が 4.2 %となっている。女性は中部が 43.28 %と最も多く、次いで西部が 39.8 %、東部が 11.94 %、北部が 4.98 %である。

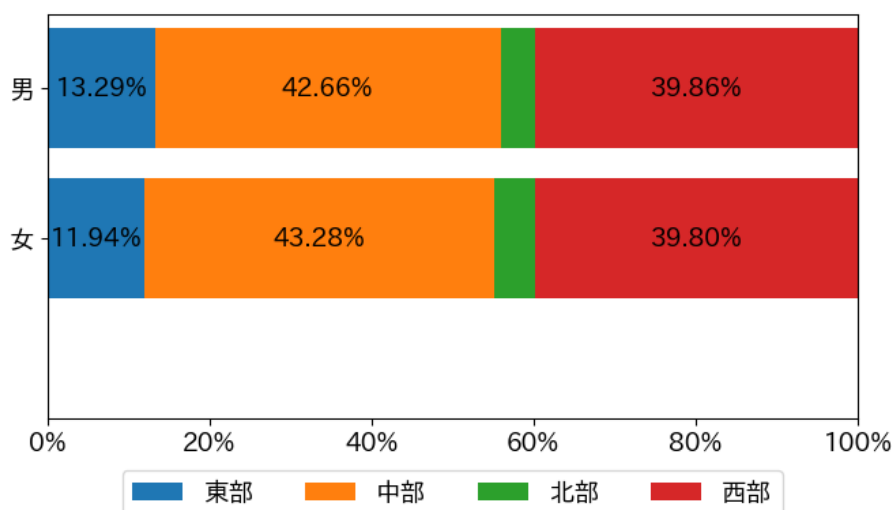


図 3.3: 男女別の居住地割合（県内地域）

図 3.4 は、全国を 9 の地方に区分して、居住地割合を男女別に表したものである。男性は中国が 53.44 %と最も多く、次いで関東が 15.08 %となっている。女性では中国が 53.13 %と最も多く、次いで九州が 14.99 %である。

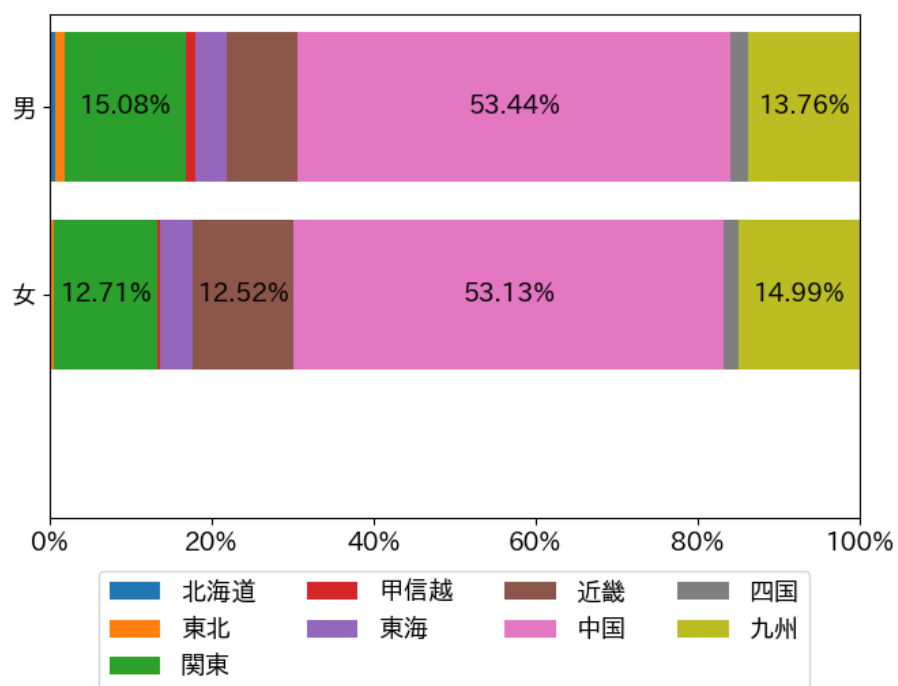


図 3.4: 男女別の居住地割合（全国）

図 3.5 は、全旅行日程の割合を男女別に表したものである。男性は 1 泊が 35.54 % と最も多く、次いで日帰りが 30.12 % であり、女性は 1 泊が 35.81 % と最も多く、次いで日帰りが 27.51 % となっている。

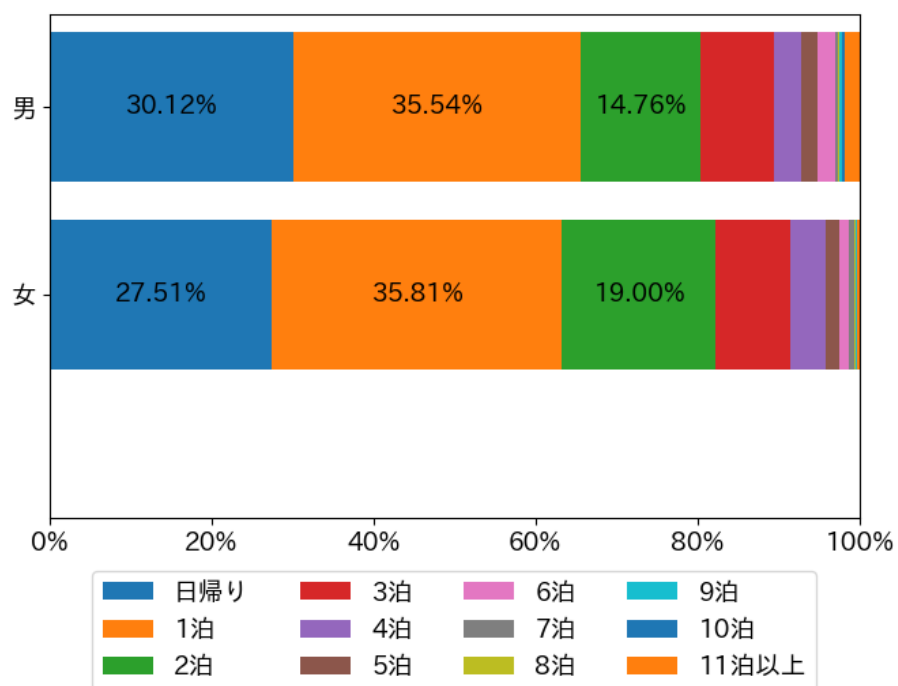


図 3.5: 男女別の全旅行行程の割合

図 3.6 は、山口市内での旅行日程の割合を男女別に表したものである。男性 1 泊が 51.28 % と最も多く、女性は 1 泊が 52.18 % と最も多い。

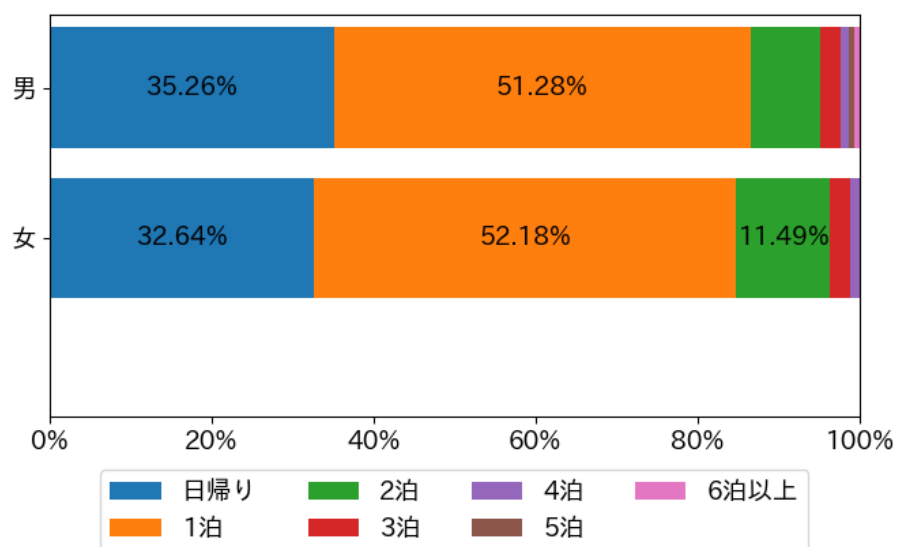


図 3.6: 男女別の旅行行程の割合（山口市内）

図 3.7 は、同行者との関係について、男女別に割合を表したものである。男性は夫婦が 35.68 % と最も多く、次いで家族が 29.73 % となっている。女性は家族が 41.2 % と最も多く、次いで夫婦が 24.95 % となっている。ひとりの割合は、男性が 24.05 %、女性が 11.99 % という結果になった。

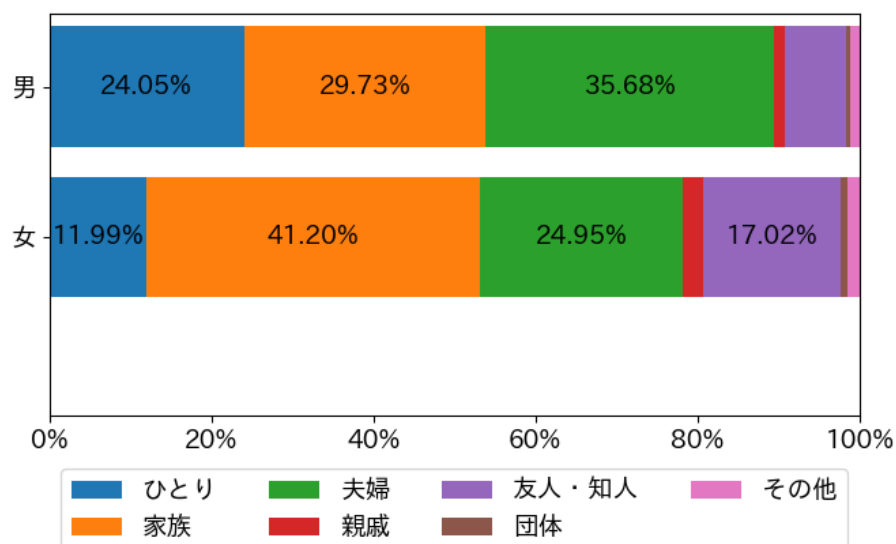


図 3.7: 男女別の全旅行行程の割合

3.2 年齢別に見た訪問者の特徴

図 3.8 は、年齢別に居住地割合を表したものである。20 代以上で、山口県外が 6 割程度となっており、40 代で 69.53 %、50 代で 67.69 %が山口県外から訪れている。

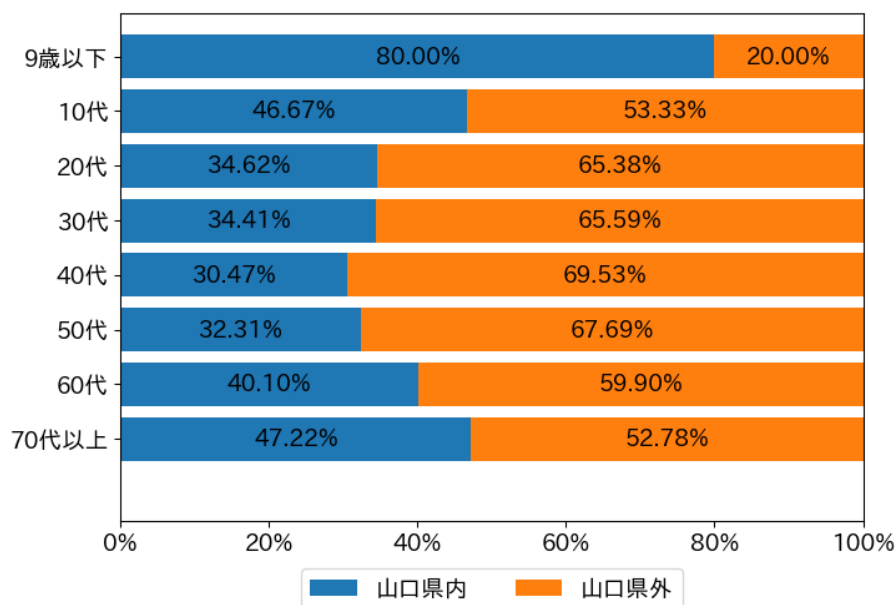


図 3.8: 年齢別の居住地割合

図 3.9 は、回答者を山口県内居住者に限定し、年齢別に居住地割合（4 地域区分）を示したものである。総じて、中部と西部の割合が拮抗している。10 代と 30 代では東部がやや多く、60 代は西部、70 代以上は中部が多くなっている。

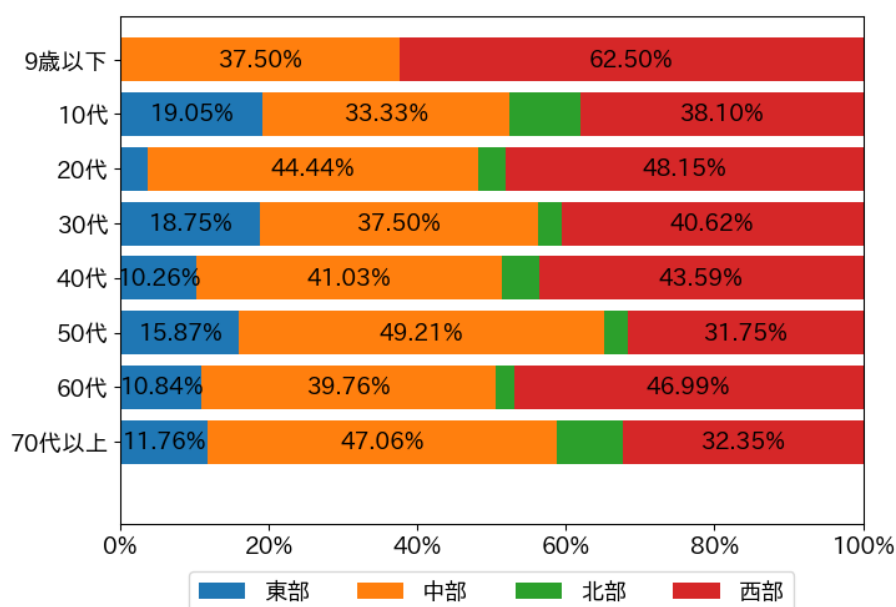


図 3.9: 年齢別の居住地割合（県内地域）

図 3.10 は、居住地を 9 の地方に区分し年齢別に割合を表したものである。総じて中国地方の割合が多く、全体として 5 割程度が中国地方からの来訪となっている。

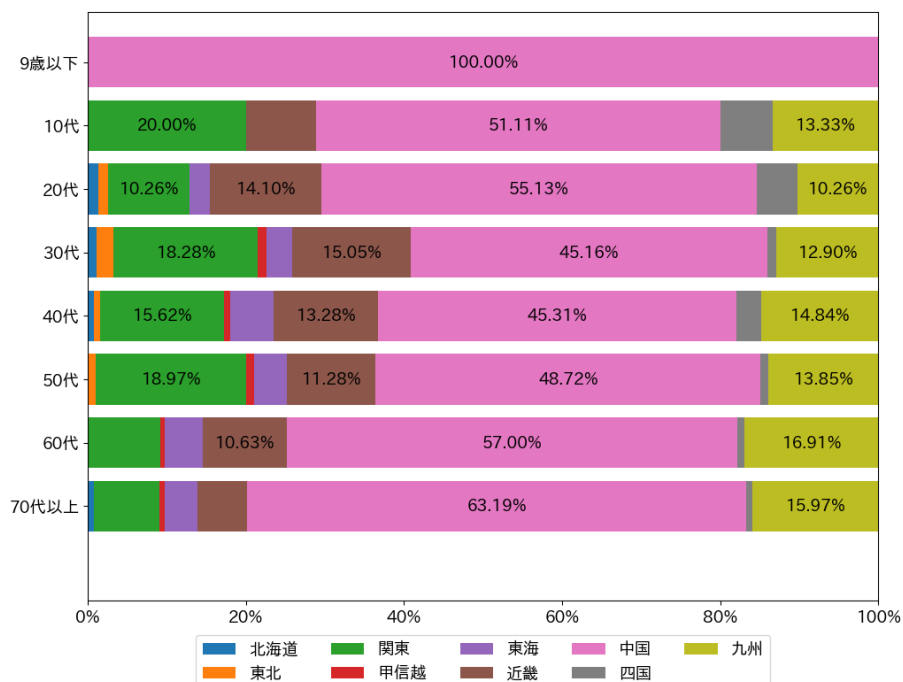


図 3.10: 年齢別の居住地割合（全国）

図 3.11 は、年齢別に旅行の全行程の割合を表したものである。20 代以上で、日帰りが 2 割程度、1 泊が 3 割程度となっている。

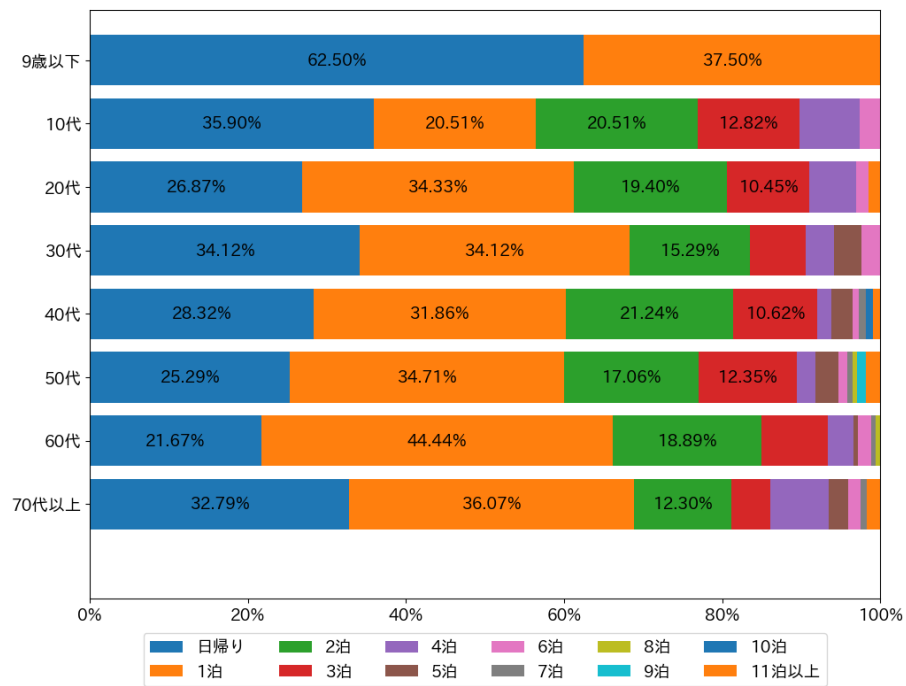


図 3.11: 年齢別の旅行の全行程の割合

図 3.12 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程の割合を年齢別に表したものである。20 代以上の各年齢層で、1 泊が 4 ～6 割程度となっている。

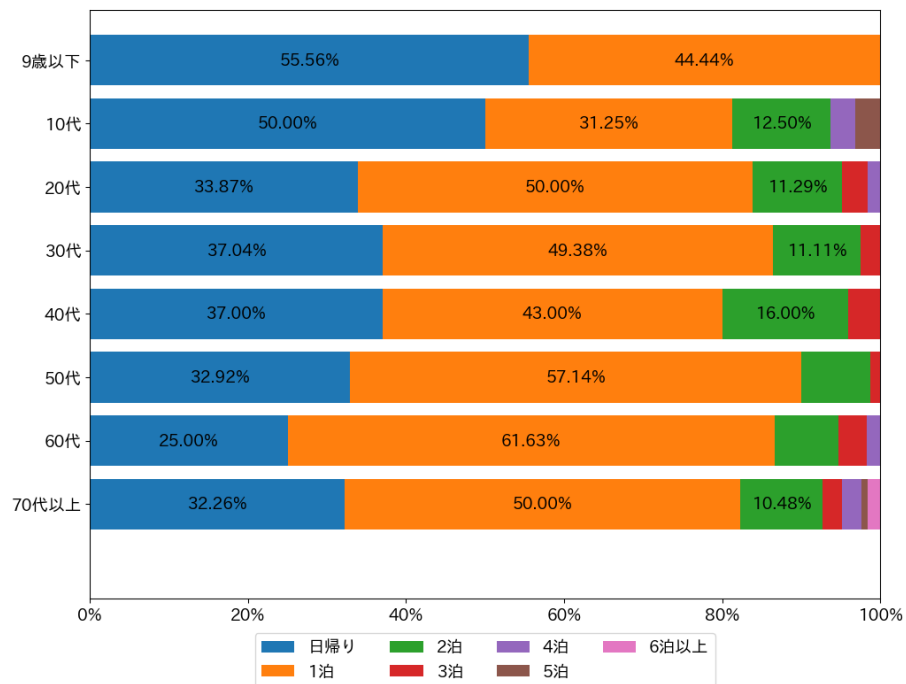


図 3.12: 年齢別の旅行行程の割合（山口市内）

図 3.13 は、年齢別に同行者との関係についての割合を表したものである。20 代以上を見た場合、家族の割合は 40 代が 51.59 % と最も高く、20 代および 30 代で約 4 割が家族で訪れている。また、年齢が高くなるほど夫婦で訪れる割合が高くなる傾向がある。

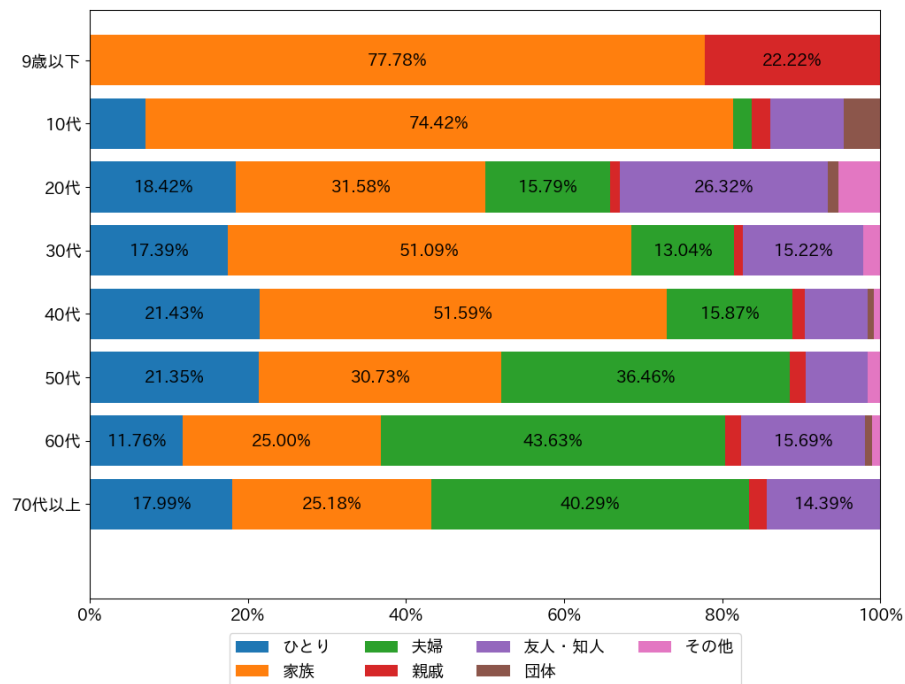


図 3.13: 年齢別の同行者との関係の割合

3.3 居住地別に見た訪問者の特徴

図 3.14 は、山口県内居住者と山口県外居住者について、全旅行日程の割合を表したものである。山口県内居住者は日帰りが 59.72 %と最も高い割合となった。山口県外居住者は 1 泊が多く 36.83 %、次に 2 泊が 24.75 %、3 泊が 13.47 %となっている。

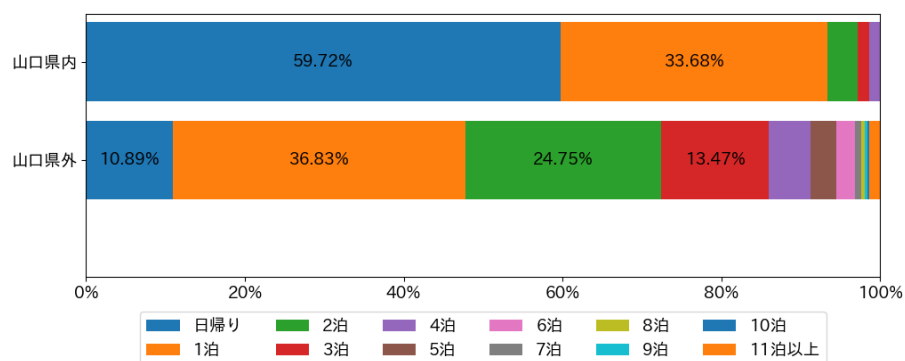


図 3.14: 居住地別の全旅行行程の割合

図 3.15 は、全旅行日程で宿泊している旅行者のうち、山口市内での旅行日程の割合を、山口県内居住者と山口県外居住者別に表したものである。山口県内居住者は日帰りが 61.36 %と最も多

く、山口県外居住者は1泊が62.25 %と最も多かった。山口県外居住者は、日帰りも15.89 %と比較的高い。

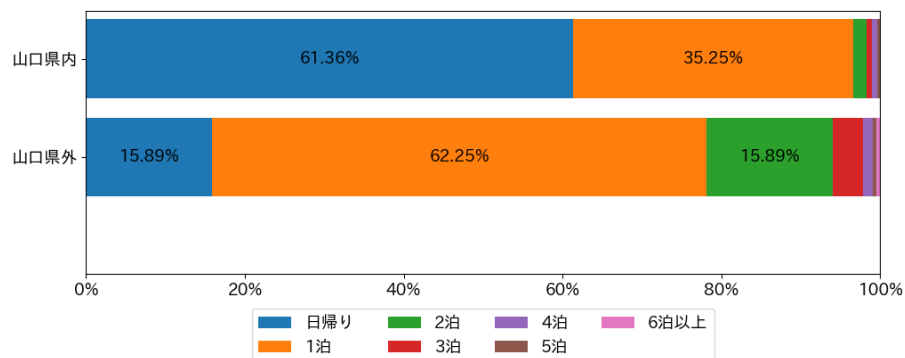


図 3.15: 居住地別の旅行行程の割合（山口市内）

図 3.16 は、居住地別に同行者との関係についての割合を集計したものである。山口県内居住者は家族の割合が最も高く45.13 %、山口県外居住者は家族の割合が最も高く31.2 %であり、夫婦が30.84 %、ひとりが21.35 %と続いている。

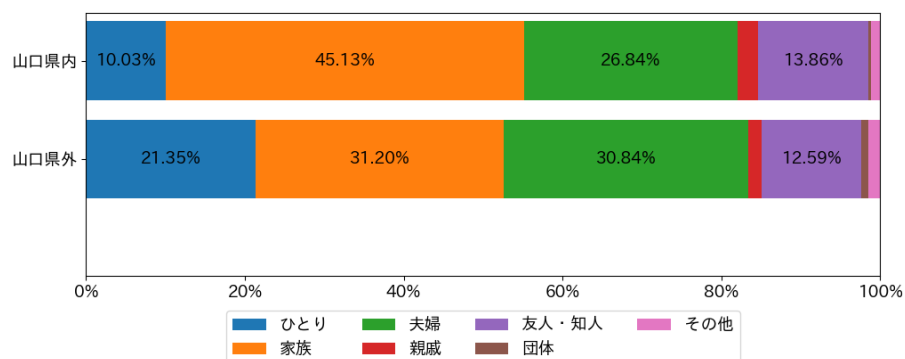


図 3.16: 居住地別の同行者との関係の割合

図 3.17 は、山口県内居住者に対象を限定し、旅行の行程の割合を表したものである。すべての地域において日帰りが5～7割となっている。

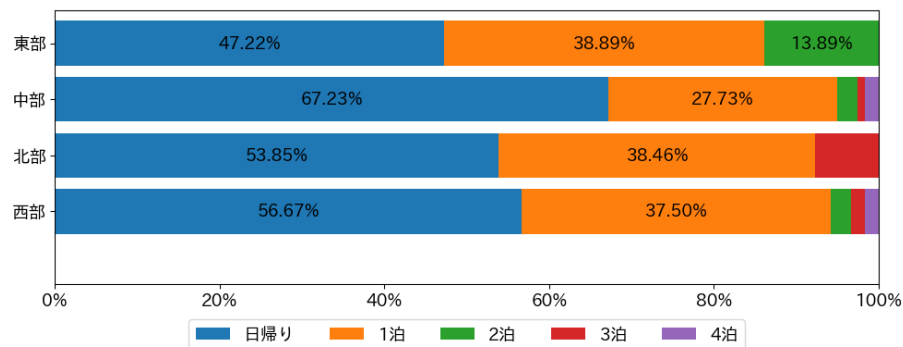


図 3.17: 県内居住地別の全旅行行程の割合

図 3.18 は、山口県内居住者に対象を限定し、山口市内での旅行日程の割合を表したものである。すべての地区において日帰りが 5 ～7 割程度と高かった。

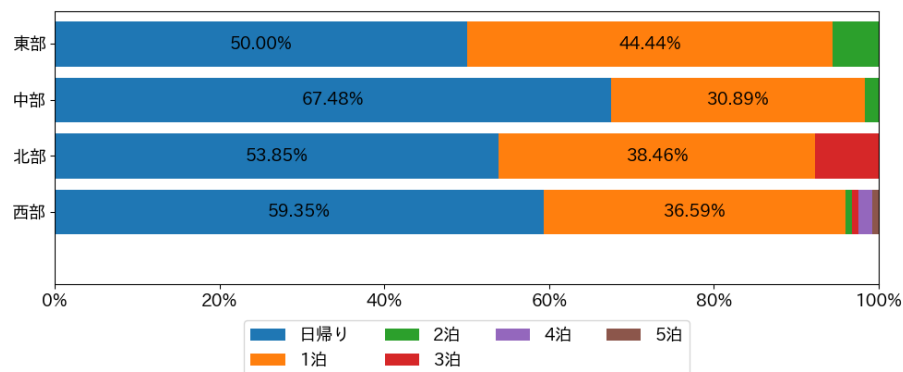


図 3.18: 県内居住地別の旅行行程の割合（山口市内）

図 3.19 は、山口県内居住者に対象を限定し、同行者との関係についての割合を示したものである。全体的に、家族の割合が 2 ～6 割程度、夫婦の割合が 2 ～3 割程度と高い傾向にある。

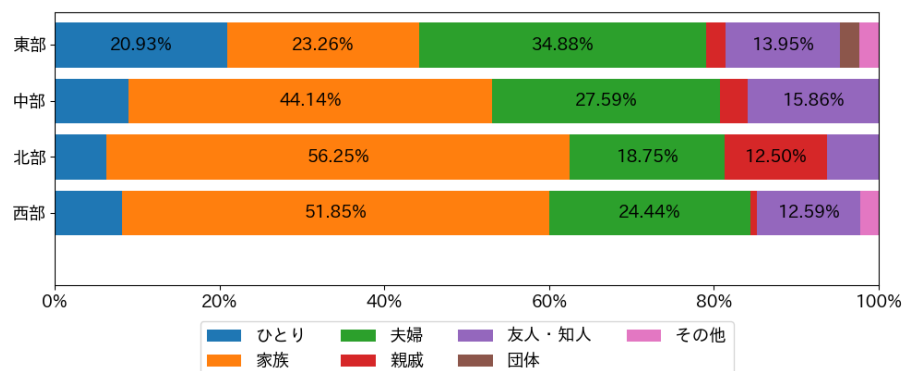


図 3.19: 県内居住地別の同行者との関係の割合

図 3.20 は、地方別にみた全旅行日程を表したものである。中国や九州は日帰りが多い一方、山口から離れた地域からの来訪者は 1 泊から 3 泊が多い傾向がある。

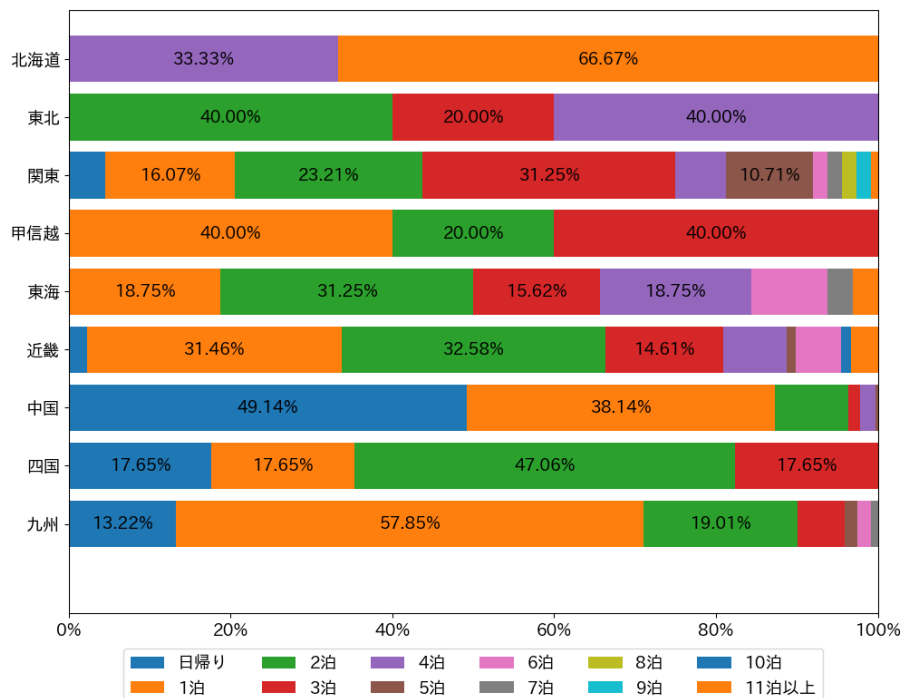


図 3.20: 居住地（全国）別の全旅行行程の割合

図 3.21 は、山口市内での旅行日程の割合を地方別に表したものである。山口市内の行程についても、中国や九州は日帰りの割合が高く、山口から遠い地域からの来訪者は 1 泊から 2 泊の割合が高い。

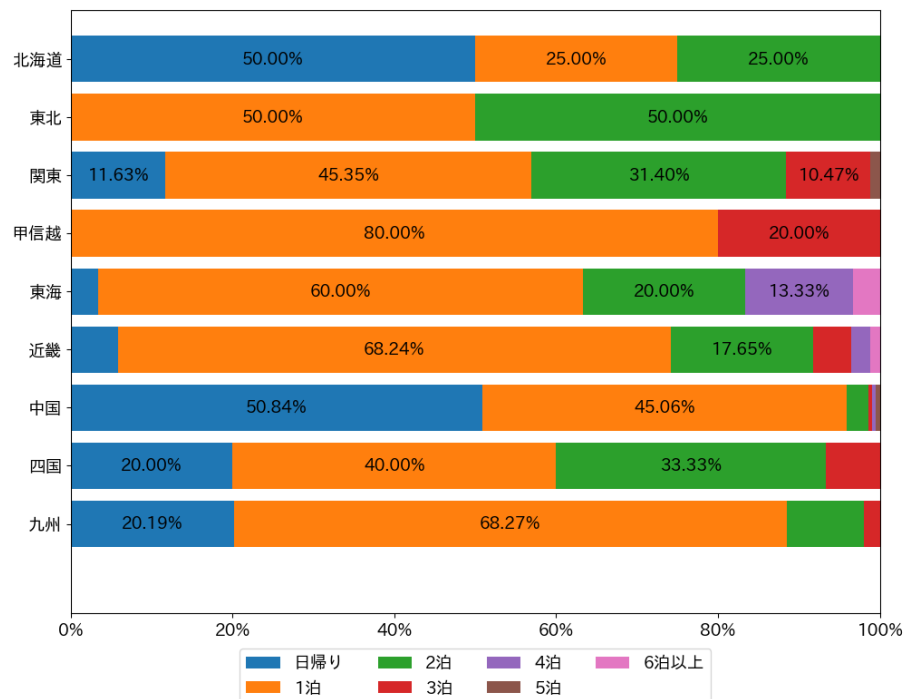


図 3.21: 居住地（全国）別の旅行行程の割合（山口市内）

図 3.22 は、同行者との関係の割合を居住地別に表示したものである。中国や九州では家族及び夫婦の割合が高い。関東については、ひとりが 29.41 %、家族が 24.37 %、夫婦が 29.41 %となっている。

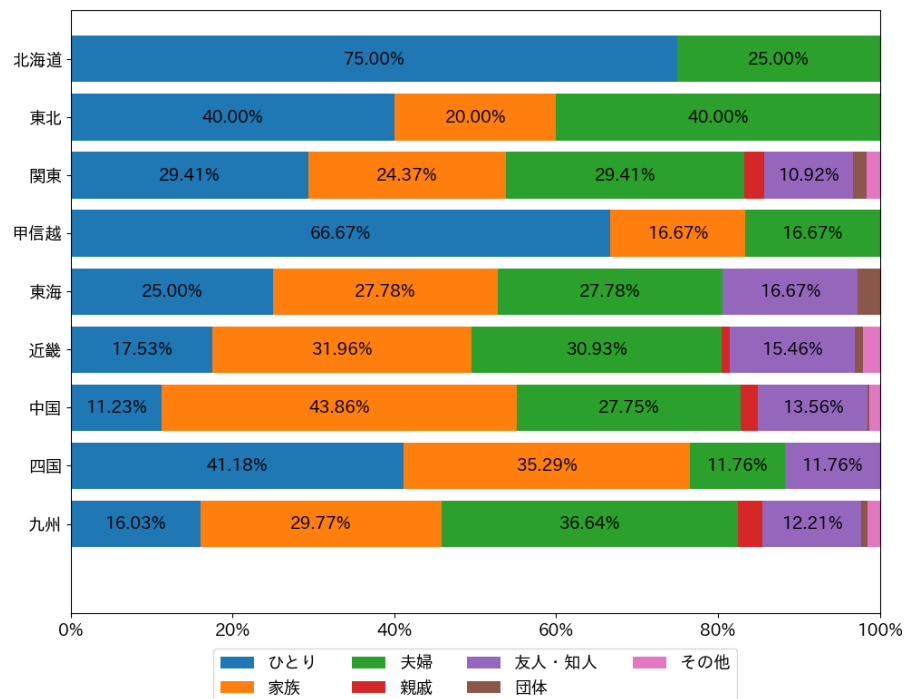


図 3.22: 居住地（全国）別の同行者との関係の割合

3.4 同行者との関係別に見た訪問者の特徴

図 3.23 は、同行者との関係別に見た全旅行日程の割合を表したものである。日帰りの割合は、0～4 割程度、1 泊の割合は、3～5 割程度となっている。また、家族で日帰りの割合が高い傾向がある。

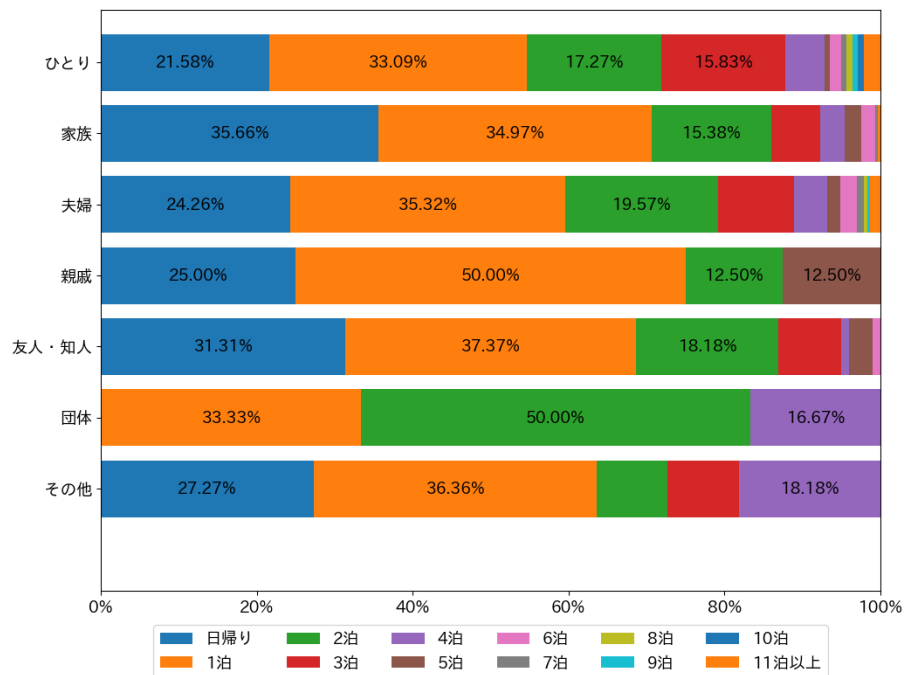


図 3.23: 同行者との関係別の全旅行行程の割合

図 3.24 は、山口市内での旅行日程の割合を、同行者との関係別に表したものである。ほぼすべてのグループで 1 泊が高い割合を占めている。

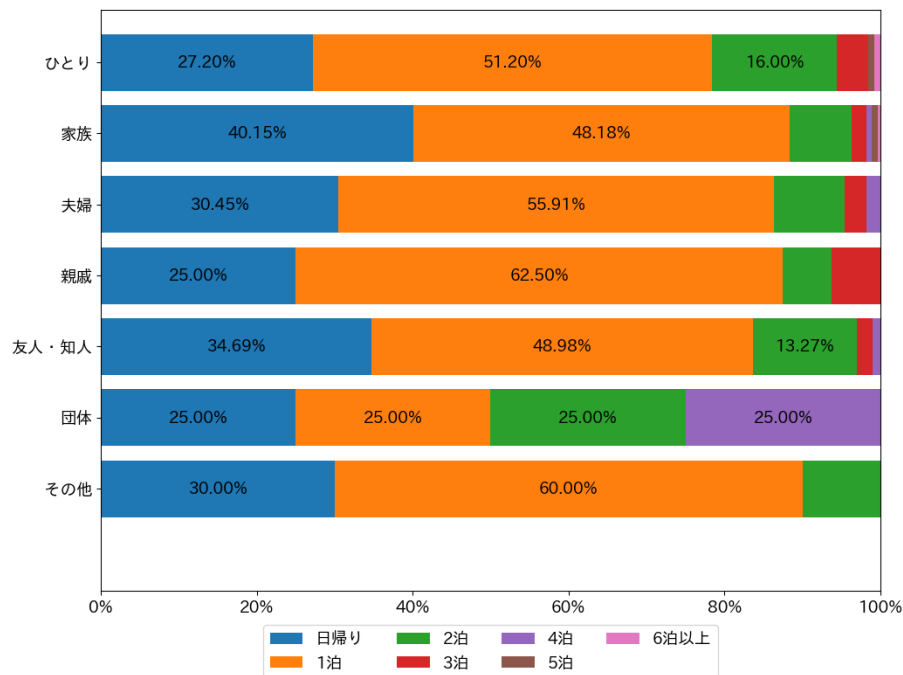


図 3.24: 同行者との関係別の旅行行程の割合（山口市内）

3.5 訪問地区別に見た特徴

山口市外の訪問地区 表 3.1 および図 3.25 は、山口市外の地区への訪問者数および割合を示したものである。各地区への訪問に関する質問は複数回答となっている。山口市を訪れる際、その他に訪問した周辺地区は、萩・長門地区が 51.34 %と最も多い。次いで下関地区が 30.02 %、宇部・小野田地区が 24.33 %となっている。山口市への訪問者は山口県内の地域だけを周遊するのではなく、山口県外地域へも 25.28 %が訪れている。

表 3.1: 訪問地区の回答数

	回答数	%
岩国地区	95	15.01
柳井大島地区	42	6.64
周南地区	103	16.27
県央地区	100	15.80
萩・長門地区	325	51.34
下関地区	190	30.02
宇部・小野田地区	154	24.33
山口県外	160	25.28
回答者計	633	100.00

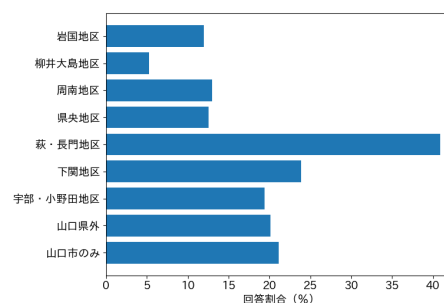


図 3.25: 訪問地区の割合

山口市外の地区を訪問している訪問者の属性 表 3.2 および図 3.26 は、山口市外の地区への訪問者数・割合を性別に示したものである。各地区への訪問に関する質問は複数回答となっている。柳井大島地区への訪問者は男性の比率が高い。

表 3.2: 性別の訪問地区の回答数

性別	男	女	合計
岩国地区	44	51	95
柳井大島地区	22	19	41
周南地区	44	59	103
県央地区	49	51	100
萩・長門地区	143	181	324
下関地区	83	106	189
宇部・小野田地区	63	91	154
山口県外	73	87	160
回答者計	269	362	631

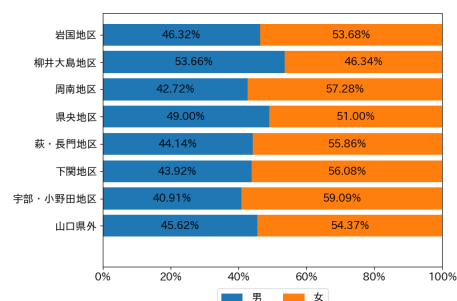


図 3.26: 性別の訪問地区の割合

表 3.3 と図 3.27 は、山口市外の地区を訪問した訪問者の年齢構成を示したものである。各地区への訪問に関する質問は複数回答となっている。山口市とともに周遊する回答数が多い萩・長門地区で 60 代の割合が高く、約 24.53 %となっている。次に回答数が多い下関地区では、50 代が 25.93 %と最も高い比率となっている。

表 3.3: 年齢別の訪問地区の回答数

年齢	9 歳以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	合計
岩国地区	0	5	9	11	11	22	22	15	95
柳井大島地区	0	1	0	5	4	10	12	9	41
周南地区	0	4	3	16	17	19	25	19	103
県央地区	2	0	8	13	15	17	26	19	100
萩・長門地区	0	9	22	33	48	71	79	60	322
下関地区	0	5	17	20	26	49	43	29	189
宇部・小野田地区	0	4	14	22	26	38	31	18	153
山口県外	1	6	14	20	19	43	37	19	159
回答者計	3	24	55	66	94	135	156	93	626

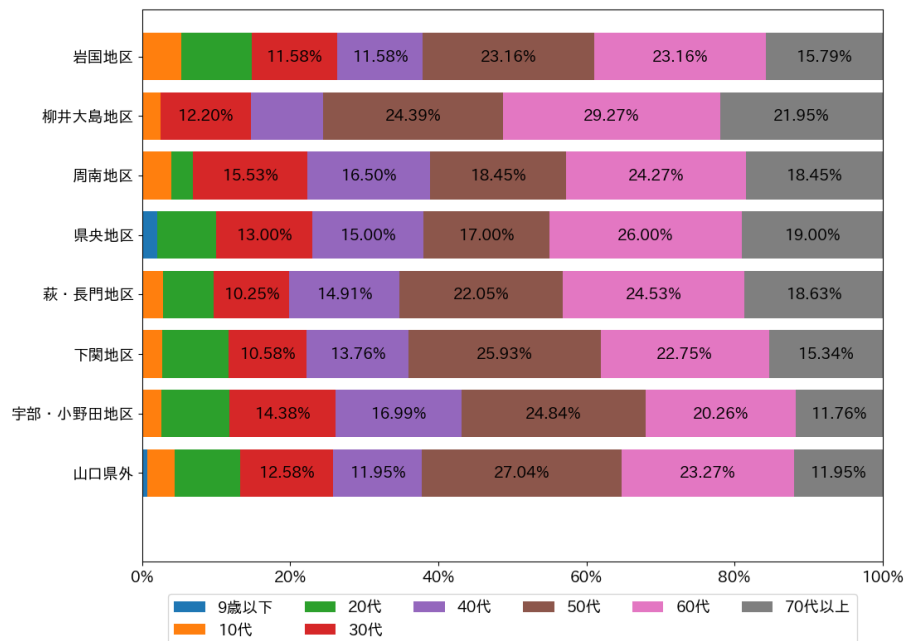


図 3.27: 年齢別の訪問地区の割合

表 3.4 と図 3.28 は、山口市外の地区への訪問者について、居住地の構成を示したものである。各地区への訪問に関する質問は複数回答となっている。県外客が訪問している山口県内の地区で最も比率が高かったのが下関地区で 91.01 %、次いで岩国地区で 84.04 % となっている。また、山口市内を訪れた山口県外居住者の 76.88 % は山口県外の地域へ周遊していることがわかる。一方、県内居住者においては、周南地区への訪問が 42.16 % と最も多い。次いで、県央地区が 38.38 %、柳井大島地区が 31.71 %、萩・長門地区が 29.94 % と続いている。

表 3.4: 居住地別の訪問地区の回答数

居住地	山口県内	山口県外	合計
岩国地区	15	79	94
柳井大島地区	13	28	41
周南地区	43	59	102
県央地区	38	61	99
萩・長門地区	97	227	324
下関地区	17	172	189
宇部・小野田地区	46	108	154
山口県外	37	123	160
回答者計	196	435	631

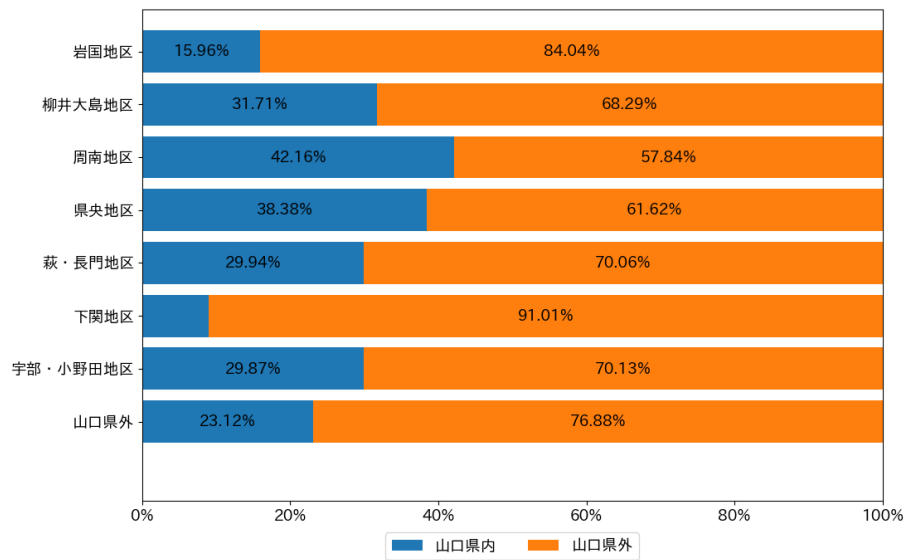


図 3.28: 居住地別の訪問地区の割合

表 3.5 と図 3.29 は、山口市外の地区を訪問した者について、全旅行日程の構成を示したものである。各地区への訪問に関する質問は複数回答となっている。これらの訪問者のうち、日帰りの比率は周南地区が 33.72 % と最も高く、次いで柳井大島地区への訪問が 24.24 % であった。いずれの訪問地を見ても、宿泊した訪問者について 1 泊と 2 泊の割合が高い。県外への訪問者では 2～3 泊する割合が 28.77 % となっている。

表 3.5: 全旅行行程別の訪問地区の回答数

旅行の全行程	日帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11泊以上	合計
岩国地区	11	22	12	17	6	3	4	1	2	1	1	1	81
柳井大島地区	8	7	7	3	1	5	1	0	1	0	0	0	33
周南地区	29	24	13	7	5	4	0	1	1	0	1	1	86
県央地区	16	29	15	8	3	8	4	1	1	0	0	1	86
萩・長門地区	50	91	65	34	15	7	6	3	1	2	0	2	276
下関地区	17	55	41	31	11	4	4	1	2	2	1	4	173
宇部・小野田地区	27	43	32	24	7	2	1	1	1	0	1	0	139
山口県外	35	36	27	15	12	8	4	1	1	1	1	5	146
回答者計	122	197	113	62	25	15	11	4	2	2	1	6	560

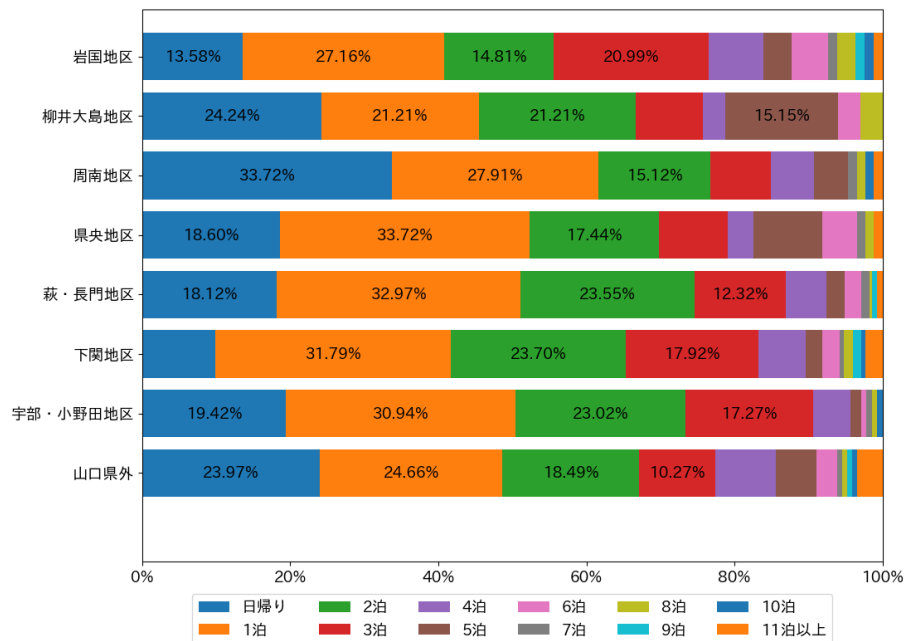


図 3.29: 全旅行行程別の訪問地区の割合

表 3.6 と図 3.30 は、山口市外の地区を訪問した者について、山口市内での旅行日程の構成を表したものである。各地区への訪問に関する質問は複数回答となっている。訪問地別に見ると、山口市内に宿泊する訪問者は、山口市内に 1 泊する割合が高い。1 泊の割合が最も多いのは岩国地区の 61.97 %であり、次いで下関地区が 61.84 %であった。

表 3.6: 旅行行程別（山口市内）の訪問地区の回答数

旅行行程（山口市内）	日帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊以上	合計
岩国地区	12	44	8	3	3	1	0	71
柳井大島地区	10	14	5	0	0	2	0	31
周南地区	33	37	5	3	1	0	0	79
県央地区	22	38	16	3	1	1	1	82
萩・長門地区	64	143	40	2	3	2	2	256
下関地区	26	94	22	6	3	0	1	152
宇部・小野田地区	34	71	19	3	0	0	0	127
山口県外	45	72	10	4	1	1	1	134
回答者計	147	288	62	13	4	3	2	519

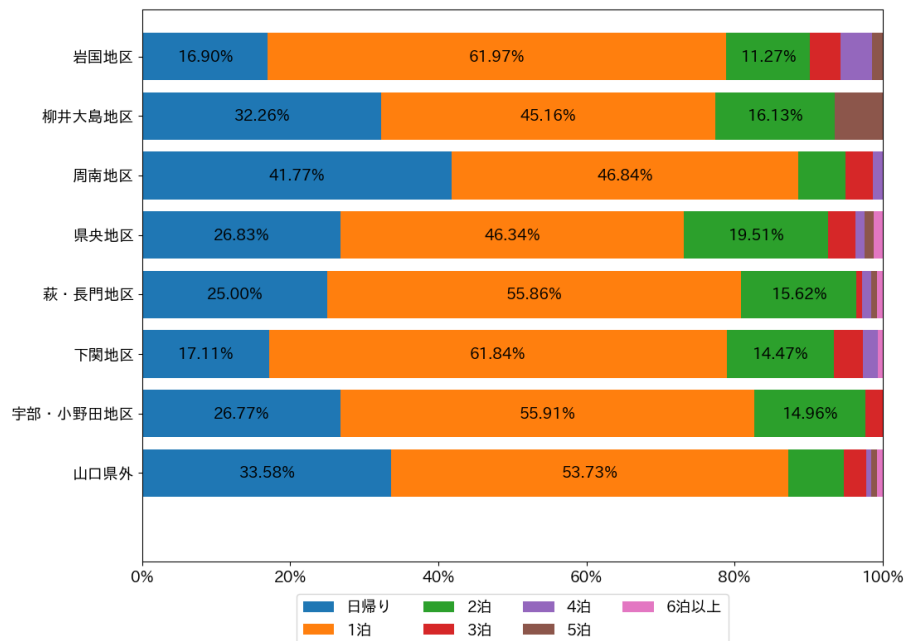


図 3.30: 旅行行程別（山口市内）の訪問地区の割合

表 3.7 と図 3.31 は、山口市外の地区を訪問した者について、同行者との関係の構成を表したものである。各地区への訪問に関する質問は複数回答となっている。山口市外の地区を訪問する訪問者数は家族や夫婦が多い。家族で訪問する地区は 36 %で周南地区が最も多く、次いで宇部・小野田地区が 35.53 %、山口県外が 30.97 %となっている。

表 3.7: 同行者との関係別の訪問地区の回答数

同行者との関係	ひとり	家族	夫婦	親戚	友人・知人	団体	その他	合計
岩国地区	25	23	29	3	10	0	2	92
柳井大島地区	6	11	17	1	5	0	0	40
周南地区	18	36	29	2	14	1	0	100
県央地区	21	29	32	3	12	0	0	97
萩・長門地区	44	90	118	8	49	2	7	318
下関地区	49	44	69	4	20	0	1	187
宇部・小野田地区	25	54	51	1	13	3	5	152
山口県外	43	48	37	3	22	0	2	155
回答者計	109	205	192	15	86	5	9	621

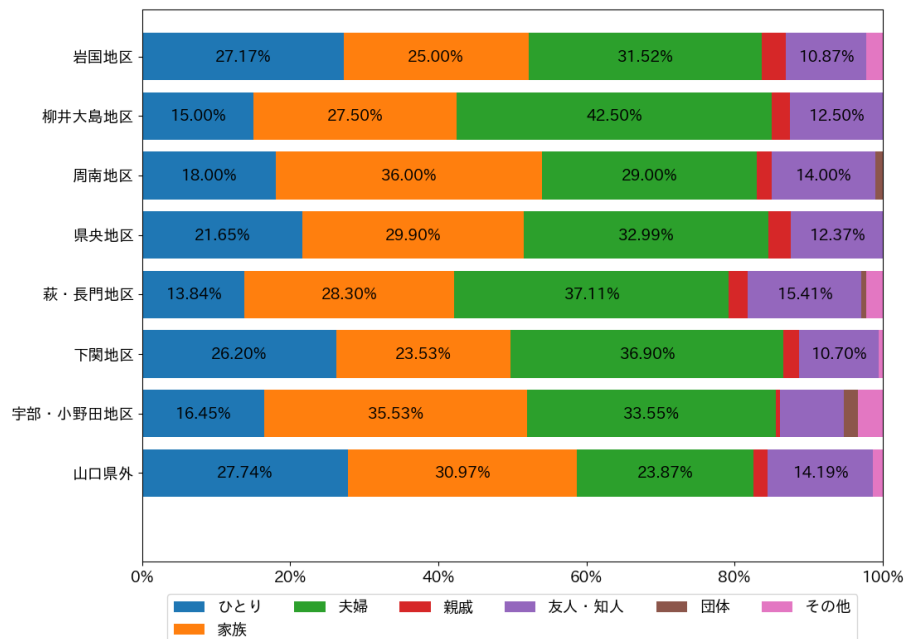


図 3.31: 同行者との関係別の訪問地区の割合

3.6 旅行のきっかけとなった情報源

単純集計結果 表 3.8 は、旅行のきっかけとなった情報源の単純集計結果である。山口市への訪問者が参考にした、または、今回の旅行のきっかけとなった情報源は、その他を除くと、友人・知人が 16.33 %で最多であった。次いで観光情報サイトが 14.41 %で、旅行誌・ガイドブックが 11.37 %であった。

表 3.8: きっかけとなった情報の回答数

	回答数	%
テレビ	91	10.25
ラジオ	2	0.23
新聞	21	2.36
旅行誌・ガイドブック	101	11.37
ポスター	8	0.90
行政および観光協会のパンフレット	85	9.57
旅行会社のパンフレット	42	4.73
友人・知人	145	16.33
観光情報サイト	128	14.41
個人のブログ・SNS	32	3.60
その他	233	26.24
合計	888	100.00

属性別の情報源 表 3.9 と図 3.32 は、旅行のきっかけとなった情報源の構成を性別に示している。友人・知人について、女性が 19.41 %、男性が 12.19 %と、女性の方が高い割合となっている。一方、観光情報サイトでは男性の割合が高く、それ以外の情報源では男女間の割合に明確な差は見られない。

表 3.9: 性別の情報源の回答数

②来市のきっかけ	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌・ガイドブック	ポスター	行政および観光協会のパンフレット
男	40	1	11	44	4	41
女	49	1	10	56	4	44
合計	89	2	21	100	8	85

②来市のきっかけ	旅行会社のパンフレット	友人・知人	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	その他	合計
男	12	44	62	14	88	361
女	28	99	65	17	137	510
合計	40	143	127	31	225	871

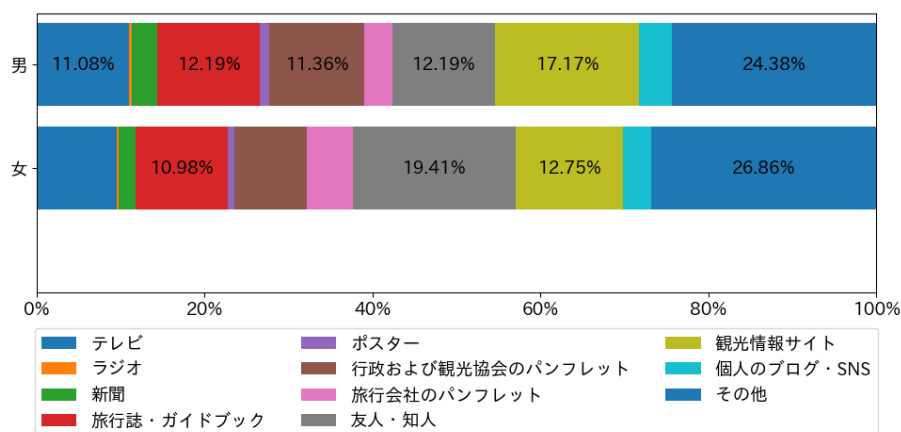


図 3.32: 性別の情報源の割合

表 3.10 と図 3.33 は、年齢別にどのような情報源を利用したのかについての構成を示している。友人・知人と答えた比率がほぼすべての年代で高く、交友関係や口コミが観光のきっかけとなることが世代を超えて当てはまると考えられる。

表 3.10: 年齢別の情報源の回答数

②来市のきっかけ	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌・ガイドブック	ポスター	行政および観光協会のパンフレット
9 歳以下	6	0	0	1	0	0
10 代	6	0	1	8	0	2
20 代	8	0	0	6	3	5
30 代	10	0	1	12	0	2
40 代	8	0	1	14	1	19
50 代	12	0	4	22	0	19
60 代	21	1	11	20	2	19
70 代以上	17	1	3	17	2	18
合計	88	2	21	100	8	84

②来市のきっかけ	旅行会社のパンフレット	友人・知人	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	その他	合計
9 歳以下	0	1	0	1	0	9
10 代	2	8	4	2	11	44
20 代	3	19	10	8	15	77
30 代	2	20	14	8	24	93
40 代	1	23	15	3	41	126
50 代	11	30	22	5	61	186
60 代	7	25	45	1	47	199
70 代以上	15	16	15	2	25	131
合計	41	142	125	30	224	865

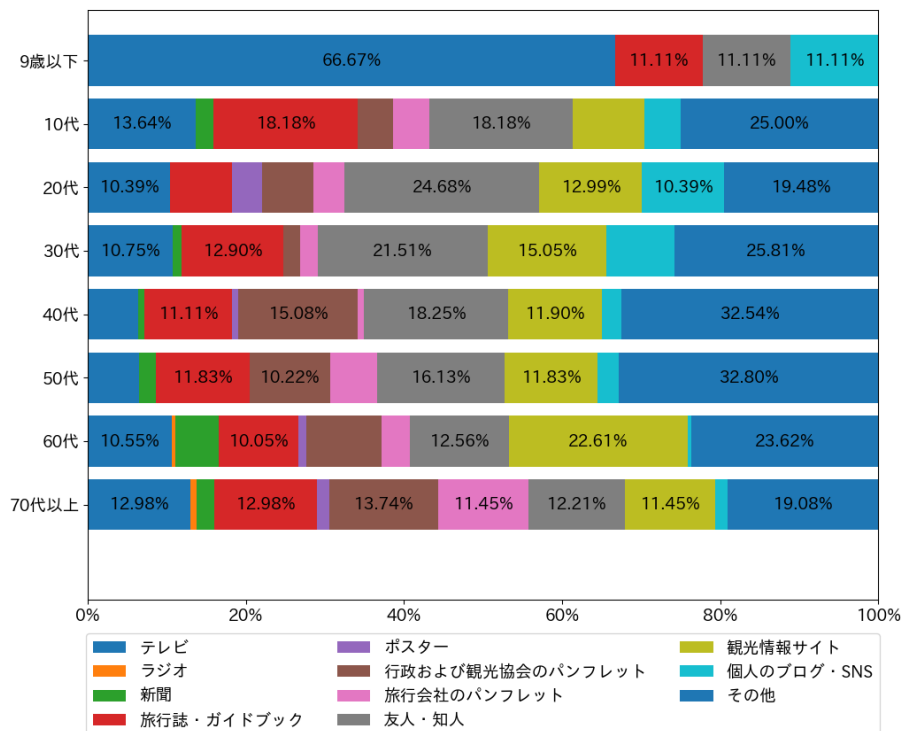


図 3.33: 年齢別の情報源の割合

表 3.11 と図 3.34 は、居住地別の情報源の構成を示したものである。居住地と情報源の関係をみると、県外居住者については友人・知人、観光情報サイトの割合が高い。一方、県内居住者では、テレビの割合が比較的高く、地元における情報発信の効果は県内で強く表れていることがわかる。

表 3.11: 居住地別の情報源の回答数

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌・ガイドブック	ポスター	行政および観光協会のパンフレット
山口県内	54	1	10	28	6	40
山口県外	34	1	11	71	2	44
全域	88	2	21	99	8	84

	旅行会社のパンフレット	友人・知人	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	その他	合計
山口県内	5	53	43	16	74	330
山口県外	36	90	83	15	153	540
全域	41	143	126	31	227	870

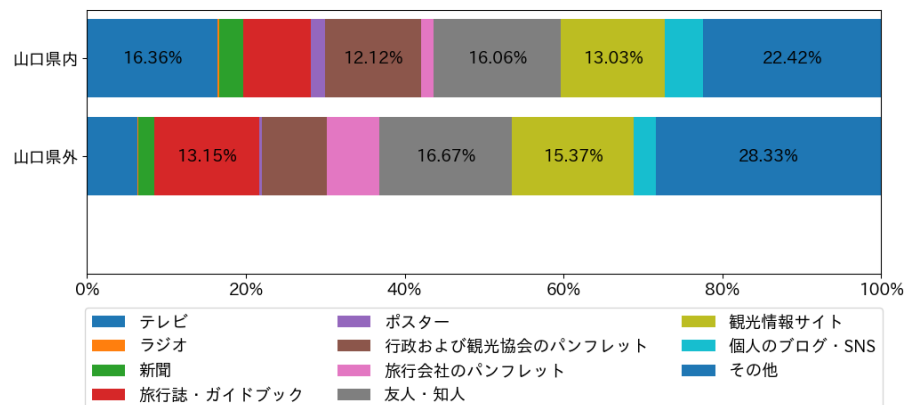


図 3.34: 居住地別の情報源の割合

表 3.12 と図 3.35 は、同行者との関係と情報源の関係について、構成を示したものである。回答数が多い順に、家族、夫婦、ひとり、友人・知人となっている。家族および夫婦では来訪のきっかけとなった情報源が類似しており、テレビ、旅行誌・ガイドブック、友人・知人、観光情報サイトの割合が高い。友人・知人のグループでは、友人・知人を情報源とする比率が比較的高い。

表 3.12: 同行者別の情報源の回答数

	テレビ	ラジオ	新聞	旅行誌・ガイドブック	ポスター	行政および観光協会のパンフレット
ひとり	11	1	2	21	1	18
家族	44	1	8	35	4	28
夫婦	23	0	7	32	3	24
親戚	2	0	1	2	0	4
友人・知人	7	0	2	9	0	10
団体	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	87	2	20	99	8	84

	旅行会社のパンフレット	友人・知人	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	その他	合計
ひとり	4	14	20	4	51	147
家族	14	55	45	15	75	324
夫婦	13	30	42	8	73	255
親戚	4	3	1	0	0	17
友人・知人	5	34	18	2	25	112
団体	1	2	0	0	3	6
その他	0	5	1	3	3	12
合計	41	143	127	32	230	873

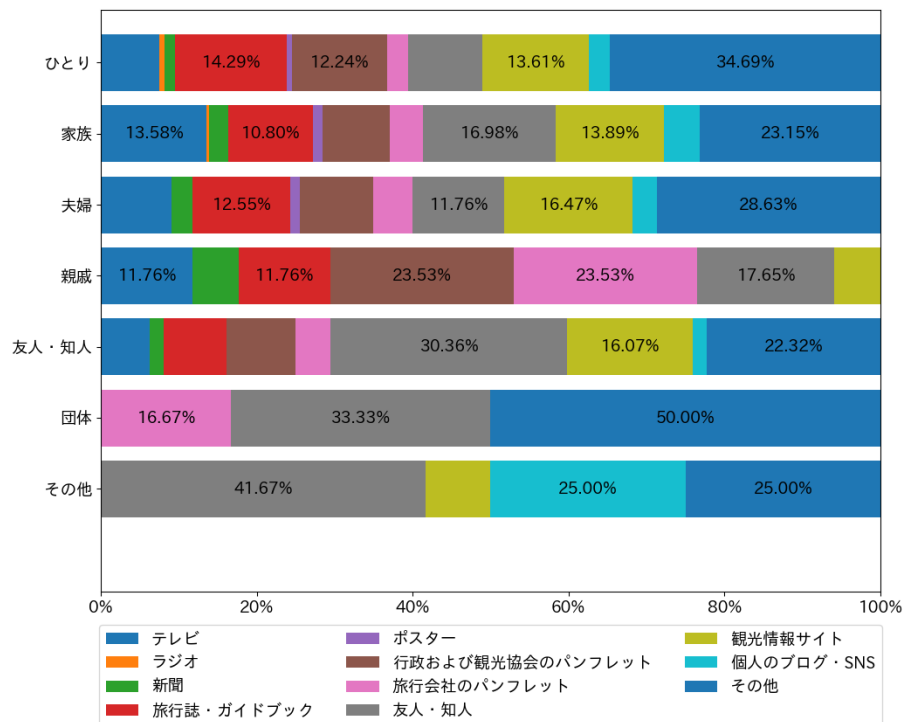


図 3.35: 同行者別の情報源の割合

第4章 湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」と周遊

4.1 「狐の足あと」訪問者の特徴

本節では、2015年3月に開館した湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」の訪問者を中心に、アンケートデータに基づき特徴をみていく。

表4.1と図4.1は、「狐の足あと」訪問者の居住地を山口県外と県内に分けて示したものである。山口県外の居住者が68.16%を占めており、全体的な割合と比較して高い数値となっている。

表 4.1: 「狐の足あと」訪問者の居住地の回答数

	訪問者数		割合	
	狐の足あと	全体	狐の足あと	全体
山口県内	78	347	31.84	38.01
山口県外	167	566	68.16	61.99
全域	245	913	100.00	100.00

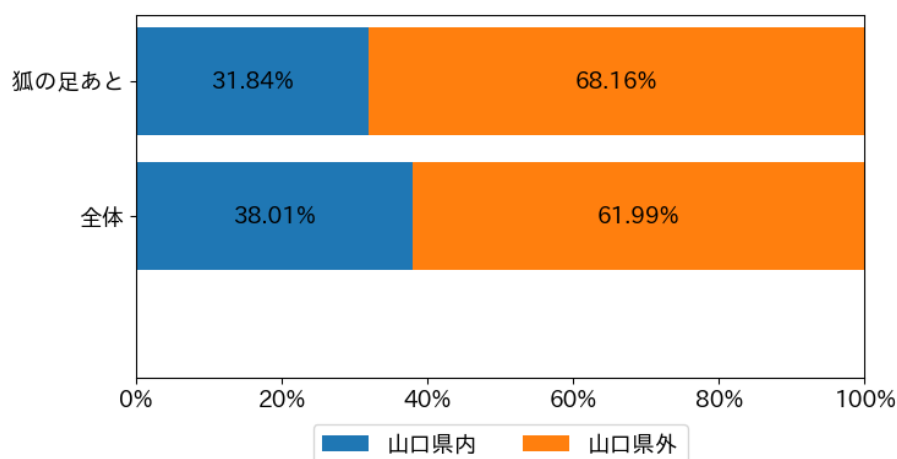


図 4.1: 「狐の足あと」訪問者の居住地の割合

表4.2と図4.2は、「狐の足あと」訪問者の年齢を示したものである。「狐の足あと」の訪問者は、20～50代の割合が比較的高く、60代や70代以上の割合が小さいことがわかる。

表 4.2: 「狐の足あと」訪問者の年齢の回答数

	訪問者数		割合	
	狐の足あと	全体	狐の足あと	全体
9 歳以下	1	11	0.41	1.21
10 代	15	45	6.17	4.97
20 代	30	78	12.35	8.61
30 代	33	95	13.58	10.49
40 代	39	128	16.05	14.13
50 代	51	195	20.99	21.52
60 代	43	209	17.70	23.07
70 代以上	31	145	12.76	16.00
合計	243	906	100.00	100.00

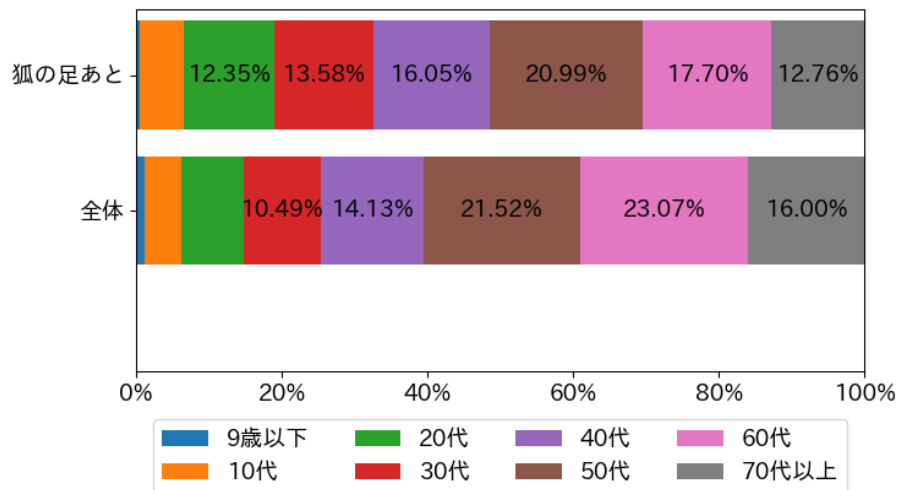


図 4.2: 「狐の足あと」訪問者の年齢の割合

表 4.3 と図 4.3 は、「狐の足あと」訪問者の山口市への訪問回数を示したものである。初めて（1回）の訪問者が 26.13 %と比較的高い値となっている。一方、4 回以上の訪問回数では「狐の足あと」を訪れる人は比較的少ない。

表 4.3: 「狐の足あと」訪問者の山口市への訪問回数の回答数

	訪問者数		割合	
	狐の足あと	全体	狐の足あと	全体
初めて（1回）	58	179	26.13	21.86
2回	40	139	18.02	16.97
3回	39	112	17.57	13.68
4回	8	62	3.60	7.57
5回	16	74	7.21	9.04
6回	8	22	3.60	2.69
7回	1	6	0.45	0.73
8回	5	10	2.25	1.22
10回以上	47	215	21.17	26.25
合計	222	819	100.00	100.00

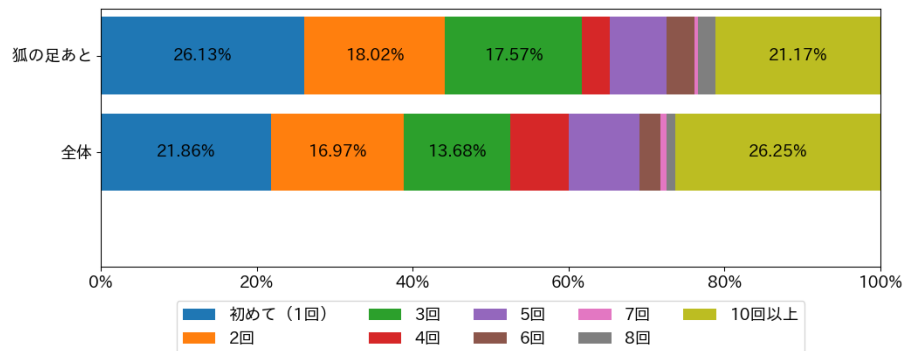


図 4.3: 「狐の足あと」訪問者の山口市への訪問回数の割合

表 4.4 と図 4.4 は、「狐の足あと」訪問者の山口市内の利用交通手段を示したものである。交通手段については複数回答となっている。狐の足あとの訪問者について、回答数合計を分母とした比率を見ると、自家用車が 55.08 %で最も多くなっているが、全体の割合と比べると低い比率となっている。また、路線バスの 16.1 %、その他の鉄道の 15.25 %、徒歩の 21.19 %は、それぞれ全体の割合と比較して相対的に高い値となっている。

表 4.4: 「狐の足あと」訪問者の山口市内の利用交通手段の構成

	訪問者数		割合	
	狐の足あと	全体	狐の足あと	全体
新幹線	2	9	0.85	1.03
その他の鉄道	36	91	15.25	10.45
自家用車	130	534	55.08	61.31
観光団体バス	5	28	2.12	3.21
路線バス	38	98	16.10	11.25
タクシー	12	44	5.08	5.05
レンタカー	23	65	9.75	7.46
自転車	12	38	5.08	4.36
徒歩	50	145	21.19	16.65
その他	9	34	3.81	3.90
回答者計	236	871	27.10	100.00

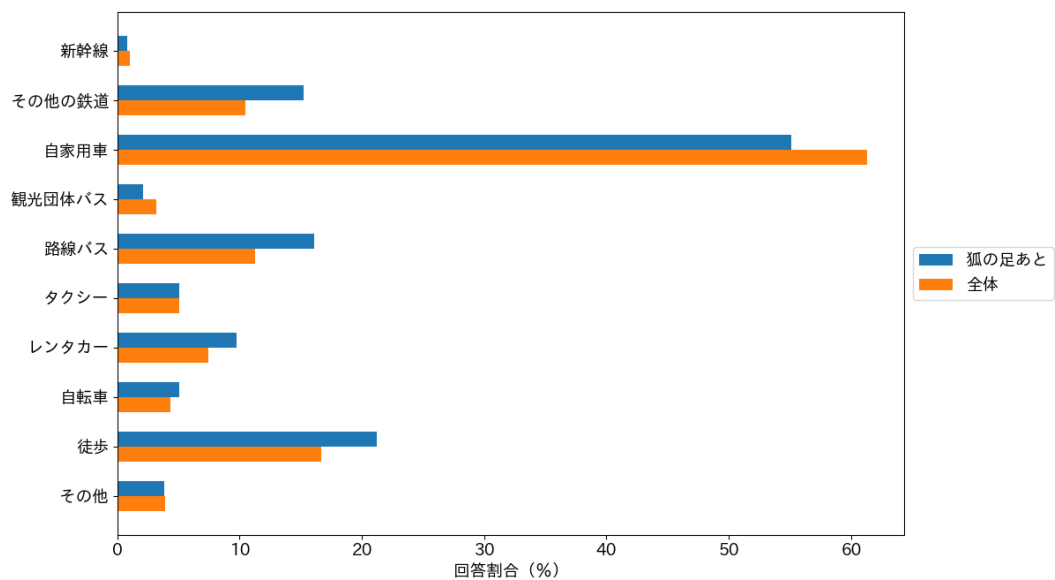


図 4.4: 「狐の足あと」訪問者の山口市内の利用交通手段の割合

表 4.5 と図 4.5 は、「狐の足あと」訪問者の立ち寄り観光施設数を示したものである。狐の足あとの訪問者のうち、立ち寄り観光施設が5か所以上の割合は 40.76 %となっている。この割合は、全体と比較して高いことから、狐の足あとの訪問者は立ち寄り観光施設数が多い傾向がみられる。

表 4.5: 「狐の足あと」と立ち寄り観光施設数の回答数

	訪問者数		割合	
	狐の足あと	全体	狐の足あと	全体
1 か所	5	113	3.18	21.00
2 か所	27	124	17.20	23.05
3 か所	37	121	23.57	22.49
4 か所	24	59	15.29	10.97
5 か所	29	57	18.47	10.59
6 か所以上	35	64	22.29	11.90
合計	157	538	100.00	100.00

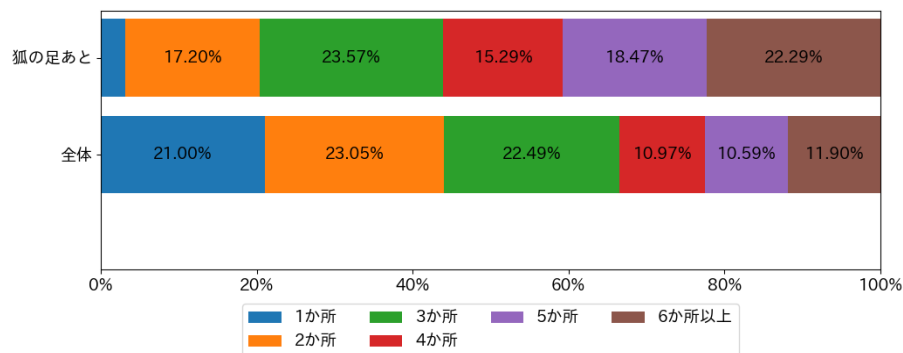


図 4.5: 「狐の足あと」と立ち寄り観光施設数の割合

表 4.6 は、「狐の足あと」から他の観光施設への訪問状況を示したものである。比較対象として瑠璃光寺五重塔を取り上げている。なお、他の観光施設への訪問については複数回答となっている。また、割合を計算する際の分母は、それぞれ狐の足あとの訪問者数および瑠璃光寺五重塔の訪問者数である。

狐の足あとの訪問者のうち、湯田温泉を訪問した割合が 70.68%、瑠璃光寺五重塔が 48.59%、中原中也記念館が 44.58%となっている。一方、瑠璃光寺五重塔の訪問者のうち、湯田温泉を訪問した割合が 51.89%、山口サビエル記念聖堂が 40.8%、狐の足あとが 28.54%となっている。

それぞれの施設から他の施設への訪問割合をみると、比較的距離の近いところへ周遊していることが明らかである。したがって、自転車や徒歩（まち歩き）による周遊の推進が、今後の検討事項として考えられる。

表 4.6: 「狐の足あと」から他の観光施設への訪問状況

	訪問者数		割合	
	狐の足あと	瑠璃光寺五重塔	狐の足あと	瑠璃光寺五重塔
瑠璃光寺五重塔	121	1037	48.59	
中原中也記念館	111	115	44.58	27.12
山口サビエル記念聖堂	68	173	27.31	40.80
常栄寺雪舟庭	41	101	16.47	23.82
山口市菜香亭	27	67	10.84	15.80
YCAM	10	19	4.02	4.48
狐の足あと	702	121		28.54
湯田温泉	176	220	70.68	51.89
一の坂川	46	100	18.47	23.58
SL「やまぐち」号	25	41	10.04	9.67
宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等	77	80	30.92	18.87

4.2 情報媒体としての「狐の足あと」

表 4.7 と表 4.8 および図 4.6 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体別の立ち寄り観光施設数を示したものである。利用した情報媒体は複数回答となっている。狐の足あとを媒体としている訪問者は、全体的な傾向と比較して2か所以上の観光施設に立ち寄る割合が高い。一方、利用した媒体はないと答えた訪問者は、全体と比較して立ち寄る観光施設数が少ない傾向が強い。

表 4.7: 利用情報媒体別の立ち寄り観光施設数の回答数

	0 か所	1 か所	2 か所	3 か所	4 か所	5 か所	6 か所 以上	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	0	2	9	14	11	9	11	87
市販の観光パンフレット	1	10	28	24	22	24	21	203
無料の観光パンフレット	4	50	62	53	35	38	48	478
観光案内所	4	14	17	27	20	20	22	224
観光情報サイト	3	31	29	32	17	27	19	267
個人のブログ・SNS	3	19	19	16	7	14	11	138
その他の利用媒体	1	8	6	4	2	3	2	43
利用した媒体はない	5	17	13	11	1	1	1	79
回答者計	16	113	124	118	59	57	64	551

表 4.8: 利用情報媒体別の立ち寄り観光施設数の回答数（構成比）

	0 か所	1 か所	2 か所	3 か所	4 か所	5 か所	6 か所 以上	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	0.00	3.57	16.07	25.00	19.64	16.07	19.64	100.00
市販の観光パンフレット	0.77	7.69	21.54	18.46	16.92	18.46	16.15	100.00
無料の観光パンフレット	1.38	17.24	21.38	18.28	12.07	13.10	16.55	100.00
観光案内所	3.23	11.29	13.71	21.77	16.13	16.13	17.74	100.00
観光情報サイト	1.90	19.62	18.35	20.25	10.76	17.09	12.03	100.00
個人のブログ・SNS	3.37	21.35	21.35	17.98	7.87	15.73	12.36	100.00
その他の利用媒体	3.85	30.77	23.08	15.38	7.69	11.54	7.69	100.00
利用した媒体はない	10.20	34.69	26.53	22.45	2.04	2.04	2.04	100.00
回答者計	2.90	20.51	22.50	21.42	10.71	10.34	11.62	100.00

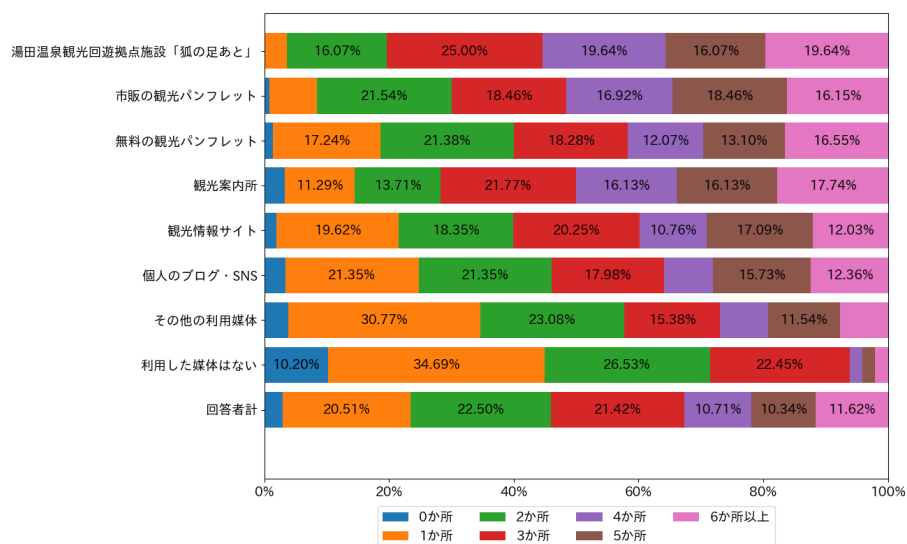


図 4.6: 利用情報媒体別の立ち寄り観光施設数の割合

表 4.9 と表 4.10 および図 4.7 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体別の欲しい情報の取得状況を示したものである。利用した情報媒体は複数回答となっている。狐の足あとを媒体とした場合、欲しい情報が得られたとする回答の割合は、観光案内所やその他の利用媒体と並んで十分に高い。

表 4.9: 利用情報媒体別の欲しい情報の取得の回答数

	得られた	やや得られた	普通	あまり得られなかった	得られなかった	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	48	30	5	0	0	87
市販の観光パンフレット	100	52	23	2	0	203
無料の観光パンフレット	220	130	70	9	1	478
観光案内所	126	61	18	1	1	224
観光情報サイト	114	81	40	6	0	267
個人のブログ・SNS	59	45	20	0	0	138
その他の利用媒体	23	12	2	1	0	43
利用した媒体はない	2	1	8	2	2	79
回答者計	352	232	121	17	4	726

表 4.10: 利用情報媒体別の欲しい情報の取得の回答数（構成比）

	得られた	やや得られた	普通	あまり得られなかった	得られなかった	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	57.83	36.14	6.02	0.00	0.00	100.00
市販の観光パンフレット	56.50	29.38	12.99	1.13	0.00	100.00
無料の観光パンフレット	51.16	30.23	16.28	2.09	0.23	100.00
観光案内所	60.87	29.47	8.70	0.48	0.48	100.00
観光情報サイト	47.30	33.61	16.60	2.49	0.00	100.00
個人のブログ・SNS	47.58	36.29	16.13	0.00	0.00	100.00
その他の利用媒体	60.53	31.58	5.26	2.63	0.00	100.00
利用した媒体はない	13.33	6.67	53.33	13.33	13.33	100.00
回答者計	48.48	31.96	16.67	2.34	0.55	100.00

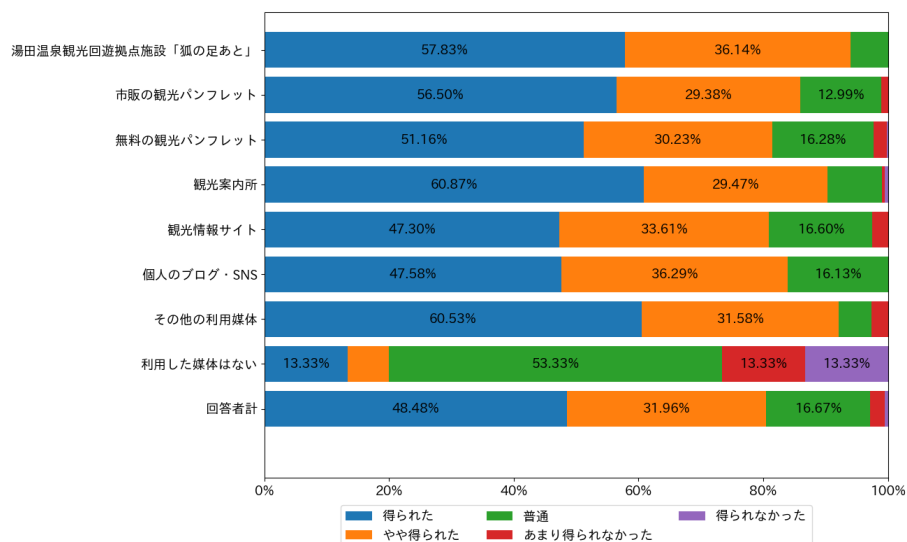


図 4.7: 利用情報媒体別の欲しい情報の取得の割合

表 4.11 と表 4.12 および図 4.8 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体別の欲しい情報の取得状況を示したものである。利用した情報媒体は複数回答となっている。狐の足あとを媒体とした場合、入手しやすかったとする回答の割合は 67.47 %程度となっている。入手しやすかった・やや入手しやすかったを合わせると、狐の足あと訪問者は情報入手が容易であった回答した割合が高い。

表 4.11: 利用情報媒体別の情報入手のしやすさの回答数

	入手しやすかった	やや入手しやすかった	普通	やや入手しにくかった	入手しにくかった	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	56	17	9	1	0	87
市販の観光パンフレット	118	26	30	2	0	203
無料の観光パンフレット	263	84	74	5	0	478
観光案内所	144	31	28	4	0	224
観光情報サイト	135	55	44	5	0	267
個人のブログ・SNS	75	21	26	1	0	138
その他の利用媒体	24	6	4	3	0	43
利用した媒体はない	4	1	9	0	1	79
回答者計	445	129	134	12	1	721

表 4.12: 利用情報媒体別の情報入手のしやすさの回答数（構成比）

	入手しやすかった	やや入手しやすかった	普通	やや入手しにくかった	入手しにくかった	合計
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	67.47	20.48	10.84	1.20	0.00	100.00
市販の観光パンフレット	67.05	14.77	17.05	1.14	0.00	100.00
無料の観光パンフレット	61.74	19.72	17.37	1.17	0.00	100.00
観光案内所	69.57	14.98	13.53	1.93	0.00	100.00
観光情報サイト	56.49	23.01	18.41	2.09	0.00	100.00
個人のブログ・SNS	60.98	17.07	21.14	0.81	0.00	100.00
その他の利用媒体	64.86	16.22	10.81	8.11	0.00	100.00
利用した媒体はない	26.67	6.67	60.00	0.00	6.67	100.00
回答者計	61.72	17.89	18.59	1.66	0.14	100.00

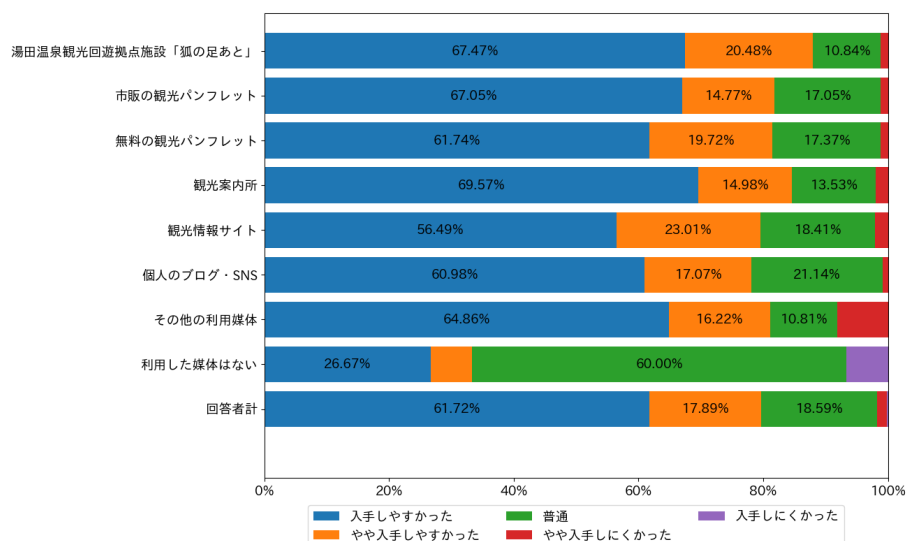


図 4.8: 利用情報媒体別の情報入手のしやすさの割合

表 4.13 と図 4.9 は、山口市内での旅行中に利用した情報媒体別の、宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等への立ち寄り割合を示したものである。利用した情報媒体は複数回答となっている。宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等への立ち寄り割合について、高い順に媒体を並べると、無料の観光パンフレット、観光案内所、観光情報サイトとなる。全体的な傾向と比較すると、狐の足あとを媒体とした訪問者が飲食店・居酒屋等への立ち寄る割合が高い。

表 4.13: 利用情報媒体別宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等への立ち寄り割合

	訪問者数		割合	
	宿泊施設以外の 飲食店・居酒屋等	全体	宿泊施設以外の 飲食店・居酒屋等	全体
湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	33	87	17.01	9.73
市販の観光パンフレット	64	203	32.99	22.71
無料の観光パンフレット	122	478	62.89	53.47
観光案内所	69	224	35.57	25.06
観光情報サイト	65	267	33.51	29.87
個人のブログ・SNS	35	138	18.04	15.44
その他の利用媒体	10	43	5.15	4.81
利用した媒体はない	11	79	5.67	8.84
回答者計	194	894	21.70	100.00

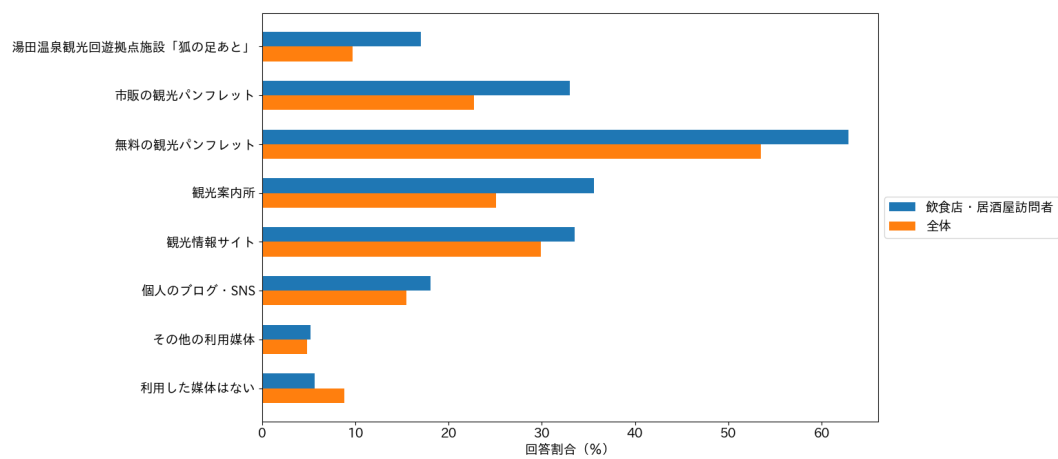


図 4.9: 利用情報媒体別宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等への立ち寄り割合

第5章 旅行の評価と満足度

5.1 山口市までの交通手段別の評価

本節では、山口市まで訪問する際に利用した主要交通手段別に、交通の便に関する項目の評価をみていく。ここでは乗り継ぎ、道路標識、観光案内板の三つについて集計する。

表 5.1 と図 5.1 は、利用交通手段別の乗り継ぎの評価を示したものである。利用交通手段は複数回答となっている。乗り継ぎについては、新幹線・その他の鉄道は楽だった・やや楽という割合が高く、自家用車では普通の割合が高い。

表 5.1: 山口市までの利用交通手段別の乗り継ぎの評価

	楽だった	やや楽	普通	やや大変	大変	合計
新幹線	42	32	45	27	12	185
その他の鉄道	22	21	31	17	4	101
自家用車	36	19	120	26	6	549
船舶	0	0	1	0	0	3
観光団体バス	1	1	3	0	0	9
路線バス	6	2	7	9	1	27
タクシー	2	0	1	0	0	5
レンタカー	2	1	3	6	0	18
飛行機	9	10	8	17	2	60
自転車	1	1	3	1	0	14
徒歩	4	3	8	5	0	23
その他	2	3	5	5	0	27
回答者計	91	75	195	93	21	475

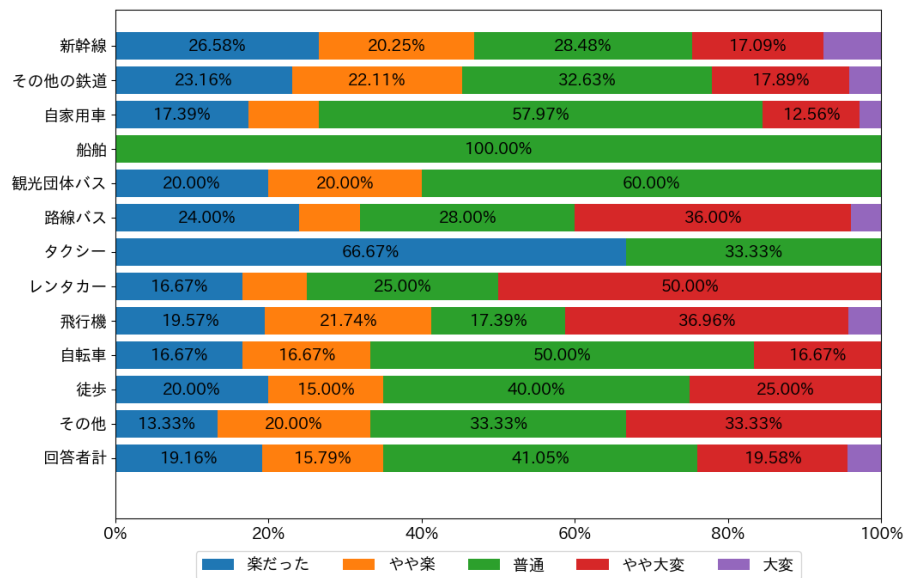


図 5.1: 山口市までの利用交通手段別の乗り継ぎの評価（構成比）

表 5.2 と図 5.2 は、利用交通手段別の道路標識の評価を示したものである。利用交通手段は複数回答となっている。道路標識については、普通と回答されたものが 4 割程度を占める。道路標識を比較的多く目にすると考えられる自家用車では、わかりやすいとややわかりやすいを合わせると 47.81 %となる。

表 5.2: 山口市までの利用交通手段別の道路標識の評価

	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
新幹線	41	26	66	8	3	185
その他の鉄道	13	20	43	3	1	101
自家用車	130	67	161	32	4	549
船舶	0	0	1	0	0	3
観光団体バス	0	0	3	0	1	9
路線バス	5	5	7	2	0	27
タクシー	2	0	2	0	0	5
レンタカー	7	2	7	1	0	18
飛行機	9	10	17	5	0	60
自転車	3	0	4	1	1	14
徒歩	3	6	8	0	0	23
その他	2	4	5	4	0	27
回答者計	189	116	272	52	9	638

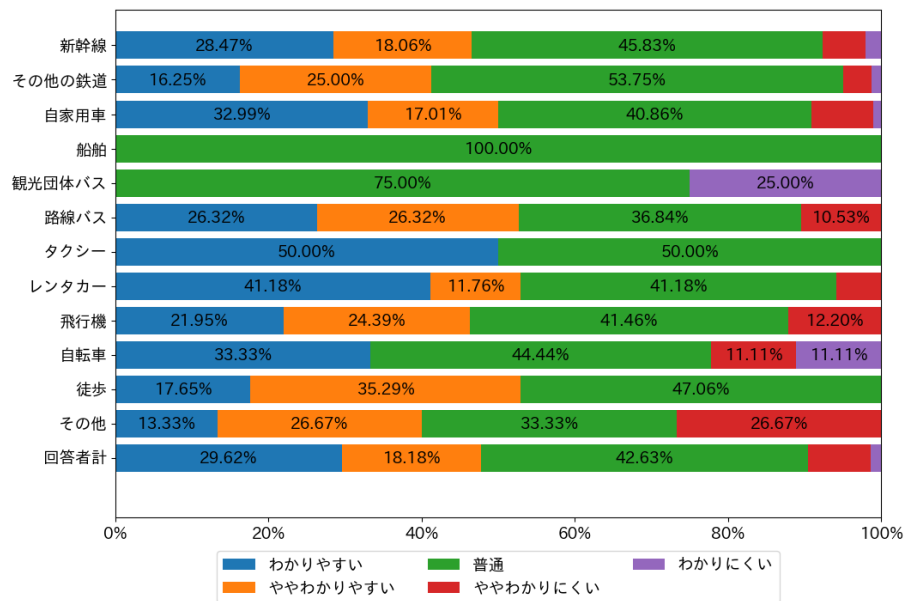


図 5.2: 山口市までの利用交通手段別の道路標識の評価（構成比）

表 5.3 と図 5.3 は、利用交通手段別の観光案内板の評価を示したものである。利用交通手段は複数回答となっている。観光案内板については、総じて普通と評価した割合が高い。

表 5.3: 山口市までの利用交通手段別の観光案内板の評価

	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
新幹線	53	37	59	8	3	185
その他の鉄道	25	27	28	7	1	101
自家用車	113	66	163	31	7	549
船舶	0	0	1	0	0	3
観光団体バス	1	0	3	0	1	9
路線バス	6	9	3	4	1	27
タクシー	2	0	2	0	0	5
レンタカー	6	3	7	0	0	18
飛行機	15	12	13	3	0	60
自転車	2	0	4	2	0	14
徒歩	4	8	5	0	0	23
その他	2	4	6	4	0	27
回答者計	194	128	260	53	12	647

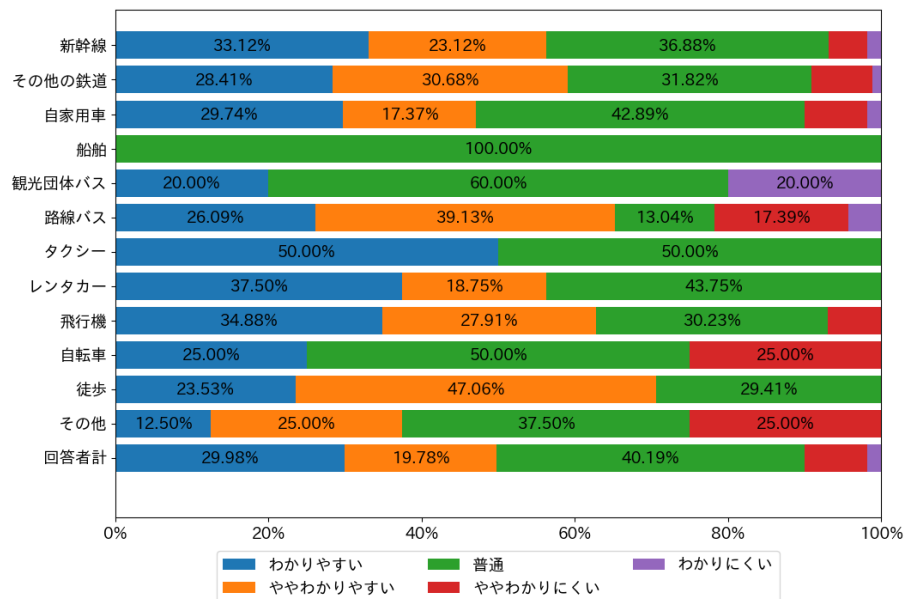


図 5.3: 山口市までの利用交通手段別の観光案内板の評価（構成比）

表 5.4 と図 5.4 は、利用交通手段別の立ち寄った観光施設の評価を示したものである。利用交通手段は複数回答となっている。全体的に、良いとやや良いを合わせた割合は 6 割程度となっている。

表 5.4: 山口市までの利用交通手段別の観光施設の評価

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
新幹線	57	48	48	4	0	185
その他の鉄道	32	26	30	2	0	101
自家用車	119	120	177	16	1	549
船舶	1	0	1	0	0	3
観光団体バス	4	2	2	0	0	9
路線バス	10	7	5	1	0	27
タクシー	2	0	1	0	0	5
レンタカー	5	6	7	0	0	18
飛行機	18	12	23	1	0	60
自転車	4	0	9	0	0	14
徒歩	4	5	6	0	0	23
その他	4	4	10	1	0	27
回答者計	216	197	279	25	1	718

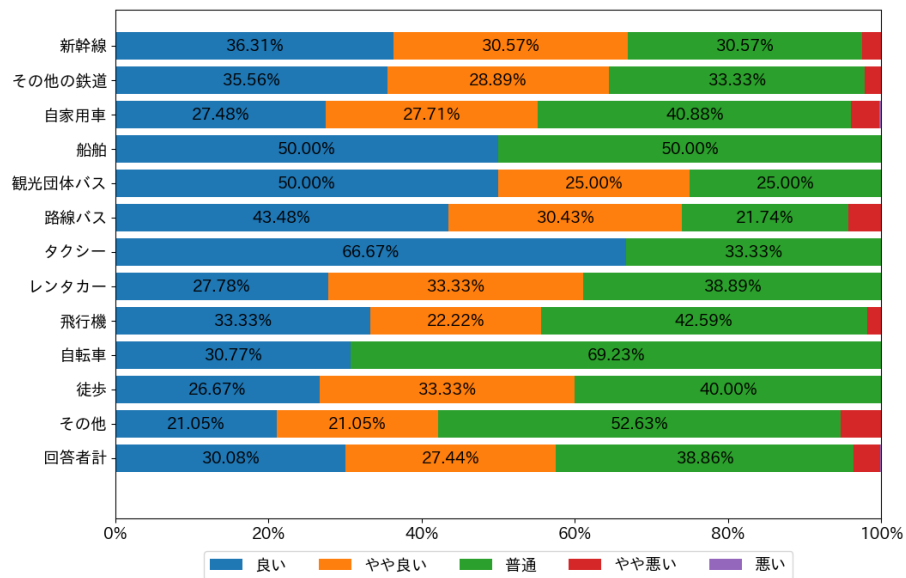


図 5.4: 山口市までの利用交通手段別の観光施設の評価（構成比）

表 5.5 と図 5.5 は、利用交通手段別の山口市訪問の満足度を示したものである。利用交通手段は複数回答となっている。概ね 7 割以上が満足、やや満足としている。

表 5.5: 山口市までの利用交通手段別の山口市訪問の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
新幹線	75	62	30	5	1	185
その他の鉄道	44	33	20	1	1	101
自家用車	158	153	149	13	3	549
船舶	1	1	0	0	0	3
観光団体バス	4	3	2	0	0	9
路線バス	11	9	5	1	0	27
タクシー	4	0	0	0	0	5
レンタカー	7	5	6	0	0	18
飛行機	19	25	11	2	0	60
自転車	5	2	6	0	0	14
徒歩	11	5	3	0	0	23
その他	9	8	6	0	0	27
回答者計	284	262	215	22	5	788

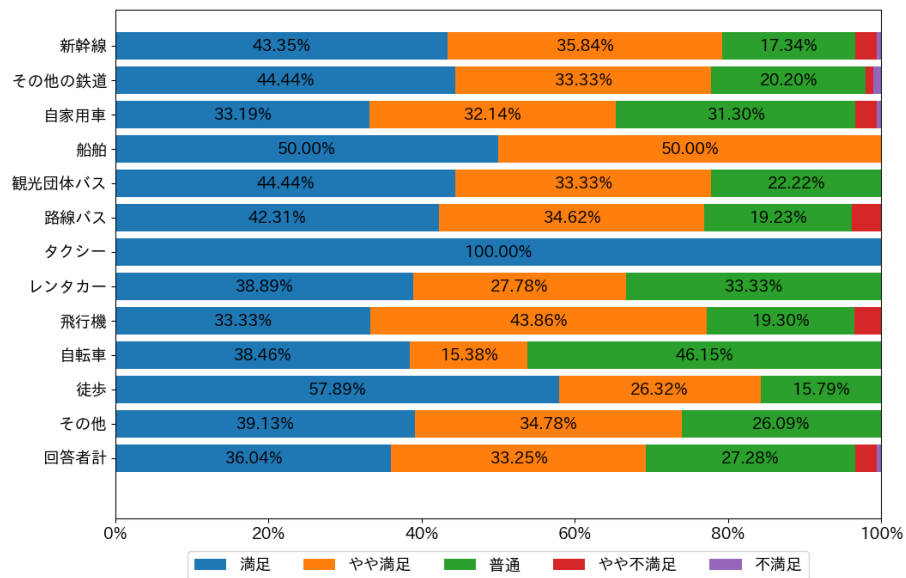


図 5.5: 山口市までの利用交通手段別の山口市訪問の満足度（構成比）

表 5.6 と図 5.6 は、利用交通手段別の山口市訪問の満足度を示したものである。利用交通手段は複数回答となっている。回答者数の多い利用交通手段については、満足が約 4 割となっており、やや満足を合わせると 7 割程度が満足またはやや満足と評価している。

表 5.6: 山口市までの利用交通手段別の今回の旅行の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	合計
新幹線	88	57	26	2	185
その他の鉄道	54	28	17	1	101
自家用車	166	164	142	9	549
船舶	1	1	0	0	3
観光団体バス	5	2	2	0	9
路線バス	11	9	2	2	27
タクシー	4	0	0	0	5
レンタカー	12	4	2	0	18
飛行機	27	25	6	1	60
自転車	5	4	4	0	14
徒歩	11	5	3	0	23
その他	10	8	6	0	27
回答者計	320	264	196	15	795

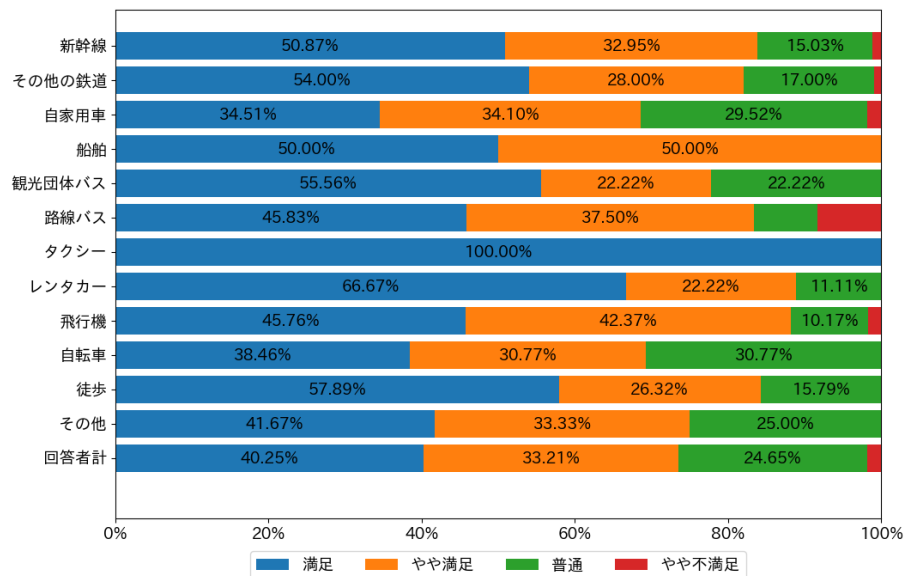


図 5.6: 山口市までの利用交通手段別の今回の旅行の満足度（構成比）

5.2 山口市内での移動手段別の評価

山口市内で利用した移動手段別に交通の便に関する項目の評価についてみる。なお、船舶、飛行機は、山口市内の移動では現実的に利用困難なため、ここでは除外する。

表 5.7 と図 5.7 は、移動手段別の乗り継ぎの評価を示したものである。利用交通手段は複数回答となっている。全体的には、普通の割合が高いが、路線バス、タクシー、その他の鉄道などの移動手段においてもやや大変とする割合が高い。路線バスについては、やや大変だったとする回答の割合が相対的に高く、改善の余地がある。

表 5.7: 山口市内での利用交通手段別の乗り継ぎの評価

	楽だった	やや楽	普通	やや大変	大変	合計
新幹線	1	2	3	2	0	9
その他の鉄道	14	21	20	23	6	91
自家用車	38	19	118	28	6	534
観光団体バス	4	1	10	2	2	28
路線バス	14	20	23	29	6	98
タクシー	10	7	9	11	2	44
レンタカー	11	14	8	9	5	65
自転車	5	2	15	4	1	38
徒歩	18	23	35	23	2	145
その他	3	4	12	4	1	34
回答者計	89	75	196	91	22	473

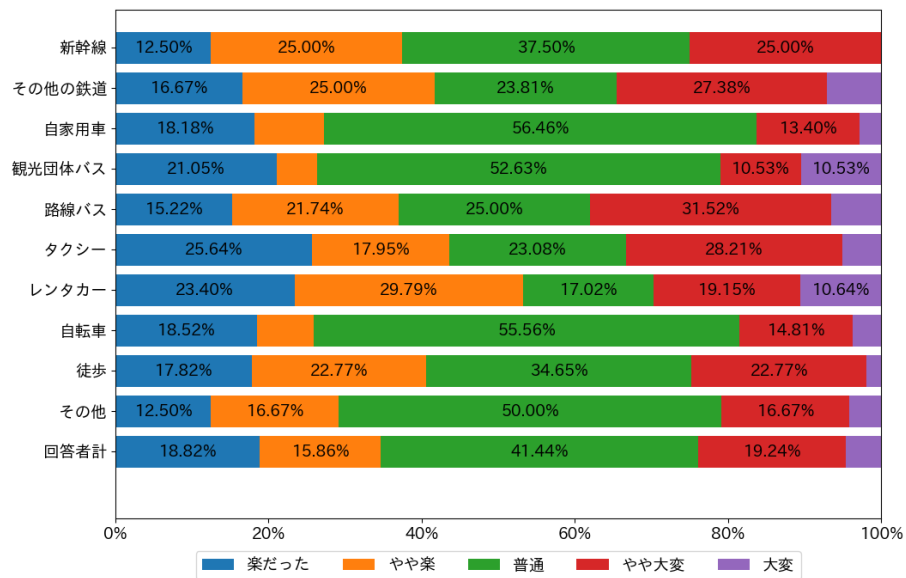


図 5.7: 山口市内での利用交通手段別の乗り継ぎの評価（構成比）

表 5.8 と図 5.8 は、移動手段別の道路標識の評価を示したものである。総じて、普通と回答した割合が高い。

表 5.8: 山口市内での利用交通手段別の道路標識の評価

	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
新幹線	4	0	3	0	0	9
その他の鉄道	10	16	35	7	0	91
自家用車	126	66	162	33	3	534
観光団体バス	2	3	9	1	1	28
路線バス	13	17	40	7	2	98
タクシー	7	5	17	4	1	44
レンタカー	24	6	26	3	0	65
自転車	5	10	8	3	1	38
徒歩	28	24	45	12	3	145
その他	5	4	8	2	0	34
回答者計	187	114	274	52	8	635

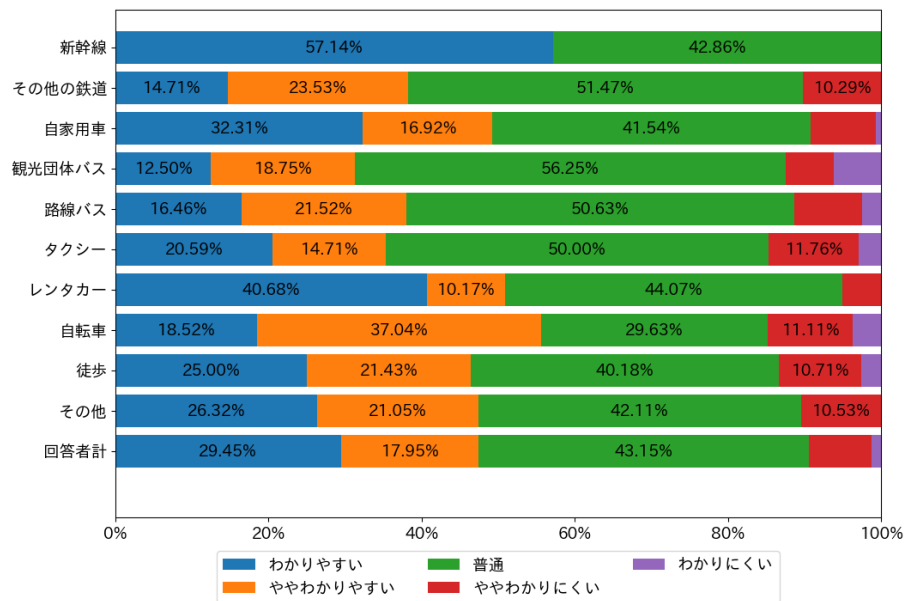


図 5.8: 山口市内での利用交通手段別の道路標識の評価（構成比）

表 5.9 と図 5.9 は、移動手段別の観光案内板の評価を示したものである。利用交通手段は複数回答となっている。多くの交通手段で、普通の割合が多数を占めている。特に、その他や徒歩ではややわかりにくいとする回答の割合が高くなっている。

表 5.9: 山口市内での利用交通手段別の観光案内板の評価

	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
新幹線	3	0	5	0	0	9
その他の鉄道	17	27	25	9	0	91
自家用車	110	65	160	33	6	534
観光団体バス	5	1	10	1	1	28
路線バス	20	23	37	8	2	98
タクシー	15	7	12	4	1	44
レンタカー	19	10	26	2	1	65
自転車	9	8	7	3	1	38
徒歩	34	34	32	14	3	145
その他	6	4	9	3	0	34
回答者計	189	126	265	54	11	645

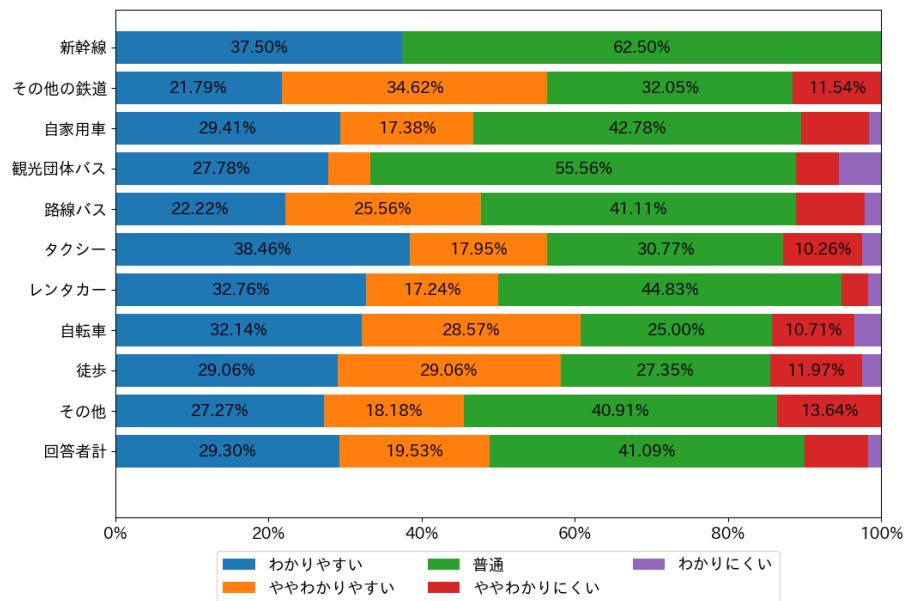


図 5.9: 山口市内での利用交通手段別の観光案内板の評価（構成比）

表 5.10 と図 5.10 は、移動手段別の観光施設の評価を示したものである。利用交通手段は複数回答となっている。全体としては、良いおよびやや良いを合わせた評価が約 57 % となっている。

表 5.10: 山口市内での利用交通手段別の観光施設の評価

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
新幹線	3	2	2	0	0	9
その他の鉄道	22	23	33	3	0	91
自家用車	112	123	174	17	1	534
観光団体バス	11	6	6	4	0	28
路線バス	28	22	36	2	0	98
タクシー	17	11	11	1	0	44
レンタカー	22	19	18	0	0	65
自転車	11	8	15	0	0	38
徒歩	40	36	38	2	0	145
その他	9	4	15	1	0	34
回答者計	215	195	279	26	1	716

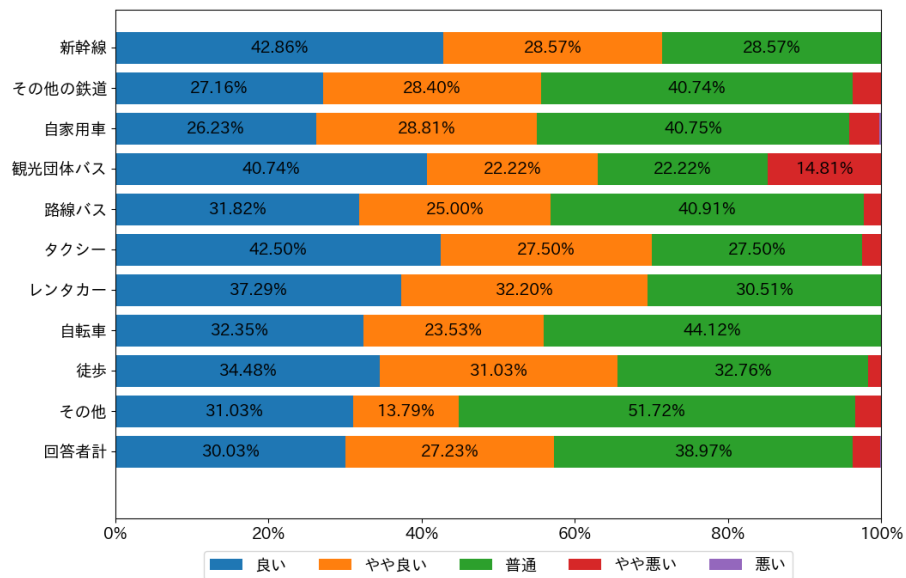


図 5.10: 山口市内での利用交通手段別の観光施設の評価（構成比）

表 5.11 と図 5.11 は、移動手段別の山口市訪問の満足度を示したものである。利用交通手段は複数回答となっている。全体的には満足とやや満足を合わせると、約 7 割が満足と回答している。とりわけタクシーと徒歩の満足度が高い。

表 5.11: 山口市内での利用交通手段別の山口市訪問の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
新幹線	3	1	3	0	0	9
その他の鉄道	32	31	19	3	0	91
自家用車	152	156	144	14	3	534
観光団体バス	10	11	5	2	0	28
路線バス	35	36	16	4	1	98
タクシー	22	14	5	0	2	44
レンタカー	24	24	14	2	0	65
自転車	13	12	11	0	0	38
徒歩	62	48	23	0	1	145
その他	12	10	8	1	0	34
回答者計	281	262	211	23	5	782

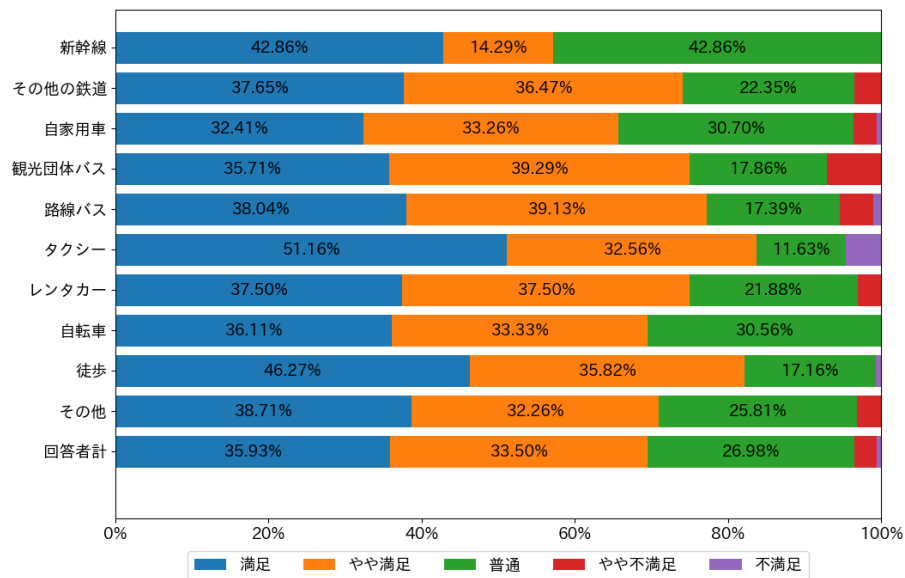


図 5.11: 山口市内での利用交通手段別の山口市訪問の満足度（構成比）

表 5.12 と図 5.12 は、移動手段別の今回の旅行の満足度を示したものである。新幹線と路線バス、観光団体バスではやや低い評価であるが、全体としては、満足とやや満足を合わせると、約 72 %が満足としている。

表 5.12: 山口市内での利用交通手段別の今回の旅行の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	合計
新幹線	3	2	1	1	9
その他の鉄道	37	30	16	2	91
自家用車	164	164	136	9	534
観光団体バス	12	9	6	1	28
路線バス	41	32	15	4	98
タクシー	27	13	2	1	44
レンタカー	32	23	9	0	65
自転車	12	15	8	0	38
徒歩	64	49	20	1	145
その他	12	10	8	1	34
回答者計	314	264	194	15	787

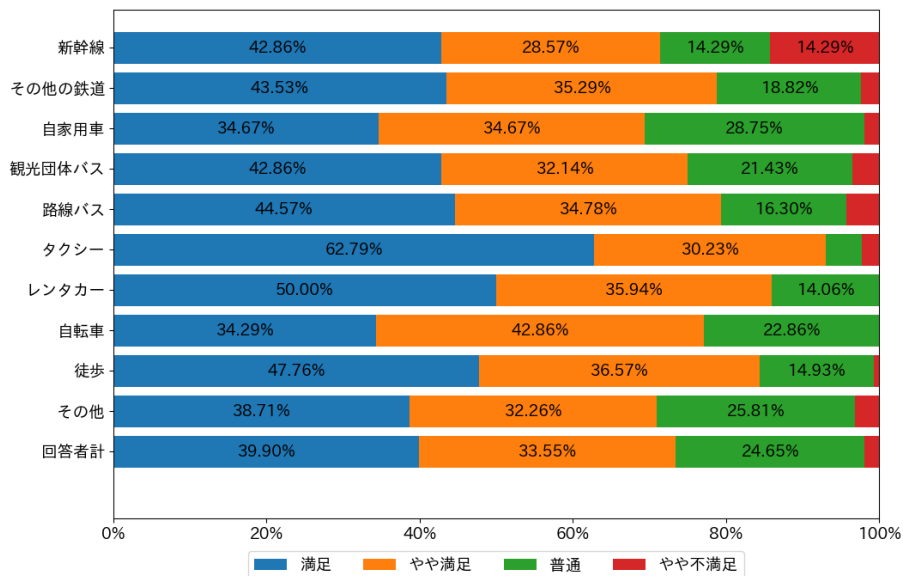


図 5.12: 山口市内での利用交通手段別の今回の旅行の満足度（構成比）

5.3 山口市内の周遊行動における満足度

表 5.13 と図 5.13 は、山口市内で立ち寄った観光地の数と観光施設の評価を示したものである。立ち寄る場所が多くなると良い評価の割合が高くなる傾向があり、6 か所以上立ち寄った訪問者は、良いとやや良いの割合は約 66 %と高くなっている。多くの観光施設に立ち寄るように周遊行動を促進することで、満足度を高くすることが可能になると考えられる。

表 5.13: 立ち寄った場所数別観光施設の評価

	良い	やや良い	普通	やや悪い	合計
0 か所	0	4	3	0	7
1 か所	20	19	44	5	88
2 か所	32	34	44	0	110
3 か所	37	34	37	5	113
4 か所	15	14	27	1	57
5 か所	20	13	18	3	54
6 か所以上	20	18	17	2	57
合計	144	136	190	16	486

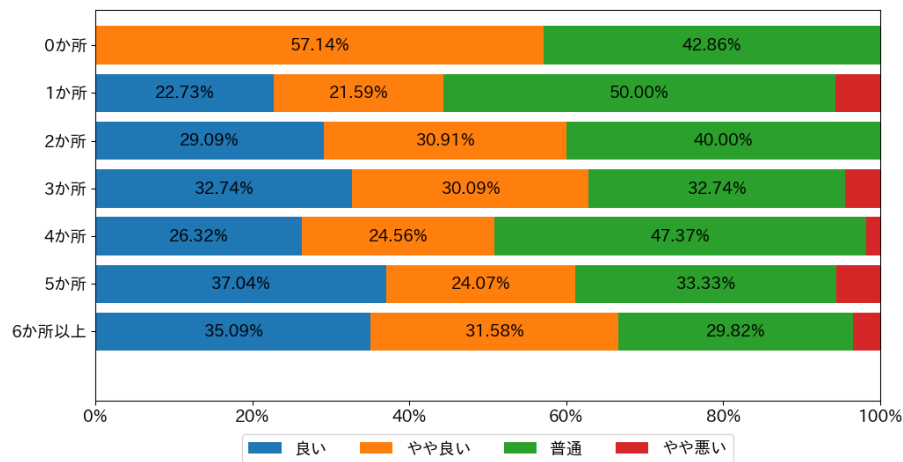


図 5.13: 立ち寄った場所数別観光施設の評価（構成比）

表 5.14 と図 5.14 は、立ち寄った主要観光施設と観光施設の評価を集計したものである。なお、立ち寄った観光施設は複数回答である。概ね良い、やや良いとする回答割合が過半数を越えている。一方で、悪いとする訪問者は少ないものの、普通と評価する訪問者も多いため、全体的な評価の底上げが必要である（回答数の少ない施設を除く）。

表 5.14: 立ち寄り観光施設別の観光施設の評価

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
瑠璃光寺五重塔	109	104	128	13	1	424
中原中也記念館	70	57	63	6	0	225
山口サビエル記念聖堂	50	45	65	5	0	196
常栄寺雪舟庭	24	35	32	5	0	113
山口市菜香亭	20	21	24	2	0	79
YCAM	5	6	6	2	0	25
狐の足あと	74	60	79	7	0	249
湯田温泉	114	104	136	11	1	418
一の坂川	31	25	47	7	0	135
SL「やまぐち」号	16	20	20	2	0	84
回答者計	191	169	235	21	1	617

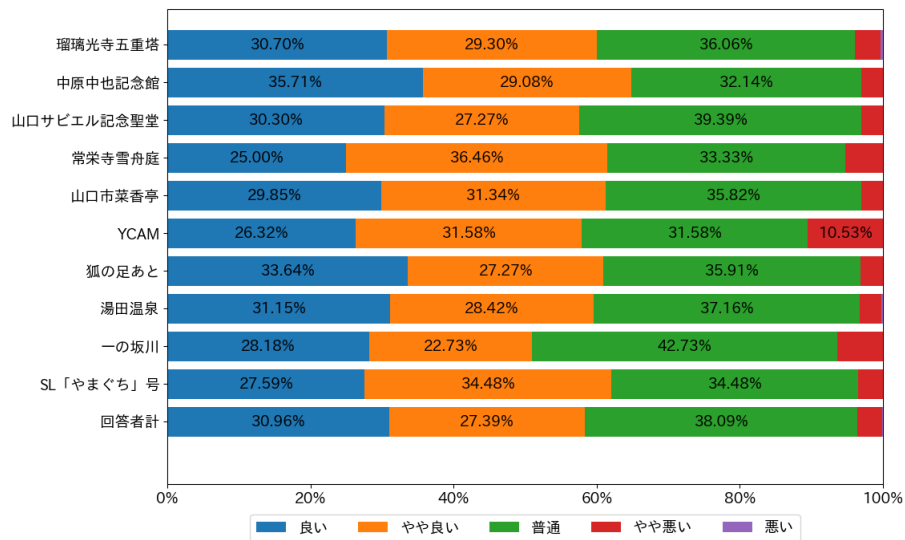


図 5.14: 立ち寄り観光施設別の観光施設の評価（構成比）

表 5.15 と図 5.15 は、立ち寄った主要観光施設における山口市訪問の満足度を示したものである。なお、立ち寄った観光施設は複数回答である。全体として、満足とやや満足を合わせると約 69 % となっている。

表 5.15: 主要観光施設と山口市訪問の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
瑠璃光寺五重塔	142	137	97	9	3	424
中原中也記念館	89	66	43	9	1	225
山口サビエル記念聖堂	58	65	46	8	0	196
常栄寺雪舟庭	30	43	25	5	0	113
山口市菜香亭	27	22	21	1	1	79
YCAM	8	6	4	2	0	25
狐の足あと	91	73	59	8	1	249
湯田温泉	146	134	97	10	2	418
一の坂川	36	46	34	4	1	135
SL「やまぐち」号	23	28	16	1	0	84
回答者計	240	230	175	18	4	667

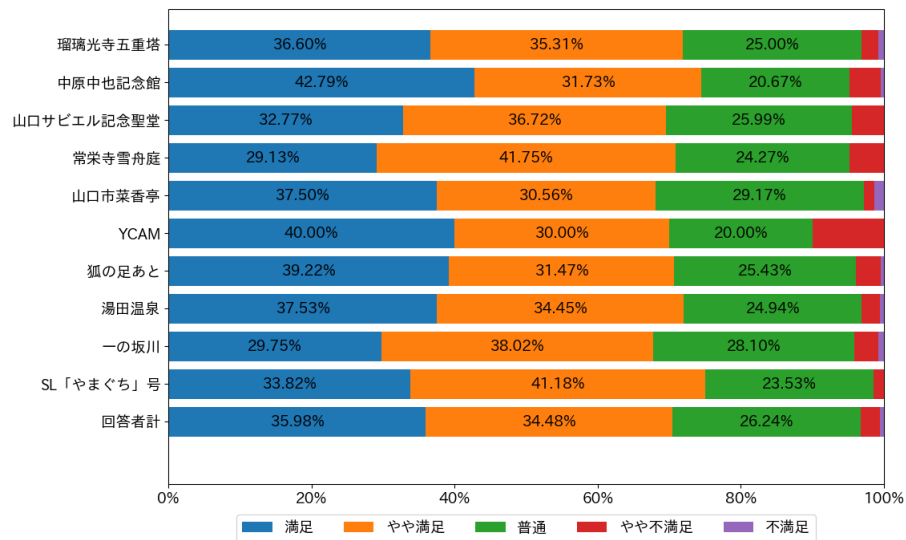


図 5.15: 主要観光施設と山口市訪問の満足度（構成比）

表 5.16 と図 5.16 は、立ち寄った主要観光施設における今回の旅行の満足度を示したものである。なお、立ち寄った観光施設は複数回答である。満足とやや満足を合計すると全体的に約 74 % が満足している。

表 5.16: 主要観光施設と今回の旅行の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満	合計
瑠璃光寺五重塔	161	138	82	6	424
中原中也記念館	100	63	39	5	225
山口サビエル記念聖堂	69	71	33	3	196
常栄寺雪舟庭	36	44	21	2	113
山口市菜香亭	26	30	15	1	79
YCAM	8	6	4	2	25
狐の足あと	100	78	47	5	249
湯田温泉	172	135	76	7	418
一の坂川	42	45	31	2	135
SL「やまぐち」号	27	31	12	1	84
回答者計	279	226	152	12	669

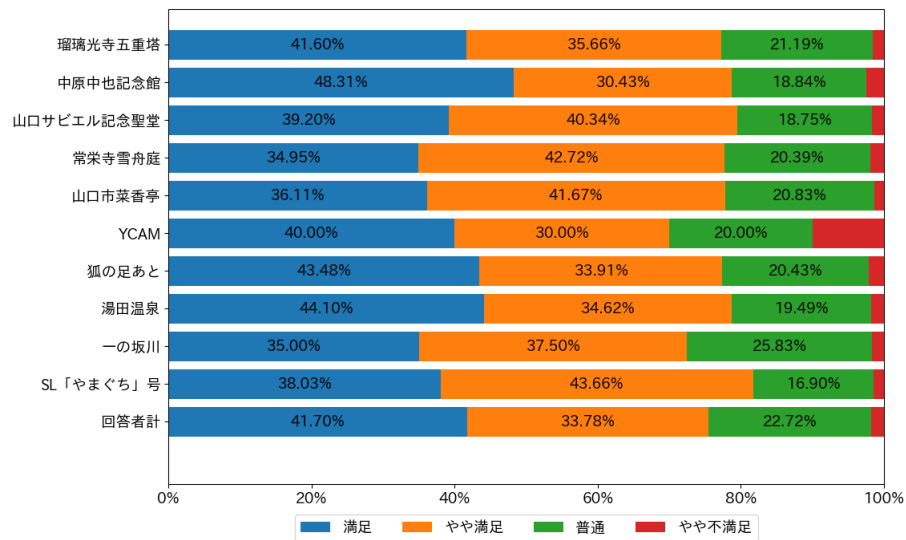


図 5.16: 主要観光施設と今回の旅行の満足度（構成比）

表 5.17 と図 5.17 は、立ち寄り地区別の山口市訪問の満足度を示したものである。なお、立ち寄った地区は複数回答である。満足とやや満足を合計すると全体的に約 67 %が満足しているといえる。

表 5.17: 立ち寄り地区別の山口市訪問の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	合計
岩国地区	34	23	25	6	0	95
柳井大島地区	9	14	10	5	1	42
周南地区	39	26	27	4	0	103
県央地区	35	30	26	4	0	100
萩・長門地区	100	100	77	11	1	325
下関地区	64	64	43	6	1	190
宇部・小野田地区	50	51	39	5	2	154
山口県外	42	58	43	4	2	160
回答者計	197	198	168	14	3	580

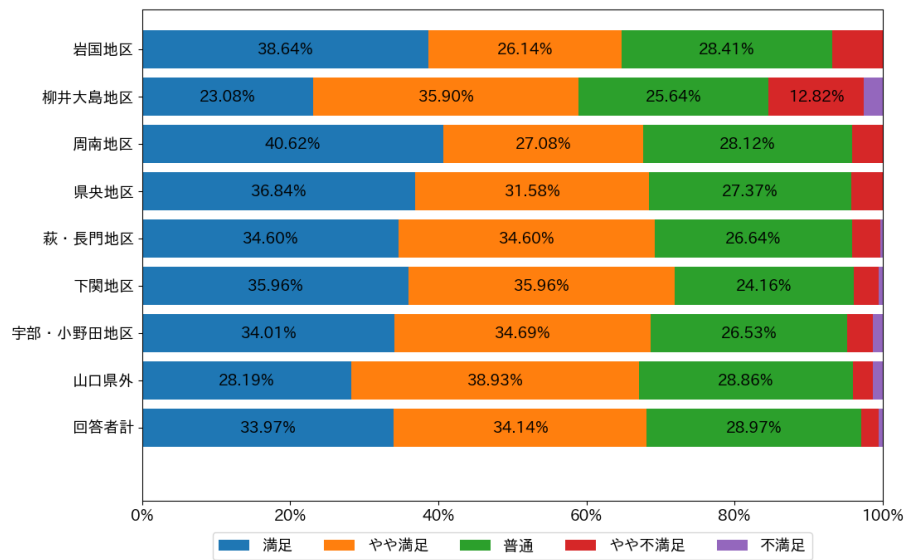


図 5.17: 立ち寄り地区別の山口市訪問の満足度（構成比）

表 5.18 と図 5.18 は、立ち寄り地区別の今回の旅行の満足度を示したものである。なお、立ち寄った地区は複数回答である。満足と回答した割合は高い地区と低い地区では 12 %ポイント程度の差がある。柳井大島地区は、満足の割合がやや低くなっている。

表 5.18: 立ち寄り地区別の今回の旅行の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満足	合計
岩国地区	35	28	21	4	95
柳井大島地区	13	14	11	2	42
周南地区	40	27	27	5	103
県央地区	42	28	22	3	100
萩・長門地区	119	102	63	6	325
下関地区	74	63	36	2	190
宇部・小野田地区	61	49	31	4	154
山口県外	59	53	36	3	160
回答者計	231	197	144	10	582

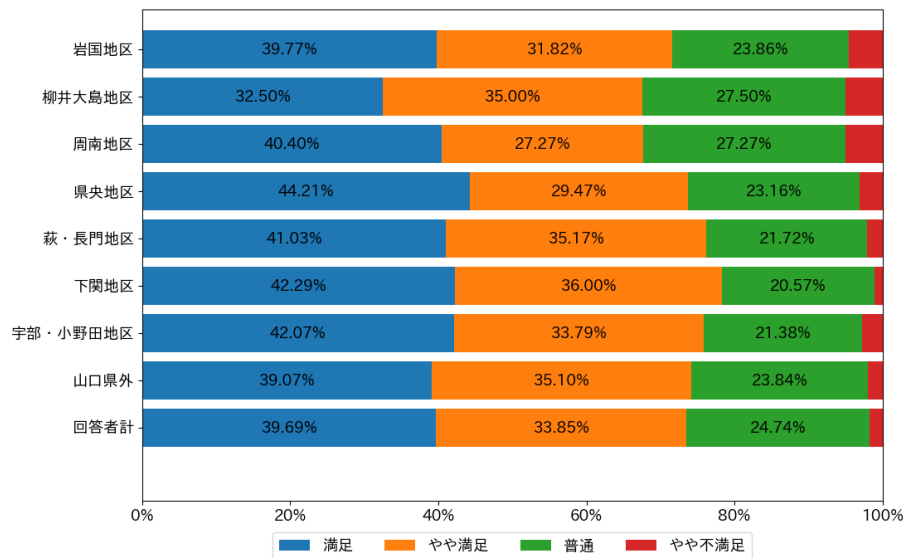


図 5.18: 立ち寄り地区別の今回の旅行の満足度（構成比）

5.4 満足度の決定要因

(1) 評価と満足度 表 5.19 および、表 5.20 は、山口市への訪問者について、宿泊施設や交通などの各項目の評価と満足度を集計したものである。左の列ほど良い評価（良い・満足・価格が安い・楽しかったなど）の数・割合を、右の列ほど悪い評価（悪い・不満足・価格が高い・大変だったなど）の数・割合を表している。満足度の高い観光地は、口コミなどを通じて、その高い評価が潜在的な観光客に紹介される。一方、満足度が低いと逆の効果もたらされ、観光客数やリピーター数の減少につながる。したがって、満足度は観光地の魅力や評価と密接に関わる指標であり、満足度を向上させることは、訪れた観光客の再訪を促すという直接的な効果だけでなく、潜在的な観光客を惹きつける間接的な効果も期待される。

図 5.19 は、各項目の評価と満足度を示したグラフである。評価・満足度に関して、一部の項目では普通の割合が非常に高い傾向がある。宿泊施設の料金と土産物の価格と品揃えについて、50～80%程度の旅行者が普通と評価している。なかでも土産物の価格は約 75%、品揃えは 65%程度が普通としている。

また、乗り継ぎに関してやや大変と評価する割合が高い。交通の便の満足度に関しては、他の項目よりと比べてネガティブな評価の割合が高い傾向にあるが、乗り継ぎについては、やや大変の割合が 19.8%であり、他の項目に比べて高い割合となっている。したがって、山口市における観光政策を計画するうえで、交通の便を向上させるような計画の立案が必要といえる。

表 5.19: 各項目の評価・満足度の回答数

		良い/ 満足等	やや良い/ やや満足等	普通	やや悪い/ やや不満足等	悪い/ 不満足等	合計
宿泊施設	料金	77	76	299	78	10	540
	料理	165	100	227	21	3	516
	風呂	219	136	175	13	0	543
	接客態度	239	132	158	10	2	541
	部屋	173	114	204	28	2	521
	施設設備	154	107	237	22	6	526
交通の便	乗り継ぎ	94	78	203	98	22	495
	道路標識	193	121	281	52	9	656
	観光案内板	197	130	271	56	12	666
土産物	価格	41	74	574	54	3	746
	品揃え	71	78	462	97	6	714
食事（宿泊施設以外）		180	177	328	39	5	729
観光施設		223	202	290	27	1	743
山口市訪問の満足度		291	270	227	23	5	816
今回の旅行の満足度		329	272	206	15	0	822

表 5.20: 各項目の評価・満足度の回答割合 (%)

		良い/ 満足等	やや良い/ やや満足等	普通	やや悪い/ やや不満足等	悪い/ 不満足等	合計
宿泊施設	料金	14.26	14.07	55.37	14.44	1.85	100.00
	料理	31.98	19.38	43.99	4.07	0.58	100.00
	風呂	40.33	25.05	32.23	2.39	0.00	100.00
	接客態度	44.18	24.40	29.21	1.85	0.37	100.00
	部屋	33.21	21.88	39.16	5.37	0.38	100.00
	施設設備	29.28	20.34	45.06	4.18	1.14	100.00
交通の便	乗り継ぎ	18.99	15.76	41.01	19.80	4.44	100.00
	道路標識	29.42	18.45	42.84	7.93	1.37	100.00
	観光案内板	29.58	19.52	40.69	8.41	1.80	100.00
土産物	価格	5.50	9.92	76.94	7.24	0.40	100.00
	品揃え	9.94	10.92	64.71	13.59	0.84	100.00
食事（宿泊施設以外）		24.69	24.28	44.99	5.35	0.69	100.00
観光施設		30.01	27.19	39.03	3.63	0.13	100.00
山口市訪問の満足度		35.66	33.09	27.82	2.82	0.61	100.00
今回の旅行の満足度		40.02	33.09	25.06	1.82	0.00	100.00

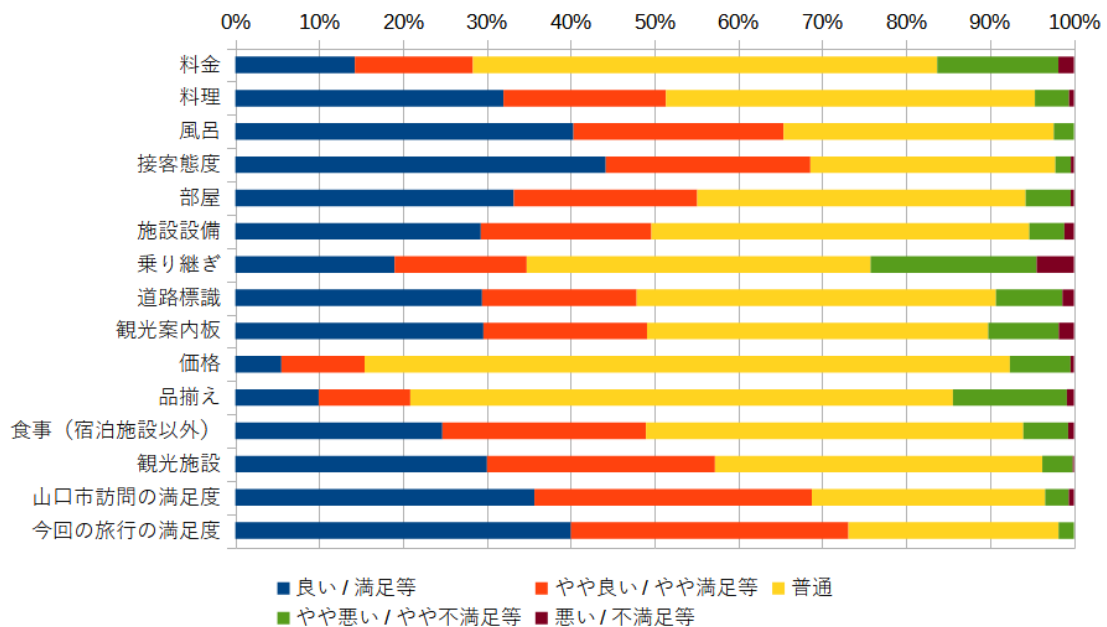


図 5.19: 各項目の評価・満足度の回答割合 (%)

(2) 評価・満足度の相関係数 満足度を向上させるための方策を検討するために、満足度がどのような要因によって決定されるのかを分析する。以下では評価・満足度を5段階で点数化し、各種の分析を行う。この点数化では、良い・満足などの最もポジティブな評価に対して5点を、悪い・不満足といった最もネガティブな評価に対して1点を与える。

表 5.21 は、各評価・満足度間の相関関係を集約したものである。いずれの評価・満足度の間においても数値が正の値であることから、各評価・満足度間には概ね正の相関関係があるといえる。なお、相関係数が 0.5 を超えるものは文字を赤色で示し、相関係数が 0.8 を超えるものはさらに背景色を黄色で示している。相関係数が高いことは、それぞれの評価・満足度が互いに影響を及ぼしていると解釈できる（あるいは背後に影響を与えている共通の要因があると解釈できる）。

宿泊施設における各評価間では相関係数が高く、それぞれの評価間で比較的強い相関があることがわかる。また、道路標識と観光案内板、お土産の価格と品揃えの相関も強い。

山口市訪問の満足度に着目すると、観光施設との間で相関関係が比較的高いことがわかる。今回の旅行の満足度については、山口市訪問の満足度と相関が非常に強く、観光施設との相関も強い。したがって、山口市訪問の満足度だけでなく旅行全体の満足度を高めるためにも、観光施設の充実が重要な方策といえる。

表 5.21: 評価・満足度の相関係数

	料金	料理	風呂	接客 態度	部屋	施設 設備	乗り 継ぎ	道路 標識	観光案 内板	価格	品揃え	食事 (宿泊 施設以 外)	観光 施設	山口市 訪問の 満足度	今回の 旅行の 満足度
料金	1.000														
料理	0.306	1.000													
風呂	0.145	0.613	1.000												
接客態度	0.265	0.634	0.625	1.000											
部屋	0.141	0.566	0.698	0.671	1.000										
施設設備	0.178	0.603	0.655	0.639	0.835	1.000									
乗り継ぎ	0.190	0.305	0.220	0.293	0.263	0.226	1.000								
道路標識	0.210	0.340	0.242	0.329	0.276	0.282	0.516	1.000							
観光案内板	0.221	0.360	0.267	0.352	0.335	0.356	0.517	0.805	1.000						
価格	0.346	0.299	0.266	0.244	0.290	0.321	0.320	0.317	0.343	1.000					
品揃え	0.250	0.270	0.311	0.192	0.341	0.349	0.219	0.287	0.347	0.579	1.000				
食事（宿泊施設以外）	0.244	0.403	0.436	0.416	0.452	0.471	0.259	0.278	0.354	0.358	0.397	1.000			
観光施設	0.213	0.414	0.435	0.455	0.495	0.479	0.350	0.371	0.429	0.283	0.367	0.559	1.000		
山口市訪問の満足度	0.190	0.425	0.509	0.450	0.582	0.553	0.327	0.336	0.400	0.247	0.350	0.603	0.683	1.000	
今回の旅行の満足度	0.179	0.444	0.493	0.488	0.585	0.546	0.299	0.337	0.390	0.221	0.309	0.520	0.680	0.856	1.000

(3) 山口市訪問の満足度（重回帰式） 山口市訪問の満足度の要因を詳細に分析することを目的に、山口市訪問の満足度を目的変数とし、他の評価項目を説明変数として重回帰分析を行った。推定結果は下記の式の通りである。

山口市訪問の満足度						
= 0.483	+	0.012× 料金	-	0.032× 料理	+	0.14× 風呂
(2.031)*		(0.286)		(-0.546)		(2.309)*
	-	0.043× 接客態度	+	0.179× 施設設備		
		(-0.698)		(3.051)**		
	+	0.058× 乗り継ぎ	+	0.006× 道路標識	+	0.039× 観光案内板
		(0.041)		(0.066)		(0.065)
	-	0.127× 価格	+	0.039× 品揃え		
		(-1.771)		(0.659)		
	+	0.243× 食事（宿泊施設以外）	+	0.407× 観光施設		
		(4.763)**		(7.402)**		

標本の大きさ：272, 自由度調整済み検定係数：0.582, F 値：30.02**

係数下のかっこ内の数字は t 値であり、t 値右上の*は 5%有意、**は 10%有意を表す。

なお、互いに相関の強い複数の変数を説明変数に含めて回帰分析を行うと、回帰係数の標準誤差が大きくなり、係数の有意性検定に影響する可能性が高い（多重共線性の問題）。今回のデータでは、宿泊施設の部屋に関する評価が他の変数と高い相関を持つことから、多重共線性の問題を避けるために、部屋に関する評価を説明変数から除外している。

回帰分析の結果、有意水準を 5%とすると、宿泊施設の風呂と施設設備・食事（宿泊施設以外）・観光施設は、山口市訪問の満足度に有意に正の影響を及ぼすと考えられる。つまり、宿泊施設の風呂と施設設備、そして宿泊施設以外の食事と観光施設の評価が高くなることで、山口市訪問の満足度を高くなる可能性がある。

係数の値をみると、観光施設が 0.407 と最も高く、次に食事が 0.243 となっていることから、観光施設と食事の評価を上げることは、山口市訪問の満足度を上げる特に効果的な施策といえる。

(4) 今回の旅行の満足度（重回帰式） 今回の旅行の満足度を目的変数とし、他の評価項目を説明変数として重回帰分析を行った。推定結果は以下のとおりである。なお、山口市訪問の満足度の分析と同様、多重共線性の問題を避けるため、宿泊施設の部屋に関する評価を説明変数から除外している。

山口市訪問の満足度							
=	0.989	+	0.001× 料金	+	0.008× 料理	+	0.086× 風呂
	(4.306)**		(0.014)		(0.146)		(1.476)
		+	0.047× 接客態度	+	0.151× 施設設備		
			(0.788)		(2.672)**		
		+	0.019× 乗り継ぎ	+	0.022× 道路標識	+	0.031× 観光案内板
			(0.485)		(0.355)		(0.499)
		−	0.106× 価格	+	0.021× 品揃え		
			(−1.528)		(0.367)		
		+	0.109× 食事（宿泊施設以外）	+	0.424× 観光施設		
			(2.22)*		(8.0)**		

標本の大きさ：272, 自由度調整済み検定係数：0.531, F 値：26.61**

係数下のかっこ内の数字は t 値であり、t 値右上の*は 5%有意、**は 10%有意を表す。

回帰分析の結果、有意水準を 5%とすると、宿泊施設の施設設備・食事（宿泊施設以外）・観光施

設は、山口市訪問の満足度に有意に正の影響を及ぼすと考えられる。つまり、旅行全体の満足度を高めるのは、宿泊施設の施設設備、宿泊施設以外の食事、および観光施設に対する高い評価である。

係数の値をみると、観光施設が 0.424、宿泊施設の施設設備が 0.151 であり、観光施設と宿泊施設の施設設備に対する評価は、旅行全体の満足度に大きく影響するといえる。

第Ⅱ部 2009年から2022年における 調査結果

第6章 時系列の集計結果

6.1 各回答項目の推移

この章では、2009年から2022年において行ったアンケート調査結果を時系列にまとめている。なお、この期間中にアンケートの調査項目や選択肢が変更されたものについて、同一の項目・選択肢とみなされるものは統一して表示している。また、新設された項目については一定程度経過したものを掲載している。

(1) 性別 表6.1、表6.2および図6.1は、2009年から2022年までの性別の回答数と構成比の推移を表したものである。2022年時点では、男性が41.67%、女性が58.33%となっている。また、対象期間の平均値でみると、男性は41.57%、女性は58.43%となっている。これまでの推移に大きな変化はなく、いずれも男性よりも女性が多い結果となっている。

表 6.1: 性別の回答数

	男	女	合計
2009	136	225	361
2010	167	251	418
2011	291	436	727
2012	431	605	1036
2013	570	760	1330
2014	461	694	1155
2015	573	745	1318
2016	785	946	1731
2017	513	779	1292
2018	436	720	1156
2019	553	744	1297
2020	385	476	861
2021	305	378	683
2022	380	532	912

表 6.2: 性別の回答数（構成比、%）

	男	女	合計
2009	37.67	62.33	100.00
2010	39.95	60.05	100.00
2011	40.03	59.97	100.00
2012	41.60	58.40	100.00
2013	42.86	57.14	100.00
2014	39.91	60.09	100.00
2015	43.47	56.53	100.00
2016	45.35	54.65	100.00
2017	39.71	60.29	100.00
2018	37.72	62.28	100.00
2019	42.64	57.36	100.00
2020	44.72	55.28	100.00
2021	44.66	55.34	100.00
2022	41.67	58.33	100.00

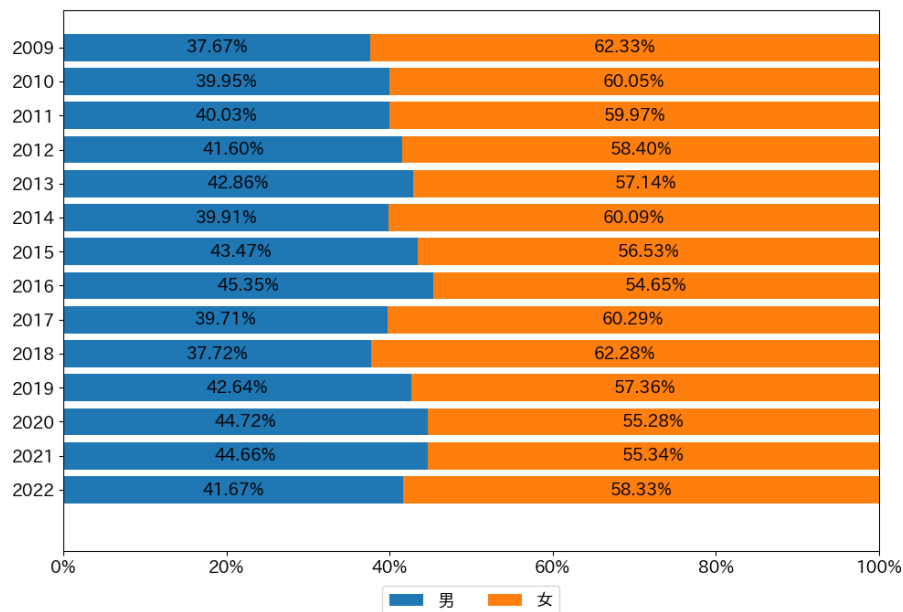


図 6.1: 性別の推移

(2) 年齢 表 6.3、表 6.4 および図 6.2 は、2009 年から 2022 年までの年齢別の回答数と構成比の推移を表したものである。多くの年で、50 代および 60 代の割合が高く、9 歳以下および 10 代の割合は低い傾向がある。

2020 年と 2021 年は特に、若年層の回答数が大きく落ち込んでいたが、2022 年はその数が 2019 年以前の水準に戻りつつあるように見える。

表 6.3: 年齢別の回答数

	9 歳以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	合計
2009	4	10	43	54	56	82	82	28	359
2010	2	10	46	74	67	95	80	40	414
2011	6	50	77	99	118	153	161	56	720
2012	18	40	87	172	196	225	196	97	1031
2013	17	50	106	168	232	290	331	131	1325
2014	17	44	105	210	211	208	247	101	1143
2015	16	41	105	191	231	308	277	130	1299
2016	11	47	170	234	278	405	408	165	1718
2017	19	81	122	163	261	265	263	114	1288
2018	10	41	117	136	200	262	238	131	1135
2019	16	46	121	165	217	302	272	141	1280
2020	2	25	62	85	136	201	210	127	848
2021	20	21	65	72	106	172	147	74	677
2022	11	45	78	95	128	195	209	145	906

表 6.4: 年齢別の回答数（構成比、％）

	9 歳以下	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代以上	合計
2009	1.11	2.79	11.98	15.04	15.60	22.84	22.84	7.80	100.00
2010	0.48	2.42	11.11	17.87	16.18	22.95	19.32	9.66	100.00
2011	0.83	6.94	10.69	13.75	16.39	21.25	22.36	7.78	100.00
2012	1.75	3.88	8.44	16.68	19.01	21.82	19.01	9.41	100.00
2013	1.28	3.77	8.00	12.68	17.51	21.89	24.98	9.89	100.00
2014	1.49	3.85	9.19	18.37	18.46	18.20	21.61	8.84	100.00
2015	1.23	3.16	8.08	14.70	17.78	23.71	21.32	10.01	100.00
2016	0.64	2.74	9.90	13.62	16.18	23.57	23.75	9.60	100.00
2017	1.48	6.29	9.47	12.66	20.26	20.57	20.42	8.85	100.00
2018	0.88	3.61	10.31	11.98	17.62	23.08	20.97	11.54	100.00
2019	1.25	3.59	9.45	12.89	16.95	23.59	21.25	11.02	100.00
2020	0.24	2.95	7.31	10.02	16.04	23.70	24.76	14.98	100.00
2021	2.95	3.10	9.60	10.64	15.66	25.41	21.71	10.93	100.00
2022	1.21	4.97	8.61	10.49	14.13	21.52	23.07	16.00	100.00

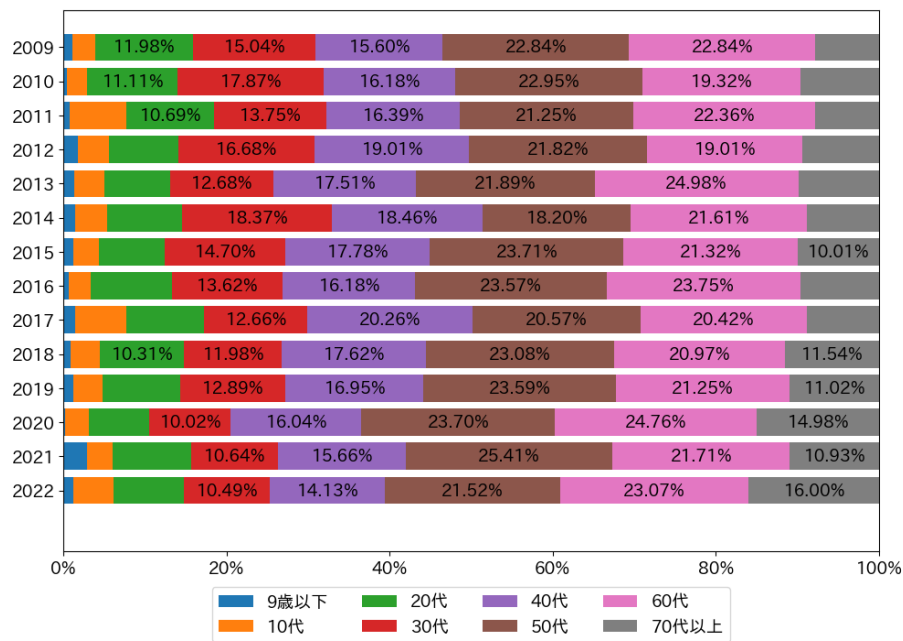


図 6.2: 年齢の推移

(3) 職業 表 6.5、表 6.6 および図 6.3 は、2009 年から 2022 年までの職業別の回答数と構成比の推移を表したものである。ほぼすべての年で、会社員の割合が高く、主婦・主夫や無職が続いている。

表 6.5: 職業別の回答数

	会社員	農林 漁業	自営業	公務 員・団 体職員	学生	主婦・ 主夫	アルバ イト・ パート	無職	その他	合計
2009	94	1	17	33	27	77	21	42	18	330
2010	123	3	14	31	20	102	22	37	27	379
2011	203	4	24	61	62	165	40	69	36	664
2012	319	18	44	99	71	237	71	109	36	1004
2013	402	11	52	151	76	284	96	198	39	1309
2014	340	13	55	104	78	278	95	144	44	1151
2015	427	14	65	145	78	274	118	150	44	1315
2016	609	19	91	206	100	340	132	195	50	1742
2017	392	6	62	144	122	262	119	142	40	1289
2018	380	9	44	104	77	218	127	150	44	1153
2019	451	3	71	136	98	230	122	148	32	1291
2020	306	2	37	73	43	164	81	142	14	862
2021	240	3	40	71	46	93	75	87	17	672
2022	276	3	54	85	73	156	98	134	25	904

表 6.6: 職業別の回答数（構成比、％）

	会社員	農林 漁業	自営業	公務 員・団 体職員	学生	主婦・ 主夫	アルバ イト・ パート	無職	その他	合計
2009	28.48	0.30	5.15	10.00	8.18	23.33	6.36	12.73	5.45	100.00
2010	32.45	0.79	3.69	8.18	5.28	26.91	5.80	9.76	7.12	100.00
2011	30.57	0.60	3.61	9.19	9.34	24.85	6.02	10.39	5.42	100.00
2012	31.77	1.79	4.38	9.86	7.07	23.61	7.07	10.86	3.59	100.00
2013	30.71	0.84	3.97	11.54	5.81	21.70	7.33	15.13	2.98	100.00
2014	29.54	1.13	4.78	9.04	6.78	24.15	8.25	12.51	3.82	100.00
2015	32.47	1.06	4.94	11.03	5.93	20.84	8.97	11.41	3.35	100.00
2016	34.96	1.09	5.22	11.83	5.74	19.52	7.58	11.19	2.87	100.00
2017	30.41	0.47	4.81	11.17	9.46	20.33	9.23	11.02	3.10	100.00
2018	32.96	0.78	3.82	9.02	6.68	18.91	11.01	13.01	3.82	100.00
2019	34.93	0.23	5.50	10.53	7.59	17.82	9.45	11.46	2.48	100.00
2020	35.50	0.23	4.29	8.47	4.99	19.03	9.40	16.47	1.62	100.00
2021	35.71	0.45	5.95	10.57	6.85	13.84	11.16	12.95	2.53	100.00
2022	30.53	0.33	5.97	9.40	8.08	17.26	10.84	14.82	2.77	100.00

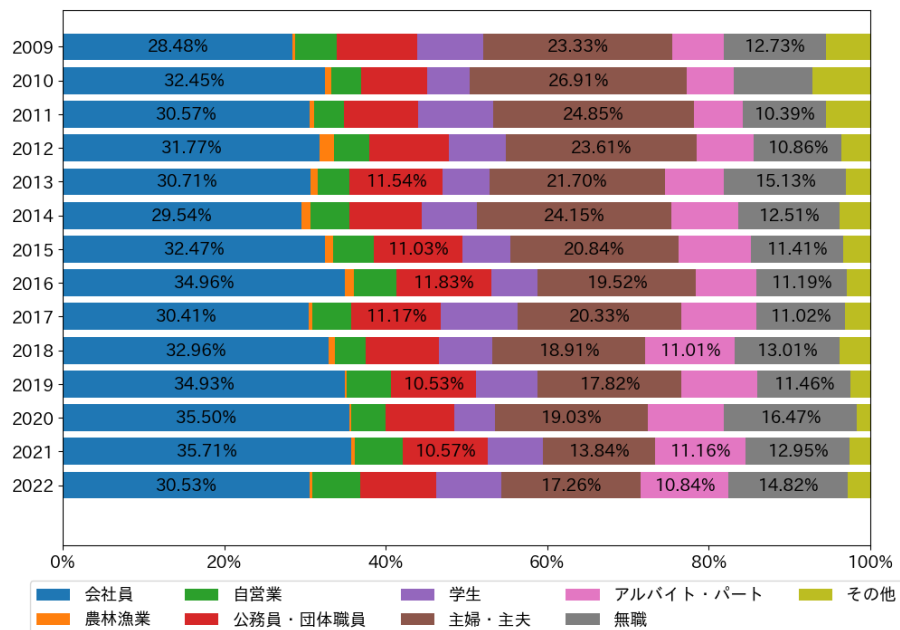


図 6.3: 職業の推移

(4) 居住地 表 6.7、表 6.8、表 6.9、表 6.10 および図 6.4、図 6.5 は、2009 年から 2022 年までの居住地別の回答数と構成比の推移を表したものである。山口県内外に区分した場合、山口県外の居住者が多い傾向がある。新型コロナウイルス感染症の影響により、2020 年以降は県内居住者の比率が上昇しているが、2022 年は、2021 年と比べて県外居住者の比率が少し上昇している。

居住地構成を地方で見た場合、山口県内を除くと、中国（山口県を除く）、九州、関東、および、近畿といった地域の居住者の割合が高い傾向にある。こちらも、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020 年以降は県外（特に関東地方）の居住者の割合が下降している。

表 6.7: 居住地別（山口県内・県外）の回答数

	山口県内	山口県外	全域
2009	111	244	355
2010	134	281	415
2011	266	456	722
2012	330	716	1046
2013	376	967	1343
2014	348	821	1169
2015	331	1003	1334
2016	352	1410	1762
2017	314	993	1307
2018	315	851	1166
2019	293	1009	1302
2020	311	556	867
2021	295	389	684
2022	347	566	913

表 6.8: 居住地別（全国）の回答数

県内/県外	山口県内					山口県外								全域
居住地	東部	中部	北部	西部	北海道	東北	関東	甲信越	東海	近畿	中国（山口県を除く）	四国	九州	
2009	46	38	4	23	1	2	45	2	26	47	62	9	50	355
2010	58	39	3	34	1	5	55	3	14	48	61	13	81	415
2011	97	91	13	65	4	30	68	8	27	76	132	17	94	722
2012	118	95	20	97	9	14	143	13	69	147	184	23	114	1046
2013	149	91	16	120	8	20	197	24	68	189	229	27	205	1343
2014	121	92	3	132	9	9	172	23	67	128	215	33	165	1169
2015	103	124	12	92	11	17	231	17	56	193	268	33	177	1334
2016	120	119	6	107	8	15	279	17	67	294	434	63	233	1762
2017	128	100	7	79	8	12	221	23	59	191	249	47	183	1307
2018	104	92	8	111	9	7	195	17	54	158	212	29	170	1166
2019	102	84	12	95	7	7	205	18	67	195	280	28	202	1302
2020	129	80	7	95	6	3	89	9	24	120	171	18	116	867
2021	75	92	16	112	5	0	72	3	24	76	117	14	78	684
2022	43	150	16	138	4	6	124	6	36	99	140	18	133	913

表 6.9: 居住地別（山口県内・県外）の回答数（構成比、％）

	山口県内	山口県外	全域
2009	31.27	68.73	100.00
2010	32.29	67.71	100.00
2011	36.84	63.16	100.00
2012	31.55	68.45	100.00
2013	28.00	72.00	100.00
2014	29.77	70.23	100.00
2015	24.81	75.19	100.00
2016	19.98	80.02	100.00
2017	24.02	75.98	100.00
2018	27.02	72.98	100.00
2019	22.50	77.50	100.00
2020	35.87	64.13	100.00
2021	43.13	56.87	100.00
2022	38.01	61.99	100.00

表 6.10: 居住地別（全国）の回答数（構成比、%）

県内/県外	山口県内					山口県外								全域
居住地	東部	中部	北部	西部	北海道	東北	関東	甲信越	東海	近畿	中国（山口県を除く）	四国	九州	
2009	12.96	10.70	1.13	6.48	0.28	0.56	12.68	0.56	7.32	13.24	17.46	2.54	14.08	100.00
2010	13.98	9.40	0.72	8.19	0.24	1.20	13.25	0.72	3.37	11.57	14.70	3.13	19.52	100.00
2011	13.43	12.60	1.80	9.00	0.55	4.16	9.42	1.11	3.74	10.53	18.28	2.35	13.02	100.00
2012	11.28	9.08	1.91	9.27	0.86	1.34	13.67	1.24	6.60	14.05	17.59	2.20	10.90	100.00
2013	11.09	6.78	1.19	8.94	0.60	1.49	14.67	1.79	5.06	14.07	17.05	2.01	15.26	100.00
2014	10.35	7.87	0.26	11.29	0.77	0.77	14.71	1.97	5.73	10.95	18.39	2.82	14.11	100.00
2015	7.72	9.30	0.90	6.90	0.82	1.27	17.32	1.27	4.20	14.47	20.09	2.47	13.27	100.00
2016	6.81	6.75	0.34	6.07	0.45	0.85	15.83	0.96	3.80	16.69	24.63	3.58	13.22	100.00
2017	9.79	7.65	0.54	6.04	0.61	0.92	16.91	1.76	4.51	14.61	19.05	3.60	14.00	100.00
2018	8.92	7.89	0.69	9.52	0.77	0.60	16.72	1.46	4.63	13.55	18.18	2.49	14.58	100.00
2019	7.83	6.45	0.92	7.30	0.54	0.54	15.75	1.38	5.15	14.98	21.51	2.15	15.51	100.00
2020	14.88	9.23	0.81	10.96	0.69	0.35	10.27	1.04	2.77	13.84	19.72	2.08	13.38	100.00
2021	10.96	13.45	2.34	16.37	0.73	0.00	10.53	0.44	3.51	11.11	17.11	2.05	11.40	100.00
2022	4.71	16.43	1.75	15.12	0.44	0.66	13.58	0.66	3.94	10.84	15.33	1.97	14.57	100.00

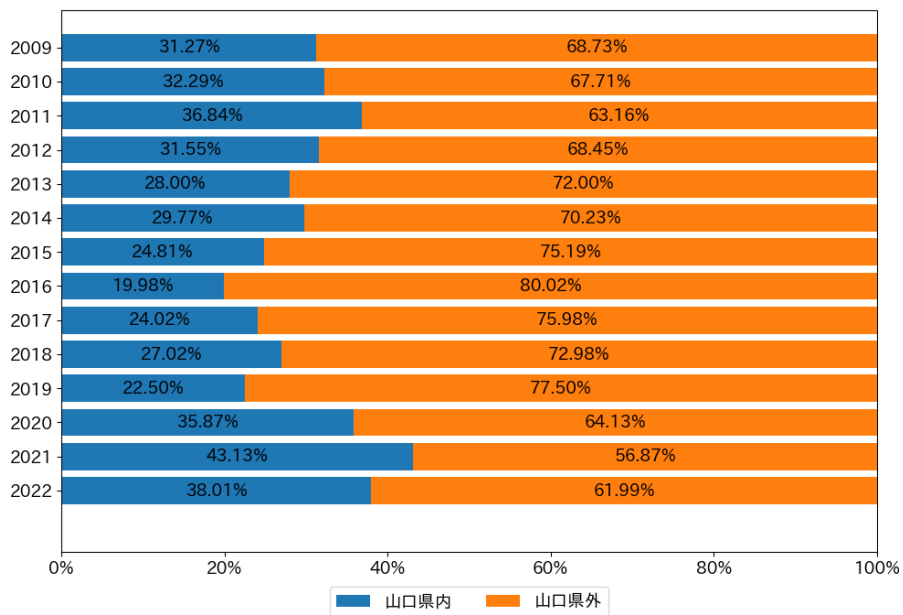


図 6.4: 居住地の推移（山口県内・県外）

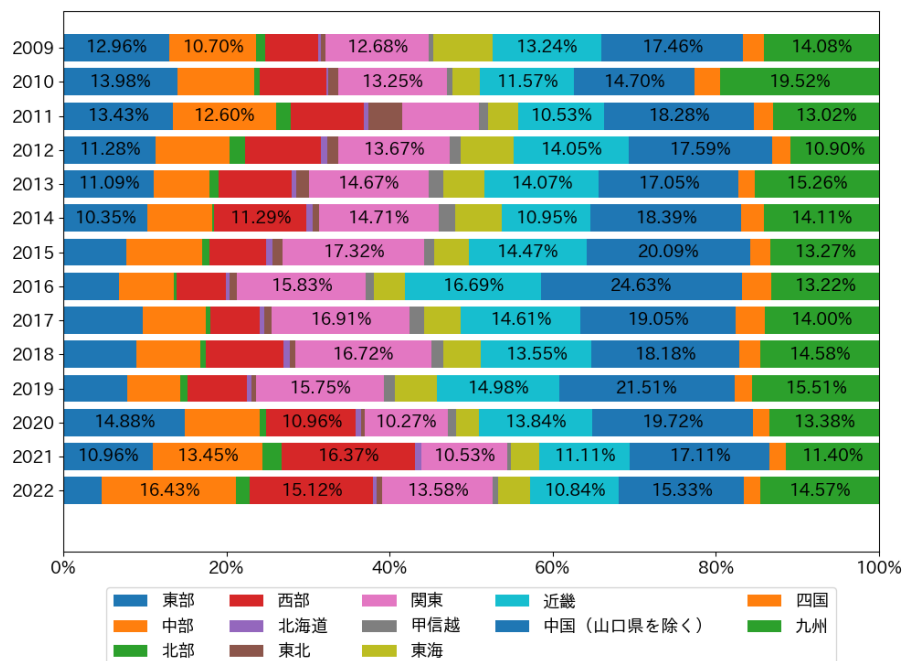


図 6.5: 居住地の推移 (全国)

(5) 山口市以外の立ち寄りエリア 表 6.11、および表 6.12 は、2009 年から 2022 年までの山口市以外で立ち寄った地域の割合を表したものである。なお、立ち寄りエリアは複数回答項目である。山口県内においては、萩・長門地区が最も多く、それに続き宇部・小野田地区と下関地区が高い割合を占めている。

表 6.11: 立ち寄りエリア別の回答数 (複数回答)

	岩国地区	柳井大島地区	周南地区	県央地区	萩・長門地区	下関地区	宇部・小野田地区	山口県外	山口市のみ	回答者計
2009	32	14	24	58	100	51	45	55		248
2010	38	24	43	70	153	86	73	82		299
2011	83	46	61	99	192	111	107	114		472
2012	113	65	88	109	325	206	197	230	121	724
2013	174	59	129	165	386	252	277	270	233	1150
2014	158	77	134	161	394	238	251	218	214	1027
2015	152	68	130	183	418	267	236	277	243	1155
2016	251	81	153	223	505	322	337	341	326	1540
2017	170	70	134	182	448	264	309	243	231	1160
2018	165	55	115	134	394	232	254	250	247	1029
2019	180	78	154	164	431	313	327	279	224	1149
2020	105	50	102	137	256	181	194	156	171	760
2021	78	30	75	97	179	107	129	119	153	598
2022	95	42	103	100	325	190	154	160	168	804

表 6.12: 立ち寄りエリア別の回答数（複数回答、構成比、%）

	岩国地区	柳井大島地区	周南地区	県央地区	萩・長門地区	下関地区	宇部・小野田地区	山口県外	山口市のみ	回答者計
2009	12.90	5.65	9.68	23.39	40.32	20.56	18.15	22.18		100.00
2010	12.71	8.03	14.38	23.41	51.17	28.76	24.41	27.42		100.00
2011	17.58	9.75	12.92	20.97	40.68	23.52	22.67	24.15		100.00
2012	15.61	8.98	12.15	15.06	44.89	28.45	27.21	31.77	16.71	100.00
2013	15.13	5.13	11.22	14.35	33.57	21.91	24.09	23.48	20.26	100.00
2014	15.38	7.50	13.05	15.68	38.36	23.17	24.44	21.23	20.84	100.00
2015	13.16	5.89	11.26	15.84	36.19	23.12	20.43	23.98	21.04	100.00
2016	16.30	5.26	9.94	14.48	32.79	20.91	21.88	22.14	21.17	100.00
2017	14.66	6.03	11.55	15.69	38.62	22.76	26.64	20.95	19.91	100.00
2018	16.03	5.34	11.18	13.02	38.29	22.55	24.68	24.30	24.00	100.00
2019	15.67	6.79	13.40	14.27	37.51	27.24	28.46	24.28	19.50	100.00
2020	13.82	6.58	13.42	18.03	33.68	23.82	25.53	20.53	22.50	100.00
2021	13.04	5.02	12.54	16.22	29.93	17.89	21.57	19.90	25.59	100.00
2022	11.82	5.22	12.81	12.44	40.42	23.63	19.15	19.90	20.90	100.00

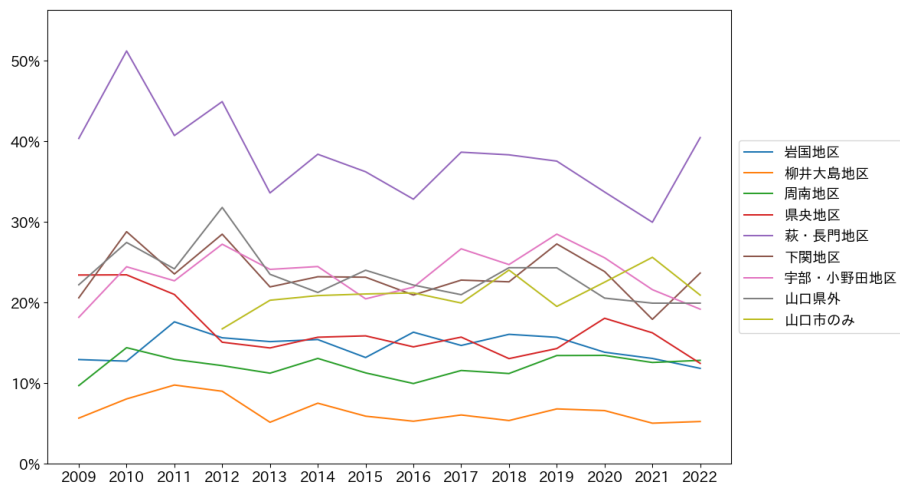


図 6.6: 立ち寄りエリアの推移

(6) 旅行の主な目的 表 6.13、表 6.14 および図 6.7 は、2009 年から 2022 年までの旅行の主な目的を表したものである。いずれの年も観光・旅行・温泉を目的とした訪問が最も多くなっている。2011 年は、大会・イベント出席の割合が増加しているが、山口国体・山口大会の影響と考えられ、その後の割合は低下している。また、2020 年以降、テレワークの普及もあり、ビジネス・公用目的の回答数・割合が低下傾向にある。

表 6.13: 訪問目的別の回答数

	観光・旅行・ 温泉	ビジネス・ 公用	家族・親族 等への訪問	スポーツ 観戦	大会・イベ ント出席	その他	合計
2009	262	16	25		17	35	355
2010	286	21	35		22	46	410
2011	443	11	85		89	74	702
2012	687	51	123		58	94	1013
2013	835	78	153		103	124	1293
2014	749	54	143		80	95	1121
2015	921	96	133		81	72	1303
2016	1202	114	197	17	84	103	1717
2017	906	73	128	17	81	83	1288
2018	847	63	80	18	64	65	1137
2019	937	63	121	28	54	67	1270
2020	640	26	73	9	21	66	835
2021	528	20	52	11	12	41	664
2022	749	19	63	8	22	61	922

表 6.14: 訪問目的別の回答数（構成比、％）

	観光・旅行・ 温泉	ビジネス・ 公用	家族・親族 等への訪問	スポーツ 観戦	大会・イベ ント出席	その他	合計
2009	73.80	4.51	7.04		4.79	9.86	100.00
2010	69.76	5.12	8.54		5.37	11.22	100.00
2011	63.11	1.57	12.11		12.68	10.54	100.00
2012	67.82	5.03	12.14		5.73	9.28	100.00
2013	64.58	6.03	11.83		7.97	9.59	100.00
2014	66.82	4.82	12.76		7.14	8.47	100.00
2015	70.68	7.37	10.21		6.22	5.53	100.00
2016	70.01	6.64	11.47	0.99	4.89	6.00	100.00
2017	70.34	5.67	9.94	1.32	6.29	6.44	100.00
2018	74.49	5.54	7.04	1.58	5.63	5.72	100.00
2019	73.78	4.96	9.53	2.20	4.25	5.28	100.00
2020	76.65	3.11	8.74	1.08	2.51	7.90	100.00
2021	79.52	3.01	7.83	1.66	1.81	6.17	100.00
2022	81.24	2.06	6.83	0.87	2.39	6.62	100.00

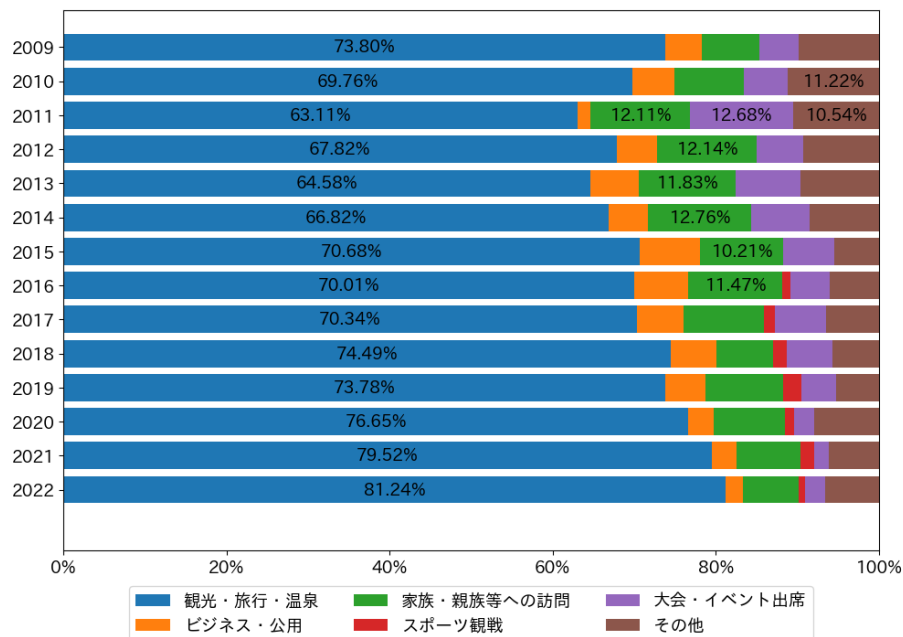


図 6.7: 訪問目的の推移

(7) 山口市を候補にあげたきっかけの媒体 表 6.15、表 6.16 および図 6.8 は、2009 年から 2022 年までの山口市を旅行先の候補にあげたきっかけとなった媒体別の回答数である。本質問は、回答数を一つのみ選択するものである。割合としては、その他が最も高く、続いて友人・知人が高い傾向がある。2015 年と 2018 年は例年に比べテレビの割合が高くなっており、大河ドラマの放映ややまぐち夢花博の開催が影響していると考えられる。

表 6.15: きっかけとなった媒体別の回答数

	テレビ	ラジオ	新聞	ガイド ブック	旅行誌	旅行誌・ガ イド ブック	ポスター	行政およ び観光協 会のパン フレット
2009	10	2	8			46	1	19
2010	15	4	10			46	1	21
2011	25	4	19			92	3	47
2012	35	9	18	79	82		6	80
2013	44	11	44	98	91		13	69
2014	54	5	26	91	90		13	60
2015	135	9	36	87	68		9	69
2016	94	16	33	78	98		10	85
2017	72	14	29	36	102		20	72
2018	117	10	18			125	18	88
2019	82	8	18			175	10	78
2020	58	3	11			102	5	54
2021	51	3	9			66	3	71
2022	91	2	21			101	8	85

	旅行会社の パンフ レット	友人・知人	インター ネット	観光情報サ イト	個人のプロ グ・SNS	その他	合計
2009	43	76	38			90	333
2010	31	116	32			122	398
2011	32	156	78			223	679
2012	70	190	96			315	980
2013	77	276	165			359	1247
2014	50	236	124			340	1089
2015	57	246	159			397	1272
2016	97	366	128	104	15	556	1680
2017	102	229		144	31	404	1255
2018	59	170		130	29	357	1121
2019	55	247		139	33	410	1255
2020	33	136		117	24	277	820
2021	14	95		88	28	228	656
2022	42	145		128	32	233	888

表 6.16: きっかけとなった媒体別の回答数（構成比、％）

	テレビ	ラジオ	新聞	ガイド ブック	旅行誌	旅行誌・ガ イド ブック	ポスター	行政およ び観光協 会のパン フレット
2009	3.00	0.60	2.40			13.81	0.30	5.71
2010	3.77	1.01	2.51			11.56	0.25	5.28
2011	3.68	0.59	2.80			13.55	0.44	6.92
2012	3.57	0.92	1.84	8.06	8.37		0.61	8.16
2013	3.53	0.88	3.53	7.86	7.30		1.04	5.53
2014	4.96	0.46	2.39	8.36	8.26		1.19	5.51
2015	10.61	0.71	2.83	6.84	5.35		0.71	5.42
2016	5.60	0.95	1.96	4.64	5.83		0.60	5.06
2017	5.74	1.12	2.31	2.87	8.13		1.59	5.74
2018	10.44	0.89	1.61			11.15	1.61	7.85
2019	6.53	0.64	1.43			13.94	0.80	6.22
2020	7.07	0.37	1.34			12.44	0.61	6.59
2021	7.77	0.46	1.37			10.06	0.46	10.82
2022	10.25	0.23	2.36			11.37	0.90	9.57

	旅行会社の パンフ レット	友人・知人	インター ネット	観光情報サ イト	個人のプロ グ・SNS	その他	合計
2009	12.91	22.82	11.41			27.03	100.00
2010	7.79	29.15	8.04			30.65	100.00
2011	4.71	22.97	11.49			32.84	100.00
2012	7.14	19.39	9.80			32.14	100.00
2013	6.17	22.13	13.23			28.79	100.00
2014	4.59	21.67	11.39			31.22	100.00
2015	4.48	19.34	12.50			31.21	100.00
2016	5.77	21.79	7.62	6.19	0.89	33.10	100.00
2017	8.13	18.25		11.47	2.47	32.19	100.00
2018	5.26	15.17		11.60	2.59	31.85	100.00
2019	4.38	19.68		11.08	2.63	32.67	100.00
2020	4.02	16.59		14.27	2.93	33.78	100.00
2021	2.13	14.48		13.41	4.27	34.76	100.00
2022	4.73	16.33		14.41	3.60	26.24	100.00

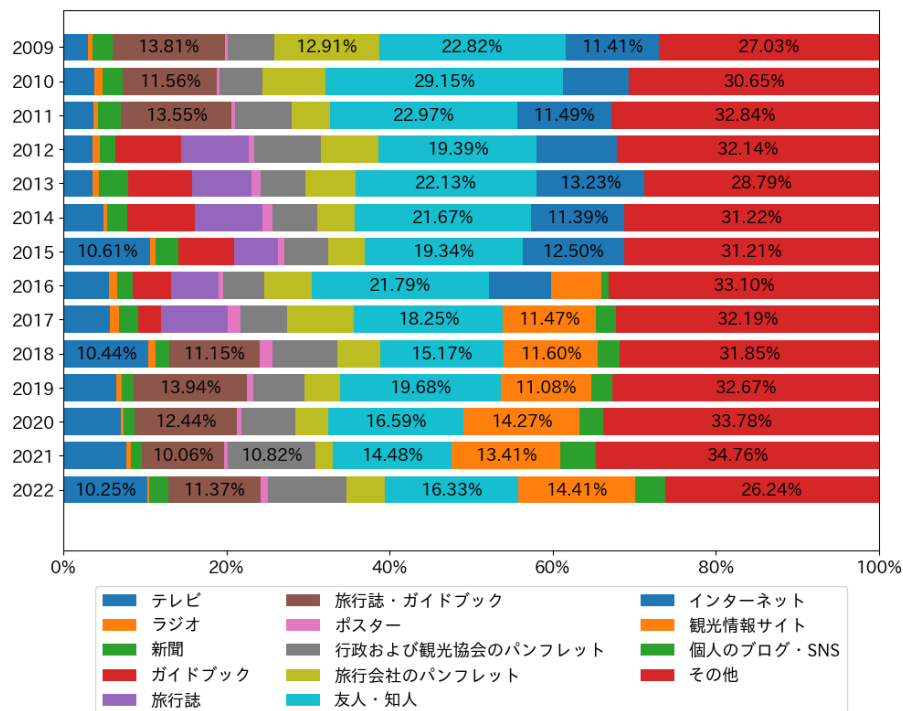


図 6.8: きっかけとなった媒体の推移

(8) 旅行の同行者 表 6.17、表 6.18 および図 6.9 は、2009 年から 2022 年までの旅行の同行者との関係について示したものである。総じて家族の割合が高い年が多く、夫婦や友人・知人がそれに続く割合の高さとなっている。また、2015 年以降はひとり旅の割合が増加している。

表 6.17: 同行者別の回答数

	ひとり	家族	夫婦	親戚	友人・知人	団体	その他	合計
2009	17	99	97	18	66	20	7	324
2010	40	159	81	8	90	18	5	401
2011	57	204	197	28	127	63	8	684
2012	62	375	270	47	134	31	18	937
2013	78	468	323	50	161	68	29	1177
2014	73	432	307	32	118	25	20	1007
2015	175	481	343	46	158	26	29	1258
2016	162	658	450	60	216	37	33	1616
2017	169	531	311	27	153	25	28	1244
2018	188	422	295	30	140	28	17	1120
2019	186	530	308	28	169	17	12	1250
2020	118	286	277	10	107	10	14	822
2021	112	264	170	13	89	5	6	659
2022	155	332	268	18	116	6	13	908

表 6.18: 同行者別の回答数（構成比、％）

	ひとり	家族	夫婦	親戚	友人・知人	団体	その他	合計
2009	5.25	30.56	29.94	5.56	20.37	6.17	2.16	100.00
2010	9.98	39.65	20.20	2.00	22.44	4.49	1.25	100.00
2011	8.33	29.82	28.80	4.09	18.57	9.21	1.17	100.00
2012	6.62	40.02	28.82	5.02	14.30	3.31	1.92	100.00
2013	6.63	39.76	27.44	4.25	13.68	5.78	2.46	100.00
2014	7.25	42.90	30.49	3.18	11.72	2.48	1.99	100.00
2015	13.91	38.24	27.27	3.66	12.56	2.07	2.31	100.00
2016	10.02	40.72	27.85	3.71	13.37	2.29	2.04	100.00
2017	13.59	42.68	25.00	2.17	12.30	2.01	2.25	100.00
2018	16.79	37.68	26.34	2.68	12.50	2.50	1.52	100.00
2019	14.88	42.40	24.64	2.24	13.52	1.36	0.96	100.00
2020	14.36	34.79	33.70	1.22	13.02	1.22	1.70	100.00
2021	17.00	40.06	25.80	1.97	13.51	0.76	0.91	100.00
2022	17.07	36.56	29.52	1.98	12.78	0.66	1.43	100.00

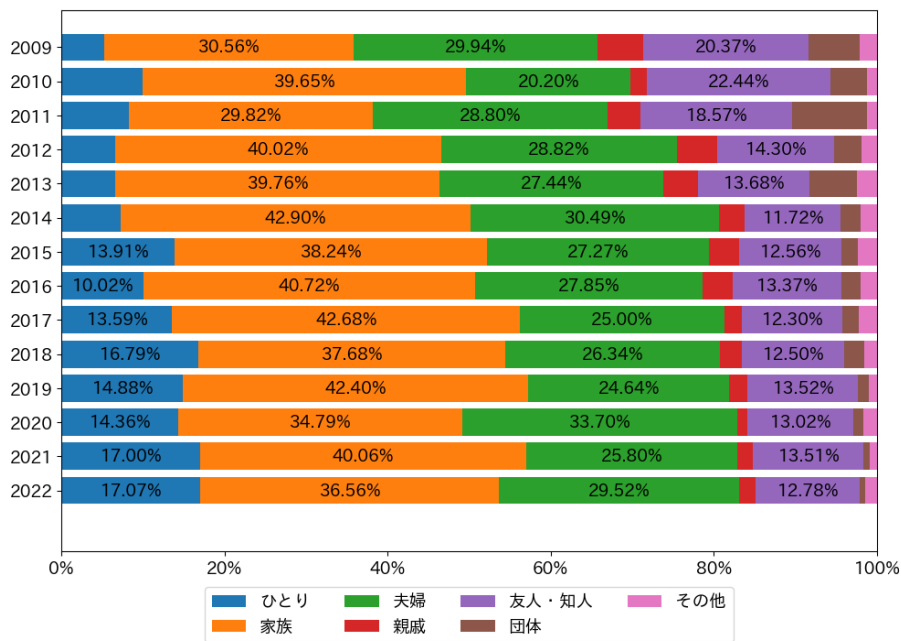


図 6.9: 同行者の推移

(9) 旅行の同行人数 表 6.19、表 6.20 および図 6.10 は、2009 年から 2022 年までの旅行の同行者の人数の推移を示したものである。多くの年で 2 人が特に高い割合を占めている年が多い。2020 年以降、少ない人数での旅行の割合が上昇している傾向がある。

表 6.19: 同行人数別の回答数

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人以上	合計
2009	63	111	57	28	24	13	5	9	21	331
2010	77	128	60	78	24	6	3	1	25	402
2011	70	327	115	57	33	15	12	4	43	676
2012	190	391	145	140	46	22	13	6	40	993
2013	183	518	198	173	49	35	22	19	66	1263
2014	149	513	184	135	58	23	11	4	30	1107
2015	174	600	196	162	83	28	9	12	31	1295
2016	230	752	285	200	84	42	20	10	48	1671
2017	197	549	220	164	59	30	15	9	27	1270
2018	194	531	170	99	61	27	8	5	37	1132
2019	194	575	190	141	72	41	12	8	28	1261
2020	142	449	114	69	26	12	12	4	9	837
2021	120	303	95	84	33	8	1	1	21	666
2022	158	469	137	74	29	12	8	3	11	901

表 6.20: 同行人数別の回答数（構成比、％）

	1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人以上	合計
2009	19.03	33.53	17.22	8.46	7.25	3.93	1.51	2.72	6.34	100.00
2010	19.15	31.84	14.93	19.40	5.97	1.49	0.75	0.25	6.22	100.00
2011	10.36	48.37	17.01	8.43	4.88	2.22	1.78	0.59	6.36	100.00
2012	19.13	39.38	14.60	14.10	4.63	2.22	1.31	0.60	4.03	100.00
2013	14.49	41.01	15.68	13.70	3.88	2.77	1.74	1.50	5.23	100.00
2014	13.46	46.34	16.62	12.20	5.24	2.08	0.99	0.36	2.71	100.00
2015	13.44	46.33	15.14	12.51	6.41	2.16	0.69	0.93	2.39	100.00
2016	13.76	45.00	17.06	11.97	5.03	2.51	1.20	0.60	2.87	100.00
2017	15.51	43.23	17.32	12.91	4.65	2.36	1.18	0.71	2.13	100.00
2018	17.14	46.91	15.02	8.75	5.39	2.39	0.71	0.44	3.27	100.00
2019	15.38	45.60	15.07	11.18	5.71	3.25	0.95	0.63	2.22	100.00
2020	16.97	53.64	13.62	8.24	3.11	1.43	1.43	0.48	1.08	100.00
2021	18.02	45.50	14.26	12.61	4.95	1.20	0.15	0.15	3.15	100.00
2022	17.54	52.05	15.21	8.21	3.22	1.33	0.89	0.33	1.22	100.00

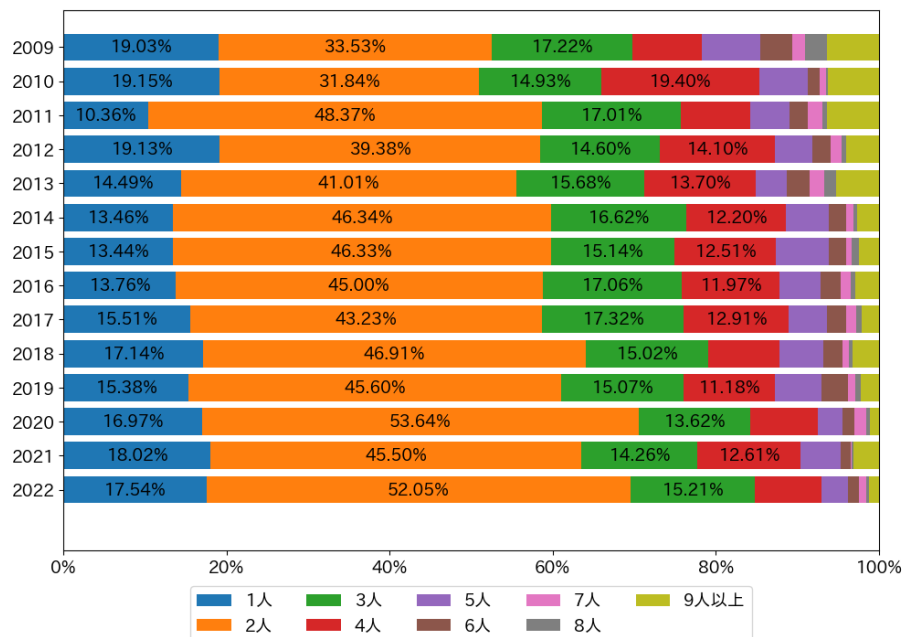


図 6.10: 同行人数の推移

(10) 山口市への旅行回数 表 6.21、表 6.22 および図 6.11 は、2009 年から 2022 年までの山口市への旅行回数の推移を示したものである。初めて（1 回）、10 回以上、および 2 回の割合が高い傾向がある。

また、初めて山口市を訪れた旅行者の割合は、2019 年まで徐々に上昇していたが、2020 年以降は下降に転じている。

表 6.21: 山口市への旅行回数別の回答数

	初めて（1 回）	2 回	3 回	4 回	5 回	6 回	7 回	8 回	9 回	10 回以上	合計
2009	81	64	37	10	37	8	5		1	93	336
2010	95	76	52	25	34	13	7	5		88	395
2011	190	78	80	33	61	21	14	5	1	190	673
2012	247	146	130	52	101	26	21	7	1	184	915
2013	305	207	177	76	119	28	28	13	6	242	1201
2014	280	175	147	49	103	39	14	14	1	201	1023
2015	304	243	143	78	131	29	24	20	4	235	1211
2016	475	272	194	91	169	48	31	23	8	268	1579
2017	337	189	164	78	119	30	17	23	1	220	1178
2018	336	172	141	67	75	24	15	21	1	183	1035
2019	369	179	159	68	104	31	15	16	1	234	1176
2020	185	108	108	44	76	26	13	12	6	188	766
2021	135	88	85	40	67	11	5	6	1	165	603
2022	179	139	112	62	74	22	6	10		215	819

表 6.22: 山口市への旅行回数別の回答数（構成比、％）

	初めて（1回）	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回以上	合計
2009	24.11	19.05	11.01	2.98	11.01	2.38	1.49		0.30	27.68	100.00
2010	24.05	19.24	13.16	6.33	8.61	3.29	1.77	1.27		22.28	100.00
2011	28.23	11.59	11.89	4.90	9.06	3.12	2.08	0.74	0.15	28.23	100.00
2012	26.99	15.96	14.21	5.68	11.04	2.84	2.30	0.77	0.11	20.11	100.00
2013	25.40	17.24	14.74	6.33	9.91	2.33	2.33	1.08	0.50	20.15	100.00
2014	27.37	17.11	14.37	4.79	10.07	3.81	1.37	1.37	0.10	19.65	100.00
2015	25.10	20.07	11.81	6.44	10.82	2.39	1.98	1.65	0.33	19.41	100.00
2016	30.08	17.23	12.29	5.76	10.70	3.04	1.96	1.46	0.51	16.97	100.00
2017	28.61	16.04	13.92	6.62	10.10	2.55	1.44	1.95	0.08	18.68	100.00
2018	32.46	16.62	13.62	6.47	7.25	2.32	1.45	2.03	0.10	17.68	100.00
2019	31.38	15.22	13.52	5.78	8.84	2.64	1.28	1.36	0.09	19.90	100.00
2020	24.15	14.10	14.10	5.74	9.92	3.39	1.70	1.57	0.78	24.54	100.00
2021	22.39	14.59	14.10	6.63	11.11	1.82	0.83	1.00	0.17	27.36	100.00
2022	21.86	16.97	13.68	7.57	9.04	2.69	0.73	1.22		26.25	100.00

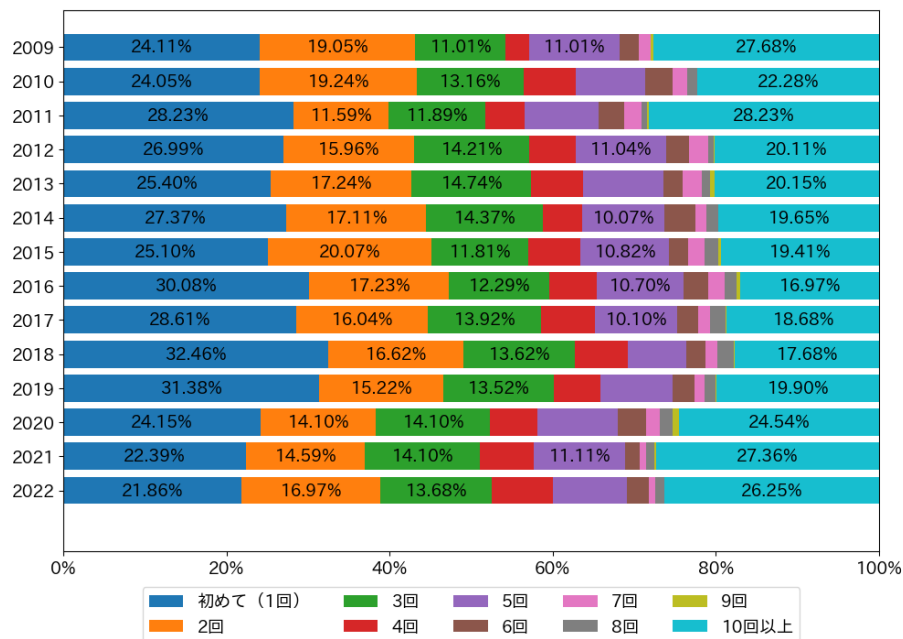


図 6.11: 山口市への旅行回数の推移

(11) 山口市への訪問月 表 6.23、表 6.24 および図 6.12 は、2012 年から 2022 年までの山口市への訪問月を示したものである。なお、本調査は、2012 年から通年の実施となったため、2012 年からの推移を示している。

2013 年以降、1 月から 7 月の訪問割合は比較的安定している。2015 年 12 月、2016 年 8 月、2018 年 4 月と 5 月、および 2019 年 8 月と 9 月は、例年同月と比較して割合が高くなっている。2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響で 5 月が少なく 10 月と 11 月の割合が大きくなっている。2021

年は自粛要請が9月26日に解除されたことから、続く10月と11月の割合が大きくなっている。2022年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う移動制限がほとんど実施されなかったこともあり、2019年以前と同様、5月や8月といった大型連休や長期休暇の時期に山口市を訪問する観光客の割合が高くなっている。

表 6.23: 山口市への旅行回数別の回答数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2012	31	2	9	8	11	104	134	147	90	95	89	80	800
2013	98	102	95	67	79	92	71	166	162	146	124	43	1245
2014	112	70	71	56	92	45	66	143	95	88	102	134	1074
2015	105	84	107	76	120	58	68	127	93	110	109	202	1259
2016	219	62	93	72	93	68	173	318	163	119	137	125	1642
2017	134	74	124	66	79	41	63	113	92	124	178	139	1227
2018	71	58	108	116	131	51	58	78	102	144	108	67	1092
2019	70	58	103	86	93	40	41	276	243	97	83	37	1227
2020	58	67	46	24	13	26	55	50	74	181	142	73	809
2021	42	33	57	48	41	16	48	59	46	80	117	55	642
2022	49	36	88	81	121	61	61	84	49	69	101	74	874

表 6.24: 山口市への旅行回数別の回答数（構成比、%）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2012	3.88	0.25	1.12	1.00	1.38	13.00	16.75	18.38	11.25	11.88	11.12	10.00	100.00
2013	7.87	8.19	7.63	5.38	6.35	7.39	5.70	13.33	13.01	11.73	9.96	3.45	100.00
2014	10.43	6.52	6.61	5.21	8.57	4.19	6.15	13.31	8.85	8.19	9.50	12.48	100.00
2015	8.34	6.67	8.50	6.04	9.53	4.61	5.40	10.09	7.39	8.74	8.66	16.04	100.00
2016	13.34	3.78	5.66	4.38	5.66	4.14	10.54	19.37	9.93	7.25	8.34	7.61	100.00
2017	10.92	6.03	10.11	5.38	6.44	3.34	5.13	9.21	7.50	10.11	14.51	11.33	100.00
2018	6.50	5.31	9.89	10.62	12.00	4.67	5.31	7.14	9.34	13.19	9.89	6.14	100.00
2019	5.70	4.73	8.39	7.01	7.58	3.26	3.34	22.49	19.80	7.91	6.76	3.02	100.00
2020	7.17	8.28	5.69	2.97	1.61	3.21	6.80	6.18	9.15	22.37	17.55	9.02	100.00
2021	6.54	5.14	8.88	7.48	6.39	2.49	7.48	9.19	7.17	12.46	18.22	8.57	100.00
2022	5.61	4.12	10.07	9.27	13.84	6.98	6.98	9.61	5.61	7.89	11.56	8.47	100.00

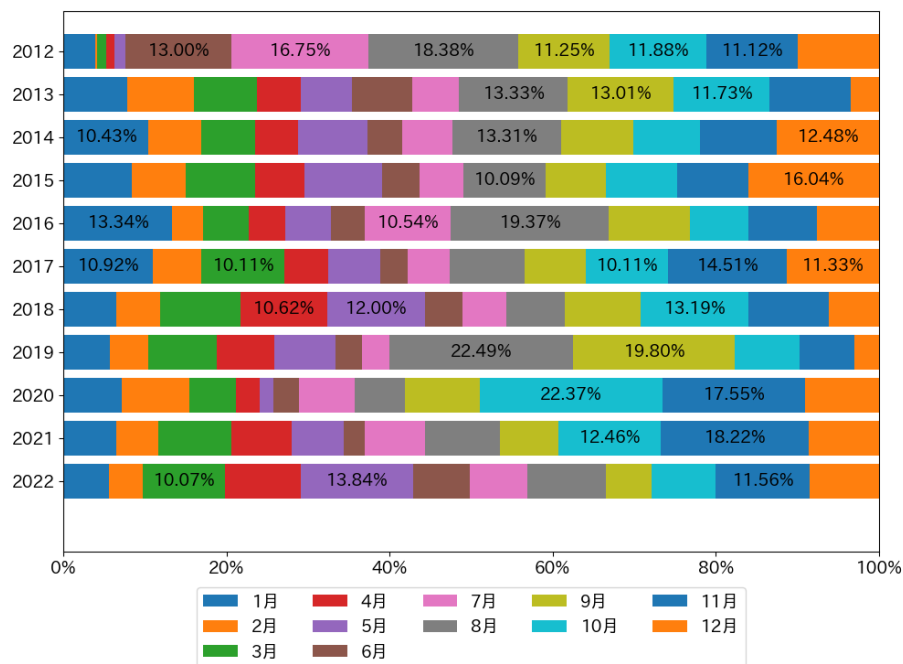


図 6.12: 山口市への旅行回数の推移

(12) 山口市までの主な交通手段 表 6.25 および表 6.26 は、2009 年から 2022 年までの山口市までの主な交通手段の推移を示したものである。なお、交通手段は複数回答項目である。基本的には自家用車が最も高い割合を占めており、次に高いのが新幹線となっている。団体観光バスの割合は下降傾向にある一方、飛行機は変動があるものの上昇傾向にある（ただし 2020 年から 2022 年は減少している）。2014 年から自転車と徒歩を選択肢として加えているが、いずれも割合は低い¹⁾。

1) 自転車と徒歩については、その他の選択肢において自転車や徒歩とみなされる回答（「レンタサイクル」「歩き」等）を、自転車と徒歩に再分類して含めている。自転車と徒歩が回答して組み入れられる 2013 年以前については、それら再分類した結果が反映されている。

表 6.25: 山口市までの主な交通手段別の回答数（複数回答）

	新 幹線	その 他の 鉄道	自家 用車	船舶	観光 団体 バス	路線 バス	タク シー	レン タ カー	飛 行機	自 転車	徒歩	そ の他
2009	99	35	175	8	40	14	3	2	18		1	
2010	106	34	218	2	32	11	4	6	24	1		1
2011	186	57	407	5	53	11	2	14	62	1		4
2012	244	109	549	5	38	35	7	25	72	1	1	10
2013	301	116	760	8	58	43	19	38	109			34
2014	269	138	671	9	31	39	6	23	85	3	4	13
2015	331	186	706	11	26	53	14	29	117	11	20	21
2016	467	191	902	21	45	56	8	63	142	15	9	29
2017	399	178	640	7	36	39	16	39	123	14	11	13
2018	322	173	561	13	34	61	6	37	109	19	15	15
2019	332	165	708	11	13	68	7	52	108	7	18	6
2020	168	86	537	4	16	26	3	15	55	3	8	8
2021	130	77	460	3	3	17	3	13	34	2	6	3
2022	185	101	549	3	9	27	5	18	60	14	23	27

表 6.26: 山口市までの主な交通手段別の回答数（複数回答、構成比、％）

	新 幹線	その 他の 鉄道	自家 用車	船舶	観光 団体 バス	路線 バス	タク シー	レン タ カー	飛 行機	自 転車	徒歩	そ の他
2009	28.95	10.23	51.17	2.34	11.70	4.09	0.88	0.58	5.26		0.29	
2010	26.70	8.56	54.91	0.50	8.06	2.77	1.01	1.51	6.05	0.25		0.25
2011	27.00	8.27	59.07	0.73	7.69	1.60	0.29	2.03	9.00	0.15		0.58
2012	25.05	11.19	56.37	0.51	3.90	3.59	0.72	2.57	7.39	0.10	0.10	1.03
2013	23.41	9.02	59.10	0.62	4.51	3.34	1.48	2.95	8.48			2.64
2014	24.28	12.45	60.56	0.81	2.80	3.52	0.54	2.08	7.67	0.27	0.36	1.17
2015	25.86	14.53	55.16	0.86	2.03	4.14	1.09	2.27	9.14	0.86	1.56	1.64
2016	27.78	11.36	53.66	1.25	2.68	3.33	0.48	3.75	8.45	0.89	0.54	1.73
2017	31.52	14.06	50.55	0.55	2.84	3.08	1.26	3.08	9.72	1.11	0.87	1.03
2018	28.93	15.54	50.40	1.17	3.05	5.48	0.54	3.32	9.79	1.71	1.35	1.35
2019	26.41	13.13	56.32	0.88	1.03	5.41	0.56	4.14	8.59	0.56	1.43	0.48
2020	20.51	10.50	65.57	0.49	1.95	3.17	0.37	1.83	6.72	0.37	0.98	0.98
2021	19.64	11.63	69.49	0.45	0.45	2.57	0.45	1.96	5.14	0.30	0.91	0.45
2022	20.93	11.43	62.10	0.34	1.02	3.05	0.57	2.04	6.79	1.58	2.60	3.05

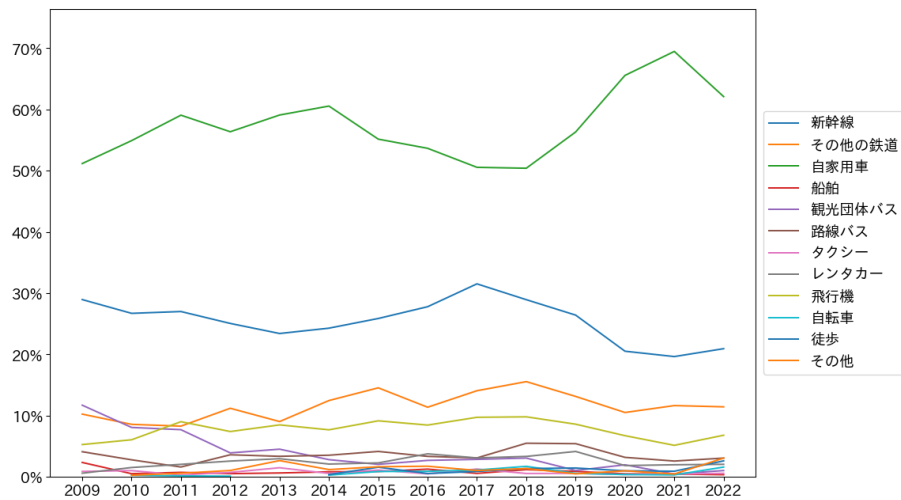


図 6.13: 山口市までの主な交通手段の推移（地域）

(13) 山口市内での主な交通手段 表 6.27 および表 6.28 は、2009 年から 2022 年までの山口市内での主な移動手段の推移を示したものである。なお、交通手段は複数回答項目である。基本的には自家用車が最も高い割合を占めている。その他の鉄道と路線バスは増加傾向にあるが、団体観光バスは減少傾向にある。自転車と徒歩（2014 年以降に回答の選択肢に組み入れ）については、年ごとの変動はあるものの、一定の割合を占めている。

表 6.27: 山口市内での主な交通手段別の回答数（複数回答）

	新幹線	その他の 鉄道	自家 用車	観光団 体バス	路線 バス	タク シー	レンタ カー	自転車	徒歩	その他	回答 者計
2009	2	28	179	58	34	33	13	1	10		318
2010	3	34	212	46	35	32	38	3	18		365
2011	2	49	423	68	55	48	45	8	17	7	649
2012	6	85	506	67	89	82	94	15	30	13	914
2013	10	94	731	73	147	113	114	13	25	61	1220
2014	9	104	655	39	121	84	91	18	78	58	1056
2015	9	180	692	34	151	118	117	52	234	19	1259
2016	8	211	892	53	184	117	188	59	249	34	1637
2017	7	184	638	52	187	92	138	45	219	13	1248
2018	8	175	576	48	165	83	107	44	213	11	1117
2019		144	698	20	160	83	161	35	194	10	1231
2020	7	83	516	16	80	40	71	19	116	11	799
2021	4	55	439	2	68	29	48	14	99	9	649
2022	9	91	534	28	98	44	65	38	145	34	871

表 6.28: 山口市内での主な交通手段別の回答数（複数回答、構成比、％）

	新幹線	その他の鉄道	自家用車	観光団体バス	路線バス	タクシー	レンタカー	自転車	徒歩	その他	回答者計
2009	0.63	8.81	56.29	18.24	10.69	10.38	4.09	0.31	3.14		100.00
2010	0.82	9.32	58.08	12.60	9.59	8.77	10.41	0.82	4.93		100.00
2011	0.31	7.55	65.18	10.48	8.47	7.40	6.93	1.23	2.62	1.08	100.00
2012	0.66	9.30	55.36	7.33	9.74	8.97	10.28	1.64	3.28	1.42	100.00
2013	0.82	7.70	59.92	5.98	12.05	9.26	9.34	1.07	2.05	5.00	100.00
2014	0.85	9.85	62.03	3.69	11.46	7.95	8.62	1.70	7.39	5.49	100.00
2015	0.71	14.30	54.96	2.70	11.99	9.37	9.29	4.13	18.59	1.51	100.00
2016	0.49	12.89	54.49	3.24	11.24	7.15	11.48	3.60	15.21	2.08	100.00
2017	0.56	14.74	51.12	4.17	14.98	7.37	11.06	3.61	17.55	1.04	100.00
2018	0.72	15.67	51.57	4.30	14.77	7.43	9.58	3.94	19.07	0.98	100.00
2019		11.70	56.70	1.62	13.00	6.74	13.08	2.84	15.76	0.81	100.00
2020	0.88	10.39	64.58	2.00	10.01	5.01	8.89	2.38	14.52	1.38	100.00
2021	0.62	8.47	67.64	0.31	10.48	4.47	7.40	2.16	15.25	1.39	100.00
2022	1.03	10.45	61.31	3.21	11.25	5.05	7.46	4.36	16.65	3.90	100.00

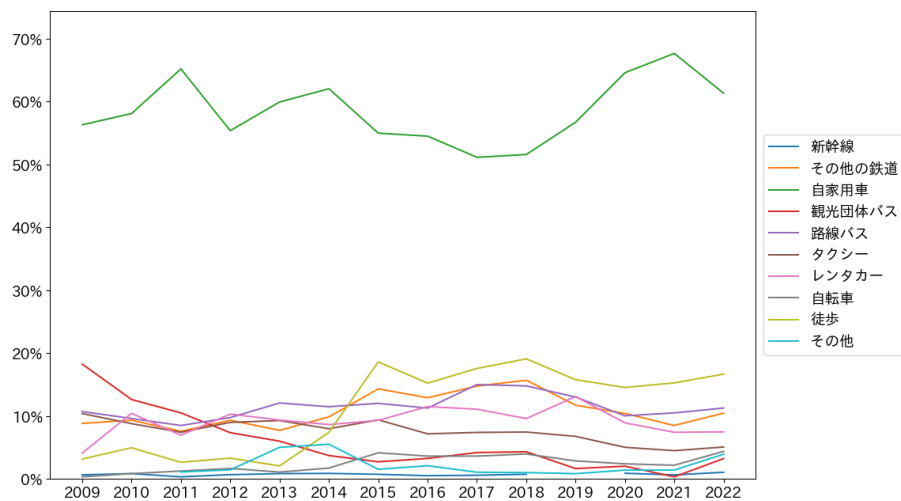


図 6.14: 山口市内での主な交通手段の推移（地域）

(14) 今回の旅行の全行程 表 6.29、表 6.30 および図 6.15 は、2009 年から 2022 年までの今回の旅行の全行程の推移を示している。全体的に、1 泊の割合が最も高い傾向がある。日帰りは 2016 年まではやや減少傾向にあったが、2018 年にかけて増加し、近年も高い水準となっている。

表 6.29: 旅行の全行程別の回答数

	日 帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11泊 以上	合計
2009	112	157	44	9	4	3		1			1	2	333
2010	144	152	55	23	12	8			1	1		1	397
2011	215	256	86	35	15	35	3	3	2	1	2	1	654
2012	245	262	154	68	38	16	9	12			3	8	815
2013	293	455	239	75	32	14	12	14	3	1	4	7	1149
2014	317	325	183	65	40	20	9	7	2	4	10	7	989
2015	311	403	219	94	37	17	15	6	3	4	1	9	1119
2016	303	662	351	121	33	36	12	5	2	1	4	8	1538
2017	301	393	268	75	42	22	16	11	6	4	2	5	1145
2018	320	313	231	80	23	9	16	6	5		1	10	1014
2019	289	458	213	101	38	20	15	6	2	6	3	7	1158
2020	210	313	112	51	15	12	8	2	1	4	3	8	739
2021	213	207	100	34	21	7	5	6			1	5	599
2022	233	286	140	73	31	16	13	4	2	2	1	7	808

表 6.30: 旅行の全行程別の回答数（構成比、%）

	日 帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊	7泊	8泊	9泊	10泊	11泊 以上	合計
2009	33.63	47.15	13.21	2.70	1.20	0.90		0.30			0.30	0.60	100.00
2010	36.27	38.29	13.85	5.79	3.02	2.02			0.25	0.25		0.25	100.00
2011	32.87	39.14	13.15	5.35	2.29	5.35	0.46	0.46	0.31	0.15	0.31	0.15	100.00
2012	30.06	32.15	18.90	8.34	4.66	1.96	1.10	1.47			0.37	0.98	100.00
2013	25.50	39.60	20.80	6.53	2.79	1.22	1.04	1.22	0.26	0.09	0.35	0.61	100.00
2014	32.05	32.86	18.50	6.57	4.04	2.02	0.91	0.71	0.20	0.40	1.01	0.71	100.00
2015	27.79	36.01	19.57	8.40	3.31	1.52	1.34	0.54	0.27	0.36	0.09	0.80	100.00
2016	19.70	43.04	22.82	7.87	2.15	2.34	0.78	0.33	0.13	0.07	0.26	0.52	100.00
2017	26.29	34.32	23.41	6.55	3.67	1.92	1.40	0.96	0.52	0.35	0.17	0.44	100.00
2018	31.56	30.87	22.78	7.89	2.27	0.89	1.58	0.59	0.49		0.10	0.99	100.00
2019	24.96	39.55	18.39	8.72	3.28	1.73	1.30	0.52	0.17	0.52	0.26	0.60	100.00
2020	28.42	42.35	15.16	6.90	2.03	1.62	1.08	0.27	0.14	0.54	0.41	1.08	100.00
2021	35.56	34.56	16.69	5.68	3.51	1.17	0.83	1.00			0.17	0.83	100.00
2022	28.84	35.40	17.33	9.03	3.84	1.98	1.61	0.50	0.25	0.25	0.12	0.87	100.00

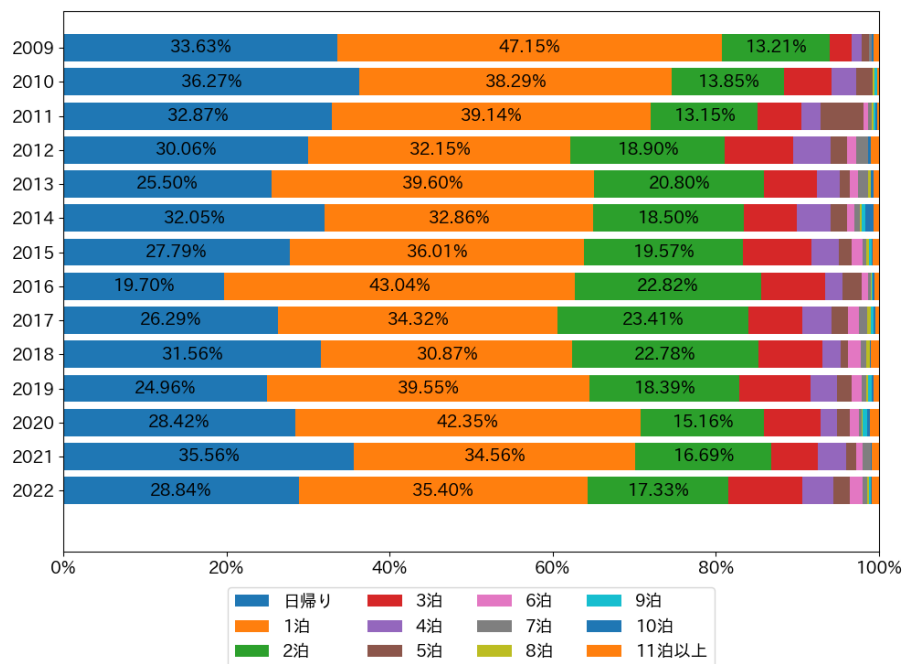


図 6.15: 旅行の全行程の推移

(15) 山口市内での宿泊数 表 6.31、表 6.32 および図 6.16 は、2009 年から 2022 年までの山口市内の宿泊数の推移を示している。全体的に、1 泊の割合が最も高く、続いて日帰りの割合が高い傾向がある。2011 年は 5 泊の割合が例年と比べて非常に高い。

表 6.31: 山口市内での宿泊日数別の回答数

	日帰り	1 泊	2 泊	3 泊	4 泊	5 泊	6 泊以上	合計
2009	112	143	25	3	1	1	1	286
2010	142	168	30	10	2	3	1	356
2011	215	270	54	14	8	26	3	590
2012	262	433	112	13	8	3	6	837
2013	315	620	152	25	8	3	6	1129
2014	325	450	119	16	17	3	4	934
2015	334	569	153	42	7	4	10	1119
2016	315	906	188	33	11	7	9	1469
2017	341	542	169	37	14	4	6	1113
2018	349	464	122	30	5	1	7	978
2019	318	610	132	34	7	2	4	1107
2020	228	388	73	16	3		6	714
2021	231	260	56	11	4	1	1	564
2022	259	392	78	19	8	3	2	761

表 6.32: 山口市内での宿泊日数別の回答数（構成比、％）

	日帰り	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6泊以上	合計
2009	39.16	50.00	8.74	1.05	0.35	0.35	0.35	100.00
2010	39.89	47.19	8.43	2.81	0.56	0.84	0.28	100.00
2011	36.44	45.76	9.15	2.37	1.36	4.41	0.51	100.00
2012	31.30	51.73	13.38	1.55	0.96	0.36	0.72	100.00
2013	27.90	54.92	13.46	2.21	0.71	0.27	0.53	100.00
2014	34.80	48.18	12.74	1.71	1.82	0.32	0.43	100.00
2015	29.85	50.85	13.67	3.75	0.63	0.36	0.89	100.00
2016	21.44	61.67	12.80	2.25	0.75	0.48	0.61	100.00
2017	30.64	48.70	15.18	3.32	1.26	0.36	0.54	100.00
2018	35.69	47.44	12.47	3.07	0.51	0.10	0.72	100.00
2019	28.73	55.10	11.92	3.07	0.63	0.18	0.36	100.00
2020	31.93	54.34	10.22	2.24	0.42		0.84	100.00
2021	40.96	46.10	9.93	1.95	0.71	0.18	0.18	100.00
2022	34.03	51.51	10.25	2.50	1.05	0.39	0.26	100.00

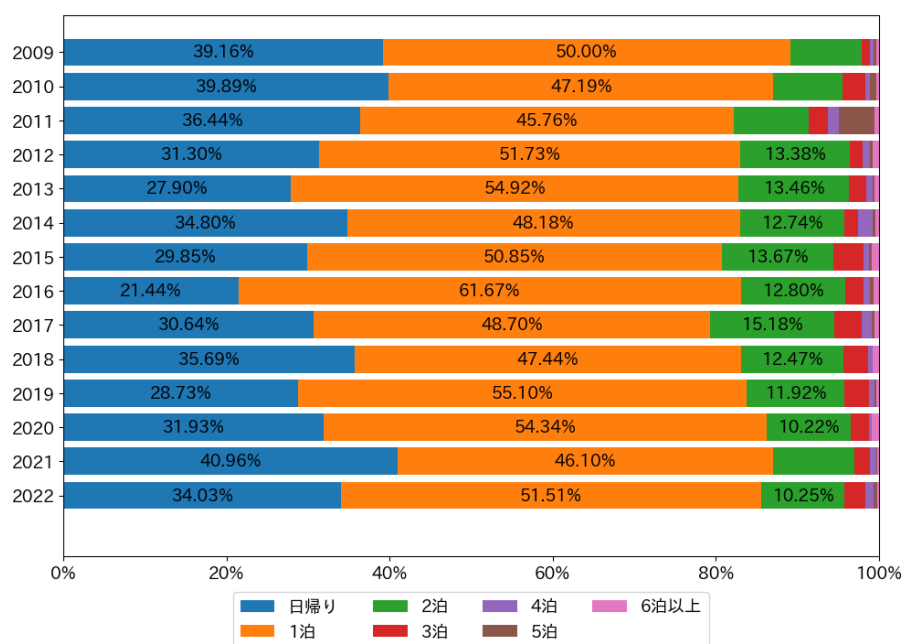


図 6.16: 山口市内での宿泊日数の推移

(16) 山口市内での平均消費額 表 6.33 と図 6.17 は、2009 年から 2022 年までの山口市内での平均消費額の推移を示したものである。2013 年は、例年と比較して宿泊費が大幅に増加している。2020 年以降は、新型コロナウイルスの影響もあり、宿泊費は減少傾向にある。また、2010 年にその他の平均消費額が大きく増加しているが、翌年以降は減少し、2016 年以降の金額は低い水準となっている。

表 6.33: 山口市内での平均消費額

	宿泊費	飲食費	土産物	交通費	施設見学科	その他	合計
2009	15422	4146	5127	5627	1555	3314	35190
2010	17564	4072	4419	5703	1179	7168	40104
2011	18209	4787	4729	5417	1497	4285	38924
2012	15888	4385	4777	5799	1276	3365	35491
2013	20625	4925	4988	5548	1419	3898	41402
2014	15316	5250	5073	5994	1485	3506	36624
2015	17365	5313	4635	5921	1338	3335	37907
2016	16493	4897	4693	5635	1074	1307	34099
2017	13322	4844	4355	5464	981	1361	30327
2018	14189	4624	4401	5079	1178	3001	32472
2019	17441	4976	4258	6009	1031	831	34546
2020	16890	4859	4500	4451	960	1642	33302
2021	14409	4857	4025	4768	1089	1718	30867
2022	12360	4969	5017	5203	1259	2876	31684

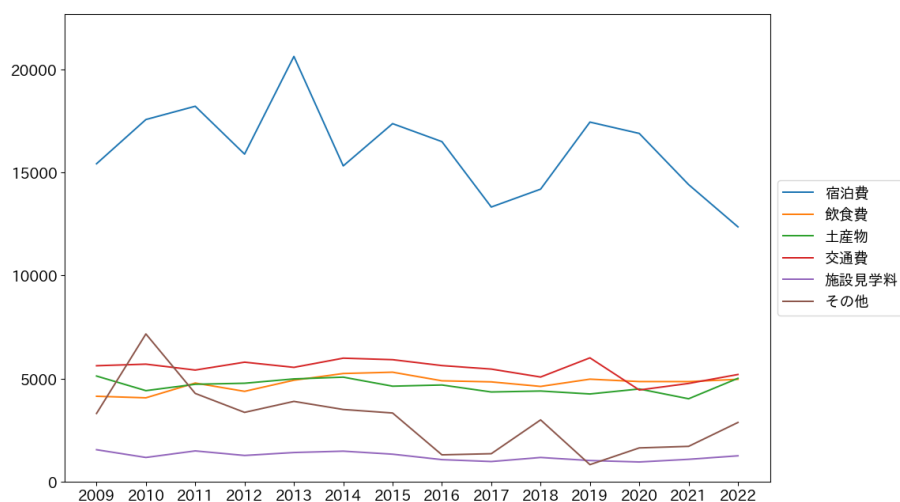


図 6.17: 山口市内での平均消費額の推移

(17) 山口市内での宿泊地 表 6.34、表 6.35 および図 6.18 は、2012 年から 2022 年までの山口市内での宿泊地の推移を示したものである。なお、2012 年の調査から宿泊地についての質問を開始しているため、2012 年からの推移となっている。

いずれの年も湯田温泉の割合が高く、おおよそ 7 割から 8 割の間となっているが、コロナ禍以降、割合が低下している傾向にある。また、新山口駅と山口駅周辺は 10%程度の割合となっている²⁾。

2) この質問は複数回答のため、構成比を算出する際に分母を回答数の合計値とすることは本来不適切である。一方で、回答者数を分母とする場合、構成比は各回答者の宿泊日数を考慮しないため同様に不適切な解釈をもたらす。そこで本報告書では、分母を回答数の合計値とした構成比を参考値として示している。

表 6.34: 山口市内での宿泊地別の回答数

	湯田温泉	新山口駅周辺	山口駅周辺	その他	回答者計
2012	365	52	36	34	487
2013	616	50	57	59	782
2014	450	51	48	72	621
2015	651	63	50	47	811
2016	1034	66	73	80	1253
2017	580	77	51	89	797
2018	479	67	47	61	654
2019	689	65	36	63	853
2020	375	45	38	58	516
2021	227	39	28	58	352
2022	315	61	30	97	503

表 6.35: 山口市内での宿泊地別の回答数（構成比、%）

	湯田温泉	新山口駅周辺	山口駅周辺	その他	回答者計
2012	74.95	10.68	7.39	6.98	100.00
2013	78.77	6.39	7.29	7.54	100.00
2014	72.46	8.21	7.73	11.59	100.00
2015	80.27	7.77	6.17	5.80	100.00
2016	82.52	5.27	5.83	6.38	100.00
2017	72.77	9.66	6.40	11.17	100.00
2018	73.24	10.24	7.19	9.33	100.00
2019	80.77	7.62	4.22	7.39	100.00
2020	72.67	8.72	7.36	11.24	100.00
2021	64.49	11.08	7.95	16.48	100.00
2022	62.62	12.13	5.96	19.28	100.00

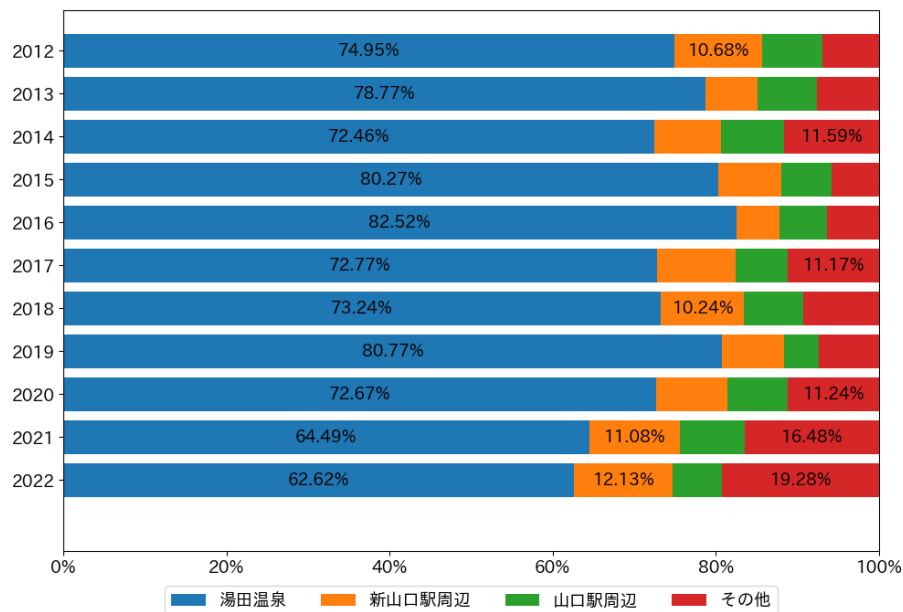


図 6.18: 山口市内での宿泊地の推移

(18) 宿泊施設

a. 料金 表 6.36、表 6.37 および図 6.19 は、2009 年から 2022 年までの宿泊施設における料金についての満足度（5 段階評価）を示したものである。料金に関しては普通と評価する割合が最も高く、高いと評価する割合が最も低い。

表 6.36: 料金の評価別の回答数

	安い	やや安い	普通	やや高い	高い	合計
2009	28	41	119	19	2	209
2010	29	41	142	22	4	238
2011	74	54	280	51	8	467
2012	115	97	414	64	20	710
2013	152	144	508	81	14	899
2014	108	105	350	54	5	622
2015	128	132	480	72	21	833
2016	169	159	739	135	31	1233
2017	140	136	464	69	15	824
2018	83	100	403	76	10	672
2019	135	117	507	80	13	852
2020	98	80	282	59	9	528
2021	54	45	209	47	7	362
2022	77	76	299	78	10	540

表 6.37: 料金の評価別の回答数（構成比、％）

	安い	やや安い	普通	やや高い	高い	合計
2009	13.40	19.62	56.94	9.09	0.96	100.00
2010	12.18	17.23	59.66	9.24	1.68	100.00
2011	15.85	11.56	59.96	10.92	1.71	100.00
2012	16.20	13.66	58.31	9.01	2.82	100.00
2013	16.91	16.02	56.51	9.01	1.56	100.00
2014	17.36	16.88	56.27	8.68	0.80	100.00
2015	15.37	15.85	57.62	8.64	2.52	100.00
2016	13.71	12.90	59.94	10.95	2.51	100.00
2017	16.99	16.50	56.31	8.37	1.82	100.00
2018	12.35	14.88	59.97	11.31	1.49	100.00
2019	15.85	13.73	59.51	9.39	1.53	100.00
2020	18.56	15.15	53.41	11.17	1.70	100.00
2021	14.92	12.43	57.73	12.98	1.93	100.00
2022	14.26	14.07	55.37	14.44	1.85	100.00

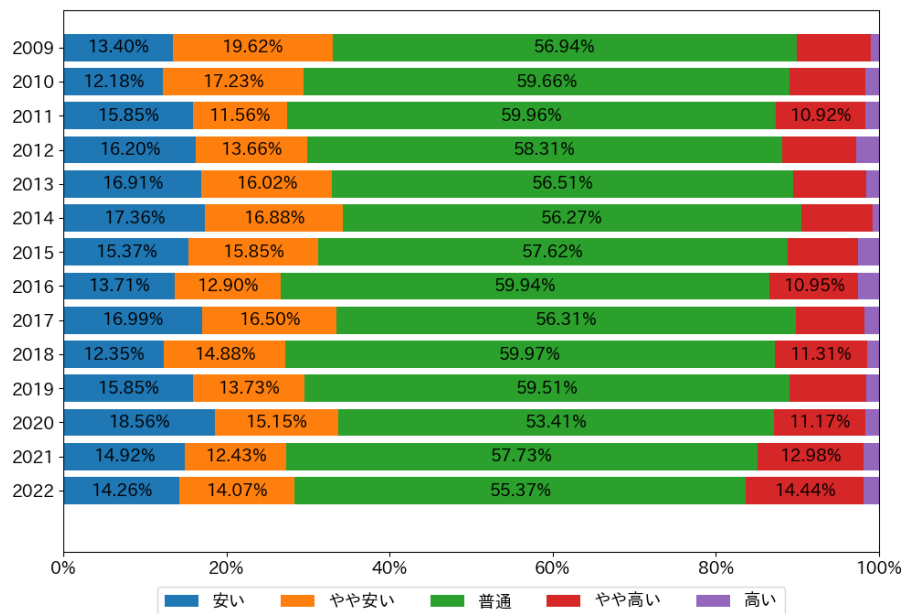


図 6.19: 料金の評価の推移

b. 料理 表 6.38、表 6.39 および図 6.20 は、2009 年から 2022 年までの宿泊施設における料理についての満足度（5 段階評価）を示したものである。総じて、普通と評価する割合が最も高い。また、良いとやや良いとする回答の割合も高いことから、料理については高い評価を得ている。

表 6.38: 料理の評価別の回答数

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	52	58	89	11	1	211
2010	51	68	107	8	2	236
2011	142	91	206	17	2	458
2012	212	157	272	23	5	669
2013	262	213	365	30	5	875
2014	164	154	247	23	2	590
2015	265	192	321	14	4	796
2016	418	293	424	31	7	1173
2017	251	164	335	35	4	789
2018	143	150	320	15	7	635
2019	318	185	291	23	2	819
2020	190	101	201	11	8	511
2021	93	75	159	10	1	338
2022	165	100	227	21	3	516

表 6.39: 料理の評価別の回答数（構成比、％）

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	24.64	27.49	42.18	5.21	0.47	100.00
2010	21.61	28.81	45.34	3.39	0.85	100.00
2011	31.00	19.87	44.98	3.71	0.44	100.00
2012	31.69	23.47	40.66	3.44	0.75	100.00
2013	29.94	24.34	41.71	3.43	0.57	100.00
2014	27.80	26.10	41.86	3.90	0.34	100.00
2015	33.29	24.12	40.33	1.76	0.50	100.00
2016	35.64	24.98	36.15	2.64	0.60	100.00
2017	31.81	20.79	42.46	4.44	0.51	100.00
2018	22.52	23.62	50.39	2.36	1.10	100.00
2019	38.83	22.59	35.53	2.81	0.24	100.00
2020	37.18	19.77	39.33	2.15	1.57	100.00
2021	27.51	22.19	47.04	2.96	0.30	100.00
2022	31.98	19.38	43.99	4.07	0.58	100.00

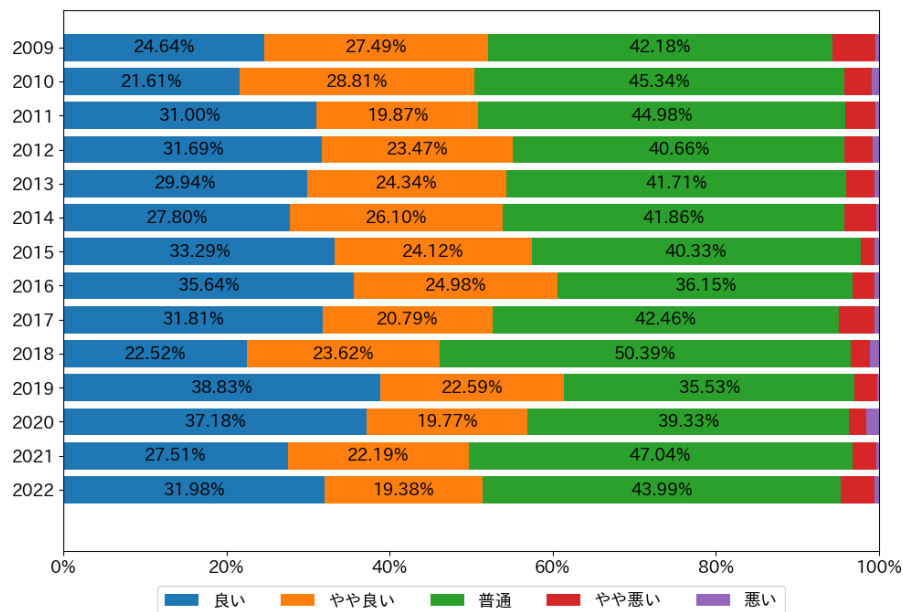


図 6.20: 料理の評価の推移

c. 風呂 表 6.40、表 6.41 および図 6.21 は、2009 年から 2022 年までの宿泊施設における風呂についての満足度（5 段階評価）を示したものである。いずれの年を見ても、良い、普通、やや良いと評価する割合が高く、高い満足度を得ていることがわかる。2015～2016 年は、良いとする評価の割合が高かったが、2017～2018 年は低下傾向となっていた。2019 年以降は良いとする評価が多い。

表 6.40: 風呂の評価別の回答数

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	69	71	60	9		209
2010	65	82	78	10	1	236
2011	179	109	161	10		459
2012	254	178	238	12	1	683
2013	359	242	281	16	1	899
2014	218	167	211	17	5	618
2015	361	193	250	15	3	822
2016	546	317	337	24	1	1225
2017	318	209	273	20	4	824
2018	213	154	254	24	6	651
2019	391	194	243	22	2	852
2020	225	129	156	8	5	523
2021	134	107	122	11		374
2022	219	136	175	13		543

表 6.41: 風呂の評価別の回答数（構成比、％）

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	33.01	33.97	28.71	4.31		100.00
2010	27.54	34.75	33.05	4.24	0.42	100.00
2011	39.00	23.75	35.08	2.18		100.00
2012	37.19	26.06	34.85	1.76	0.15	100.00
2013	39.93	26.92	31.26	1.78	0.11	100.00
2014	35.28	27.02	34.14	2.75	0.81	100.00
2015	43.92	23.48	30.41	1.82	0.36	100.00
2016	44.57	25.88	27.51	1.96	0.08	100.00
2017	38.59	25.36	33.13	2.43	0.49	100.00
2018	32.72	23.66	39.02	3.69	0.92	100.00
2019	45.89	22.77	28.52	2.58	0.23	100.00
2020	43.02	24.67	29.83	1.53	0.96	100.00
2021	35.83	28.61	32.62	2.94		100.00
2022	40.33	25.05	32.23	2.39		100.00

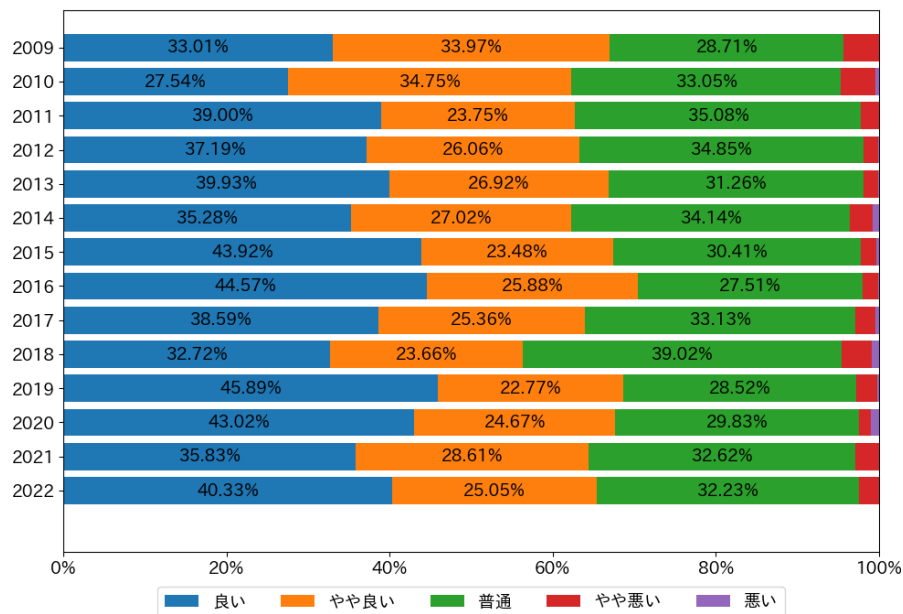


図 6.21: 風呂の評価の推移

d. 接客態度 表 6.42、表 6.43 および図 6.22 は、2009 年から 2022 年までの宿泊施設における接客態度についての満足度（5 段階評価）を示したものである。いずれの年を見ても、良い、普通、やや良いという順に評価する割合が高く、接客態度に関して多くの観光客が満足しているようである。

表 6.42: 接客態度の評価別の回答数

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	69	71	66	5		211
2010	74	73	87	5	1	240
2011	174	94	181	5	6	460
2012	274	170	227	14	2	687
2013	398	207	282	15	1	903
2014	231	165	204	15	5	620
2015	372	202	240	17	5	836
2016	627	295	306	15	9	1252
2017	343	205	265	26		839
2018	239	184	226	14	4	667
2019	435	199	219	14	2	869
2020	251	113	162	6	5	537
2021	146	104	117	9	2	378
2022	239	132	158	10	2	541

表 6.43: 接客態度の評価別の回答数（構成比、％）

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	32.70	33.65	31.28	2.37		100.00
2010	30.83	30.42	36.25	2.08	0.42	100.00
2011	37.83	20.43	39.35	1.09	1.30	100.00
2012	39.88	24.75	33.04	2.04	0.29	100.00
2013	44.08	22.92	31.23	1.66	0.11	100.00
2014	37.26	26.61	32.90	2.42	0.81	100.00
2015	44.50	24.16	28.71	2.03	0.60	100.00
2016	50.08	23.56	24.44	1.20	0.72	100.00
2017	40.88	24.43	31.59	3.10		100.00
2018	35.83	27.59	33.88	2.10	0.60	100.00
2019	50.06	22.90	25.20	1.61	0.23	100.00
2020	46.74	21.04	30.17	1.12	0.93	100.00
2021	38.62	27.51	30.95	2.38	0.53	100.00
2022	44.18	24.40	29.21	1.85	0.37	100.00

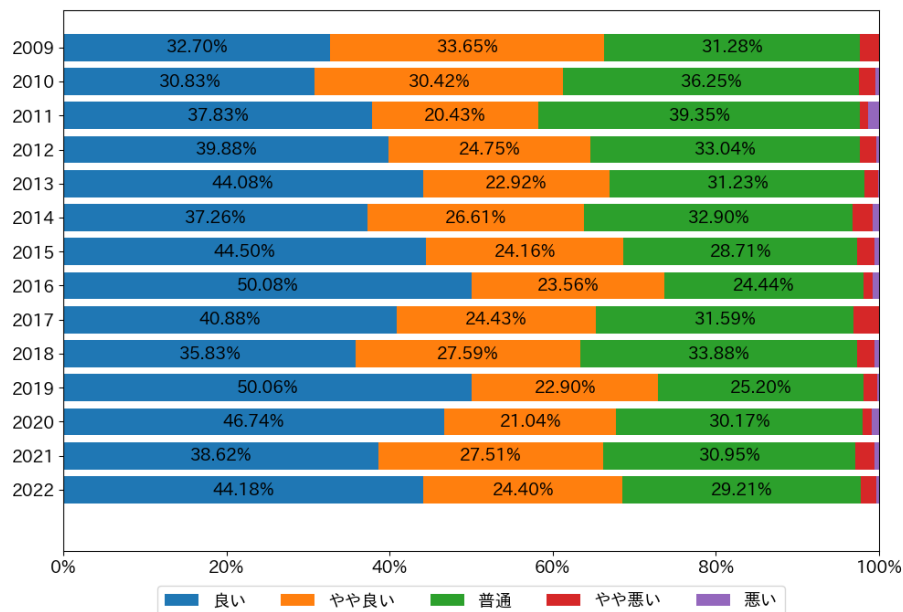


図 6.22: 接客態度の評価の推移

e. 部屋 表 6.44、表 6.45 および図 6.23 は、2009 年から 2022 年までの宿泊施設における部屋についての満足度（5 段階評価）を示したものである。総じて普通の割合が高い。2011 年以降は良いがやや良いとする回答を上回り、高い評価を得ている。特に 2016 年と 2019 年は良いとする評価が多くなっている。

表 6.44: 部屋の評価別の回答数

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	44	49	99	11	3	206
2010	46	69	104	11	2	232
2011	127	98	197	28	2	452
2012	195	147	298	21	7	668
2013	298	202	352	37	4	893
2014	166	157	259	34	5	621
2015	303	203	276	28	3	813
2016	490	300	378	50	4	1222
2017	229	207	345	28	8	817
2018	180	151	267	35	5	638
2019	345	186	284	26	4	845
2020	180	134	187	18	4	523
2021	103	107	127	15	2	354
2022	173	114	204	28	2	521

表 6.45: 部屋の評価別の回答数（構成比、％）

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	21.36	23.79	48.06	5.34	1.46	100.00
2010	19.83	29.74	44.83	4.74	0.86	100.00
2011	28.10	21.68	43.58	6.19	0.44	100.00
2012	29.19	22.01	44.61	3.14	1.05	100.00
2013	33.37	22.62	39.42	4.14	0.45	100.00
2014	26.73	25.28	41.71	5.48	0.81	100.00
2015	37.27	24.97	33.95	3.44	0.37	100.00
2016	40.10	24.55	30.93	4.09	0.33	100.00
2017	28.03	25.34	42.23	3.43	0.98	100.00
2018	28.21	23.67	41.85	5.49	0.78	100.00
2019	40.83	22.01	33.61	3.08	0.47	100.00
2020	34.42	25.62	35.76	3.44	0.76	100.00
2021	29.10	30.23	35.88	4.24	0.56	100.00
2022	33.21	21.88	39.16	5.37	0.38	100.00

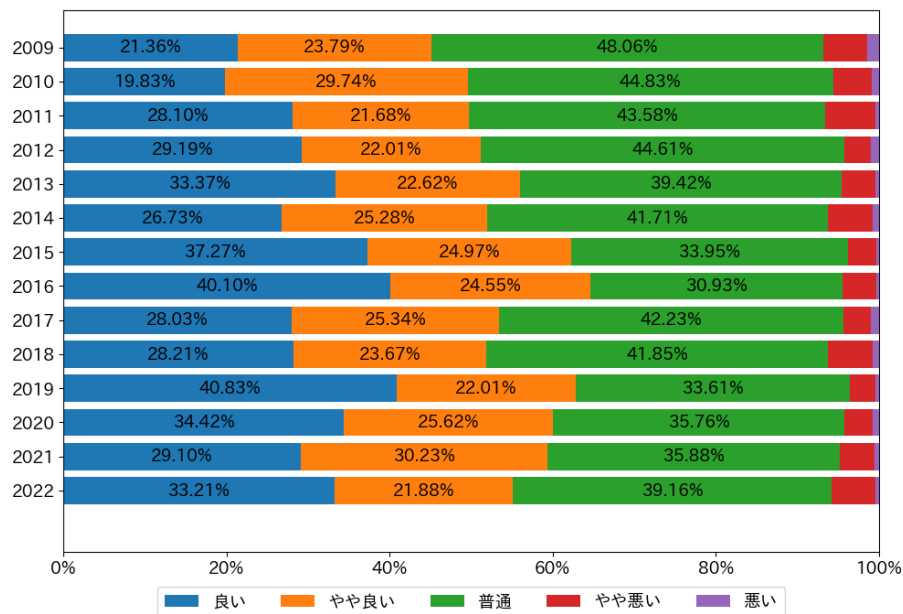


図 6.23: 部屋の評価の推移

f. 施設設備 表 6.46、表 6.47 および図 6.24 は、2009 年から 2022 年までの宿泊施設における施設設備についての満足度（5 段階評価）を示したものである。普通と評価する割合が高く、良い、またはやや良いとする割合はいずれも 20～30%の間で変動している。2019 年は良いという評価が多かった。

表 6.46: 施設設備の評価別の回答数

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	38	48	111	6	2	205
2010	44	69	106	10	1	230
2011	98	100	215	31	2	446
2012	173	150	307	34	2	666
2013	252	213	379	42	1	887
2014	141	160	276	28	5	610
2015	244	218	324	32	1	819
2016	404	302	447	53	6	1212
2017	202	187	388	40	7	824
2018	138	156	322	23	4	643
2019	296	197	320	33	3	849
2020	159	131	208	22	4	524
2021	100	106	149	15	1	371
2022	154	107	237	22	6	526

表 6.47: 施設設備の評価別の回答数（構成比、％）

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	18.54	23.41	54.15	2.93	0.98	100.00
2010	19.13	30.00	46.09	4.35	0.43	100.00
2011	21.97	22.42	48.21	6.95	0.45	100.00
2012	25.98	22.52	46.10	5.11	0.30	100.00
2013	28.41	24.01	42.73	4.74	0.11	100.00
2014	23.11	26.23	45.25	4.59	0.82	100.00
2015	29.79	26.62	39.56	3.91	0.12	100.00
2016	33.33	24.92	36.88	4.37	0.50	100.00
2017	24.51	22.69	47.09	4.85	0.85	100.00
2018	21.46	24.26	50.08	3.58	0.62	100.00
2019	34.86	23.20	37.69	3.89	0.35	100.00
2020	30.34	25.00	39.69	4.20	0.76	100.00
2021	26.95	28.57	40.16	4.04	0.27	100.00
2022	29.28	20.34	45.06	4.18	1.14	100.00

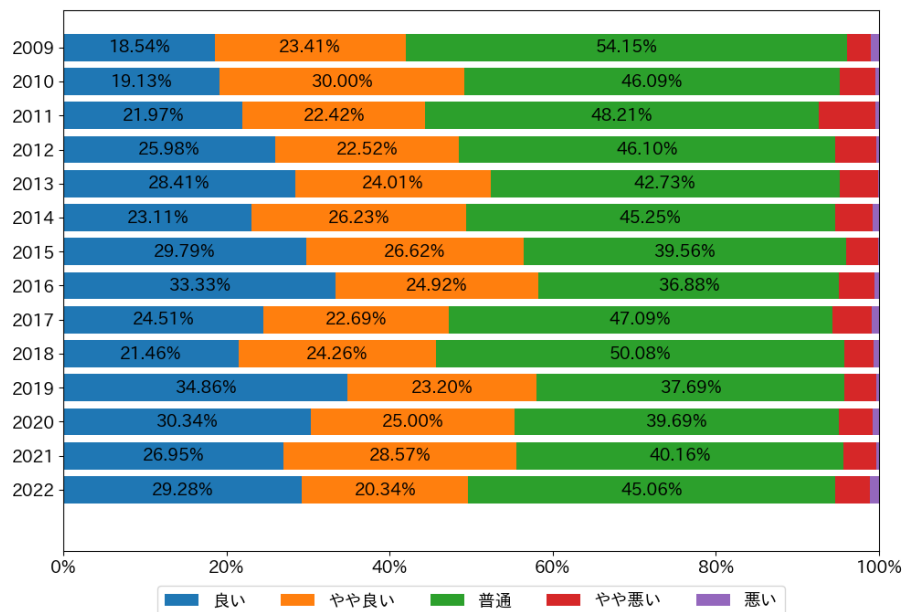


図 6.24: 施設設備の評価の推移

(19) 交通の便

a. 乗り継ぎ 表 6.48、表 6.49 および図 6.25 は、2011 年から 2022 年までの交通における乗り継ぎについての満足度（5 段階評価）を示したものである。2014 年と 2015 年にかけて、楽だった・やや楽だったと評価する割合が増加している。やや大変とする割合は 21 %前後、大変とする割合は 6 %前後でそれぞれ推移している。2020 年は普通が増加してやや大変と大変が減少し、2022 年も同様の傾向を示している。

表 6.48: 乗り継ぎの評価別の回答数

	楽だった	やや楽	普通	やや大変	大変	合計
2011	35	38	142	77	17	309
2012	60	44	185	115	33	437
2013	50	51	219	115	36	471
2014	88	49	197	109	52	495
2015	146	132	288	170	41	777
2016	207	172	405	197	56	1037
2017	156	112	311	151	56	786
2018	113	124	272	150	45	704
2019	170	111	279	140	51	751
2020	98	69	203	67	24	461
2021	73	65	128	67	15	348
2022	94	78	203	98	22	495

表 6.49: 乗り継ぎの評価別の回答数（構成比、%）

	楽だった	やや楽	普通	やや大変	大変	合計
2011	11.33	12.30	45.95	24.92	5.50	100.00
2012	13.73	10.07	42.33	26.32	7.55	100.00
2013	10.62	10.83	46.50	24.42	7.64	100.00
2014	17.78	9.90	39.80	22.02	10.51	100.00
2015	18.79	16.99	37.07	21.88	5.28	100.00
2016	19.96	16.59	39.05	19.00	5.40	100.00
2017	19.85	14.25	39.57	19.21	7.12	100.00
2018	16.05	17.61	38.64	21.31	6.39	100.00
2019	22.64	14.78	37.15	18.64	6.79	100.00
2020	21.26	14.97	44.03	14.53	5.21	100.00
2021	20.98	18.68	36.78	19.25	4.31	100.00
2022	18.99	15.76	41.01	19.80	4.44	100.00

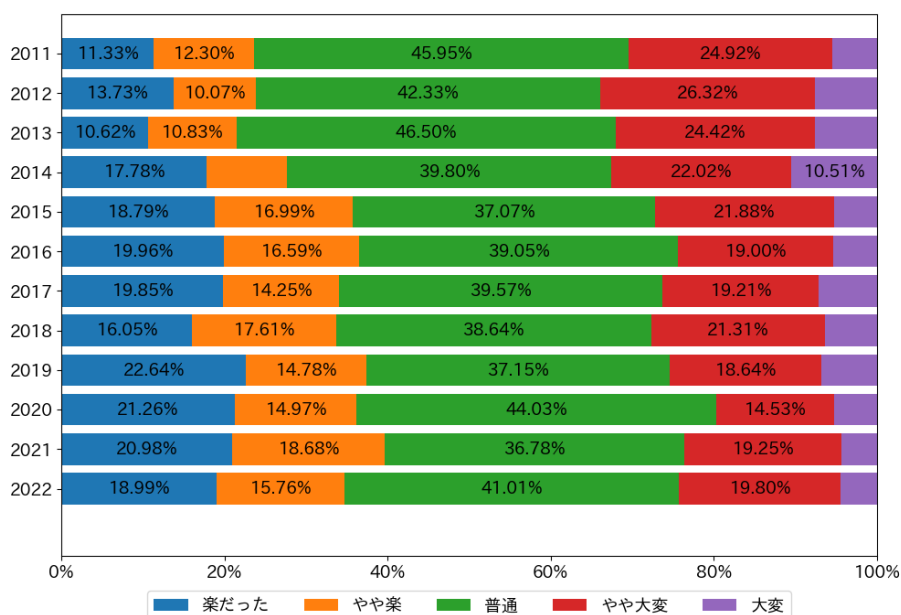


図 6.25: 乗り継ぎの評価の推移

b. 道路標識 表 6.50、表 6.51 および図 6.26 は、2011 年から 2022 年までの交通における道路標識についての満足度（5 段階評価）を示したものである。全体的に、普通と評価する割合が最も高く、わかりやすい、ややわかりやすいという評価が続いている。

表 6.50: 道路標識の評価別の回答数

	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
2011	116	87	183	49	7	442
2012	175	128	251	64	15	633
2013	173	155	357	90	15	790
2014	194	160	323	78	28	783
2015	257	155	446	101	20	979
2016	342	247	568	131	27	1315
2017	249	179	440	99	23	990
2018	192	160	385	81	17	835
2019	274	177	457	92	16	1016
2020	176	110	291	47	9	633
2021	130	104	205	41	6	486
2022	193	121	281	52	9	656

表 6.51: 道路標識の評価別の回答数（構成比、%）

	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
2011	26.24	19.68	41.40	11.09	1.58	100.00
2012	27.65	20.22	39.65	10.11	2.37	100.00
2013	21.90	19.62	45.19	11.39	1.90	100.00
2014	24.78	20.43	41.25	9.96	3.58	100.00
2015	26.25	15.83	45.56	10.32	2.04	100.00
2016	26.01	18.78	43.19	9.96	2.05	100.00
2017	25.15	18.08	44.44	10.00	2.32	100.00
2018	22.99	19.16	46.11	9.70	2.04	100.00
2019	26.97	17.42	44.98	9.06	1.57	100.00
2020	27.80	17.38	45.97	7.42	1.42	100.00
2021	26.75	21.40	42.18	8.44	1.23	100.00
2022	29.42	18.45	42.84	7.93	1.37	100.00

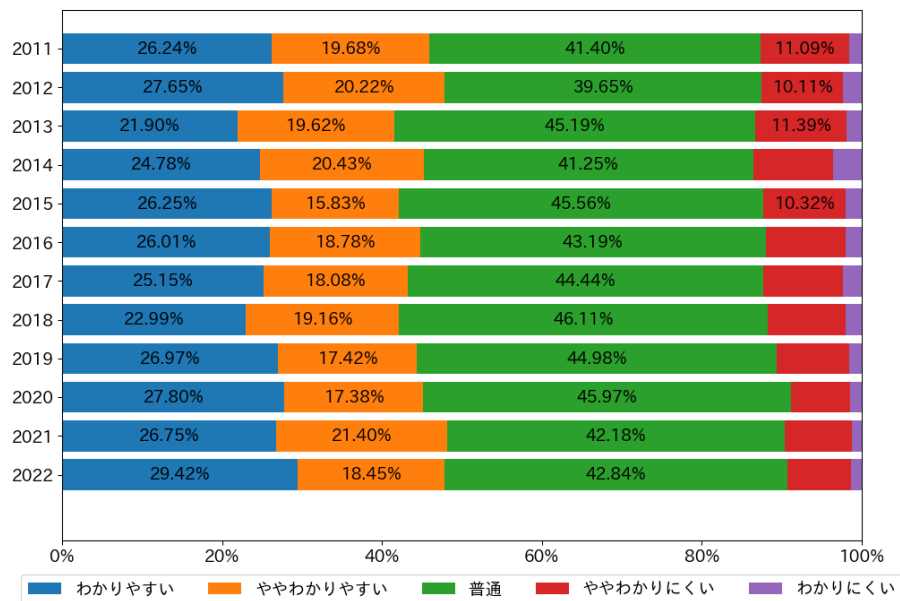


図 6.26: 道路標識の評価の推移

c. 観光案内版 表 6.52、表 6.53 および図 6.27 は、2011 年から 2022 年までの交通における観光案内版についての満足度（5 段階評価）を示したものである。わかりやすい、ややわかりやすいとする評価の合計が全体の約半数を占めており、年ごとの大きな変化は見られない。2015 年にはややわかりにくい、わかりにくいの評価の割合が減少したが、2017 年以降はややわかりにくいとの割合が上昇し 10%台となっていた。2019 年以降は再びこの割合が下降し評価が改善している。2022 年はややわかりやすいの割合が減少し、普通の割合が増加している。

表 6.52: 観光案内版の評価別の回答数

	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
2011	118	112	175	46	14	465
2012	184	159	248	65	20	676
2013	211	168	352	89	18	838
2014	198	169	295	93	24	779
2015	251	203	411	97	25	987
2016	341	277	557	127	39	1341
2017	259	213	392	114	27	1005
2018	217	176	353	91	18	855
2019	263	215	430	96	20	1024
2020	174	127	260	58	9	628
2021	128	126	183	44	8	489
2022	197	130	271	56	12	666

表 6.53: 観光案内版の評価別の回答数（構成比、％）

	わかりやすい	ややわかりやすい	普通	ややわかりにくい	わかりにくい	合計
2011	25.38	24.09	37.63	9.89	3.01	100.00
2012	27.22	23.52	36.69	9.62	2.96	100.00
2013	25.18	20.05	42.00	10.62	2.15	100.00
2014	25.42	21.69	37.87	11.94	3.08	100.00
2015	25.43	20.57	41.64	9.83	2.53	100.00
2016	25.43	20.66	41.54	9.47	2.91	100.00
2017	25.77	21.19	39.00	11.34	2.69	100.00
2018	25.38	20.58	41.29	10.64	2.11	100.00
2019	25.68	21.00	41.99	9.38	1.95	100.00
2020	27.71	20.22	41.40	9.24	1.43	100.00
2021	26.18	25.77	37.42	9.00	1.64	100.00
2022	29.58	19.52	40.69	8.41	1.80	100.00

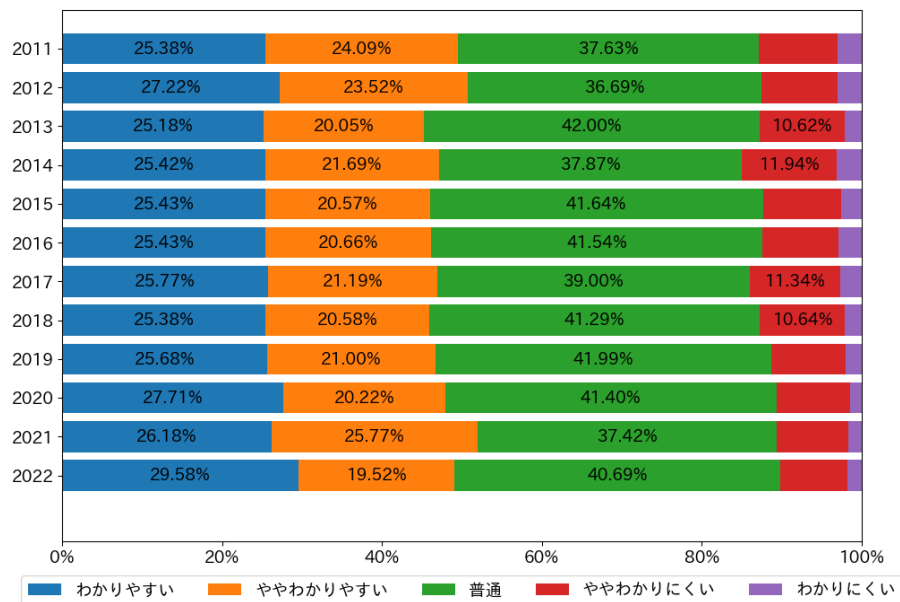


図 6.27: 観光案内版の評価の推移

(20) 土産物

a. 価格 表 6.54、表 6.55 および図 6.28 は、2011 年から 2022 年までの土産物の価格についての満足度（5 段階評価）を示したものである。普通とする割合が非常に高く、多くの年で 78 %程度を占めている。安いとする評価は 2014 年と 2016 年に約 3%と落ち込んでいるが、その他の年は 4～6%で推移しており、2015 年以降は 4%前後となっている。

表 6.54: 価格の評価別の回答数

	安い	やや安い	普通	やや高い	高い	合計
2011	29	64	466	76	5	640
2012	43	67	705	68	10	893
2013	68	98	895	82	8	1151
2014	34	95	777	73	9	988
2015	46	91	907	85	11	1140
2016	43	121	1216	113	16	1509
2017	48	99	912	66	9	1134
2018	40	90	794	60	9	993
2019	64	92	889	73	10	1128
2020	35	73	561	49	5	723
2021	35	45	417	48	4	549
2022	41	74	574	54	3	746

表 6.55: 価格の評価別の回答数（構成比、％）

	安い	やや安い	普通	やや高い	高い	合計
2011	4.53	10.00	72.81	11.88	0.78	100.00
2012	4.82	7.50	78.95	7.61	1.12	100.00
2013	5.91	8.51	77.76	7.12	0.70	100.00
2014	3.44	9.62	78.64	7.39	0.91	100.00
2015	4.04	7.98	79.56	7.46	0.96	100.00
2016	2.85	8.02	80.58	7.49	1.06	100.00
2017	4.23	8.73	80.42	5.82	0.79	100.00
2018	4.03	9.06	79.96	6.04	0.91	100.00
2019	5.67	8.16	78.81	6.47	0.89	100.00
2020	4.84	10.10	77.59	6.78	0.69	100.00
2021	6.38	8.20	75.96	8.74	0.73	100.00
2022	5.50	9.92	76.94	7.24	0.40	100.00

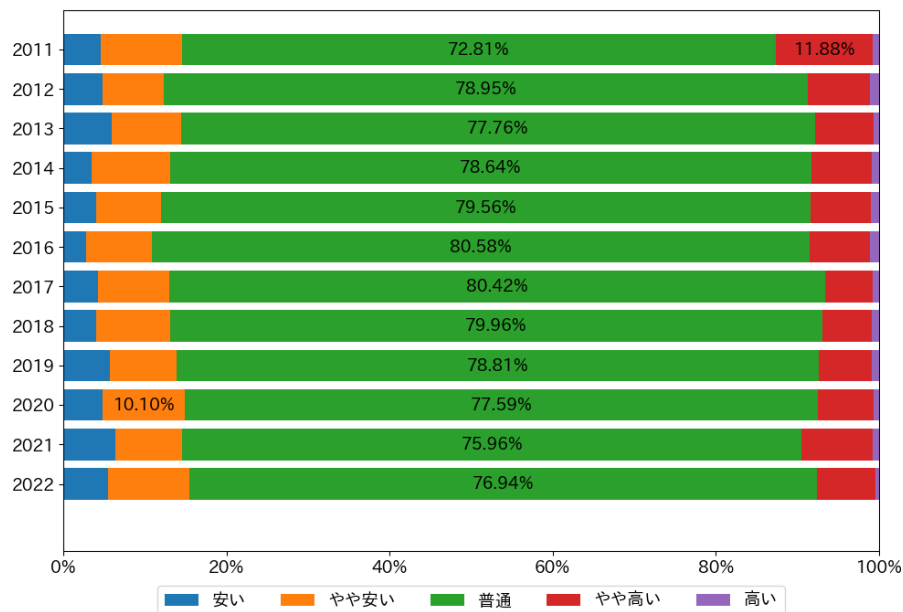


図 6.28: 価格の評価の推移

b. 品揃え 表 6.56、表 6.57 および図 6.29 は、2011 年から 2022 年までの土産物の品揃えについての満足度（5 段階評価）を示したものである。普通とする割合が最も高く、各年でそれほど大きな変動は見られない。

表 6.56: 品揃えの評価別の回答数

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2011	59	92	376	65	4	596
2012	78	101	542	102	5	828
2013	110	121	695	127	12	1065
2014	72	129	573	126	13	913
2015	90	124	720	128	19	1081
2016	107	176	949	186	10	1428
2017	97	119	715	133	18	1082
2018	79	130	600	116	20	945
2019	96	133	721	113	16	1079
2020	62	88	445	70	14	679
2021	42	66	336	63	9	516
2022	71	78	462	97	6	714

表 6.57: 品揃えの評価別の回答数（構成比、%）

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2011	9.90	15.44	63.09	10.91	0.67	100.00
2012	9.42	12.20	65.46	12.32	0.60	100.00
2013	10.33	11.36	65.26	11.92	1.13	100.00
2014	7.89	14.13	62.76	13.80	1.42	100.00
2015	8.33	11.47	66.60	11.84	1.76	100.00
2016	7.49	12.32	66.46	13.03	0.70	100.00
2017	8.96	11.00	66.08	12.29	1.66	100.00
2018	8.36	13.76	63.49	12.28	2.12	100.00
2019	8.90	12.33	66.82	10.47	1.48	100.00
2020	9.13	12.96	65.54	10.31	2.06	100.00
2021	8.14	12.79	65.12	12.21	1.74	100.00
2022	9.94	10.92	64.71	13.59	0.84	100.00

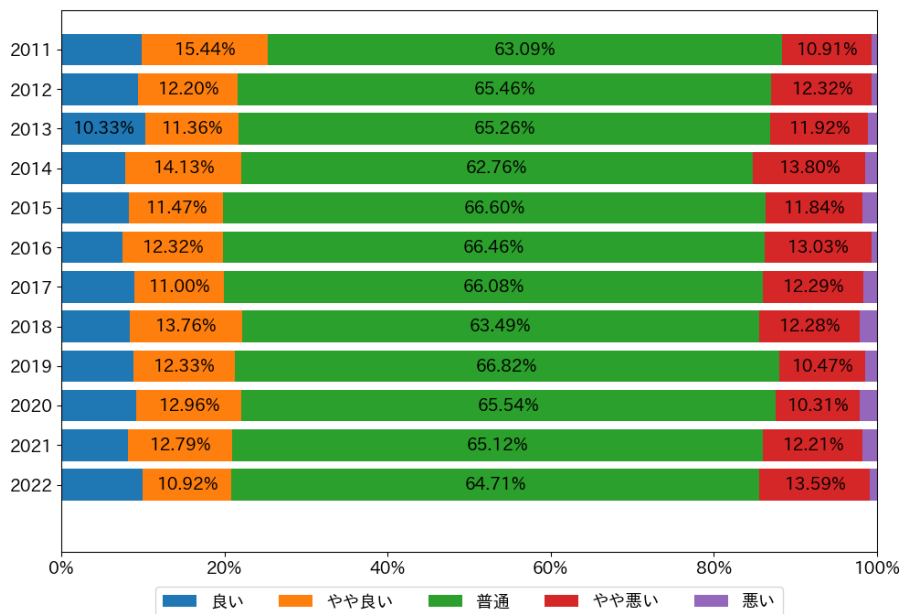


図 6.29: 品揃えの評価の推移

(21) 食事（宿泊施設以外） 表 6.58、表 6.59 および図 6.30 は、2014 年から 2022 年までの食事（宿泊施設以外）についての満足度（5 段階評価）を示したものである。総じて、普通とする評価の割合が高い。良い、やや良いの評価を合わせると約半数が良いと評価しているものの、横ばいの傾向にある。

表 6.58: 食事（宿泊施設以外）の評価別の回答数

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2014	119	148	217	32	5	521
2015	228	259	511	58	7	1063
2016	292	362	667	76	9	1406
2017	239	261	523	69	10	1102
2018	190	243	458	62	16	969
2019	260	273	492	58	11	1094
2020	163	169	351	28	7	718
2021	129	137	259	17	4	546
2022	180	177	328	39	5	729

表 6.59: 食事（宿泊施設以外）の評価別の回答数（構成比、%）

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2014	22.84	28.41	41.65	6.14	0.96	100.00
2015	21.45	24.37	48.07	5.46	0.66	100.00
2016	20.77	25.75	47.44	5.41	0.64	100.00
2017	21.69	23.68	47.46	6.26	0.91	100.00
2018	19.61	25.08	47.27	6.40	1.65	100.00
2019	23.77	24.95	44.97	5.30	1.01	100.00
2020	22.70	23.54	48.89	3.90	0.97	100.00
2021	23.63	25.09	47.44	3.11	0.73	100.00
2022	24.69	24.28	44.99	5.35	0.69	100.00

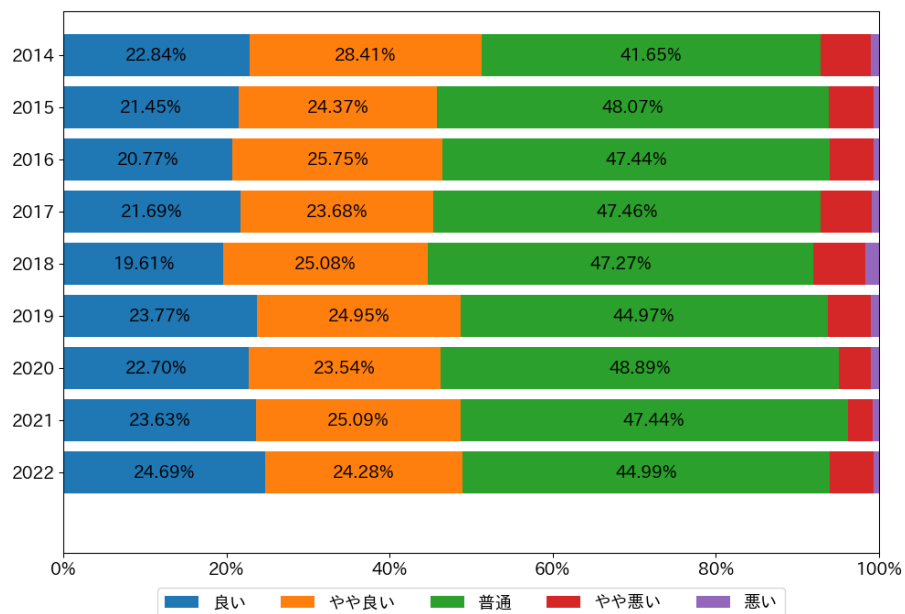


図 6.30: 食事（宿泊施設以外）の評価の推移

(22) 観光施設 表 6.60、表 6.61 および図 6.31 は、2009 年から 2022 年までの観光施設についての満足度（5 段階評価）を示したものである。総じて、普通と評価する割合が高い。良い、やや良いの評価を合わせると半数以上が良いと評価している。良いとする評価の割合は、2011 年以降、上昇傾向にある。

表 6.60: 観光施設の評価別の回答数

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	59	101	115	17		292
2010	69	130	149	13	4	365
2011	132	161	248	38	2	581
2012	209	234	369	43	2	857
2013	291	286	468	49	9	1103
2014	250	274	363	58	4	949
2015	295	315	474	55	2	1141
2016	357	429	572	67	7	1432
2017	311	327	448	40	7	1133
2018	258	303	354	45	7	967
2019	337	349	397	47	1	1131
2020	205	223	270	26	5	729
2021	154	189	218	18	3	582
2022	223	202	290	27	1	743

表 6.61: 観光施設の評価別の回答数（構成比、％）

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
2009	20.21	34.59	39.38	5.82		100.00
2010	18.90	35.62	40.82	3.56	1.10	100.00
2011	22.72	27.71	42.69	6.54	0.34	100.00
2012	24.39	27.30	43.06	5.02	0.23	100.00
2013	26.38	25.93	42.43	4.44	0.82	100.00
2014	26.34	28.87	38.25	6.11	0.42	100.00
2015	25.85	27.61	41.54	4.82	0.18	100.00
2016	24.93	29.96	39.94	4.68	0.49	100.00
2017	27.45	28.86	39.54	3.53	0.62	100.00
2018	26.68	31.33	36.61	4.65	0.72	100.00
2019	29.80	30.86	35.10	4.16	0.09	100.00
2020	28.12	30.59	37.04	3.57	0.69	100.00
2021	26.46	32.47	37.46	3.09	0.52	100.00
2022	30.01	27.19	39.03	3.63	0.13	100.00

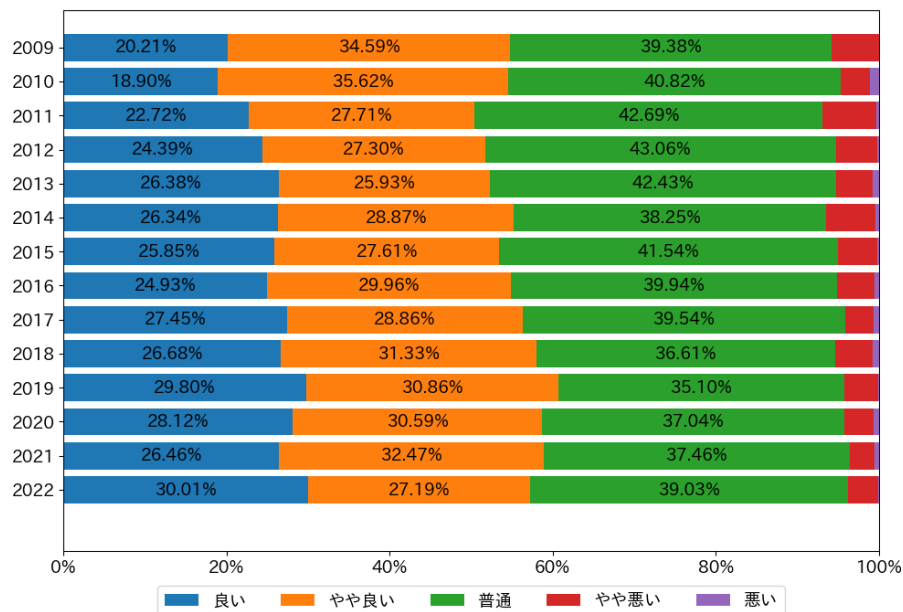


図 6.31: 観光施設の評価の推移

(23) 山口市訪問の満足度 表 6.62、表 6.63 および図 6.32 は、2009 年から 2022 年までの山口市訪問の満足度（５段階評価）を示したものである。全体的にやや満足と評価する割合が高い。特に、2011 年からは満足が普通を割合で上回っており、山口市の満足度は高いものとなっている。

表 6.62: 山口市訪問の満足度別の回答数

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
2009	76	135	79	8	2	300
2010	92	155	109	16	2	374
2011	202	221	192	14	3	632
2012	310	310	268	35		923
2013	397	420	340	33	5	1195
2014	326	367	289	45	4	1031
2015	383	467	322	34	4	1210
2016	476	628	400	51	5	1560
2017	402	441	309	38	4	1194
2018	326	392	289	25	9	1041
2019	437	425	290	44	1	1197
2020	259	283	214	25	3	784
2021	200	228	171	14	2	615
2022	291	270	227	23	5	816

表 6.63: 山口市訪問の満足度別の回答数（構成比、％）

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
2009	25.33	45.00	26.33	2.67	0.67	100.00
2010	24.60	41.44	29.14	4.28	0.53	100.00
2011	31.96	34.97	30.38	2.22	0.47	100.00
2012	33.59	33.59	29.04	3.79		100.00
2013	33.22	35.15	28.45	2.76	0.42	100.00
2014	31.62	35.60	28.03	4.36	0.39	100.00
2015	31.65	38.60	26.61	2.81	0.33	100.00
2016	30.51	40.26	25.64	3.27	0.32	100.00
2017	33.67	36.93	25.88	3.18	0.34	100.00
2018	31.32	37.66	27.76	2.40	0.86	100.00
2019	36.51	35.51	24.23	3.68	0.08	100.00
2020	33.04	36.10	27.30	3.19	0.38	100.00
2021	32.52	37.07	27.80	2.28	0.33	100.00
2022	35.66	33.09	27.82	2.82	0.61	100.00

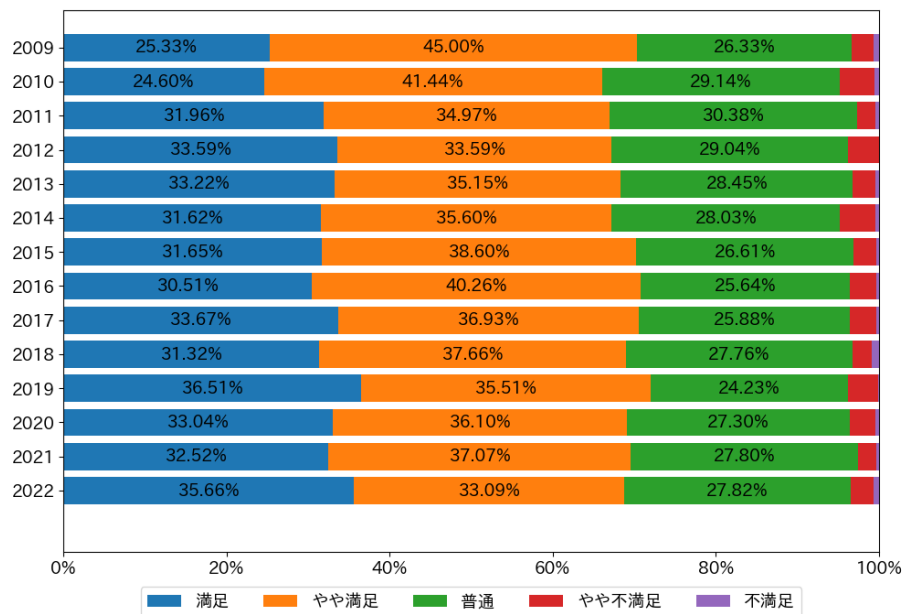


図 6.32: 山口市訪問の満足度の推移

(24) 今回の旅行の満足度 表 6.64、表 6.65 および図 6.33 は、2009 年から 2022 年までの今回の旅行の満足度（5 段階評価）を示したものである。2011 年以降、満足がやや満足を割合で上回っている年が多い。2018 年に満足の割合が 35.83 % と低下しやや満足の割合を下回ったが、2019 年は 44.59 % と非常に高い割合となり、2022 年も 40.02 % と高い水準となった。

表 6.64: 今回の旅行の満足度別の回答数

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
2009	103	126	69	9	1	308
2010	110	159	96	8	2	375
2011	239	198	172	18	3	630
2012	369	296	234	27		926
2013	475	401	292	32	6	1206
2014	390	332	274	34	4	1034
2015	469	439	271	26	1	1206
2016	614	599	335	28	4	1580
2017	466	406	291	24	4	1191
2018	369	387	250	18	6	1030
2019	536	395	243	27	1	1202
2020	326	265	173	21	2	787
2021	233	238	136	11	2	620
2022	329	272	206	15		822

表 6.65: 今回の旅行の満足度別の回答数（構成比、％）

	満足	やや満足	普通	やや不満足	不満足	合計
2009	33.44	40.91	22.40	2.92	0.32	100.00
2010	29.33	42.40	25.60	2.13	0.53	100.00
2011	37.94	31.43	27.30	2.86	0.48	100.00
2012	39.85	31.97	25.27	2.92		100.00
2013	39.39	33.25	24.21	2.65	0.50	100.00
2014	37.72	32.11	26.50	3.29	0.39	100.00
2015	38.89	36.40	22.47	2.16	0.08	100.00
2016	38.86	37.91	21.20	1.77	0.25	100.00
2017	39.13	34.09	24.43	2.02	0.34	100.00
2018	35.83	37.57	24.27	1.75	0.58	100.00
2019	44.59	32.86	20.22	2.25	0.08	100.00
2020	41.42	33.67	21.98	2.67	0.25	100.00
2021	37.58	38.39	21.94	1.77	0.32	100.00
2022	40.02	33.09	25.06	1.82		100.00

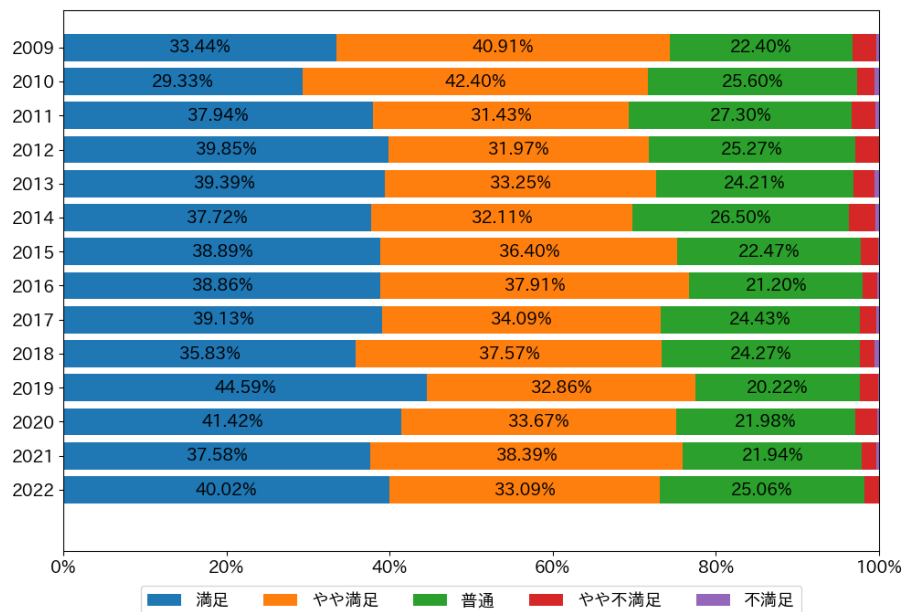


図 6.33: 今回の旅行の満足度の推移

(25) 山口市の魅力 表 6.66、表 6.67、および図 6.34、図 6.35 は、2016 年から 2022 年までの山口市の魅力の推移を示したものである。なお、山口市の魅力は上位三つを選択する複数回答項目である。概ね、湯田温泉（周辺観光地の宿泊地として）の割合が高く、50 %程度の推移となっている。続いて、神社・仏閣巡りの割合が 30 %程度で推移している。湯田温泉（無料の足湯）、グルメ（郷土料理や地酒など）、および明治維新の史跡も比較的高い割合を占めている。

表 6.66: 山口市の魅力別の回答数

	湯田温泉（周辺観光地の 宿泊地として）	湯田温泉（外来湯）	湯田温泉（無料の足湯）	温泉（湯田温泉以外）
2016	1015	226	423	87
2017	632	195	341	66
2018	537	161	278	55
2019	728	157	315	77
2020	442	125	214	58
2021	305	117	165	56
2022	434	138	238	101

	グルメ（郷土料理や地酒 など）	お土産	大内文化の史跡	明治維新の史跡
2016	430	213	251	473
2017	309	172	197	351
2018	252	160	192	337
2019	347	189	157	317
2020	237	110	151	175
2021	162	103	107	150
2022	227	121	132	197

	神社・仏閣巡り	自然景観（桜、ホタル、 海、山など）	古い街並み（一の坂川周 辺など）	祭り・イベント
2016	416	315	322	53
2017	399	229	244	75
2018	371	230	226	83
2019	382	256	220	82
2020	251	180	166	38
2021	223	141	137	23
2022	288	200	188	55

	現代の芸術・文化を育む 文化施設	中原中也や種田山頭火な どを育んだ文化的な雰 囲気・風土	その他	回答者計
2016	81	311	88	1699
2017	89	252	70	1272
2018	69	263	78	1149
2019	77	233	81	1267
2020	53	153	43	852
2021	56	116	35	675
2022	59	166	51	908

表 6.67: 山口市の魅力別の回答数（構成比、％）

	湯田温泉（周辺観光地の 宿泊地として）	湯田温泉（外来湯）	湯田温泉（無料の足湯）	温泉（湯田温泉以外）
2016	59.74	13.30	24.90	5.12
2017	49.69	15.33	26.81	5.19
2018	46.74	14.01	24.19	4.79
2019	57.46	12.39	24.86	6.08
2020	51.88	14.67	25.12	6.81
2021	45.19	17.33	24.44	8.30
2022	47.80	15.20	26.21	11.12

	グルメ（郷土料理や地酒 など）	お土産	大内文化の史跡	明治維新の史跡
2016	25.31	12.54	14.77	27.84
2017	24.29	13.52	15.49	27.59
2018	21.93	13.93	16.71	29.33
2019	27.39	14.92	12.39	25.02
2020	27.82	12.91	17.72	20.54
2021	24.00	15.26	15.85	22.22
2022	25.00	13.33	14.54	21.70

	神社・仏閣巡り	自然景観（桜、ホテル、 海、山など）	古い街並み（一の坂川周 辺など）	祭り・イベント
2016	24.48	18.54	18.95	3.12
2017	31.37	18.00	19.18	5.90
2018	32.29	20.02	19.67	7.22
2019	30.15	20.21	17.36	6.47
2020	29.46	21.13	19.48	4.46
2021	33.04	20.89	20.30	3.41
2022	31.72	22.03	20.70	6.06

	現代の芸術・文化を育む 文化施設	中原中也や種田山頭火な どを育んだ文化的な雰 囲気・風土	その他	回答者計
2016	4.77	18.30	5.18	100.00
2017	7.00	19.81	5.50	100.00
2018	6.01	22.89	6.79	100.00
2019	6.08	18.39	6.39	100.00
2020	6.22	17.96	5.05	100.00
2021	8.30	17.19	5.19	100.00
2022	6.50	18.28	5.62	100.00

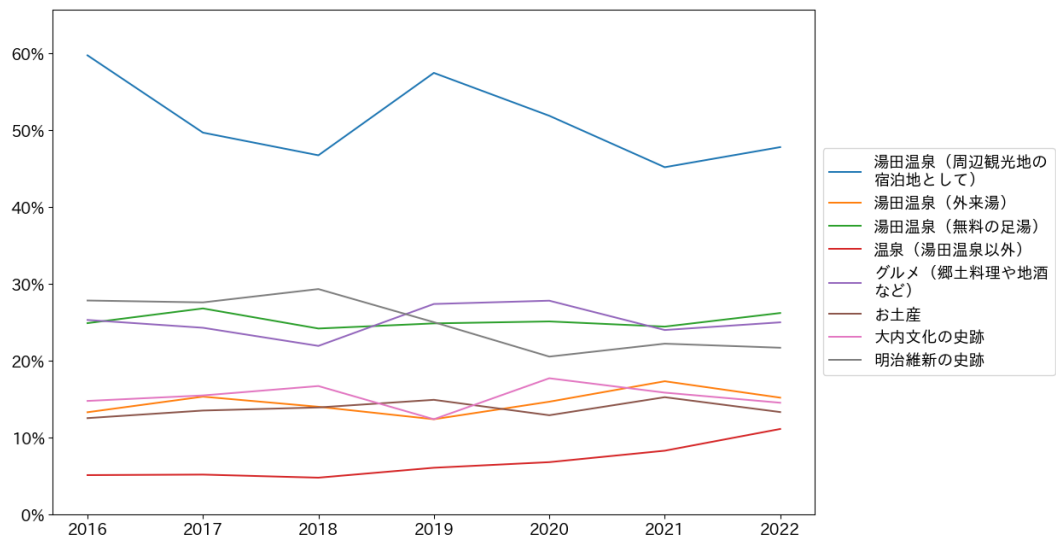


図 6.34: 山口市の魅力の推移（1）

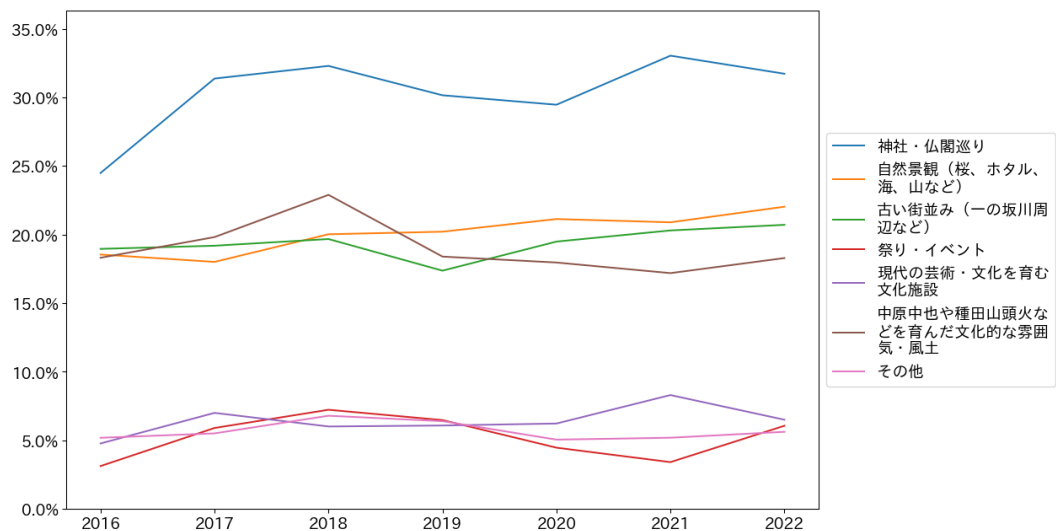


図 6.35: 山口市の魅力の推移（2）

(26) 山口市内で立ち寄った観光施設数 表 6.68、表 6.69 および図 6.36 は、2009 年から 2022 年までの山口市内で立ち寄った観光施設数を示したものである。2010 年までは 3 か所が最も多いが、2011 年から 2015 年では 1 か所が最も多くなっており、続いて 2 か所、3 か所となっている。しかし、2016 年以降は 1 か所の割合が下降し、2 か所の割合が一番高くなっている。

表 6.68: 山口市内で立ち寄った観光施設数別の回答数

	0 か所	1 か所	2 か所	3 か所	4 か所	5 か所	6 か所以上	合計
2009		66	59	73	16	22	32	268
2010		70	72	79	35	36	25	317
2011		179	169	131	29	19	25	552
2012	37	265	238	192	47	34	33	846
2013	42	358	315	225	43	46	42	1071
2014	67	324	270	205	34	34	49	983
2015	32	197	191	195	85	58	80	838
2016	46	218	241	236	132	80	113	1066
2017	32	137	202	183	100	98	85	837
2018	14	135	178	153	85	62	84	711
2019	29	160	190	183	98	71	81	812
2020	21	118	144	121	68	49	57	578
2021	19	101	92	104	46	46	50	458
2022	18	113	124	121	59	57	64	556

表 6.69: 山口市内で立ち寄った観光施設数別の回答数（構成比、％）

	0 か所	1 か所	2 か所	3 か所	4 か所	5 か所	6 か所以上	合計
2009		24.63	22.01	27.24	5.97	8.21	11.94	100.00
2010		22.08	22.71	24.92	11.04	11.36	7.89	100.00
2011		32.43	30.62	23.73	5.25	3.44	4.53	100.00
2012	4.37	31.32	28.13	22.70	5.56	4.02	3.90	100.00
2013	3.92	33.43	29.41	21.01	4.01	4.30	3.92	100.00
2014	6.82	32.96	27.47	20.85	3.46	3.46	4.98	100.00
2015	3.82	23.51	22.79	23.27	10.14	6.92	9.55	100.00
2016	4.32	20.45	22.61	22.14	12.38	7.50	10.60	100.00
2017	3.82	16.37	24.13	21.86	11.95	11.71	10.16	100.00
2018	1.97	18.99	25.04	21.52	11.95	8.72	11.81	100.00
2019	3.57	19.70	23.40	22.54	12.07	8.74	9.98	100.00
2020	3.63	20.42	24.91	20.93	11.76	8.48	9.86	100.00
2021	4.15	22.05	20.09	22.71	10.04	10.04	10.92	100.00
2022	3.24	20.32	22.30	21.76	10.61	10.25	11.51	100.00

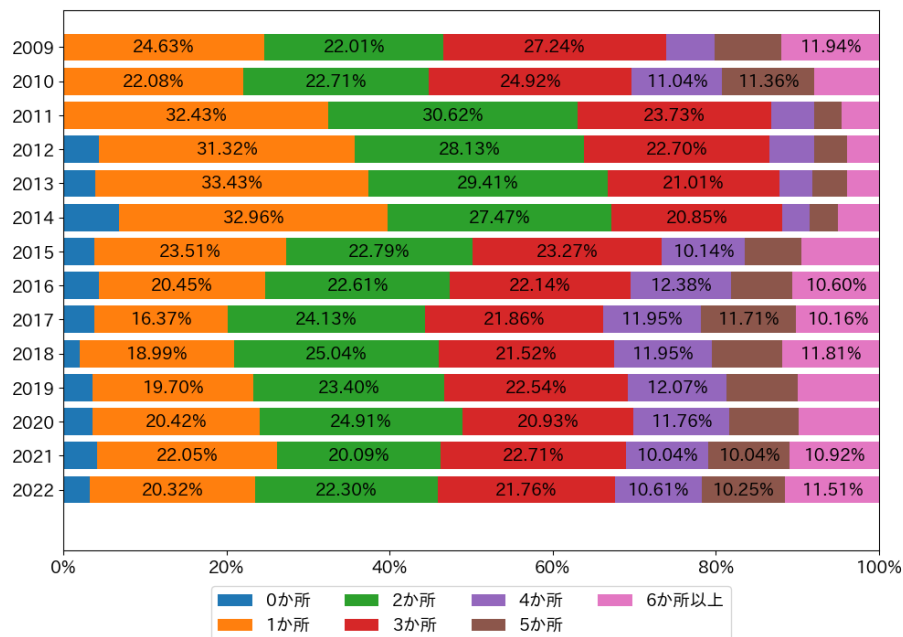


図 6.36: 山口市内で立ち寄った観光施設数の推移

(27) 山口市内での旅行中の情報 旅行中に利用した情報媒体については、2011 年から調査を開始している。

a. 旅行中に利用した情報媒体 表 6.70、表 6.71 および図 6.37 は、2011 年から 2022 年までの旅行中に利用した情報媒体の推移を示したものである。なお、旅行中に利用した情報媒体は複数回答項目である。無料の観光パンフレットの割合が 60 %程度の推移となっている。有料・無料とも観光パンフレットの割合は下降傾向にある。2015 年の回答項目の刷新以降、観光案内所が平均 24 %、観光情報サイトが 25 %と比較的高い割合で推移している。

表 6.70: 旅行中に利用した情報媒体別の回答数

	市販の観光パンフレット	無料の観光パンフレット	観光案内所	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	その他の利用媒体	利用した媒体はない	回答者計
2011	188	401					52	73	636
2012	265	584						67	850
2013	304	728						102	1213
2014	252	673						96	1052
2015	317	795	163			81	70	89	1261
2016	375	937	403	209	57	170	80	148	1659
2017	298	759	373	339	140	183	72	90	1265
2018	266	651	331	301	114	140	67	80	1122
2019	270	681	322	357	161	126	71	109	1239
2020	198	418	204	233	95	81	58	105	838
2021	144	347	161	164	102	46	43	72	664
2022	203	478	224	267	138	87	43	79	894

表 6.71: 旅行中に利用した情報媒体別の回答数（構成比、%）

	市販の観光パンフレット	無料の観光パンフレット	観光案内所	観光情報サイト	個人のブログ・SNS	湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」	その他の利用媒体	利用した媒体はない	回答者計
2011	29.56	63.05					8.18	11.48	100.00
2012	31.18	68.71						7.88	100.00
2013	25.06	60.02						8.41	100.00
2014	23.95	63.97						9.13	100.00
2015	25.14	63.05	12.93			6.42	5.55	7.06	100.00
2016	22.60	56.48	24.29	12.60	3.44	10.25	4.82	8.92	100.00
2017	23.56	60.00	29.49	26.80	11.07	14.47	5.69	7.11	100.00
2018	23.71	58.02	29.50	26.83	10.16	12.48	5.97	7.13	100.00
2019	21.79	54.96	25.99	28.81	12.99	10.17	5.73	8.80	100.00
2020	23.63	49.88	24.34	27.80	11.34	9.67	6.92	12.53	100.00
2021	21.69	52.26	24.25	24.70	15.36	6.93	6.48	10.84	100.00
2022	22.71	53.47	25.06	29.87	15.44	9.73	4.81	8.84	100.00

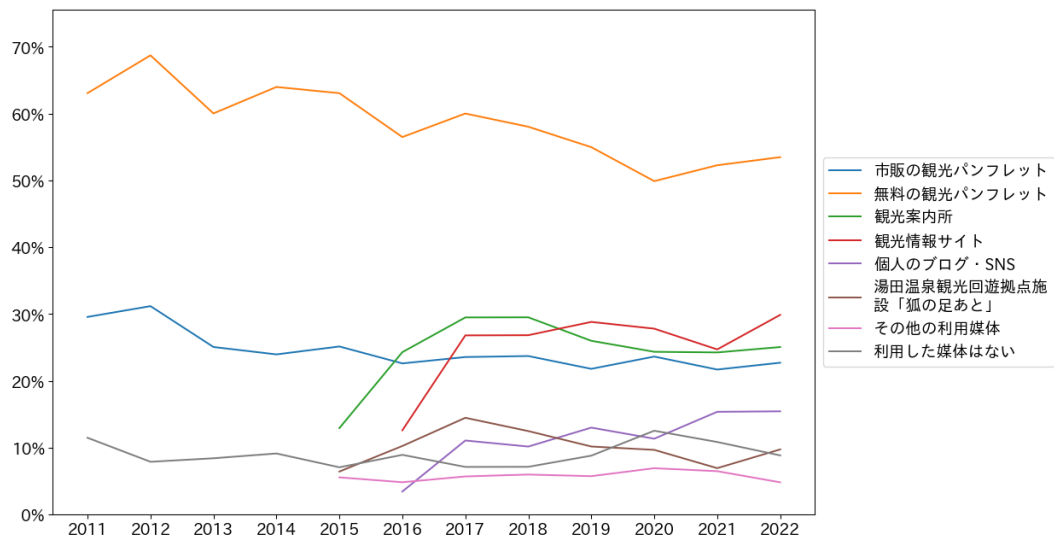


図 6.37: 旅行中に利用した情報媒体の推移

b. 欲しい情報の取得状況 表 6.72、表 6.73 および図 6.38 は、2011 年から 2022 年までの欲しい情報が得られたかどうかの推移を示したものである。得られた・やや得られたとする回答を合わせると、80 %前後で推移している。

表 6.72: 欲しい情報が得られたかどうか別の回答数

	得られた	やや得られた	普通	あまり得られなかった	得られなかった	合計
2011	241	173	110	17	3	544
2012	306	296	154	24	9	789
2013	441	354	214	34	4	1047
2014	443	295	140	33	11	922
2015	499	372	201	19	7	1098
2016	603	475	263	36	9	1386
2017	471	373	208	26	9	1087
2018	420	313	173	26	6	938
2019	486	340	178	34	6	1044
2020	291	205	147	29	7	679
2021	219	197	94	15	4	529
2022	352	232	122	17	4	727

表 6.73: 欲しい情報が得られたかどうか別の回答数（構成比、％）

	得られた	やや得られた	普通	あまり得られなかった	得られなかった	合計
2011	44.30	31.80	20.22	3.12	0.55	100.00
2012	38.78	37.52	19.52	3.04	1.14	100.00
2013	42.12	33.81	20.44	3.25	0.38	100.00
2014	48.05	32.00	15.18	3.58	1.19	100.00
2015	45.45	33.88	18.31	1.73	0.64	100.00
2016	43.51	34.27	18.98	2.60	0.65	100.00
2017	43.33	34.31	19.14	2.39	0.83	100.00
2018	44.78	33.37	18.44	2.77	0.64	100.00
2019	46.55	32.57	17.05	3.26	0.57	100.00
2020	42.86	30.19	21.65	4.27	1.03	100.00
2021	41.40	37.24	17.77	2.84	0.76	100.00
2022	48.42	31.91	16.78	2.34	0.55	100.00

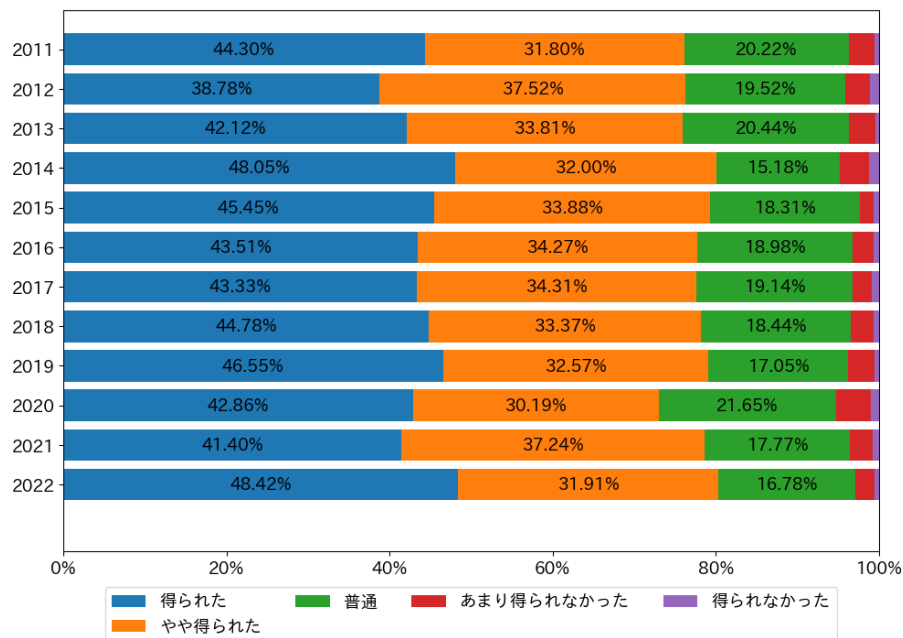


図 6.38: 欲しい情報が得られたかどうかの推移

c. 情報の入手しやすさ 表 6.74、表 6.75 および図 6.39 は、2011 年から 2022 年までの情報の入手しやすさの推移を示したものである。入手しやすかった・やや入手しやすかったとする回答を合わせると、80 %程度が入手しやすかったと評価している。

表 6.74: 情報の入手しやすさ別の回答数

	入手しやすかった	やや入手しやすかった	普通	やや入手しにくかった	入手しにくかった	合計
2011	313	107	86	23		529
2012	457	144	139	19	4	763
2013	591	213	193	23	9	1029
2014	533	175	169	23	14	914
2015	650	213	201	20	4	1088
2016	775	266	292	38	7	1378
2017	603	234	199	21	6	1063
2018	541	193	146	31	9	920
2019	625	185	198	24	4	1036
2020	383	140	125	13	6	667
2021	302	113	101	12	5	533
2022	445	129	134	12	1	721

表 6.75: 情報の入手しやすさ別の回答数（構成比、％）

	入手しやすかった	やや入手しやすかった	普通	やや入手しにくかった	入手しにくかった	合計
2011	59.17	20.23	16.26	4.35		100.00
2012	59.90	18.87	18.22	2.49	0.52	100.00
2013	57.43	20.70	18.76	2.24	0.87	100.00
2014	58.32	19.15	18.49	2.52	1.53	100.00
2015	59.74	19.58	18.47	1.84	0.37	100.00
2016	56.24	19.30	21.19	2.76	0.51	100.00
2017	56.73	22.01	18.72	1.98	0.56	100.00
2018	58.80	20.98	15.87	3.37	0.98	100.00
2019	60.33	17.86	19.11	2.32	0.39	100.00
2020	57.42	20.99	18.74	1.95	0.90	100.00
2021	56.66	21.20	18.95	2.25	0.94	100.00
2022	61.72	17.89	18.59	1.66	0.14	100.00

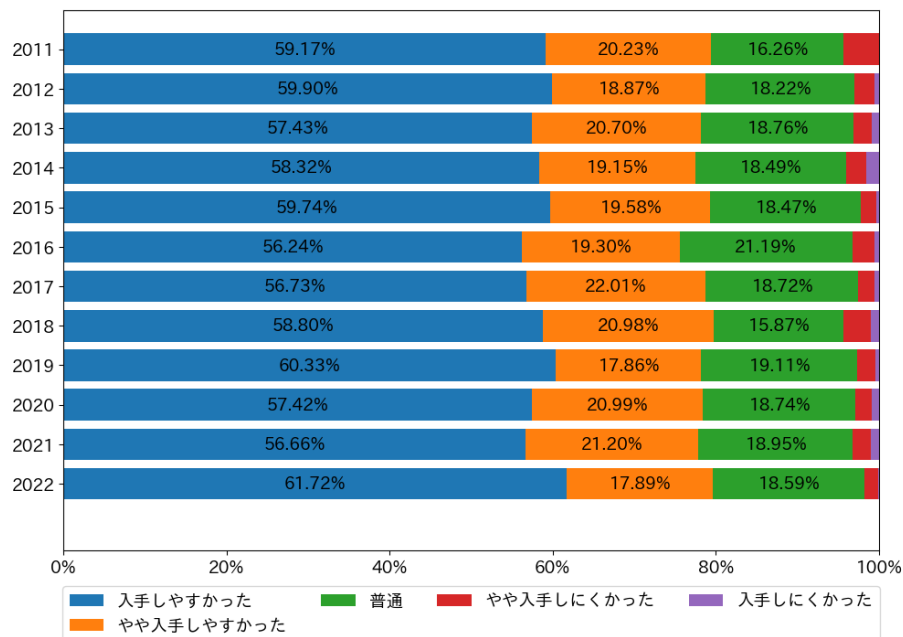


図 6.39: 情報の入手しやすさの推移

(28) 山口市への再訪問の意思 表 6.76、表 6.77 および図 6.40 は、2009 年から 2022 年までの山口市への再訪問の意思について、推移を示したものである。2009 年から 2010 年までは是非訪れたいが 30%台であったが、2011 年と 2012 年にはその割合は高い水準に達し、その後は 54 %程度で推移している。全体としては、是非訪れたい・機会があれば訪れたいとする回答割合が高く、合わせて 90 %台で推移している。

表 6.76: 山口市への再訪問の意思別の回答数

	是非訪れたい	機会があれば訪れたい	敢えて訪れたいとは思わない	訪れたくない	合計
2009	103	226	9		338
2010	143	243	10		396
2011	438	207	5	2	652
2012	507	338	11	1	857
2013	684	537	18	2	1241
2014	592	466	33	3	1094
2015	669	584	22	6	1281
2016	887	747	29	3	1666
2017	672	547	36	2	1257
2018	597	497	28	2	1124
2019	647	571	26	2	1246
2020	454	359	16	1	830
2021	379	273	8	2	662
2022	501	368	17		886

表 6.77: 山口市への再訪問の意思別の回答数（構成比、％）

	是非訪れたい	機会があれば訪れたい	敢えて訪れたいとは思わない	訪れたくない	合計
2009	30.47	66.86	2.66		100.00
2010	36.11	61.36	2.53		100.00
2011	67.18	31.75	0.77	0.31	100.00
2012	59.16	39.44	1.28	0.12	100.00
2013	55.12	43.27	1.45	0.16	100.00
2014	54.11	42.60	3.02	0.27	100.00
2015	52.22	45.59	1.72	0.47	100.00
2016	53.24	44.84	1.74	0.18	100.00
2017	53.46	43.52	2.86	0.16	100.00
2018	53.11	44.22	2.49	0.18	100.00
2019	51.93	45.83	2.09	0.16	100.00
2020	54.70	43.25	1.93	0.12	100.00
2021	57.25	41.24	1.21	0.30	100.00
2022	56.55	41.53	1.92		100.00

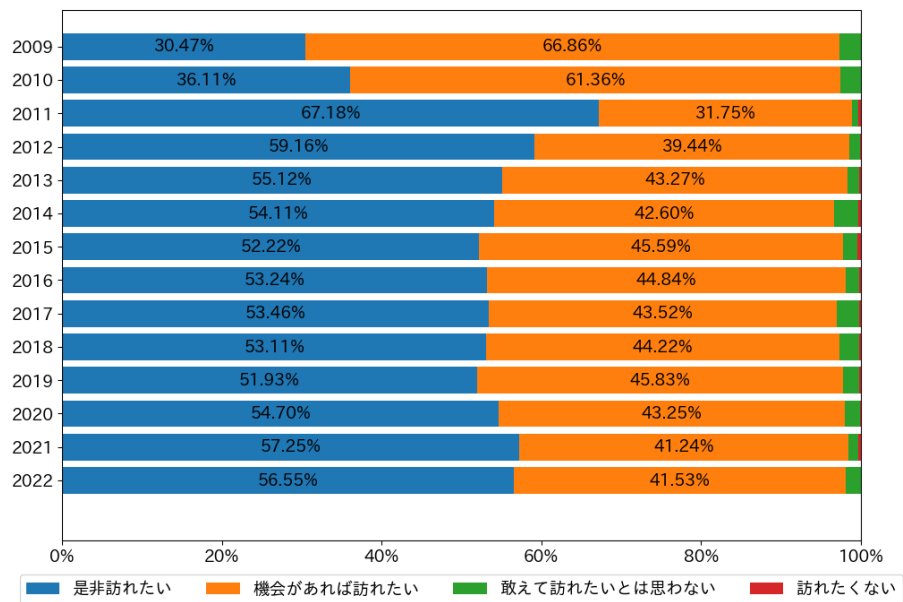


図 6.40: 山口市への再訪問の意思の推移

6.2 評価・満足度の推移

表 6.78、表 6.79、表 6.80、および図 6.41、図 6.42、図 6.43 は、2009 年から 2022 年までの期間で、各評価・満足を得点化した平均値の推移を示したものである。最も低い評価（「悪い」・「(価格が) 高い」など）を 1, 最も高い評価（「良い」・「(価格が) 安い」など）を 5 とする得点化を行い、有効回答全体の平均値を算出している。

宿泊施設に関しては、料金に対する評価を除いて、比較的高い評価を得ている。交通の便については、乗り継ぎの評価が低い傾向がある。土産物は価格・品揃えとも普通程度の評価となっている。食事（宿泊施設以外）・観光施設・旅行の満足度は比較的高い評価である。

表 6.78: 評価・満足度の平均値（宿泊施設）

	宿泊施設 (料金)	宿泊施設 (料理)	宿泊施設 (風呂)	宿泊施設 (接客 態度)	宿泊施設 (部屋)	宿泊施設 (施設 設備)
2009	3.35	3.71	3.96	3.97	3.58	3.56
2010	3.29	3.67	3.85	3.89	3.63	3.63
2011	3.29	3.77	4.00	3.92	3.71	3.59
2012	3.31	3.82	3.98	4.02	3.75	3.69
2013	3.38	3.80	4.05	4.09	3.84	3.76
2014	3.41	3.77	3.93	3.97	3.72	3.66
2015	3.33	3.88	4.09	4.10	3.95	3.82
2016	3.24	3.92	4.13	4.21	4.00	3.86
2017	3.38	3.79	3.99	4.03	3.76	3.65
2018	3.25	3.64	3.84	3.96	3.73	3.62
2019	3.33	3.97	4.12	4.21	4.00	3.88
2020	3.38	3.89	4.07	4.12	3.89	3.80
2021	3.25	3.74	3.97	4.01	3.83	3.78
2022	3.24	3.78	4.03	4.10	3.82	3.72

表 6.79: 評価・満足度の平均値（交通の便・土産物）

	交通の便（乗り 継ぎ）	交通の便（道路 標識）	交通の便（観光案 内版）	土産物（価格）	土産物（品揃え）
2011	2.99	3.58	3.59	3.06	3.23
2012	2.96	3.61	3.62	3.07	3.18
2013	2.92	3.48	3.55	3.12	3.18
2014	3.02	3.53	3.54	3.07	3.13
2015	3.22	3.54	3.57	3.07	3.13
2016	3.27	3.57	3.56	3.04	3.13
2017	3.20	3.54	3.56	3.10	3.13
2018	3.16	3.51	3.56	3.09	3.14
2019	3.28	3.59	3.59	3.11	3.17
2020	3.33	3.63	3.64	3.12	3.17
2021	3.33	3.64	3.66	3.11	3.13
2022	3.25	3.67	3.67	3.13	3.16

表 6.80: 評価・満足度の平均値（観光施設・食事・旅行の満足度）

	食事（宿泊施設以外）	観光施設	山口市訪問の満足度	今回の旅行全体の満足度
2009		3.69	3.92	4.04
2010		3.68	3.85	3.98
2011		3.66	3.96	4.03
2012		3.71	3.97	4.09
2013		3.73	3.98	4.08
2014	3.66	3.75	3.94	4.03
2015	3.60	3.74	3.98	4.12
2016	3.61	3.74	3.97	4.13
2017	3.59	3.79	4.00	4.10
2018	3.55	3.79	3.96	4.06
2019	3.65	3.86	4.05	4.20
2020	3.63	3.82	3.98	4.13
2021	3.68	3.81	3.99	4.11
2022	3.67	3.83	4.00	4.11

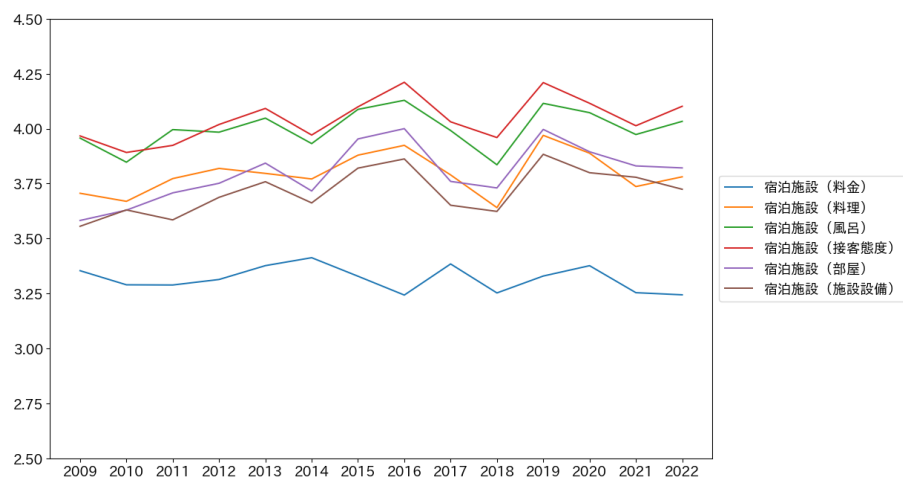


図 6.41: 評価・満足度の平均値（宿泊施設）の推移

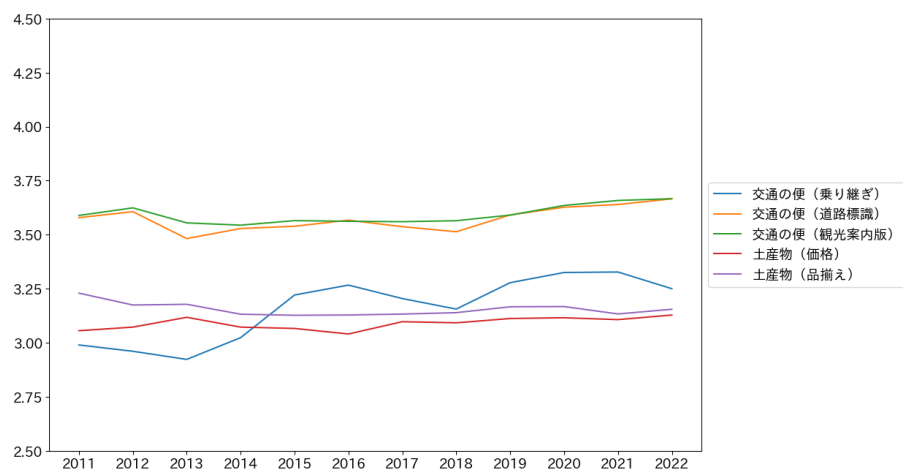


図 6.42: 評価・満足度の平均値（交通の便・土産物）の推移

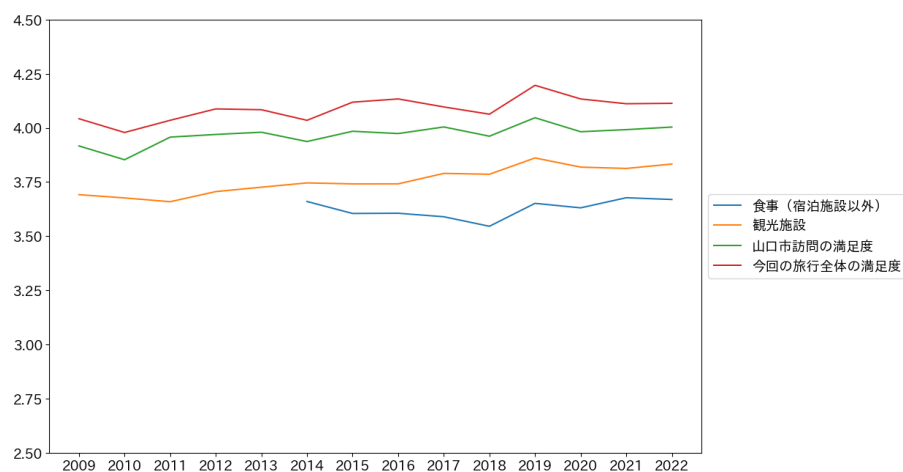


図 6.43: 評価・満足度の平均値（観光施設・食事・旅行の満足度）の推移

第Ⅲ部 山口市における観光の現 状・課題と提言

第7章 アンケート集計結果からみる山口市における観光の現状

7.1 2022 年における山口市への訪問者の現状

以下では、2022 年調査の単純集計結果からみえる山口市への訪問者の現状をまとめる。

- 性別に関して、男性が 41.67 %、女性が 58.33 %で、女性のほうが多かった。
- 年齢に関して、60 代の割合が最も高く、23.07 %、次いで 50 代が 21.52 %、70 代以上が 16 %となっている。一方、最も少ない年齢層は 9 歳以下で 1.21 %である。なお、10 代は約 5 %、20 代は約 9 %となっている。
- 職業に関して、最も割合が高いのは会社員の 30.53 %であり、次いで主婦・主夫の 17.26 %、無職の 14.82 %となっている。
- 山口県内外の居住地別では、38.01 %が山口県内居住者であり、61.99 %が山口県外の居住者であった。
- 山口県内の居住地別に見ると、中部地域の割合が最も高く、次いで西部地域が高い。また、近県の居住地別では、広島県が 10.73 %、福岡県が 10.62 %となっている。居住地を地方別（山口県を除く）に区分した場合、中国（山口県を除く）が 15.33 %と最も高く、次いで九州が 14.57 %、関東が 13.58 %となっている。
- 山口市以外に山口県内で立ち寄った地区は、萩・長門地区が 40.88 %と最も高く、下関地区が 23.9 %、宇部・小野田地区が 19.37 %と続いている。また、山口市以外に立ち寄った地区はないとする回答は 21.13 %、山口県外の地域に立ち寄ったとする回答は 20.13 %となっている。なお、これらは複数回答項目であるため、分母を回答者数として割合を計算している。
- 旅行の主な目的は、観光・旅行・温泉が 81.24 %と最も多く、次いで家族・親族等への訪問が 6.83 %、大会・イベント出席が 2.39 %であった。
- 山口市に旅行するきっかけとなった情報媒体は、その他が 26.24 %と最も高く、友人・知人が 16.33 %、観光情報サイトが 14.41 %、旅行誌・ガイドブックが 11.37 %となっている。
- 旅行の同行者との関係は、家族が 36.56 %と最も高く、次いで夫婦が 29.52 %、ひとりが 17.07 %、友人・知人が 12.78 %となっている。
- 旅行における同行者の人数（自身を含む）については、2 人が 52.05 %と最も高く、1 人（本人のみ）が 17.54 %、3 人が 15.21 %と続いている。
- 山口市への旅行回数は、10 回以上が 26.25 %と最も高く、初めて（1 回）が 21.86 %、2 回が 16.97 %となっている。初めて山口市を訪れた旅行者は全体の 21.86 %であったため、リピーターの割合は 78.14 %となった。

- 山口市への来訪月は、5月の割合が最も高く13.84%、次いで11月が11.56%となっている。2022年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う移動制限がほとんど実施されなかったこともあり、2019年以前と同様、5月や8月といった大型連休や長期休暇の時期に山口市を訪問する観光客の割合が高くなっている。
- 山口市までの主な交通手段は、自家用車の割合が最も高く62.1%であり、新幹線が20.93%、その他の鉄道が11.43%と続いている。なお、これらは複数回答項目であるため、分母を回答者数として割合を計算している。
- 山口市内での主な移動手段は、自家用車の割合が最も高く61.31%であり、徒歩が16.65%、路線バスが11.25%と続いている。なお、これらは複数回答項目であるため、分母を回答者数として割合を計算している。
- 今回の旅行の全行程は、1泊が35.4%と最も多く、次いで日帰りが28.84%となっている。通常の旅行動向からいえば日帰り旅行の割合がより高いと考えられるが、本アンケートの結果では宿泊旅行の割合が高いように見える。これは、山口市への旅行者のうち、県外からの旅行者が61.99%と高い割合を占めていること、またアンケート表を宿泊施設でも配布しているため宿泊者からの回収割合が高いことから、宿泊旅行の割合が高くなっていることが推測される。以下、本報告書で旅行の行程を考察する際はこの点に注意を要する。
- 山口市内での宿泊数は、1泊が51.51%と最も多く、次いで日帰りが34.03%、2泊が10.25%となっている。
- 山口市内での平均消費額は、宿泊費が12360.16円で最も多く、次いで交通費が5202.51円となっている。また、各平均消費額の合計は31683.54円である。
- 山口市内での宿泊地は、湯田温泉が62.62%と最も多く、次いでその他の19.28%となっている。なお、これらの割合は分母を回答数の合計値とした構成比であり、参考値として示している。
- 宿泊施設の料金についての5段階評価は、普通の割合が55.37%で最も高く、やや高いが14.44%、安い14.26%であった。
- 宿泊施設の料理についての5段階評価は、普通の割合が43.99%で最も高く、良いが31.98%、やや良いが19.38%であった。
- 宿泊施設の風呂についての5段階評価は、良いの割合が40.33%で最も高く、普通が32.23%、やや良いが25.05%であった。
- 宿泊施設の接客態度についての5段階評価は、良いの割合が44.18%で最も高く、普通が29.21%、やや良いが24.4%であった。
- 宿泊施設の部屋についての5段階評価は、普通の割合が39.16%で最も高く、良いが33.21%、やや良いが21.88%であった。
- 宿泊施設の施設設備についての5段階評価は、普通の割合が45.06%で最も高く、良いが29.28%、やや良いが20.34%であった。
- 交通の便における乗り継ぎについての5段階評価は、楽だったとやや楽をあわせて34.75%となる一方、やや大変と大変をあわせると24.24%となっている。

- 交通の便における道路標識についての5段階評価は、普通の割合が42.84 %で最も高く、わかりやすいが29.42 %、ややわかりやすいが18.45 %であった。
- 交通の便における観光案内版についての5段階評価は、普通の割合が40.69 %、わかりやすいが29.58 %、ややわかりやすいが19.52 %であった。
- 土産物における価格についての5段階評価は、普通の割合が76.94 %で最も高く、やや安いが9.92 %、やや高いが7.24 %であった。普通とする割合が極めて高くなっている。
- 土産物における品揃えについての5段階評価は、普通の割合が64.71 %で最も高く、やや悪いが13.59 %、やや良いが10.92 %であった。
- 宿泊施設以外の食事についての5段階評価は、普通の割合が44.99 %で最も高く、良いが24.69 %、やや良いが24.28 %であった。総じて良いとする評価が高い。
- 観光施設についての5段階評価は、普通の割合が39.03 %で最も高く、良いが30.01 %、やや良いが27.19 %であった。観光施設については、約6割が総じて良いと評価している。
- 山口市訪問の満足度については、満足が35.66 %、やや満足が33.09 %となり、約7割が総じて満足と評価している。
- 今回の旅行の満足度については、満足が40.02 %、やや満足が33.09 %、普通が25.06 %となり、約7割が総じて満足と評価している。
- 山口市の魅力については、湯田温泉（周辺観光地の宿泊地として）の割合が47.8 %と最も高く、次に、神社・仏閣巡りが31.72 %、3番目が湯田温泉（無料の足湯）で26.21 %であった。なお、これらは複数回答項目（上位三つを選択）であるため、分母を回答者数として割合を計算している。
- 今回の旅行中に山口市内で立ち寄った観光施設数は、2か所の割合が22.3 %で最も高く、次いで3か所が21.76 %、1か所が20.32 %となっている。
- 山口市内を訪れた観光客が訪問した観光施設の順位を確認すると、最も多くの観光客が訪れているのは瑠璃光寺五重塔の424人であり、訪問率は45.3 %であった。次いで、湯田温泉が418人で訪問率が44.66 %、狐の足あとが249人で訪問率が26.6 %、中原中也記念館が225人で訪問率が24.04 %、山口サビエル記念聖堂が196人で訪問率が20.94 %であった。山口市への来訪者は、温泉を魅力に感じている人が多いが、文化的な雰囲気・風土についても併せて楽しんでおり、中原中也記念館への訪問者数もそれなりに多い。また、宿泊施設以外の飲食店・居酒屋等が湯田温泉に多いこと中原中也記念館・狐の足あとの近接性から湯田温泉内での周遊行動への相乗効果があったことも推測される。
- 山口市内での旅行中に利用した情報媒体は、無料の観光パンフレットの割合が53.47 %で最も高く、観光情報サイトが29.87 %、観光案内所が25.06 %と続いている。湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」は9.73 %であった。なお、これらは複数回答項目であるため、分母を回答者数として割合を計算している。
- 山口市内を旅行中に欲しい情報が得られたかについては、得られたとする回答が48.42 %、やや得られたが31.91 %であり、両者を合計することで80.33 %が欲しい情報が得られたことが分かった。

- 山口市内を旅行中に欲しい情報は入手しやすかったかについては、入手しやすかったとする回答が 61.72 %、やや入手しやすかったが 17.89 %であった。一方、入手しにくかったとする回答が 0.14 %、やや入手しにくかったが 1.66 %であった。
- また山口市を訪れたいと思うかについては、是非訪れたいとする回答が 56.55 %、機会があれば訪れたいが 41.53 %であった。これらの合計値は 98.08 %となることから、山口市へ再び訪れたいという観光客が多いことが明らかとなった。

7.2 2009 年から 2022 年における山口市への訪問者の傾向の推移

以下では、2009 年から 2022 年までの 14 年間の調査結果からみる山口市への訪問客の傾向をまとめる。

- 性別について、対象期間の平均値でみると、男性は 41.57 %、女性は 58.43 %で推移している。これまでの推移に大きな変化はなく、いずれも男性よりも女性が多い結果となっている。
- 年齢については、多くの年で、50 代および 60 代の割合が高い一方、9 歳以下および 10 代の割合は低い傾向がある。
- 職業は、ほぼすべての年で、会社員の割合が高く、主婦・主夫や無職が続いている。
- 居住地については、山口県内外に区分した場合、山口県外の居住者が多い傾向がある。コロナ禍により 2020 年以降は県内居住者の比率が上昇しているが、2022 年は、2021 年と比べて県外居住者の比率が少し上昇している。一方、居住地構成を地方で見た場合、山口県内を除くと、中国（山口県を除く）、九州、関東、および、近畿といった地域の居住者の割合が高い傾向にある。
- 山口市以外の立ち寄りエリアは、山口県内においては、萩・長門地区が最も多く、それに続き宇部・小野田地区と下関地区が高い割合を占めている。なお、これらは複数回答項目であるため、分母を回答者数として割合を計算している。
- 旅行の主な目的は、いずれの年も観光・旅行・温泉を目的とした訪問が最も多くなっている。2011 年は、大会・イベント出席の割合が増加しているが、山口国体・山口大会の影響と考えられ、その後の割合は低下している。
- 山口市を旅行先の候補にあげたきっかけとなった情報媒体は、その他の割合が最も高く、続いて友人・知人が高い傾向がある。2015 年と 2018 年は例年に比べテレビの割合が高くなっており、大河ドラマの放映ややまぐち夢花博の開催が影響していると考えられる。
- 旅行の同行者は、総じて家族の割合が高い年が多く、夫婦や友人・知人がそれに続く割合の高さとなっている。また、2015 年以降はひとり旅の割合が増加している。
- 同行者の人数は、多くの年で 2 人が特に高い割合を占めている年が多い。2020 年以降、少ない人数での旅行の割合が上昇している傾向がある。
- 山口市への旅行回数は、初めて（1 回）、10 回以上、および 2 回の割合が高い傾向がある。また、初めて山口市を訪れた旅行者の割合は、2019 年まで徐々に上昇していたが、2019 年以降

は下降に転じている。

- 山口市への訪問月は、2013 年以降、1 月から 7 月の訪問割合は比較的安定している。2015 年 12 月、2016 年 8 月、2018 年 4 月と 5 月、および 2019 年 8 月と 9 月は、例年同月と比較して割合が高くなっている。2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響で 5 月が少なく 10 月と 11 月の割合が大きくなっている。2021 年は自粛要請が 9 月 26 日に解除されたことから、続く 10 月と 11 月の割合が大きくなっている。2022 年は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う移動制限がほとんど実施されなかったこともあり、2019 年以前と同様、5 月や 8 月といった大型連休や長期休暇の時期に山口市を訪問する観光客の割合が高くなっている。
- 山口市までの主な交通手段は、基本的には自家用車が最も高い割合を占めており、次に高いのが新幹線となっている。団体観光バスの割合は下降傾向にある一方、飛行機は変動があるものの上昇傾向にある（ただし 2020 年から 2022 年は下降している）。2014 年から自転車、徒歩を選択肢として加えているが、いずれも割合は低い。なお、これらは複数回答項目であるため、分母を回答者数として割合を計算している。
- 山口市内での主な移動手段は、自家用車が最も高い割合を占めている。その他の鉄道と路線バスは増加傾向にあるが、団体観光バスは減少傾向にある。自転車と徒歩（2014 年以降に正式に回答の選択肢に組み入れ）については、年ごとの変動はあるものの、一定の割合を占めている。なお、これらは複数回答項目であるため、分母を回答者数として割合を計算している。
- 旅行の全行程は、宿泊している場合に限ると、1 泊の割合が最も高い傾向がある。日帰りは 2016 年まではやや減少傾向にあったが、2018 年にかけて増加し、近年も高い水準となっている。
- 山口市内での宿泊数は、1 泊の割合が最も高く、続いて日帰りの割合が高い傾向がある。2011 年は 5 泊の割合が例年と比べて非常に高い。
- 山口市内での平均消費額は、2013 年は、例年と比較して宿泊費が大幅に増加している。2020 年以降は、新型コロナウイルスの影響もあり、宿泊費は減少傾向にある。また、2010 年にその他の平均消費額が大きく増加しているが、翌年以降は減少し、2016 年以降の金額は低い水準となっている。
- 山口市内での宿泊地については、いずれの年も湯田温泉の割合が高く、おおよそ 7 割から 8 割の間となっているが、コロナ禍以降、割合が低下している傾向にある。また、新山口駅と山口駅周辺は 10%程度の割合となっている。なお、これらの割合は分母を回答数の合計値とした構成比であり、参考値として示している。
- 宿泊施設の料金についての 5 段階評価は、普通と評価する割合が最も高く、高いと評価する割合が最も低い。
- 宿泊施設の料理についての 5 段階評価は、総じて普通と評価する割合が最も高い。また、良いとやや良いとする回答の割合も高いことから、料理については高い評価を得ている。
- 宿泊施設の風呂についての 5 段階評価は、いずれの年を見ても、良い、普通、やや良いと評価する割合が高く、高い満足度を得ていることがわかる。2015～2016 年は、良いとする評価の割合が高かったが、2017～2018 年は低下傾向となっていた。2019 年以降は良いとする評価が

多い。

- 宿泊施設の接客態度についての 5 段階評価は、いずれの年を見ても、良い、普通、やや良いと評価する割合が高く、接客態度に関して多くの観光客が満足しているようである。
- 宿泊施設の部屋についての 5 段階評価は、総じて普通の割合が高い。2011 年以降は良いがやや良いとする回答を上回り、高い評価を得ている。特に 2016 年と 2019 年は良いとする評価が多くなっている。
- 宿泊施設の施設設備についての 5 段階評価は、普通と評価する割合が高く、良い、またはやや良いとする割合は 20～30%の間で変動している。2019 年は良いという評価が多かった。
- 交通の便における乗り継ぎについての 5 段階評価は、2014 年と 2015 年にかけて、楽だった・やや楽だったと評価する割合が増加している。やや大変とする割合は 21 %前後、大変とする割合は 6 %前後でそれぞれ推移している。2020 年は普通が増加してやや大変と大変が減少し、2022 年も同様の傾向を示している。
- 交通の便における道路標識についての 5 段階評価は、全体的に、普通と評価する割合が最も高く、わかりやすい、ややわかりやすいという評価が続いている。
- 交通の便における観光案内版についての 5 段階評価は、わかりやすい、ややわかりやすいとする評価の合計が全体の約半数を占めており、年ごとの大きな変化は見られない。2015 年にはややわかりにくい、わかりにくいの評価の割合が減少したが、2017 年以降はややわかりにくい割合が上昇し 10%台となっていた。2019 年以降は再びこの割合が下降し評価が改善している。2022 年はややわかりやすいの割合が減少し、普通の割合が増加している。
- 土産物における価格についての 5 段階評価は、普通とする割合が非常に高く、多くの年で 21 %程度を占めている。安いとする評価は 2014 年と 2016 年に約 3%と落ち込んでいるが、その他の年は 4～6%で推移しており、2015 年以降は 4%前後となっている。やや高いとする評価は 2013 年以降 7%前後の割合だったが、2017 年以降は約 6%に減少している。
- 土産物における品揃えについての 5 段階評価は、普通とする割合が最も高く、各年でそれほど大きな変動は見られない。
- 宿泊施設以外の食事についての 5 段階評価は、総じて普通とする評価の割合が高い。良い、やや良いの評価を合わせると約半数が良いと評価しているものの、横ばいの傾向にある。
- 観光施設についての 5 段階評価は、総じて普通と評価する割合が高い。良い、やや良いの評価を合わせると半数以上が良いと評価している。良いとする評価の割合は、2011 年以降、上昇傾向にある。
- 山口市訪問の満足度については、全体的にやや満足と評価する割合が高い。特に、2011 年からは満足が普通を割合で上回っており、山口市の満足度は高いものとなっている。
- 今回の旅行の満足度については、2011 年から満足がやや満足を割合で上回り、2017 年にピークとなった。2018 年に満足の割合が 35.83 %と低下したことでやや満足の割合を下回ったが、2019 年は 44.59 %と非常に高い割合となり、2022 年は 40.02%と高い水準となった。
- 山口市の魅力については、概ね湯田温泉（周辺観光地の宿泊地として）の割合が高く、50 %程度の推移となっている。続いて、神社・仏閣巡りの割合が 30 %程度で推移している。湯田温

泉（無料の足湯）、グルメ（郷土料理や地酒など）、および明治維新の史跡も比較的高い割合を占めている。なお、これらは複数回答項目（上位三つを選択）であるため、分母を回答者数として割合を計算している。

- 今回の旅行中に山口市内で立ち寄った観光施設数は、2010 年までは 3 か所が最も多いが、2011 年から 2015 年では 1 か所が最も多くなっており、続いて 2 か所、3 か所となっている。しかし、2016 年以降は 1 か所の割合が下降し、2 か所の割合が一番高くなっている。
- 山口市内での旅行中に利用した情報媒体は、無料の観光パンフレットの割合が 60 %程度の推移となっている。有料・無料とも観光パンフレットの割合は下降傾向にある。2015 年の回答項目の刷新以降、観光案内所が平均 24 %、観光情報サイトが 25 %と比較的高い割合で推移している。なお、これらは複数回答項目であるため、分母を回答者数として割合を計算している。
- 山口市内を旅行中に欲しい情報が得られたかについては、得られた・やや得られたとする回答を合わせると、80 %前後で推移している。
- 山口市内を旅行中に欲しい情報は入手しやすかったかについては、入手しやすかった・やや入手しやすかったとする回答を合わせると、80 %程度が入手しやすかったと評価している。
- また山口市を訪れたいと思うかについては、2009 年から 2010 年までは是非訪れたいが 30%台であったが、2011 年と 2012 年にはその割合は高い水準に達し、その後は 54 %程度で推移している。全体としては、是非訪れたい・機会があれば訪れたいとする回答割合が高く、合わせて 90 %台で推移している。
- 宿泊施設や交通等の各項目に対する評価・満足を得点化した平均値について、宿泊施設に関しては、料金に対する評価を除いて、比較的高い評価を得ている。交通の便については、乗り継ぎの評価が低い傾向がある。土産物は価格・品揃えとも普通程度の評価となっている。食事（宿泊施設以外）・観光施設・旅行の満足度は比較的高い評価である。

第 8 章 山口市の観光振興の課題と提言

8.1 アンケート結果に基づく山口市観光の課題

以下では、2022 年の調査結果（クロス集計結果）、および、2009 年から 2022 年までの集計結果から見えてくる山口市観光における特性と課題について、いくつかの項目に分けて整理する。必ずしもすべての課題を網羅できているわけではないが、提言へ向けた主な課題として整理する。

観光のための情報

- 山口県外居住者の情報源については、どの地域でも友人・知人の割合が最も高い。2015 年と 2018 年の調査では、NHK 大河ドラマや山口ゆめ花博の影響により、テレビをみて来訪する人が多くみられた。近年は、若年層における Web サイトや SNS を通じた情報の入手が増加しているが、旅行誌・ガイドブックなどを情報源とする旅行者も依然として多い。
- 利用した情報媒体別に、欲しい情報が取得できたかどうか・情報が入手しやすかったかを確認すると、いずれも、観光パンフレットや Web サイト等の媒体と比較して、狐の足あとや観光案内所で情報が得られた・情報が入手しやすかったとする回答の割合がやや高い。ただし、観光パンフレットや Web サイトを利用する訪問者のほうが数・割合とも依然多い。

交通・移動

- 路線バスの利用者は、乗り継ぎ・道路標識・観光案内板の評価について、ほかの交通機関の利用者よりも低く評価する割合が高い。特に、山口市までの移動における路線バス利用者は、乗り継ぎに対して例年低く評価する傾向がある。また、乗り継ぎに関して、全体的な評価を時系列でみると 2016 年以降は改善傾向にあるものの近年は改善ペースが停滞している。

周遊行動

- 山口市外の訪問地区別に訪問者の全旅行日程をみると、日帰り・1 泊・2 泊がすべての地区で半数以上を占めている。また、これらの訪問者の山口市内での旅行日程はすべての地区で 1 泊が半数以上となっている。以上より、山口市を宿泊地点として周遊している旅行者が多いと考えられる。しかし、2015 年の NHK 大河ドラマ・世界遺産認定・明治維新 150 年等の影響で、萩・長門地区への訪問者が増加している一方、山口市の宿泊客数は近年減少しており、山口市を宿泊拠点とした周遊の魅力や利便性が低下している可能性がある。
- 市内への訪問者による狐の足あとや観光案内所への立ち寄り、訪問する観光施設数の増加に寄与している。また、観光施設間の周遊に関して、訪問した観光地の近隣にある別の観光地へ

周遊する傾向がある。

- YCAM（山口芸術情報センター）への訪問数が伸び悩んでおり、2022 年の調査でも YCAM を訪問したのは 25 人（2.67%）と前年と同水準に過ぎない。一方で、山口市の魅力として「現代の芸術・文化を育む文化施設」や「中原中也や種田山頭火などを育んだ文化的な雰囲気・風土」を選択したのは、合計で 225 人（24.75%）と高い水準にある。
- 訪問した観光施設に関して、集計結果には表れていないものの、大殿地区の観光地（八坂神社、十朋亭維新館、大路ロビー、豎小路、龍福寺、大内氏館など）への訪問者数が多い。

満足度

- 宿泊施設の風呂と施設設備・食事・観光施設は、山口市訪問と旅行全体の両方の満足度に影響を及ぼす。しかし、これら要因のうち、宿泊施設の施設設備に対する評価は近年停滞しており、食事の評価もまた良いという評価は伸びていない。
- 中原中也記念館・狐の足あと・湯田温泉など、湯田温泉近辺を訪問した旅行者の満足度が高い傾向にある。

8.2 観光振興に向けた提言

情報発信

- 山口市の訪問客が利用する情報源は、時期や年齢によって様々である。したがって、幅広い人々に向けて山口市の観光資源をアピールするならば、多様なメディアの活用がこれからも必要不可欠といえる。
- 山口市内における観光客への情報提供についても、複数の媒体の利用が必要である。観光案内所や狐の足あとのような、有人でのコミュニケーションを伴う丁寧な情報提供を進める一方、観光パンフレットや Web サイトにおける情報提供のあり方についても、検討と改善を続けることも重要である。
- 集計結果には明確に表れていないものの、大殿地区の各観光地には比較的多くの観光客が訪問している。そこで、大殿地区全域をブランド化し、県外にその魅力を発信することが望ましい。
- 狐の足あとが足湯やカフェといった施設による集客を実現しており、新たな観光資源としての情報発信が期待される。
- 明治維新 150 年に関連したデスティネーションキャンペーンの実施や山口ゆめ花博の開催に伴い、県外居住者を対象に積極的な情報発信が行われたが、その効果について詳細な分析が必要である。今後のいわゆるアフターコロナに向けた、県外からの誘客を促進するため、過去の情報発信の効果を検証することが不可欠である。
- 2021 年に県央の市町における「山口ゆめ回廊博覧会」が開催されたものの、新型コロナウイルスの影響により県外からの集客は限定された。アフターコロナの観光復興を見据えて、県外か

らの訪問客を誘致するためにも、山口ゆめ回廊の取り組みを継続する必要がある。

- YCAM の全国におけるメディアアート分野での知名度は高く、適切なターゲットを絞った付加価値の高い観光プランが見込まれる。YCAM の提供する独自性や希少性のあるコンテンツは、観光交流事業の戦略的な観光資源となり得ることから、その有効な活用について引き続き検討が求められる。

交通状況の改善による回遊の促進

- 路線バスの利用者に対して、交通の利便性を向上することが期待される。路線バスの利用者は、乗り継ぎに対して例年低く評価する傾向があることから、特に乗り継ぎの状況を改善することが重要である。
- 近年、小郡萩道路の整備などにより自動車による周遊観光が容易になっていることから、自動車による周遊観光客を山口市に宿泊させるような工夫が、施策の一つとして考えられる。
- 鉄道や路線バスを利用して県外から初めて山口市に訪れる若年層の旅行者を狐の足あとに積極的に呼び込み、観光施設の訪問数を増やす取り組みが望まれる。
- 山口市の訪問者は、隣接した観光施設間で周遊する傾向があるため、自転車やまち歩きを中心とした回遊促進を積極化することが望ましい。特に、湯田温泉や大殿地区を基点とするまち歩きを強化していくことも考えられる。サイクリングロードや歩道の拡充を図り、観光のみならず地域住民も利用しやすい環境を整えることが重要である。
- 近年、カーシェアリングやシェアサイクルの導入が進んでおり、市内近辺の周遊が促進されつつある。今後は、これらカーシェアリングやシェアサイクルの基地を充実したり、利用しやすくしたりする工夫が必要である。また、自転車利用者の道路標識や観光案内板に対する評価が低いことから、自転車や徒歩での旅行者にもわかりやすい案内板等の整備を行う必要もある。
- 自転車や徒歩で周遊する際、自身の荷物の持ち運びが負担となり、土産品などの積極的な購入が期待しにくい。そこで、観光案内所や拠点となる施設での預かりサービスや配送サービス、あるいは、購入した商品を自宅まで簡素な手続きにより配送できるシステムがあれば便利である。

外国人観光客の誘致

- 本調査においては十分に把握できていないが、観光立国による全国的な外国人観光客の増加を受けて、山口市でも外国人観光客が増加傾向にあった。今後は、外国人観光客による国内旅行も再開されつつあることから、外国人観光客の受け入れ体制の整備は継続すべきである。新型コロナウイルス感染症の拡大による経済への影響は極めて甚大であったが、この間の移動制限等により観光への欲求を高めている人々が多い。山口宇部空港や新幹線等を利用して山口市に訪れる外国人観光客の受け入れ体制を整備し、これら観光客の受け入れ機会を逃さないように取り組むことが重要である。また、新型コロナウイルス感染症の影響で、県内でもいくつかの観光施設や宿泊施設が閉業する事態となっている。一度失われた観光資源の復活は容易では

ないことから、苦境にあるこれらの施設について、長期的視点からサポートしていく必要がある。

- 瑠璃光寺五重塔などの歴史的建造物、YCAM を中心としたメディアアート、新山口駅の南北自由通路の壁面緑化など、外国人にもアピール可能な資源を積極的にPR する。
- 今後は、外国人観光客を含めた観光動態の把握についても検討されるべきである。

おわりに

本報告書では、山口市観光動態アンケート調査に基づいて、2022 年の集計結果と 2009 年から 2022 年までの 14 年分の時系列での集計結果をまとめた。

2020 年における新型コロナウイルスの発生とそれ以降の感染拡大は、2022 年においても、経済活動に深刻な影響を及ぼすこととなった。2020 年は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が全国的に発出され、観光にとっては極めて困難な年となった。2021 年は、全国的な緊急事態宣言は無かったものの、より感染力の強いオミクロン株の拡大により、多くの地域で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が長期間・繰り返し発出される状況となった。山口県でも 8 月 13 日から 9 月 26 日まで自粛要請が出され飲食店を中心に大きな経済的ダメージを受けた。2022 年は、大規模な移動制限等が実施されることはなかったが、感染者数の増加に伴うイベント等の中止が断続的に発生した。また、2020 年・2021 年より幾分緩和されたものの、感染対策の下、一定の制限の中での行動が続いている。

山口市では、新山口駅の橋上駅舎・南北自由通路や一の坂川周辺の整備が進み、「マイクロツーリズム」の観光拠点としての魅力も高めてきた。一方で、萩・長門地区への高速道路整備の充実・長門市の湯本温泉への大規模な環境整備もあり、「マイクロツーリズム」を巡る市町間の競争も強まっている。2015 年に開館した湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」はこうした「マイクロツーリズム」への情報提供施設としても期待されている。新山口駅北地区拠点施設整備事業により山口市産業交流拠点施設「KDDI 維新ホール」が 2021 年 4 月に開業された。厳しい環境の中でも交流と賑わいを生み出しながら、新たなビジネスの創出に向けて、現在も数々の大きなイベントに取り組んでいる。山口市産業交流拠点施設「KDDI 維新ホール」の誕生は、新山口駅の魅力向上のみならず、山口市中心部における既存の観光資源との連携を通じて、山口市全体の観光の活性化に向けた効果が期待される。

2016 年には、地方創生のもと観光 DMO（Destination Management/Marketing Organization）が山口県にも発足し、芸術・文化、スポーツを通じた魅力創出事業も推進されている。山口市においても、YCAM との連携等による芸術・文化との一層の融合が必要である。また、新型コロナウイルス後の生活様式の変化に伴い、スポーツツーリズムを意識した更なる施策や、サイクリングやトレッキングなどの健康増進と一体となった観光振興が今後重要である。2023 年には、我々の行動に対する制限について一層の緩和が予想され、スポーツや健康に関連するイベントは以前よりも増加すると考えられることから、これらのイベントと連携した観光支援を進めることが期待される。観光政策は長年の蓄積の上に成り立っており、コロナ禍に蓄積した知見を生かしつつ、新たな政策を積極的に打ち出すことが、これからの重要な課題となる。

最後に、観光振興へ向けたより具体的な分析と提言を行うためには、アンケート調査における分析の視点を絞り込み、有益な集計結果（情報）を提供していくことが極めて必要である。さらに、

他の経済データと連携し、経済的な視野からデータを分析することもこれからの課題である。

本報告書では、14 年分の時系列での集計結果もまとめている。継続的な調査に伴うデータの蓄積により、観光客の動態をより詳細に把握することが可能になりつつあるといえる。また、的確な観光動態の把握のために、調査項目の改訂を逐次行っている。この修正もまた、データの蓄積が進み調査の改善に関する知見が得られたために可能となった。山口市のさらなる観光の振興へ向けて、課題の探索・的確な分析・対策の検討のためにも、本調査を継続しデータを蓄積していくことが重要である。